

平成 26 年度

裾野市市民意識調査  
報告書



平成 26 年 11 月

裾野市



# 目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果のまとめ	3
III	調査結果	5
	回答者の属性	5
1	満足度・重要度調査について	8
	①お住まいの周辺環境について（住環境）	8
	②裾野市の取り組みについて（市施策）	50
2	市の政策全体について	108
3	市民協働について	110
4	子育て環境について	133
5	住宅用火災警報器の設置について	139
6	スポーツ活動について	145
IV	調査票	161



## I 調査の概要

### 1 調査の目的

平成 26 年度の裾野市民の市政に対する認識や要望、市民生活に関する意識を調査し、諸施策推進のための基礎資料を得ることを目的とする。

### 2 調査対象

本調査は、20 歳以上の市民から無作為に抽出した 1,000 人を対象に実施した。

### 3 調査期間

平成 26 年 8 月 26 日に調査票を発送し、平成 26 年 9 月 10 日を投函締切とした。

### 4 調査方法

郵送配布、郵送回収

### 5 回収状況

配布数	回収数	有効回収数	有効回収率
1,000	547	546	54.6%

\*有効回収数：回収数から全く回答がないもの（白票）を除いた数

### 6 調査結果の表示方法

- ・集計結果の％表示は、小数点以下第 2 位を四捨五入してあるので、内訳の合計がちょうど 100.0%にならない場合がある。
- ・複数回答が可能な設問の場合、すべての比率の合計がちょうど 100.0%にならない場合がある。
- ・当該質問に回答した人の実数（回答母数）を表記する場合は「N」と表示した。
- ・100%積み上げグラフでは 0.0%は非表示としている。
- ・クロス集計の場合、分析軸では無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答者数の合計と単純集計（全体）の有効回答者数が合致しないことがある。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法である。
- ・当該質問に回答した人の実数（回答母数）が 10 人未満の場合は、原則として図示するに留め、本文ではふれていない。



## Ⅱ 調査結果のまとめ

### ＜＜ 重要度・満足度調査 ＞＞

#### ■住環境改善の重要課題は、鉄道・バス、道路網・歩道、地震災害対策。

「鉄道やバスの便利さ」「道路網の便利さや快適さと歩道の整備状況」「地震災害に強いまちづくり」は、平成 23 年度調査より継続して満足度が低く、重要度が高い項目であり、重要課題として検討する必要性が高くなっている。なかでも「地震災害に強いまちづくり」については、点数差が前回よりも大きいことから、必要性が高まっている。

#### ■市施策の重要課題は、財政運営の効率化、土地利用、商業地づくり・ブランドづくり。

「市の「予算の使い方」などの財政運営の効率化」「市内の土地利用のバランスの良さ」「にぎわいのある商業地づくりと、すそのブランドの利用推進」の順で、前回調査に引き続き満足度が低く重要度が高い項目となっている。うち上位 2 項目は平成 23 年度調査から挙がっており、重要課題として検討する必要性が高くなっている。

#### ■市施策に満足していない人の割合が、満足している人の割合を上回っている。

市の政策全体について満足している人は 22.1%、満足していない人は 30.0%と、満足している人を満足していない人が上回っており、満足していない人は平成 24 年度調査から年々増加している。

### ＜＜ 特集調査 ＞＞

#### ■「協働」という言葉を知っている人のうち、学習経験ありが約 2 割、学習意向ありは約 5 割。

協働について学習したことがある人は 19.2%、今後学習してみたい人は 48.6%である。また、既に協働による活動を行っている人と協働事業に参加意向がある人を合わせると、平成 24 年度調査と同様に 4 割以上を占めている。協働して取り組む必要性が高い分野は、約 6 割の人が「高齢者福祉」と回答している。

#### ■子どもの遊び場は「学校、幼稚園や保育園の施設」が約 6 割。

子ども（小学生以下）と同居している人にとっての子どもの遊び場は、「学校、幼稚園や保育園の施設」が 58.1%である。日ごろ感じていることは「雨の日に遊べる場所がない」が 58.9%、外出時の困りごとは「用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がないこと」が 38.0%を占めて高くなっている。

#### ■住宅用火災警報器を設置していない住宅は 3 割。

住宅用火災警報器が設置されていない住宅は 30.0%と、最近 5 年間の調査において毎回 3 割程度で推移している。設置していない理由としては、「設置が義務化されていることを知らなかった」「設置費用負担が大きい」がそれぞれ約 3 割を占めている。

#### ■健康でないと感じる人が 18.3%、体力に不安のある人は 33.9%。

自分が「健康でない」と感じる人の割合は 18.3%と前回調査から増加している。また、自分の体力に不安がある人の割合は、平成 22 年度調査から約 3 割と横ばいである。

#### ■スポーツ活動をしていない人は約 4 割。

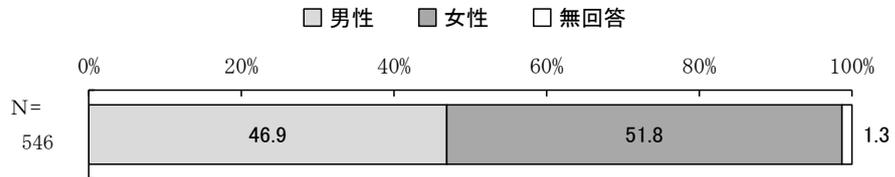
この 1 年間にスポーツや運動をほとんどしていない人の割合は 41.0%である。運動をしていない主な理由としては「仕事などで忙しく時間がない」「場所や施設が近くにない」などが挙げられている。



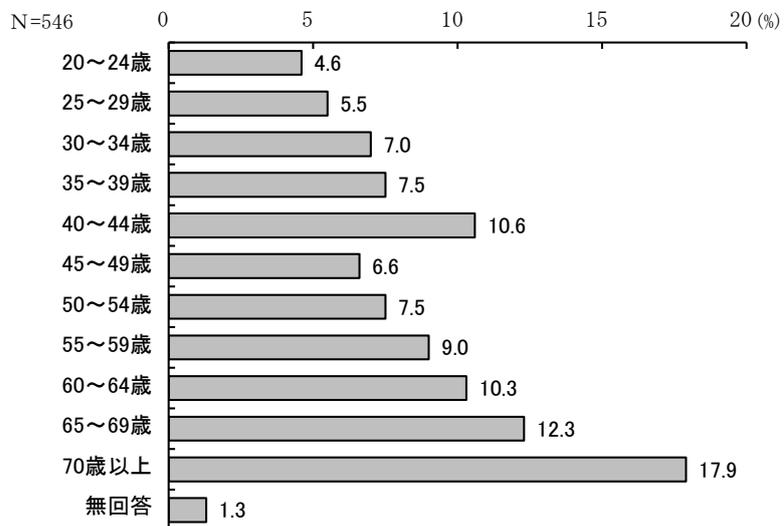
### Ⅲ 調査結果

#### 回答者の属性

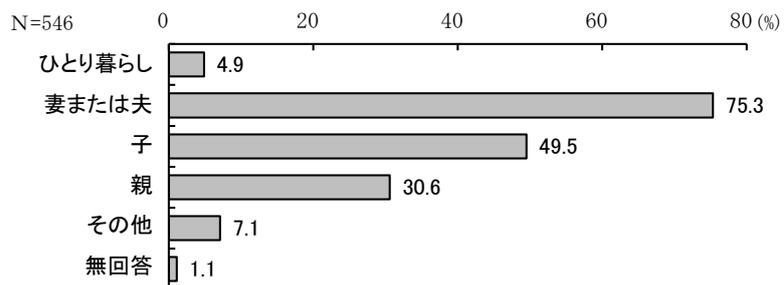
##### 性別



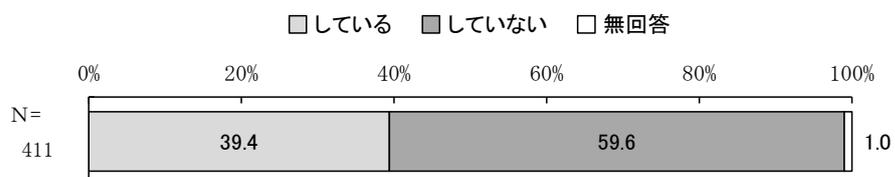
##### 年齢



##### 同居の状況

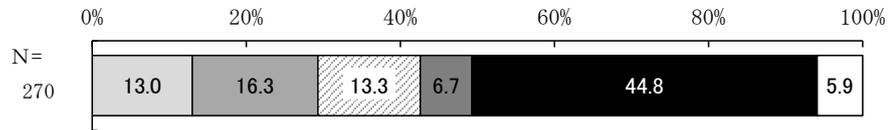


##### 共働きの状況

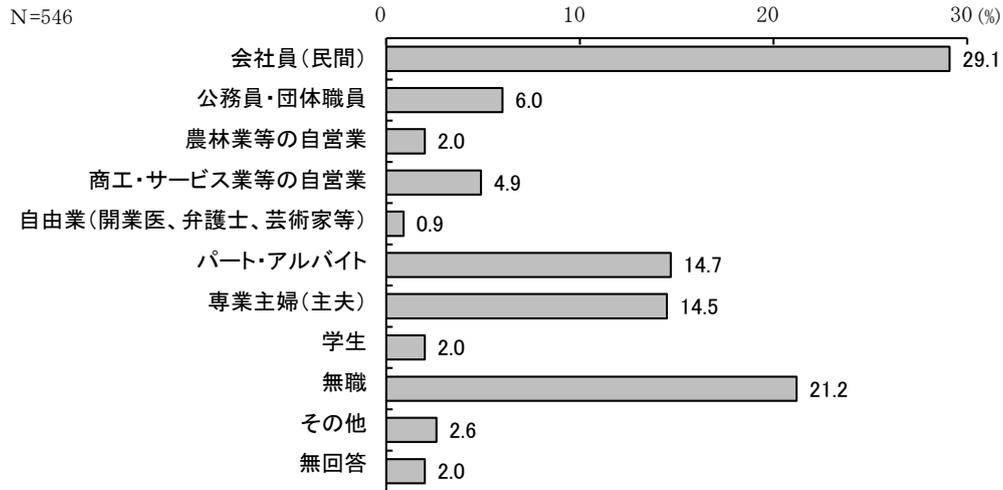


## 子どもの状況

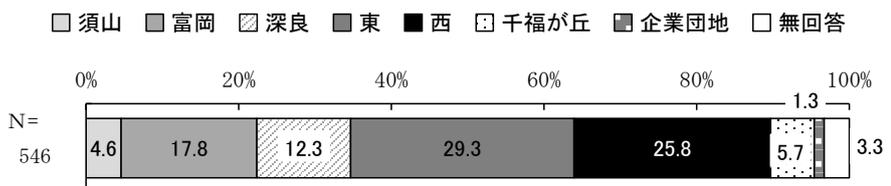
- 一番上の子が小学校入学前
- 一番上の子が小学校在学中
- ▨ 一番上の子が中学校・高校在学中
- 一番上の子が大学・大学院・各種学校在学中
- 一番上の子が学校を卒業
- 無回答



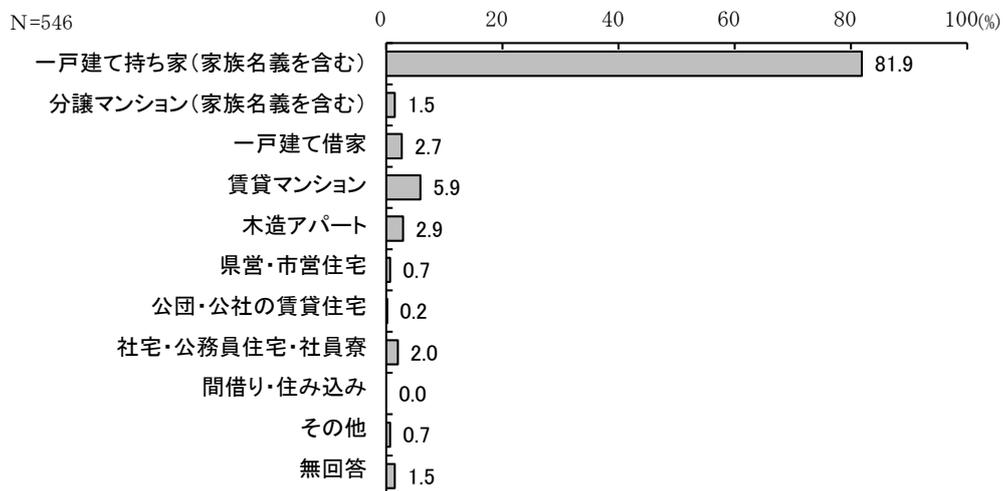
## 職業



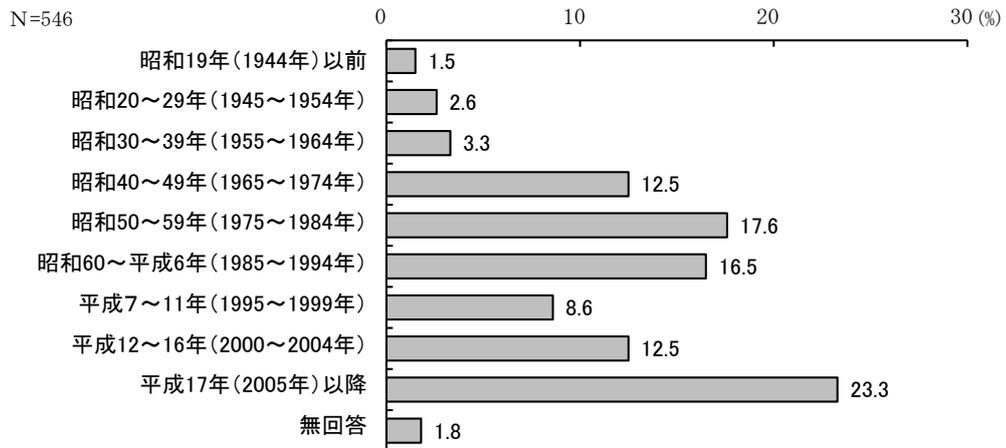
## 居住地区



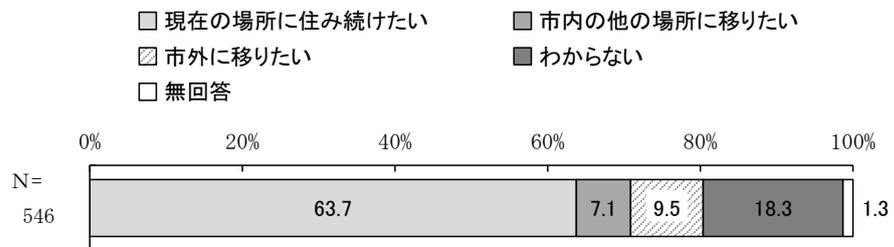
## 住居形態



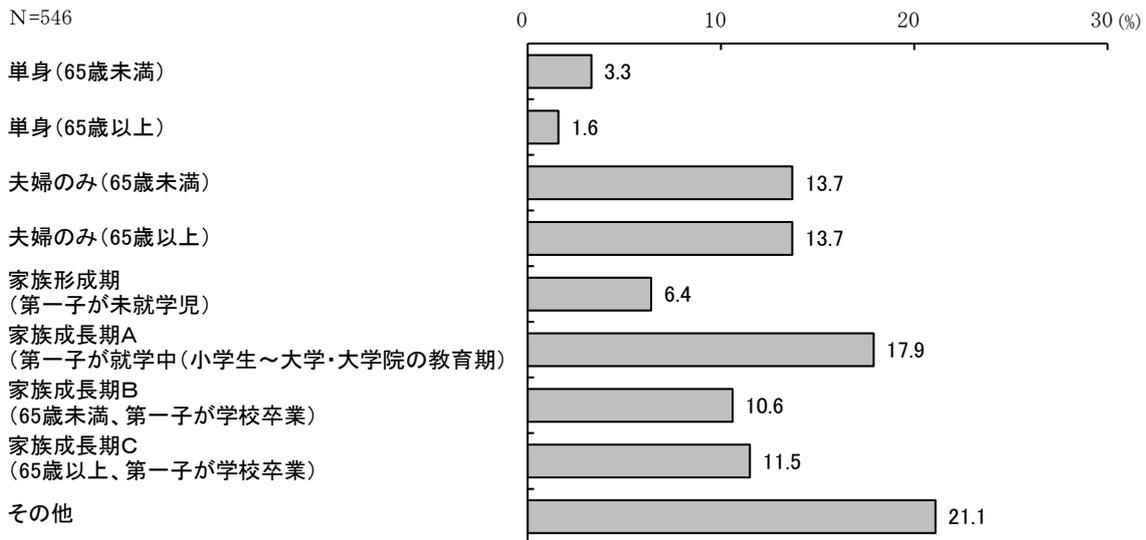
居住年数



定住意向



ライフステージ



## 1 満足度・重要度調査について

### ①お住まいの周辺環境について（住環境）

問1 近隣市町にある公共施設や商業施設、医療機関などの利用しやすさなども含めた、周辺環境についてお答えください。（満足度については番号に、重要度についてはアルファベットに、それぞれ〇は1つずつ）

### 現状の満足度と今度の重要度

現状の評価と重要度を下表に示すように点数化し、その程度を分析した。

各項目の回答者に下表の点数をかけて合計し、回答者総数で割った平均値を得点とする。

#### 現状の評価基準

項目	点数
満足	2点
まあ満足	1点
普通	0点
やや不満	-1点
不満	-2点

#### 重要度の評価基準

項目	点数
とても重要	2点
重要	1点
それほどでもない	0点

### 満足度ベスト3

順位	項目	得点
1	身近にすんでいる外国人とのトラブルの少なさ	0.51
2	不安のない消防体制と救急体制の充実	0.31
3	空気や河川の水のきれいさ	0.30

### 重要度ベスト3

順位	項目	得点
1	必要な時に適切な医療が受けられる環境	1.69
2	地震災害に強いまちづくり	1.53
3	犯罪のおきにくい安心なまちづくり	1.49

### 満足度が低く重要度が高い項目（今後、重点課題として検討が必要）

順位	項目	満足度	重要度	点数差※
1	鉄道やバスの便利さ	-0.88	1.14	-2.02
2	道路網の便利さや快適さと歩道の整備状況	-0.63	1.28	-1.91
3	地震災害に強いまちづくり	-0.24	1.53	-1.77

※点数差：満足度の得点から重要度の得点を引いたもの。点数差を求めることで、満足度が低く、重要度が高い、今後の重点課題として検討が必要なものを数値化したもの。

## 満足度・重要度による順位

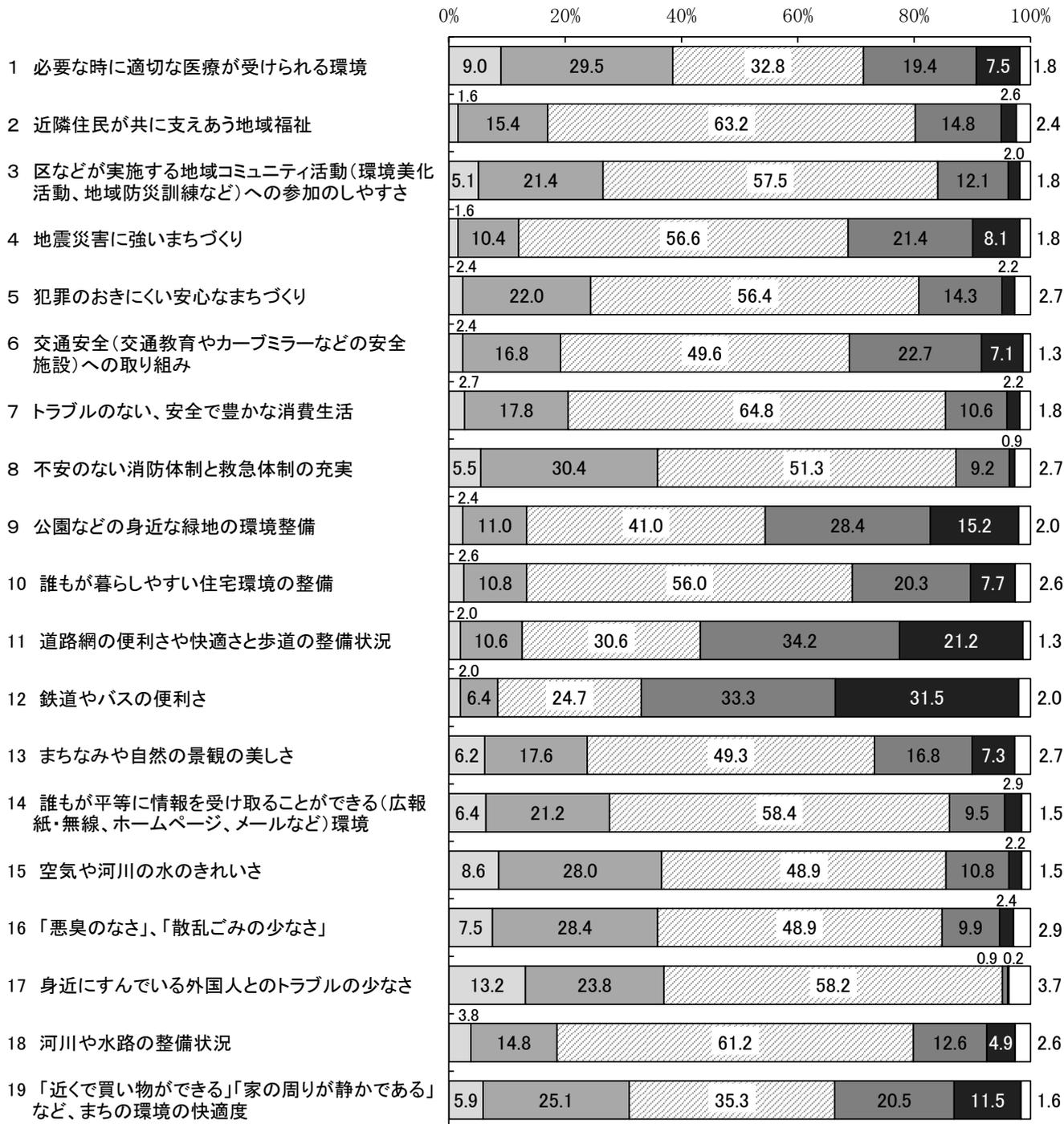
※得点が高い項目順に、小数第二位までを表示している。

満足度	得点	順位	得点	重要度
身近にすんでいる外国人とのトラブルの少なさ	0.51	1	1.69	必要な時に適切な医療が受けられる環境
不安のない消防体制と救急体制の充実	0.31	2	1.53	地震災害に強いまちづくり
空気や河川の水のきれいさ	0.30	3	1.49	犯罪のおきにくい安心なまちづくり
「悪臭のなさ」、「散乱ごみの少なさ」	0.30	4	1.46	不安のない消防体制と救急体制の充実
誰もが平等に情報を受け取ることができる(広報紙・無線、ホームページ、メールなど)環境	0.19	5	1.36	交通安全(交通教育やカーブミラーなどの安全施設)への取り組み
区などが実施する地域コミュニティ活動(環境美化活動、地域防災訓練など)への参加のしやすさ	0.16	6	1.28	道路網の便利さや快適さと歩道の整備状況
必要な時に適切な医療が受けられる環境	0.13	7	1.28	「近くで買い物ができる」「家の周りが静かである」など、まちの環境の快適度
犯罪のおきにくい安心なまちづくり	0.08	8	1.19	「悪臭のなさ」、「散乱ごみの少なさ」
トラブルのない、安全で豊かな消費生活	0.08	9	1.18	空気や河川の水のきれいさ
河川や水路の整備状況	0.00	10	1.14	近隣住民が共に支えあう地域福祉
近隣住民が共に支えあう地域福祉	-0.01	11	1.14	鉄道やバスの便利さ
まちなみや自然の景観の美しさ	-0.02	12	1.12	トラブルのない、安全で豊かな消費生活
「近くで買い物ができる」「家の周りが静かである」など、まちの環境の快適度	-0.07	13	1.11	誰もが暮らしやすい住宅環境の整備
交通安全(交通教育やカーブミラーなどの安全施設)への取り組み	-0.16	14	1.08	河川や水路の整備状況
誰もが暮らしやすい住宅環境の整備	-0.20	15	0.97	区などが実施する地域コミュニティ活動(環境美化活動、地域防災訓練など)への参加のしやすさ
地震災害に強いまちづくり	-0.24	16	0.94	公園などの身近な緑地の環境整備
公園などの身近な緑地の環境整備	-0.44	17	0.94	誰もが平等に情報を受け取ることができる(広報紙・無線、ホームページ、メールなど)環境
道路網の便利さや快適さと歩道の整備状況	-0.63	18	0.92	まちなみや自然の景観の美しさ
鉄道やバスの便利さ	-0.88	19	0.81	身近にすんでいる外国人とのトラブルの少なさ

【問1 満足度】

□ 満足 □ まあ満足 □ 普通 □ やや不満 □ 不満 □ 無回答

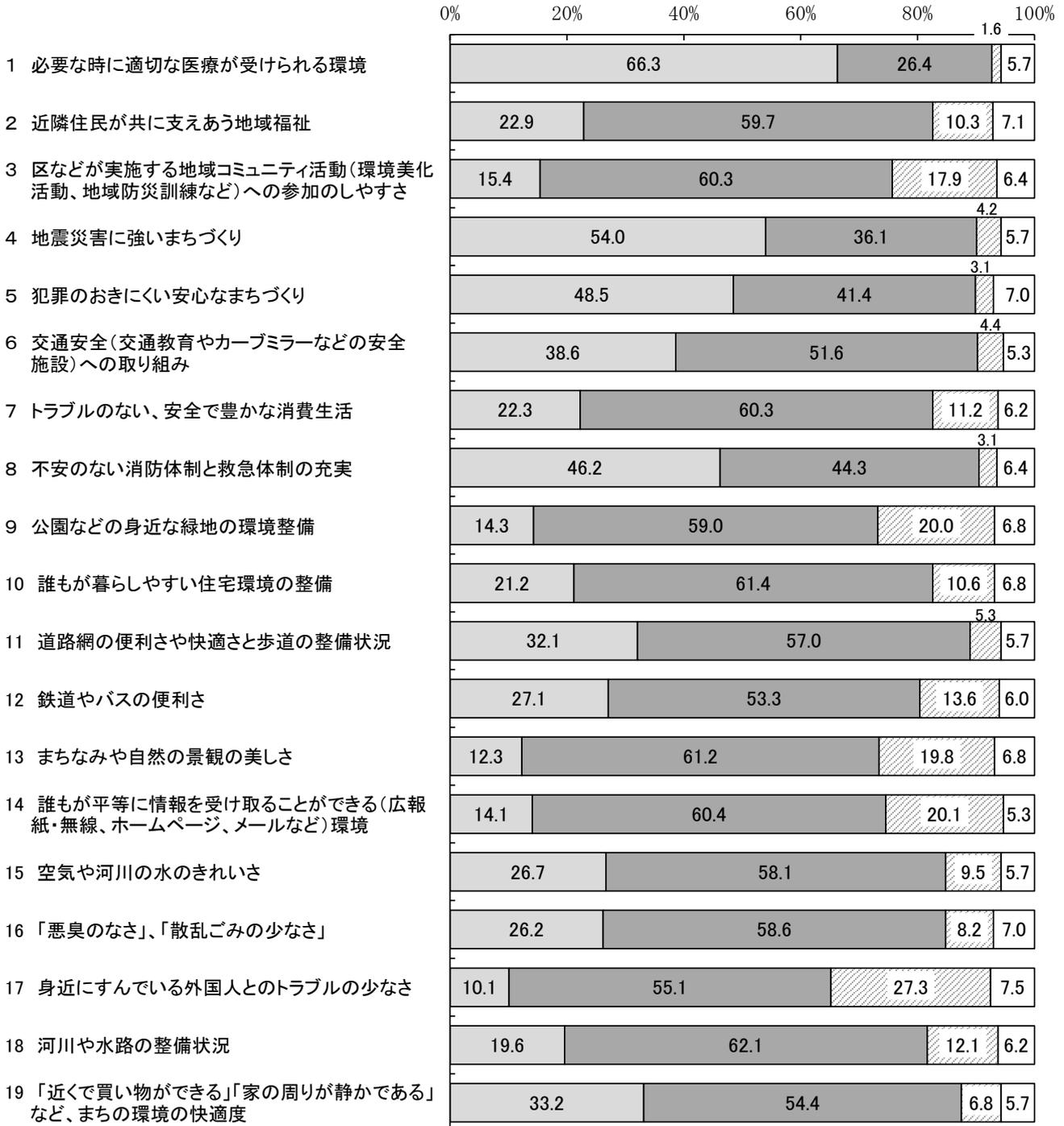
N=546



【問1 重要度】

N=546

□ とても重要   ■ 重要   ▨ それほどでもない   □ 無回答



【問1 満足度】

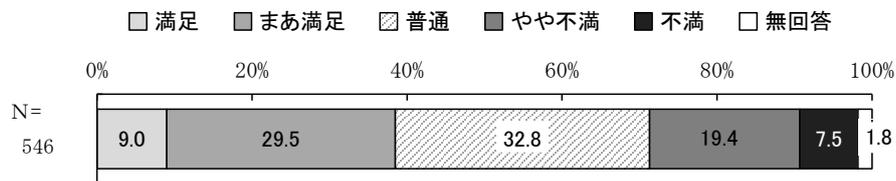
(1) 必要な時に適切な医療が受けられる環境

全体でみると、「満足」と「まあ満足」を合わせた“満足”の割合が高く、約4割となっている。

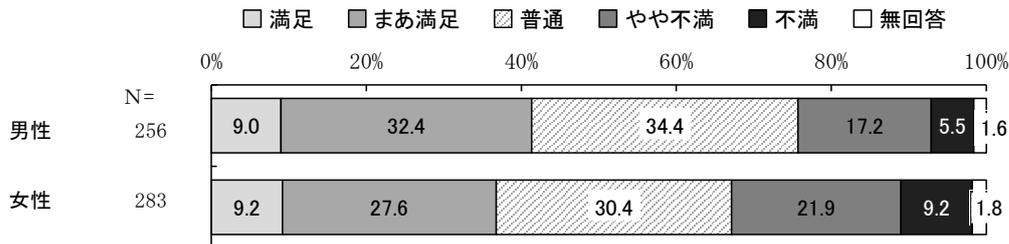
性別でみると、女性に比べ、男性で“満足”の割合が高くなっている。

年代別でみると、他の年代に比べ、20～24歳で“満足”の割合が高くなっている。一方、50～54歳で“不満”の割合が高くなっている。

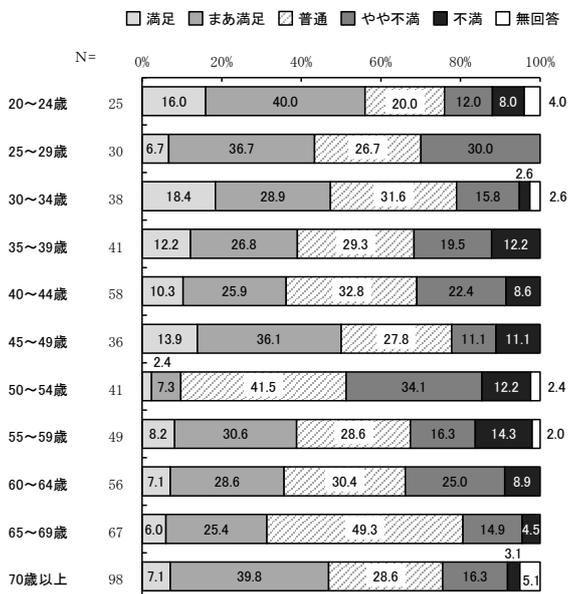
ライフステージ別でみると、他に比べ、家族形成期（第一子が未就学児）で“満足”の割合が高く、約5割となっている。



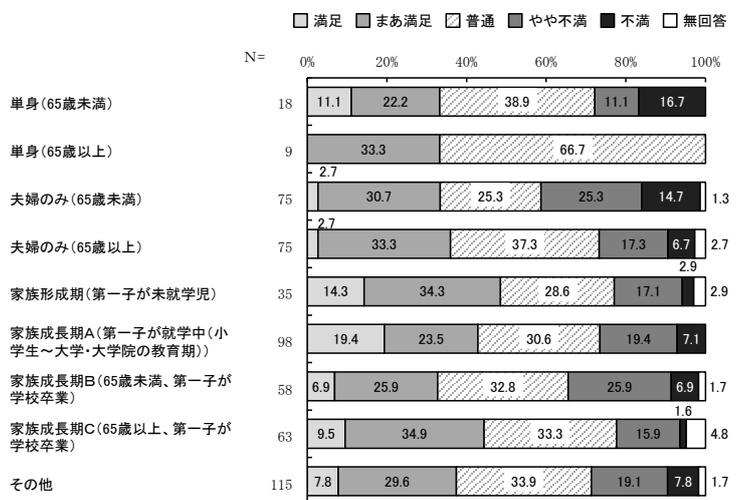
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】



【問1 重要度】

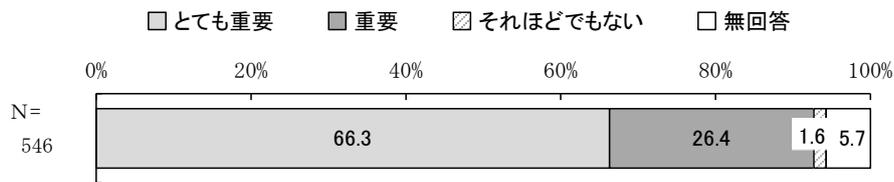
(1) 必要な時に適切な医療が受けられる環境

全体でみると、「とても重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が高く、9割を超えている。

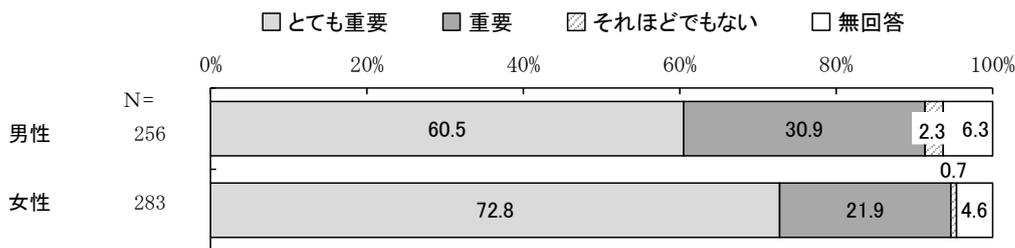
性別でみると、男性に比べ、女性で「とても重要」の割合が高くなっている。

年代別でみると、他の年代に比べ、40～44歳で「とても重要」の割合が高く、約9割となっている。

ライフステージ別でみると、他に比べ、家族成長期A（第一子が就学中（小学生～大学・大学院の教育期））で「とても重要」の割合が高く、8割を超えている。

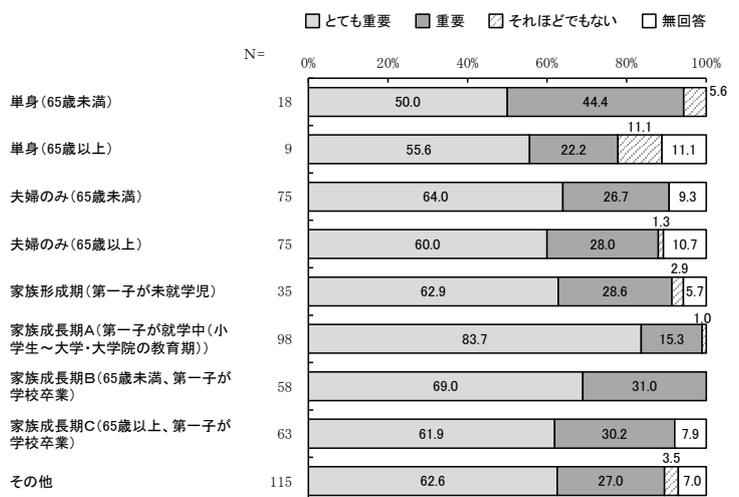
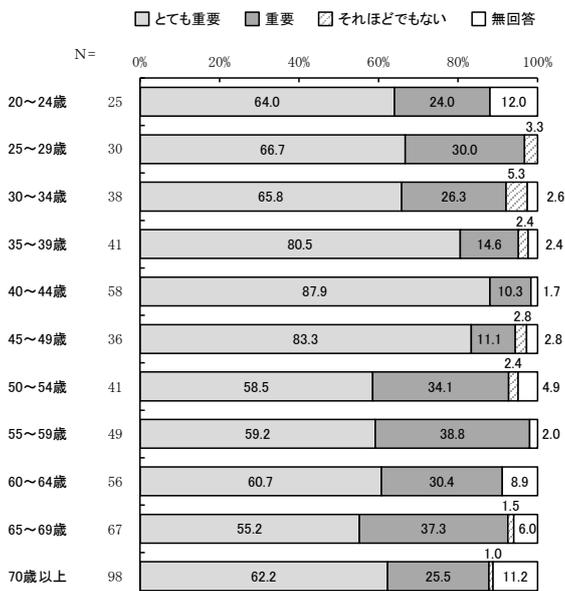


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】



【問1 満足度】

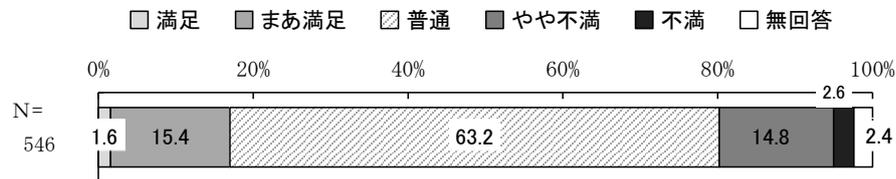
(2) 近隣住民が共に支えあう地域福祉

全体でみると、「満足」と「まあ満足」を合わせた“満足”の割合と、「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合が共に約2割となっている。

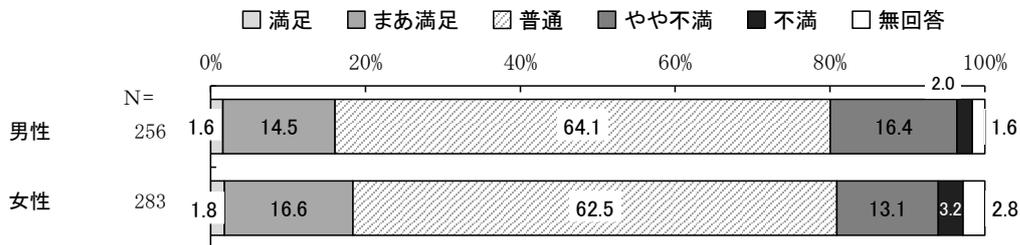
性別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、他の年代に比べ、20～24歳で「満足」の割合が高く、約1割となっている。一方、55～59歳で“不満”の割合が高く、約3割となっている。

ライフステージ別でみると、他に比べ、家族形成期（第一子が未就学児）、家族成長期A（第一子が就学中（小学生～大学・大学院の教育期））で“満足”の割合が高くなっている。

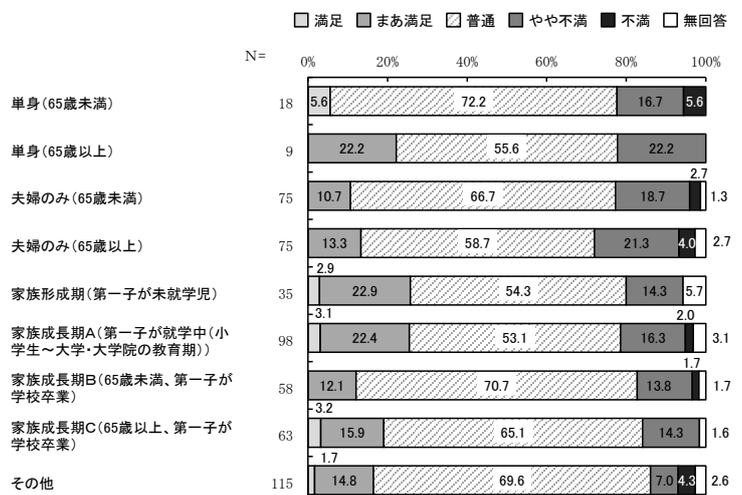
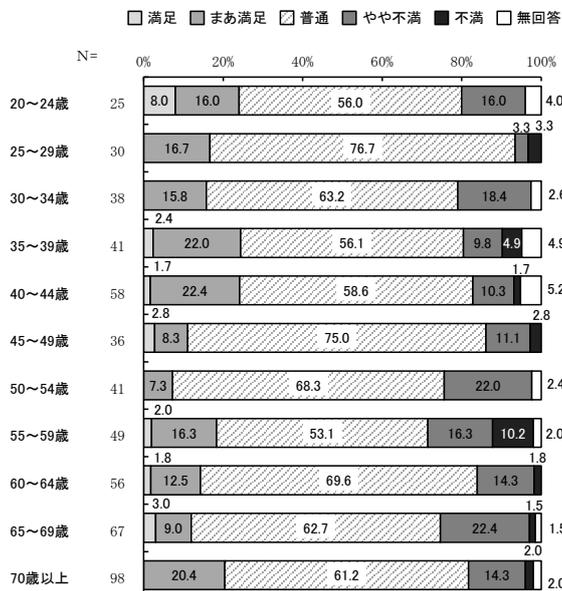


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】



【問1 重要度】

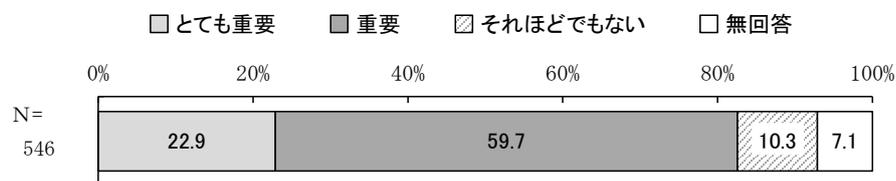
(2) 近隣住民が共に支えあう地域福祉

全体でみると、「とても重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が高く、約8割となっている。

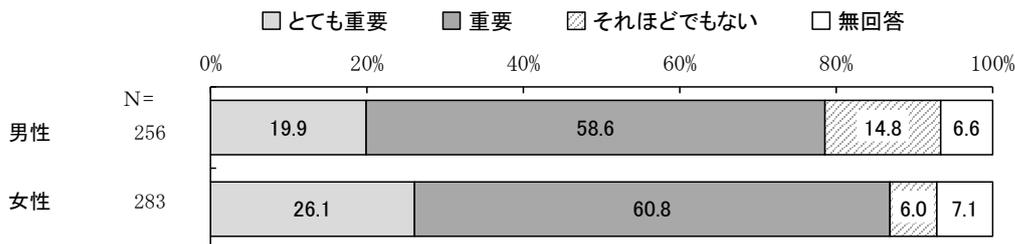
性別でみると、男性に比べ、女性で“重要”の割合が高くなっている。

年代別でみると、他の年代に比べ、45～49歳、55～59歳で“重要”の割合が高く、約9割となっている。一方、30～34歳で「それほどでもない」の割合が高くなっている。

ライフステージ別でみると、他に比べ、家族成長期B（65歳未満、第一子が学校卒業）、家族成長期C（65歳以上、第一子が学校卒業）で“重要”の割合が高く、9割を超えている。

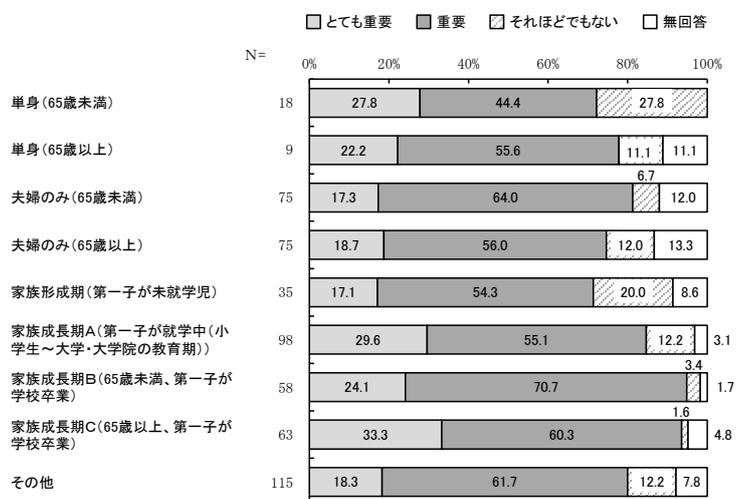
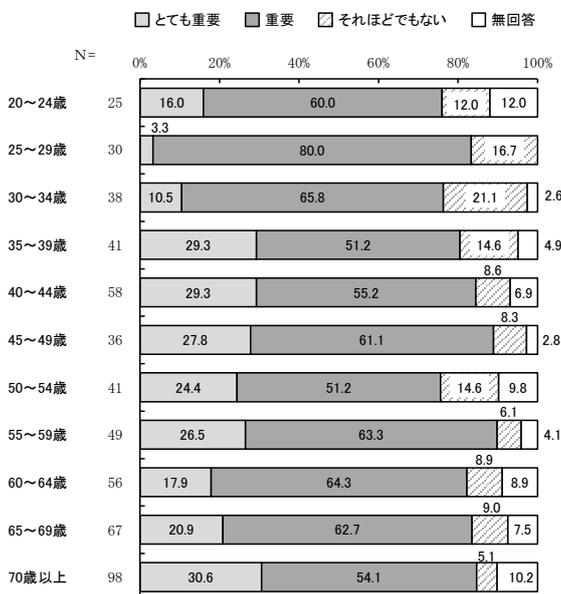


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】



【問1 満足度】

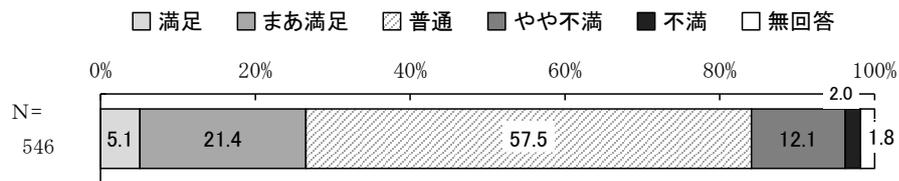
(3) 区などが実施する地域コミュニティ活動（環境美化活動、地域防災訓練など）への参加のしやすさ

全体でみると、「満足」と「まあ満足」を合わせた“満足”の割合が高く、約3割となっている。

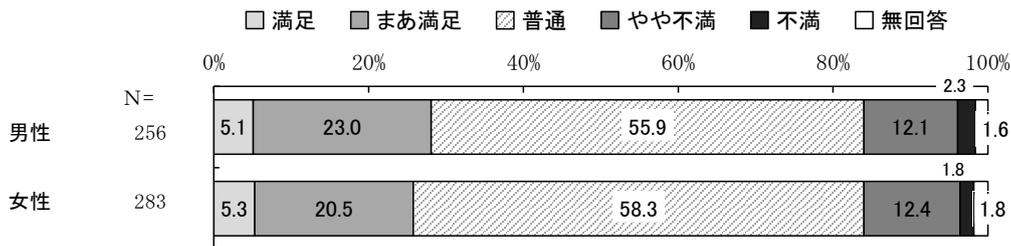
性別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、他の年代に比べ、40～44歳、45～49歳で“満足”の割合が高くなっている。一方、25～29歳、30～34歳で“不満”の割合が高くなっている。

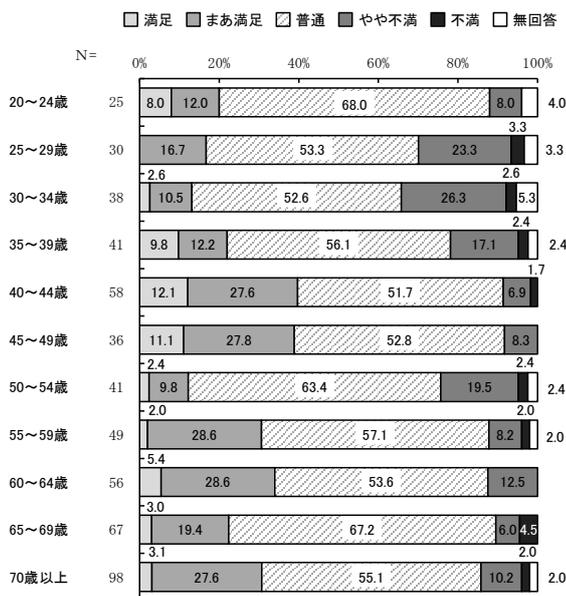
居住地区別でみると、他の地区に比べ、須山で“満足”の割合が高く、4割となっている。



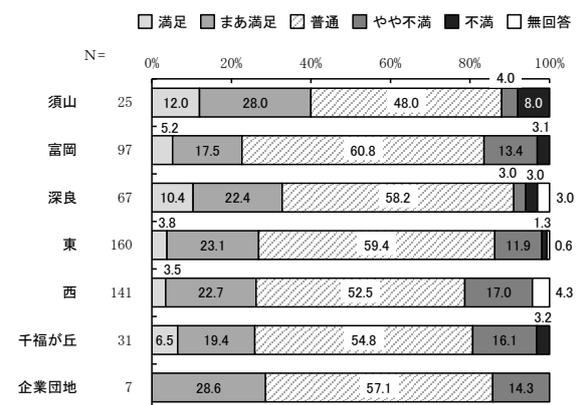
【性別】



【年代別】



【居住地区別】



【問1 重要度】

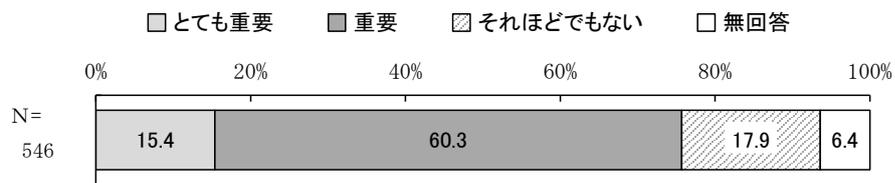
(3) 区などが実施する地域コミュニティ活動（環境美化活動、地域防災訓練など）への参加のしやすさ

全体でみると、「とても重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が高く、7割を超えている。

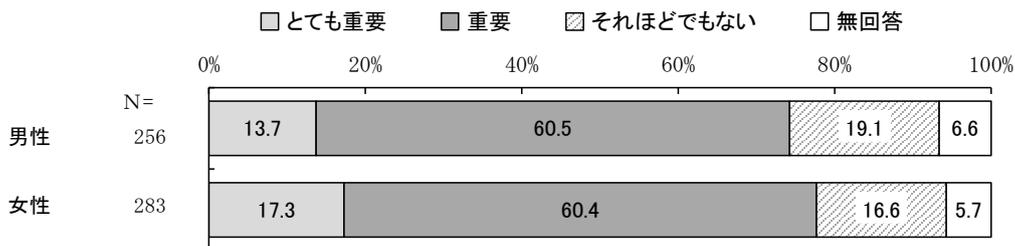
性別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、他の年代に比べ、65～69歳で“重要”の割合が高く、約9割となっている。

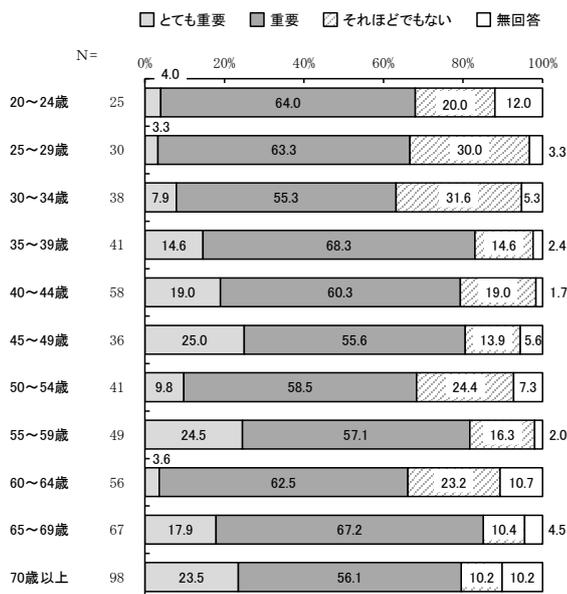
居住地区別でみると、他の地区に比べ、須山、深良で“重要”の割合が高く、8割を超えている。一方、千福が丘で“重要”の割合が低く、7割未満となっている。



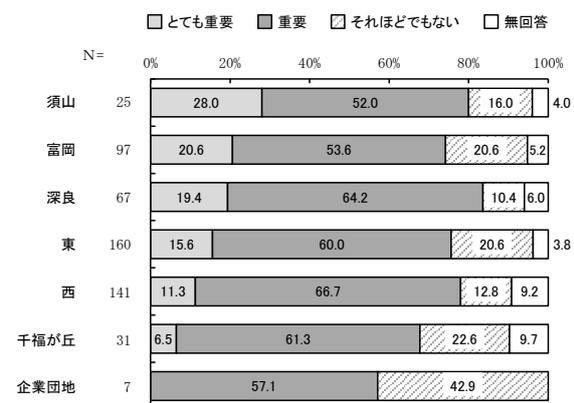
【性別】



【年代別】



【居住地区別】



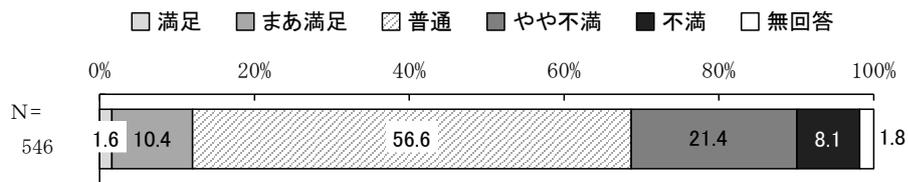
【問1 満足度】

(4) 地震災害に強いまちづくり

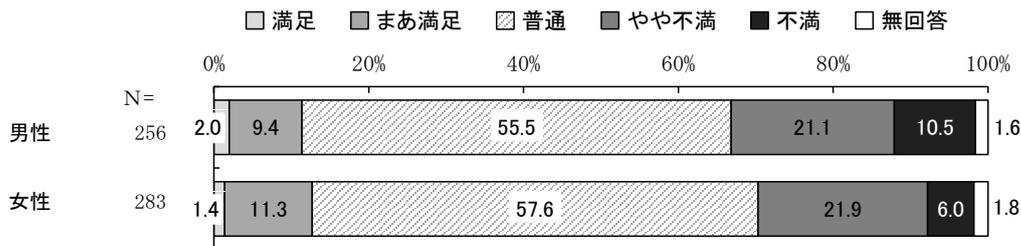
全体でみると、「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合が高く、約3割となっている。  
性別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、他の年代に比べ、25～29歳で“不満”の割合が高く、4割を超えている。

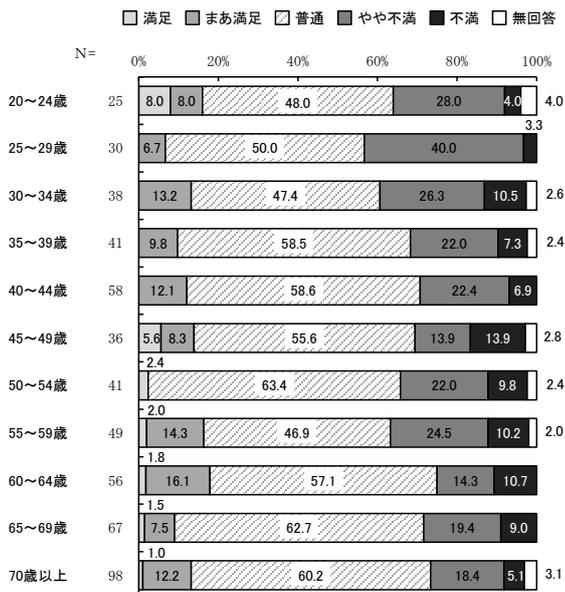
居住地区別でみると、他の地区に比べ、千福が丘で“不満”の割合が高く、4割を超えている。



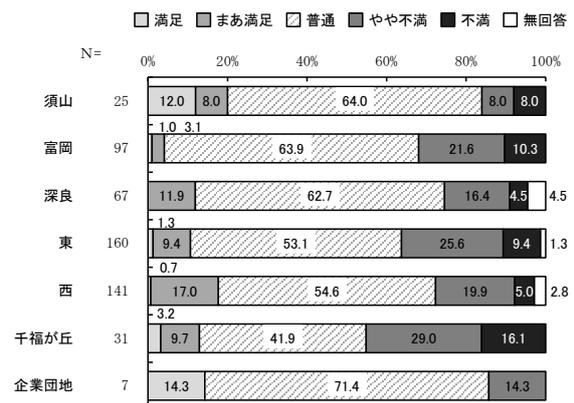
【性別】



【年代別】



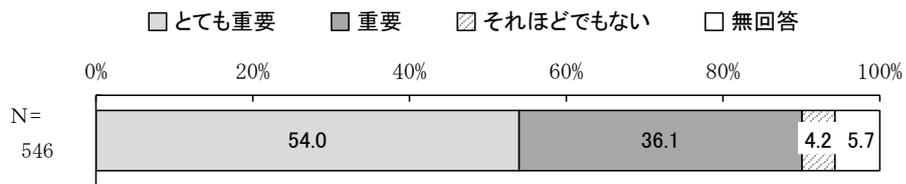
【居住地区別】



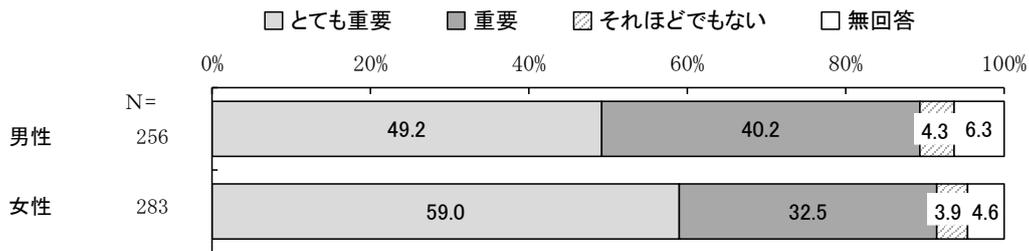
【問1 重要度】

(4) 地震災害に強いまちづくり

全体でみると、「とても重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が高く、約9割となっている。  
 性別でみると、男性に比べ、女性で「とても重要」の割合が高く、約6割となっている。  
 年代別でみると、他の年代に比べ、25～29歳、55～59歳で“重要”の割合が高くなっている。  
 居住地区別でみると、他の地区に比べ、富岡で「とても重要」の割合が高く、6割を超えている。

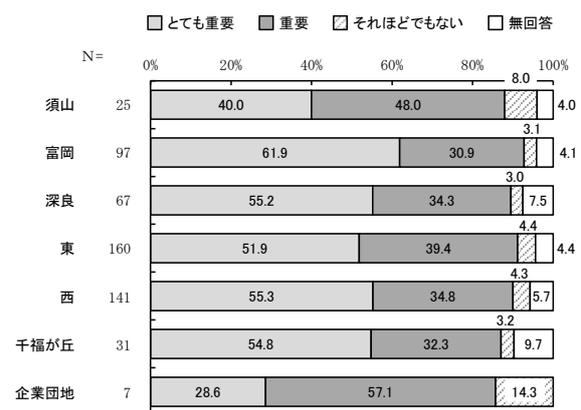
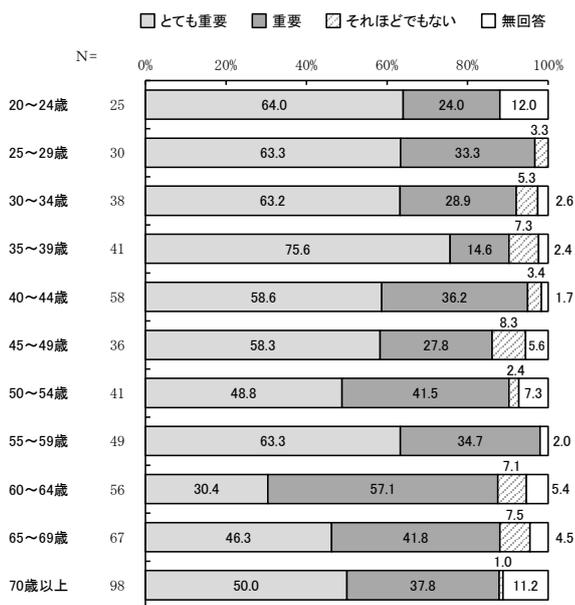


【性別】



【年代別】

【居住地区別】



【問1 満足度】

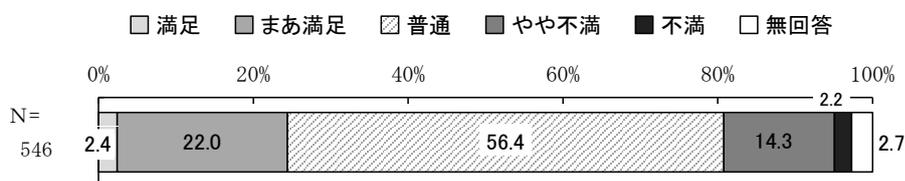
(5) 犯罪のおきにくい安心なまちづくり

全体でみると、「満足」と「まあ満足」を合わせた“満足”の割合が2割以上と、「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合を上回っている。

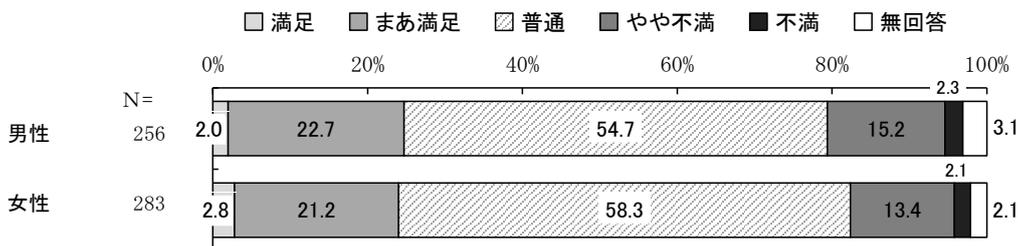
性別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、他の年代に比べ、20～24歳で“満足”の割合が高くなっている。一方、30～34歳で“不満”の割合が高くなっている。

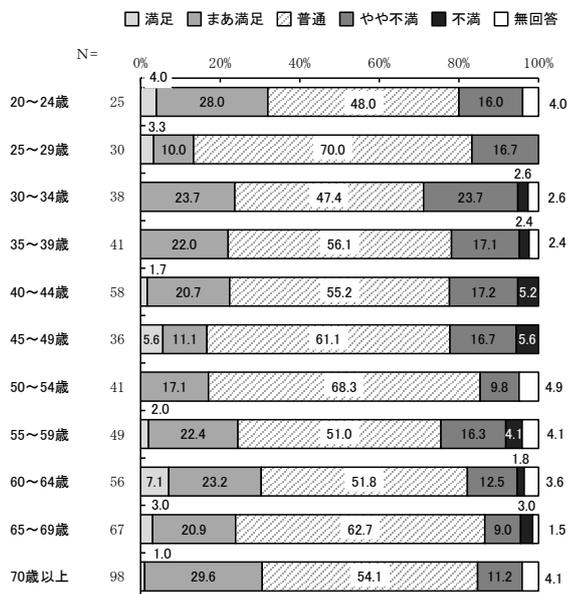
居住地区別でみると、他の地区に比べ、須山で“満足”の割合が高く、4割となっている。



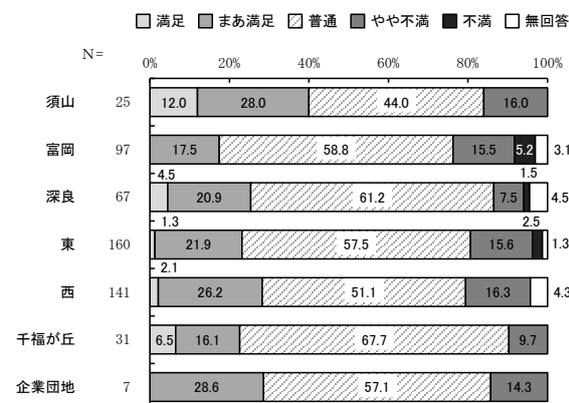
【性別】



【年代別】



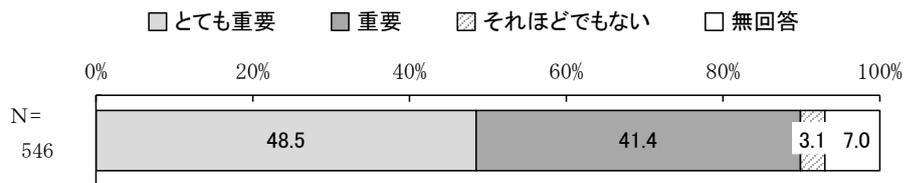
【居住地区別】



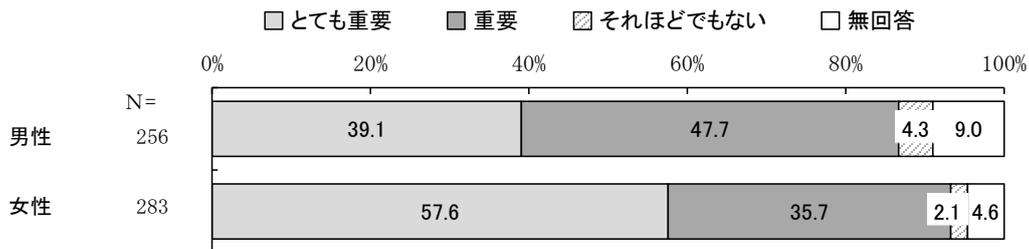
【問1 重要度】

(5) 犯罪のおきにくい安心なまちづくり

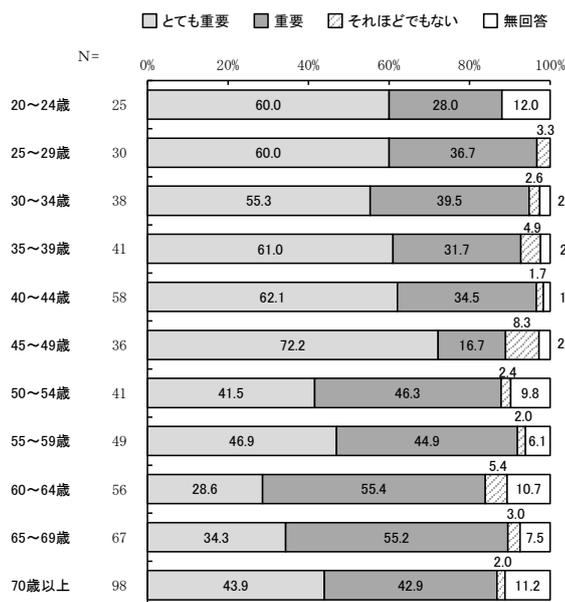
全体でみると、「とても重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が高く、約9割となっている。  
 性別でみると、男性に比べ、女性で「とても重要」の割合が高く、約6割となっている。  
 年代別でみると、他の年代に比べ、45～49歳で「とても重要」の割合が高く、7割を超えている。  
 居住地区別でみると、他の地区に比べ、須山で「とても重要」の割合が低く、約3割となっている。



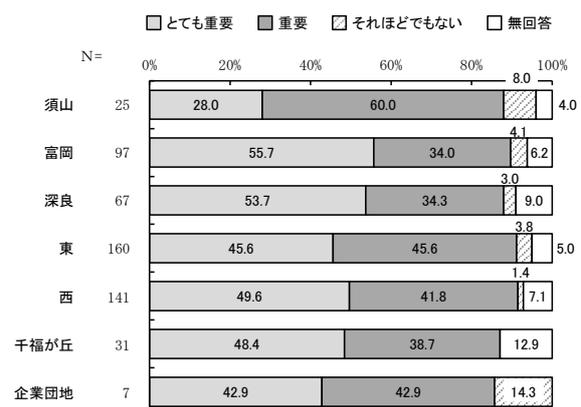
【性別】



【年代別】



【居住地区別】



【問1 満足度】

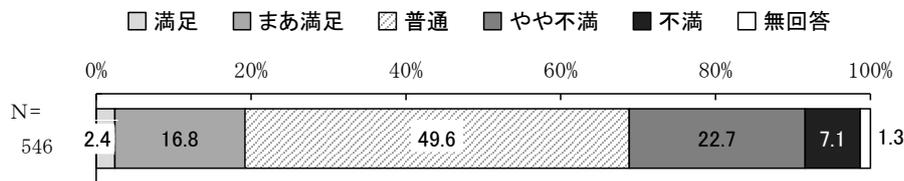
(6) 交通安全（交通教育やカーブミラーなどの安全施設）への取り組み

全体でみると、「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合が高く、約3割となっている。

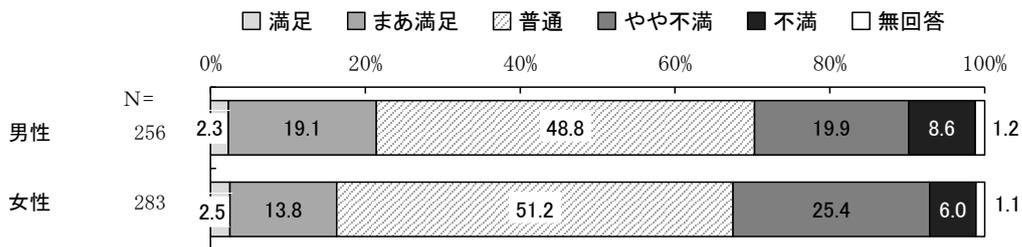
性別でみると、女性に比べ、男性で“満足”の割合が高くなっている。

年代別でみると、他の年代に比べ、70歳以上で“満足”の割合が高く、約3割となっている。一方、25～29歳で“不満”の割合が高く、約5割となっている。

ライフステージ別でみると、他に比べ、家族形成期（第一子が未就学児）、家族成長期A（第一子が就学中（小学生～大学・大学院の教育期））で“不満”の割合が高く、約4割となっている。

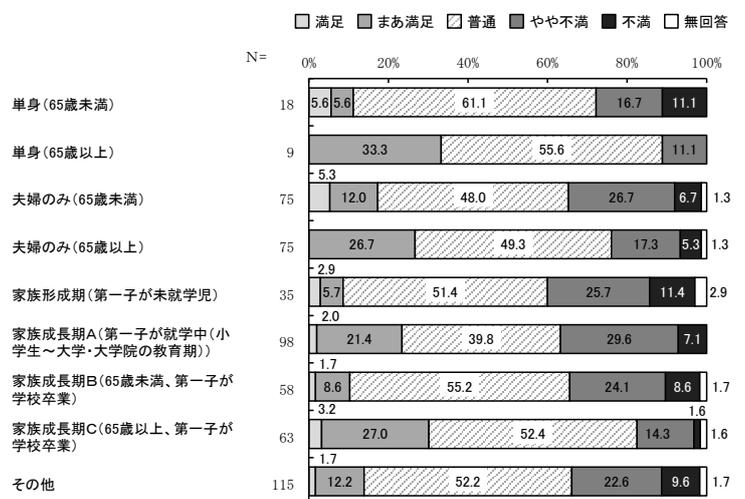
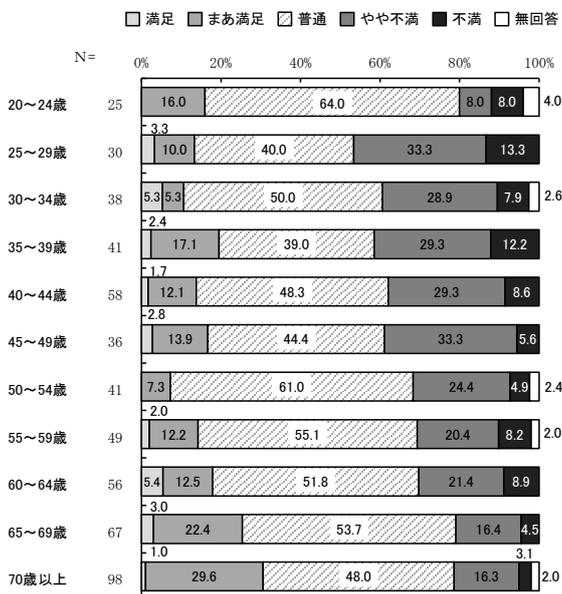


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】



【問1 重要度】

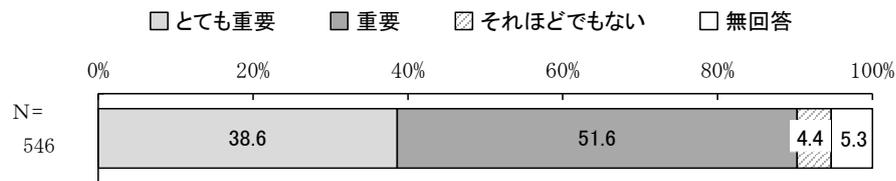
(6) 交通安全（交通教育やカーブミラーなどの安全施設）への取り組み

全体でみると、「とても重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が高く、約9割となっている。

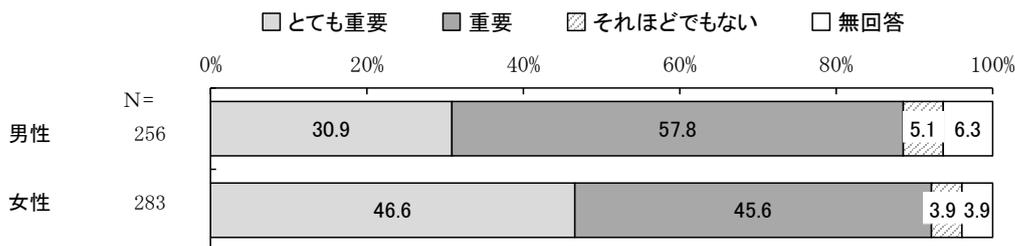
性別でみると、男性に比べ、女性で「とても重要」の割合が高く、約5割となっている。

年代別でみると、他の年代に比べ、35～39歳で「とても重要」の割合が高く、6割を超えている。

ライフステージ別でみると、他に比べ、家族形成期（第一子が未就学児）、家族成長期A（第一子が就学中（小学生～大学・大学院の教育期））で「とても重要」の割合が高く、約5割となっている。

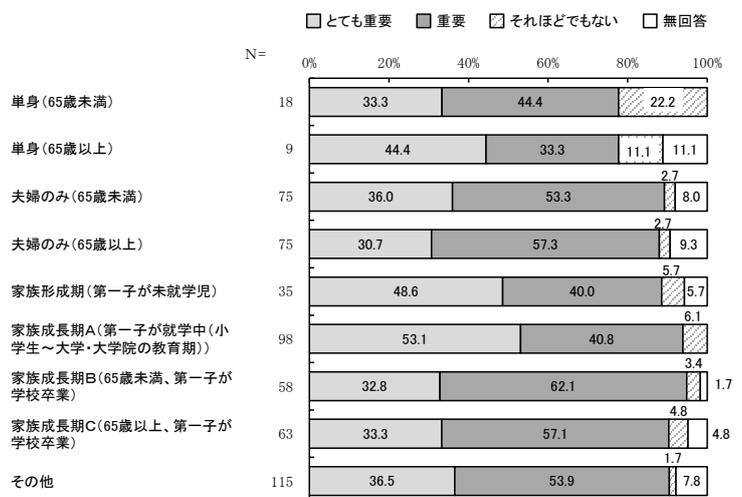
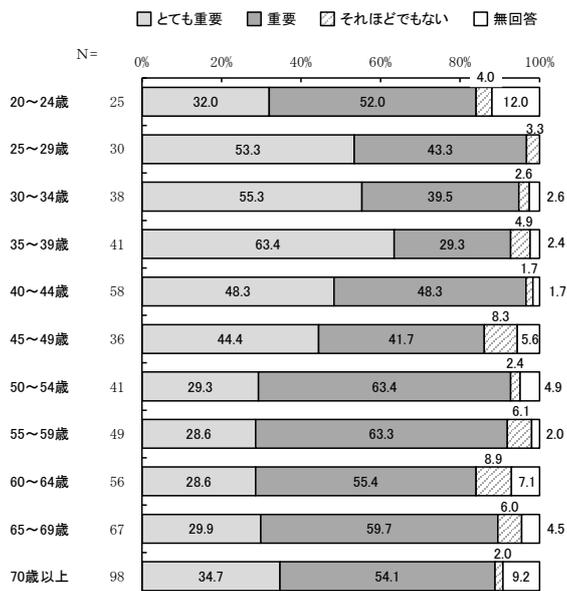


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】



【問1 満足度】

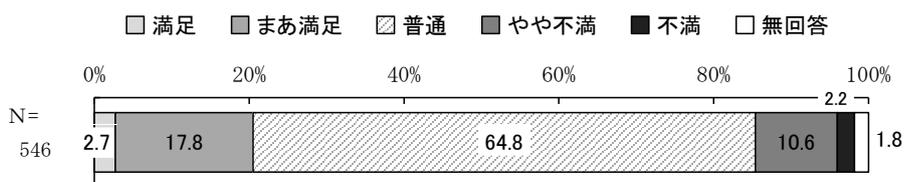
(7) トラブルのない、安全で豊かな消費生活

全体でみると、「満足」と「まあ満足」を合わせた“満足”の割合が高く、約2割となっている。

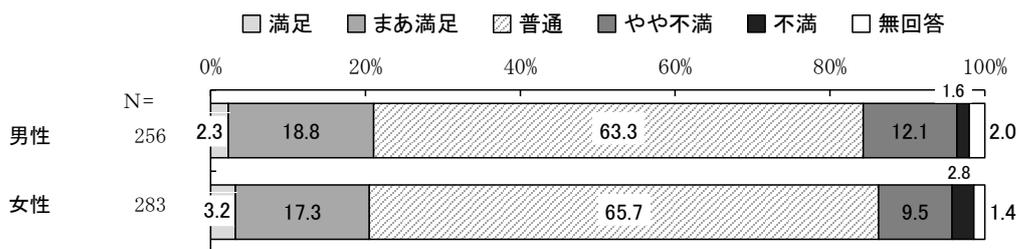
性別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、他の年代に比べ、20～24歳、35～39歳で“満足”の割合が高く、約3割となっている。

ライフステージ別でみると、他に比べ、単身(65歳未満)で“満足”の割合が低く、約1割となっている。

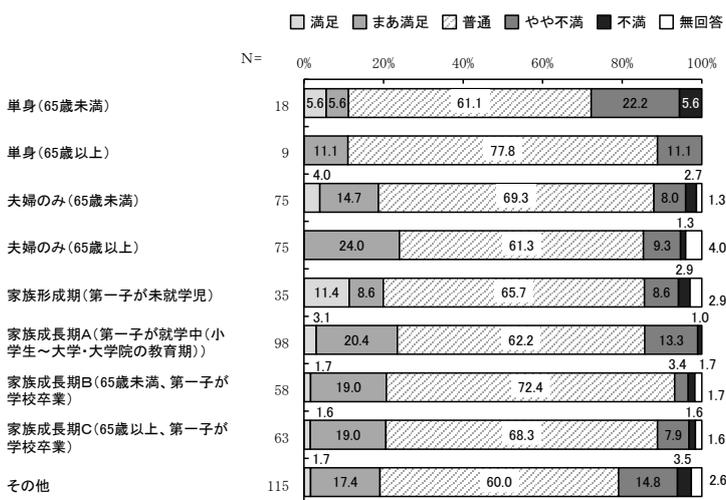
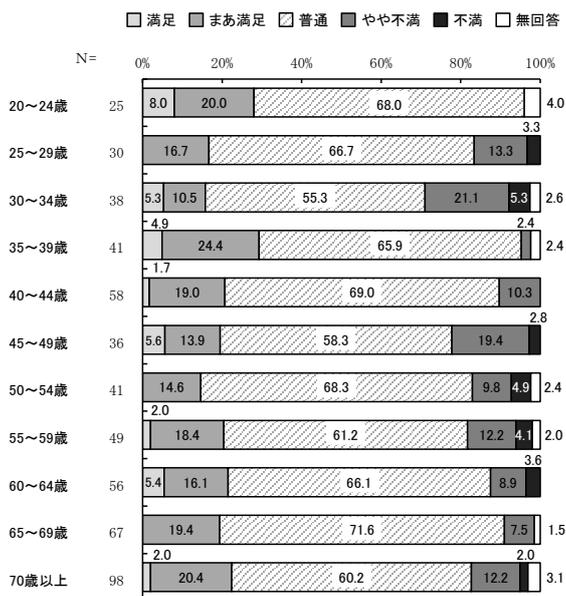


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】



【問1 重要度】

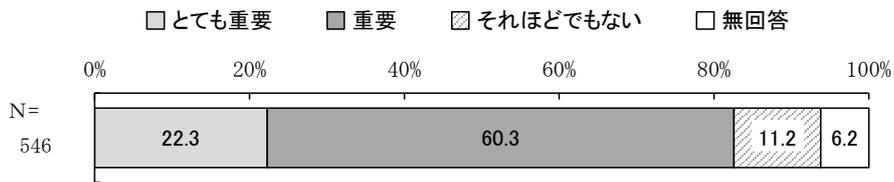
(7) トラブルのない、安全で豊かな消費生活

全体でみると、「とても重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が高く、8割を超えている。

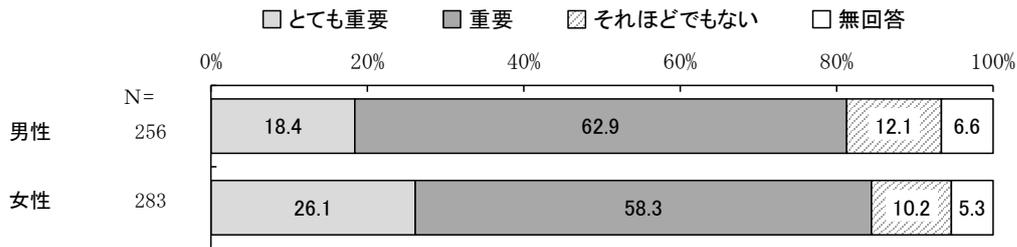
性別でみると、男性に比べ、女性で「とても重要」の割合が高くなっている。

年代別でみると、他の年代に比べ、25～29歳で“重要”の割合が高く、9割となっている。

ライフステージ別でみると、他に比べ、家族成長期C（65歳以上、第一子が学校卒業）で“重要”の割合が高く、9割を超えている。

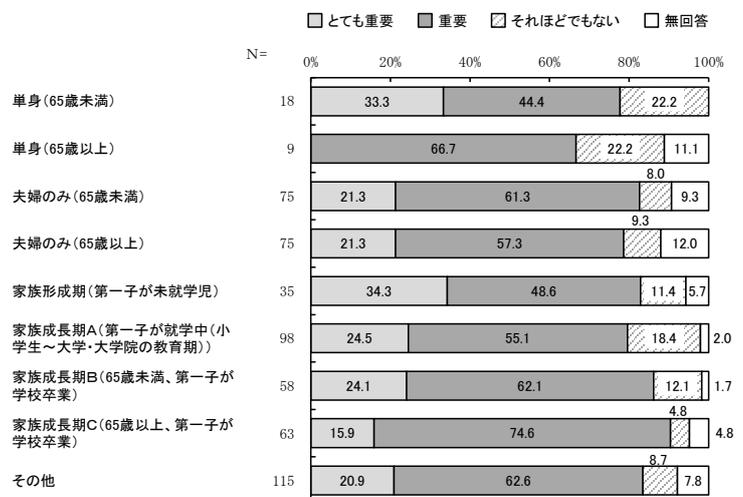
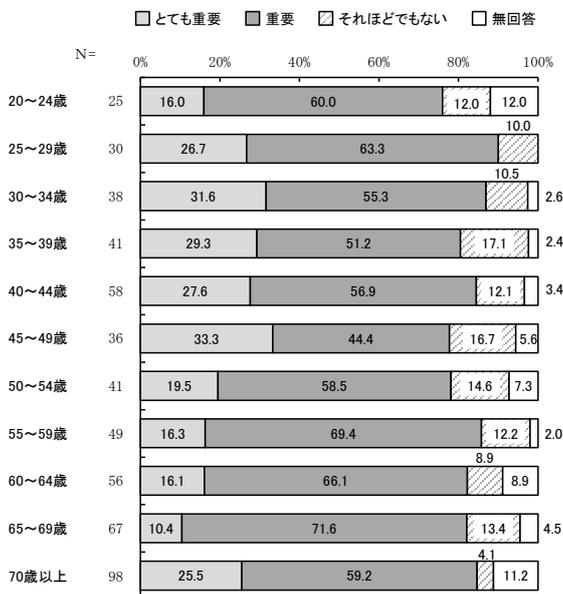


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】



【問1 満足度】

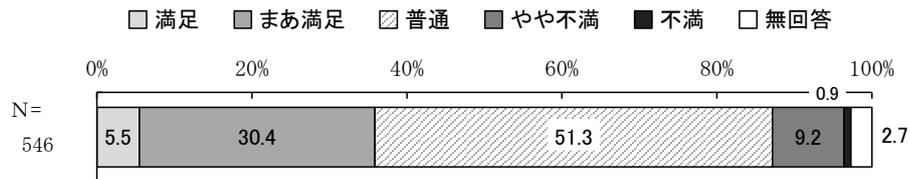
(8) 不安のない消防体制と救急体制の充実

全体でみると、「満足」と「まあ満足」を合わせた“満足”の割合が高く、約4割となっている。

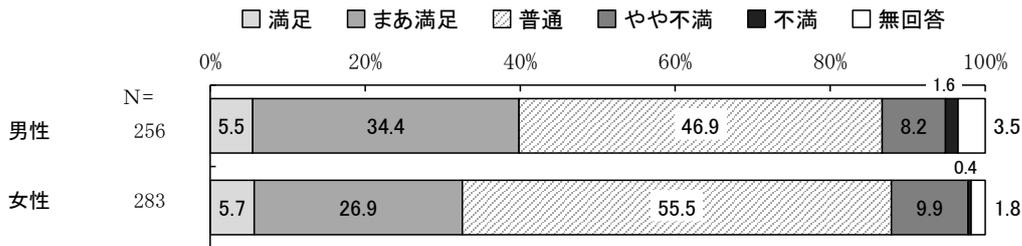
性別でみると、女性に比べ、男性で“満足”の割合が高くなっている。

年代別でみると、他の年代に比べ、35～39歳で“満足”の割合が高く、約5割となっている。

ライフステージ別でみると、他に比べ、単身(65歳未満)で“満足”の割合が低く、約2割となっている。

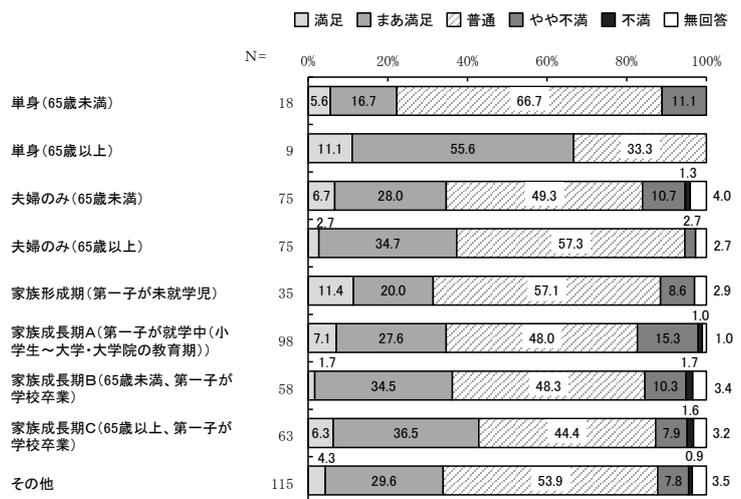
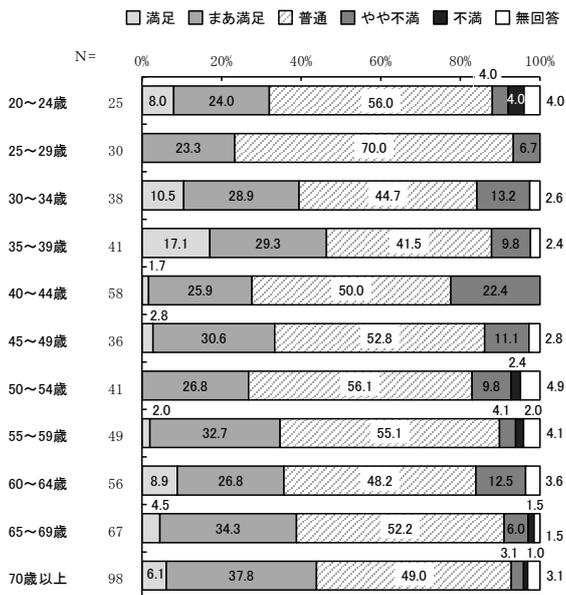


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】



【問1 重要度】

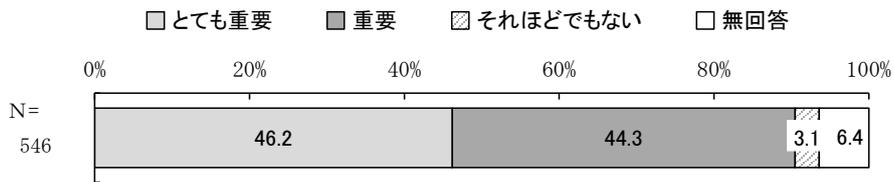
(8) 不安のない消防体制と救急体制の充実

全体でみると、「とても重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が高く、約9割となっている。

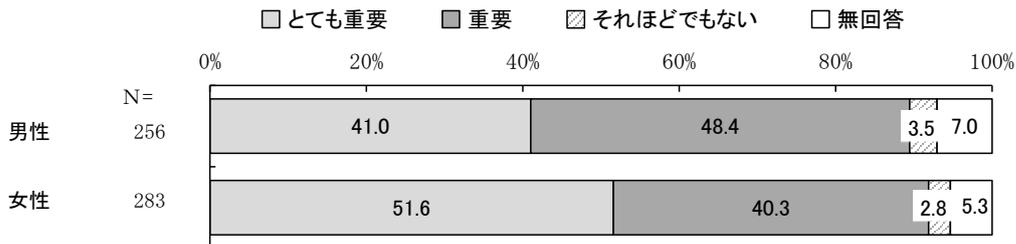
性別でみると、男性に比べ、女性で「とても重要」の割合が高くなっている。

年代別でみると、他の年代に比べ、50～54歳で“重要”の割合が低く、約8割となっている。

ライフステージ別でみると、他に比べ、単身(65歳未満)、家族成長期A(第一子が就学中(小学生～大学・大学院の教育期))で「とても重要」の割合が高く、約6割となっている。

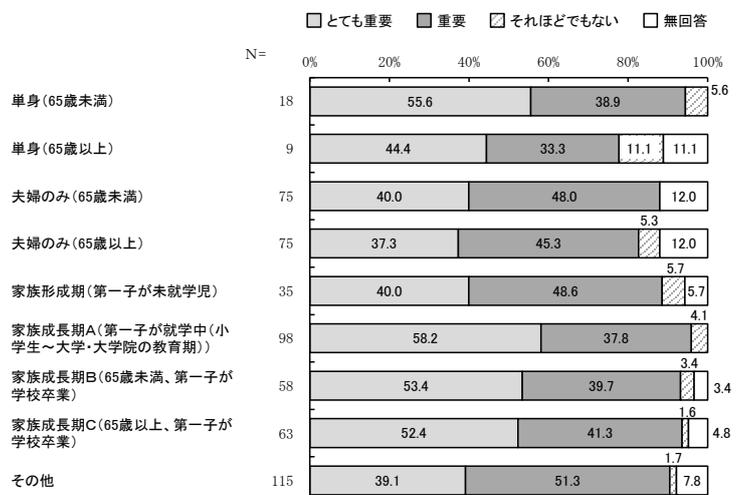
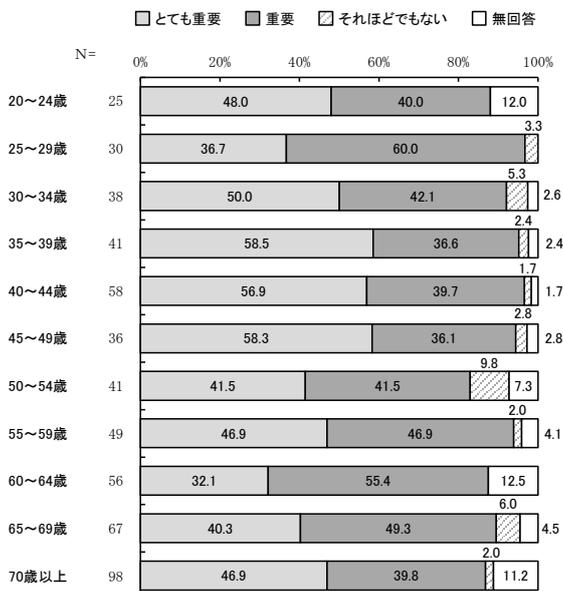


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】

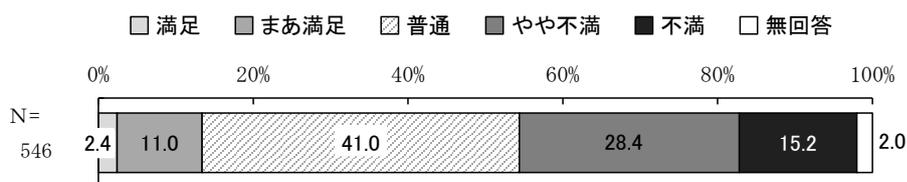


【問1 満足度】

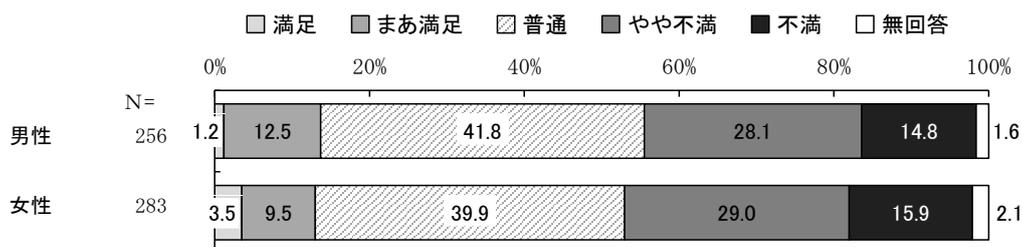
(9) 公園などの身近な緑地の環境整備

全体でみると、「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合が高く、約4割となっている。  
性別でみると、大きな差異はみられない。

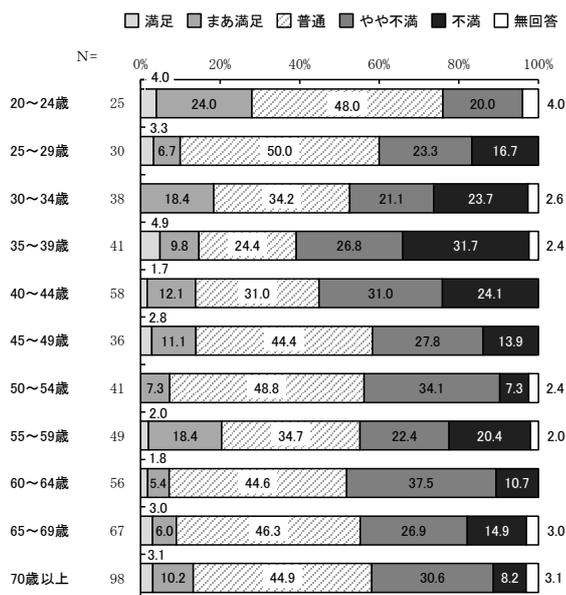
年代別でみると、他の年代に比べ、35～39歳、40～44歳で“不満”の割合が高く、約6割となっている。  
居住地区別でみると、他の地区に比べ、須山、富岡で“不満”の割合が高く、5割を超えている。



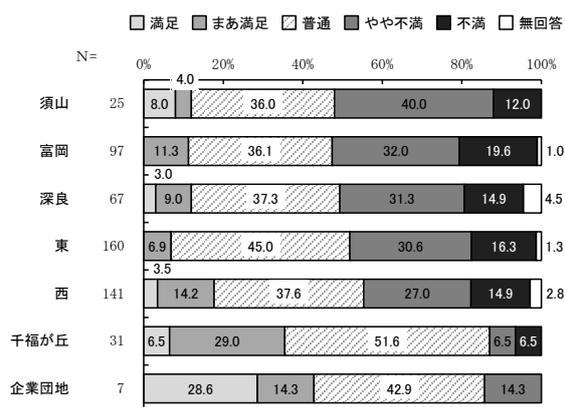
【性別】



【年代別】



【居住地区別】



【問1 重要度】

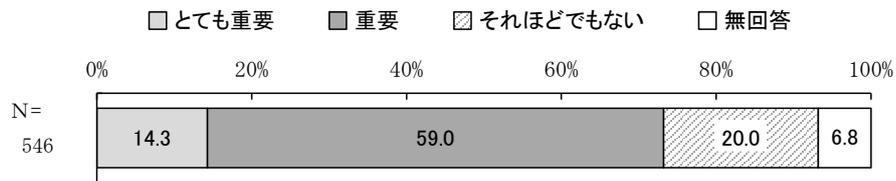
(9) 公園などの身近な緑地の環境整備

全体でみると、「とても重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が高く、約7割となっている。

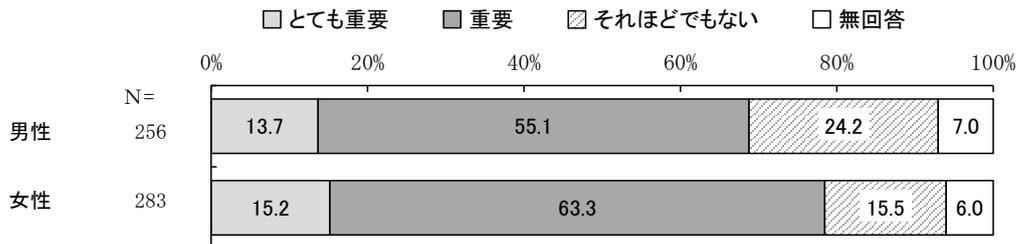
性別でみると、男性に比べ、女性で“重要”の割合が高くなっている。

年代別でみると、他の年代に比べ、35～39歳で“重要”の割合が高く、8割を超えている。

ライフステージ別でみると、他に比べ、家族形成期（第一子が未就学児）、家族成長期A（第一子が就学中（小学生～大学・大学院の教育期））で“重要”の割合が高く、8割を超えている。

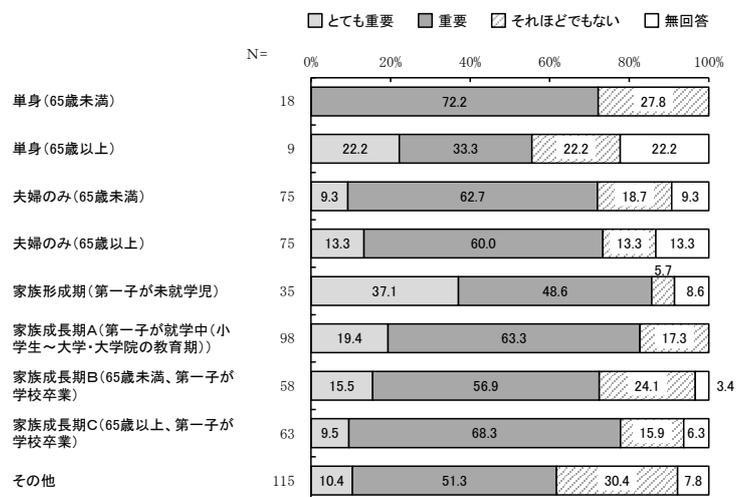
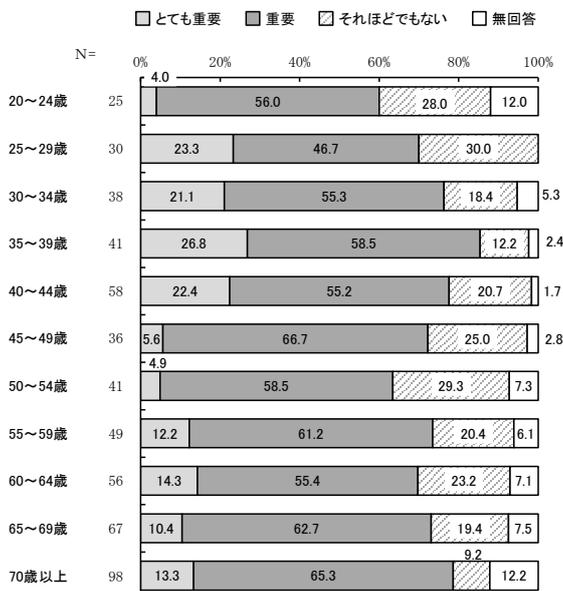


【性別】



【年代別】

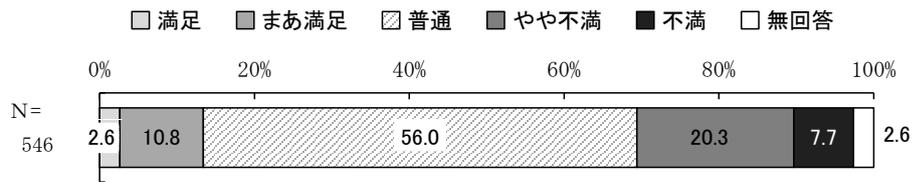
【ライフステージ別】



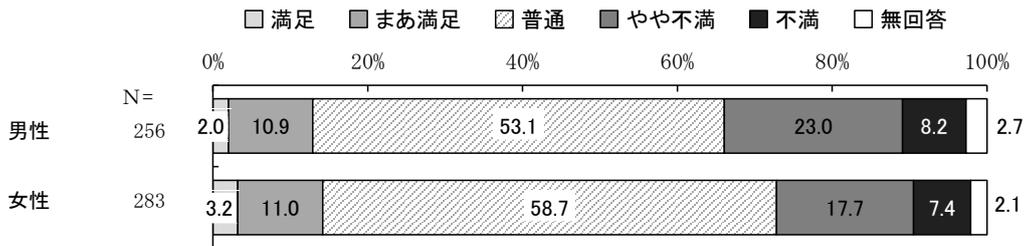
【問1 満足度】

(10) 誰もが暮らしやすい住宅環境の整備

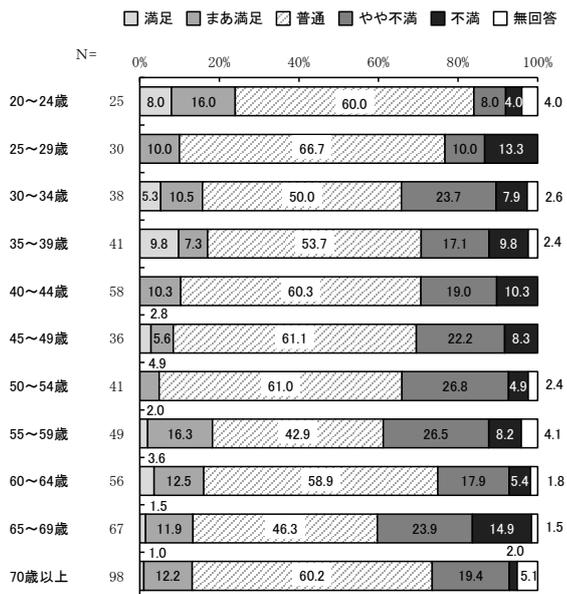
全体でみると、「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合が高く、約3割となっている。  
 性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高くなっている。  
 年代別でみると、他の年代に比べ、65～69歳で“不満”の割合が高く、約4割となっている。  
 居住地区別でみると、他の地区に比べ、富岡で“満足”の割合が低くなっている。



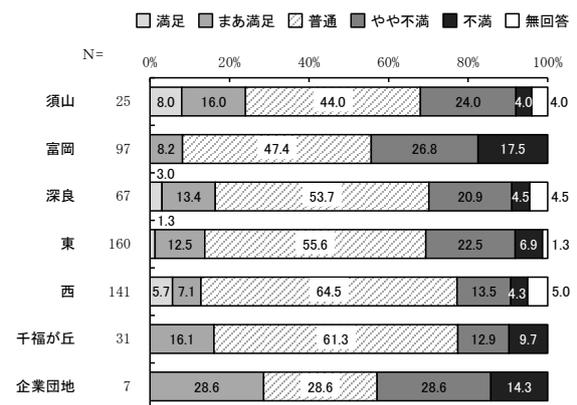
【性別】



【年代別】



【居住地区別】



【問1 重要度】

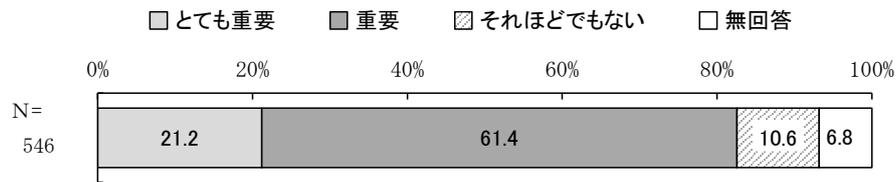
(10) 誰もが暮らしやすい住宅環境の整備

全体でみると、「とても重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が高く、約8割となっている。

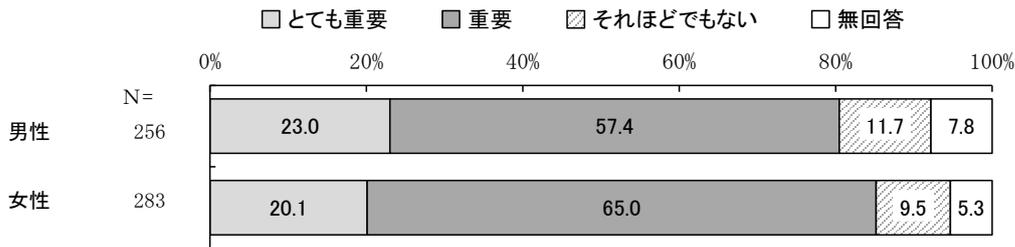
性別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、他の年代に比べ、45～49歳で「とても重要」の割合が低く、約1割となっている。

ライフステージ別でみると、他に比べ、家族成長期C（65歳以上、第一子が学校卒業）で“重要”の割合が高く、9割を超えている。

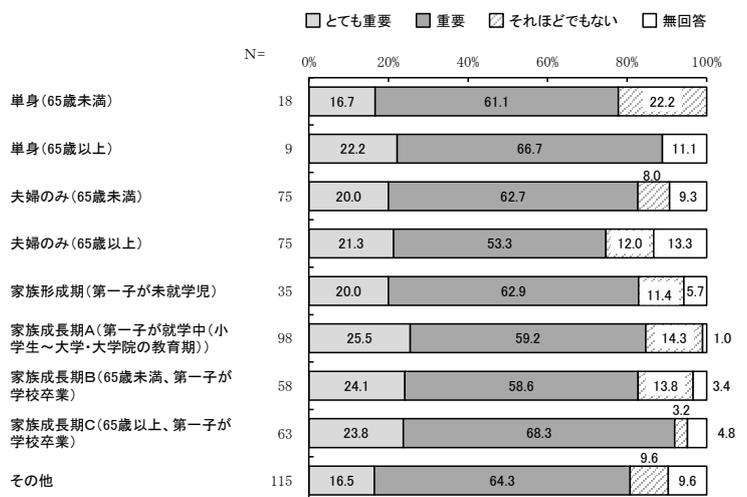
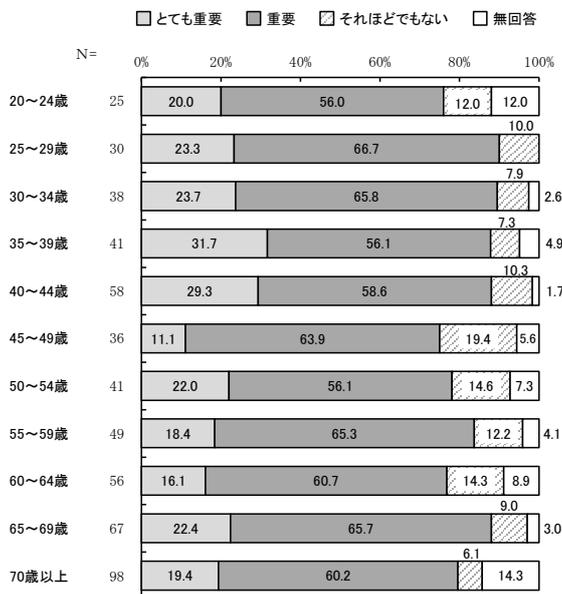


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】



【問1 満足度】

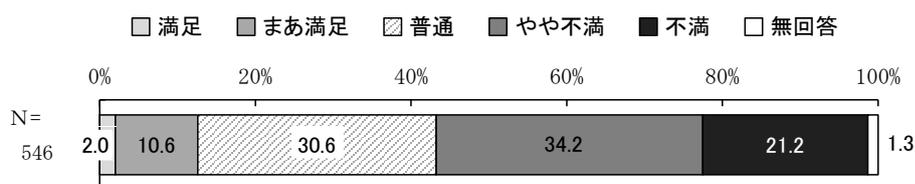
(11) 道路網の便利さや快適さと歩道の整備状況

全体でみると、「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合が高く、5割を超えている。

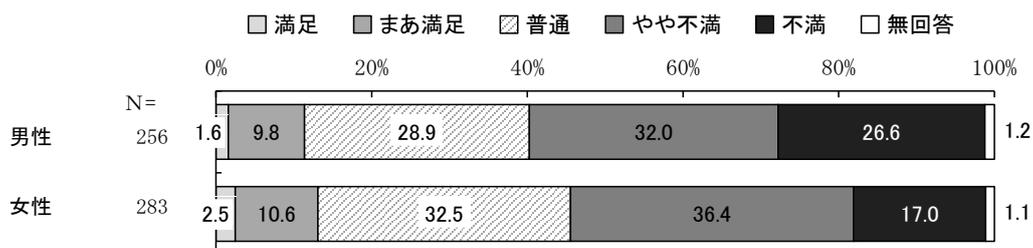
性別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、他の年代に比べ、45～49歳で“不満”の割合が高く、約7割となっている。

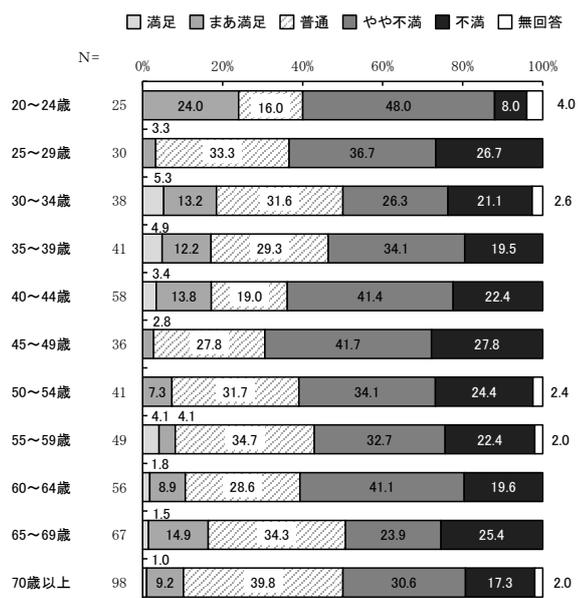
居住地区別でみると、他の地区に比べ、千福が丘で“不満”の割合が低く、約3割となっている。



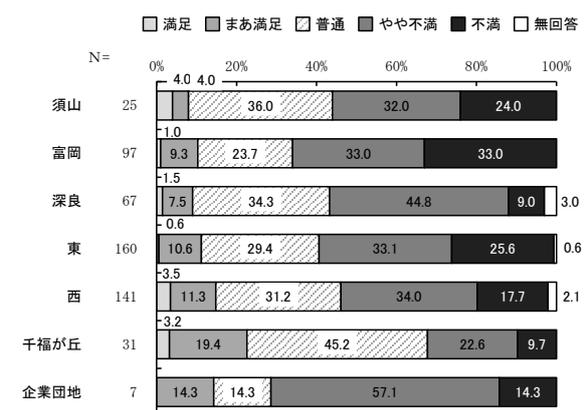
【性別】



【年代別】



【居住地区別】



【問1 重要度】

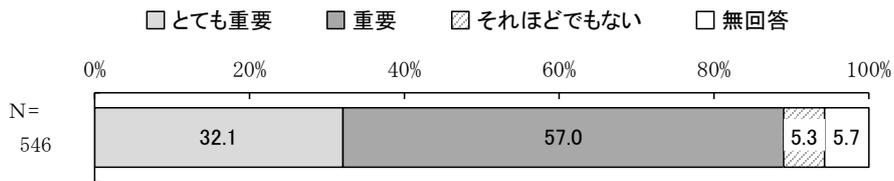
(11) 道路網の便利さや快適さと歩道の整備状況

全体でみると、「とても重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が高く、約9割となっている。

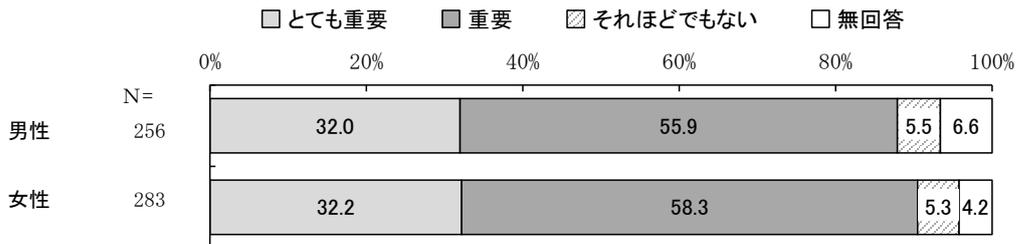
性別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、他の年代に比べ、20～24歳、60～64歳で“重要”の割合が低く、約8割となっている。

ライフステージ別でみると、他に比べ、単身（65歳未満）で“重要”の割合が低く、8割未満となっている。

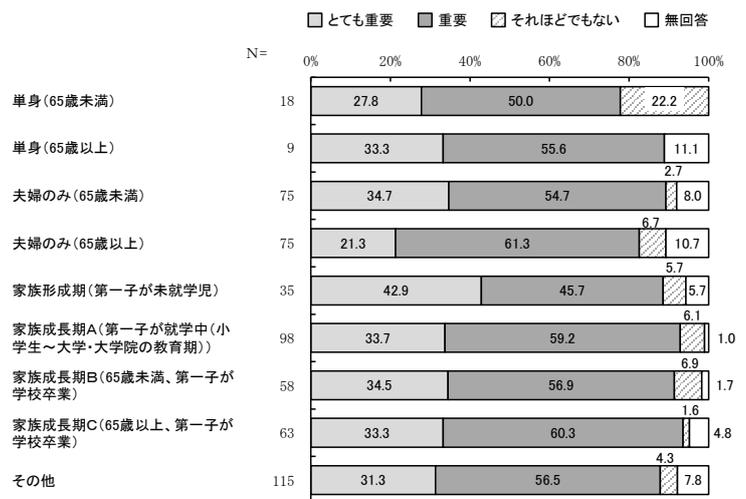
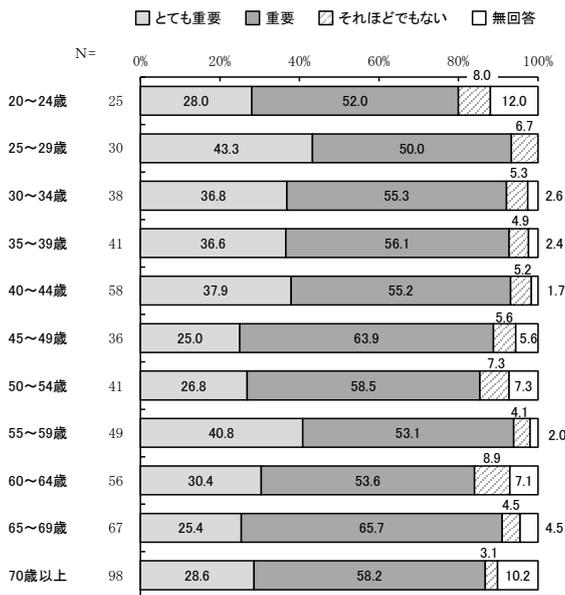


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】

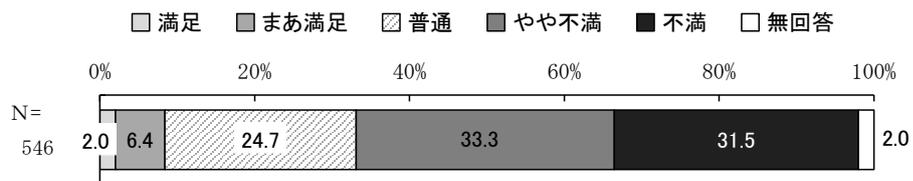


【問1 満足度】

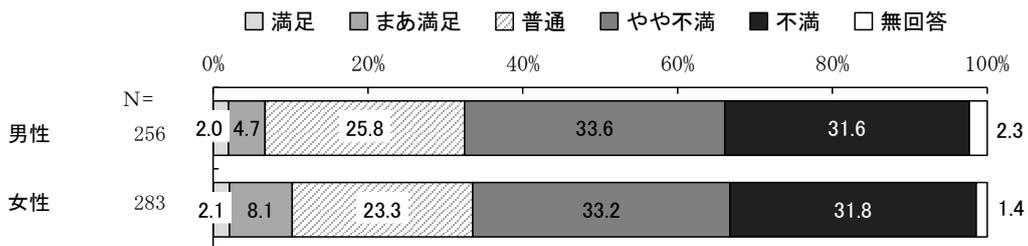
(12) 鉄道やバスの便利さ

全体でみると、「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合が高く、6割を超えている。性別でみると、大きな差異はみられない。

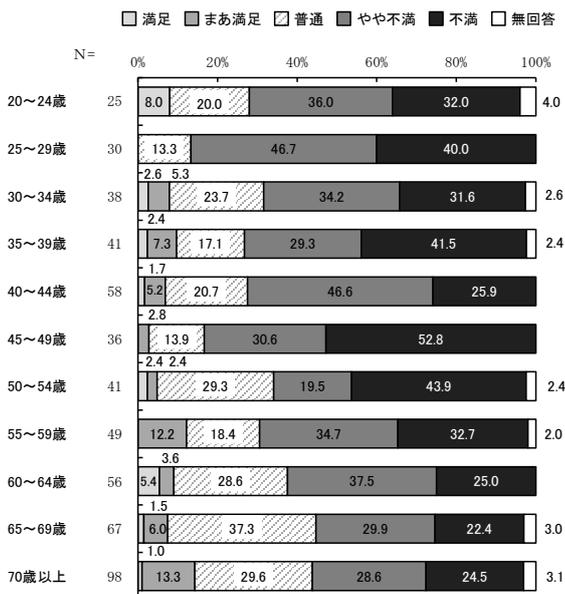
年代別でみると、他の年代に比べ、25～29歳で“不満”の割合が高く、約9割となっている。居住地区別でみると、すべての地区で“不満”の割合が高く、特に須山で9割を超えている。



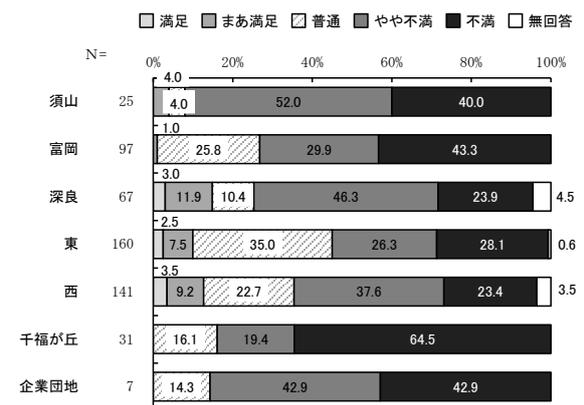
【性別】



【年代別】



【居住地区別】



【問1 重要度】

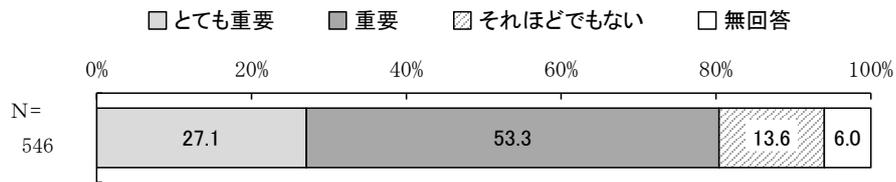
(12) 鉄道やバスの便利さ

全体でみると、「とても重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が高く、約8割となっている。

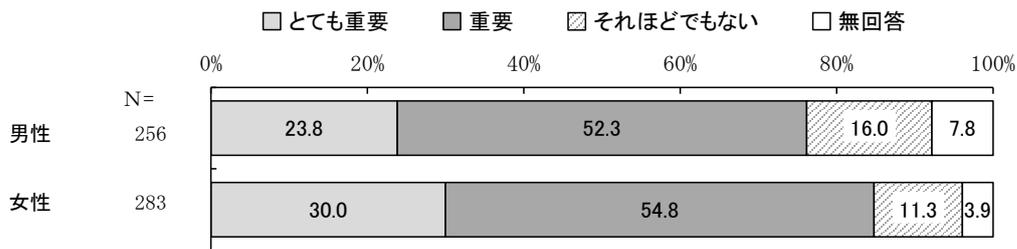
性別でみると、男性に比べ、女性で“重要”の割合が高くなっている。

年代別でみると、他の年代に比べ、45～49歳で“重要”の割合が高く、約9割となっている。

ライフステージ別でみると、他に比べ、家族形成期（第一子が未就学児）で「とても重要」の割合が高く、約4割となっている。

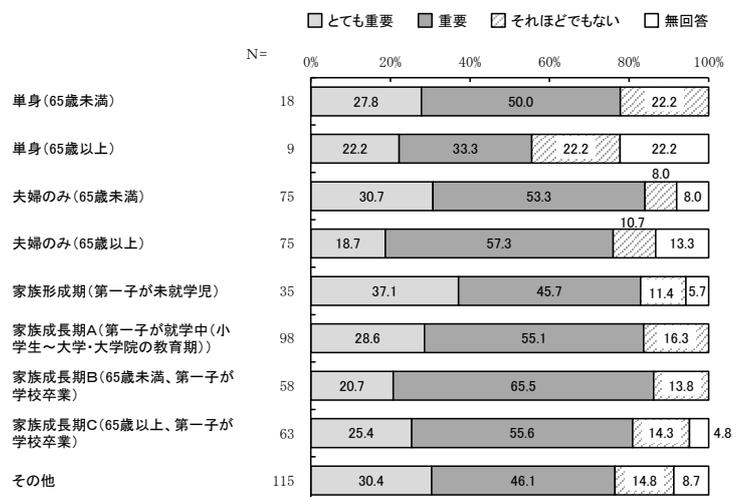
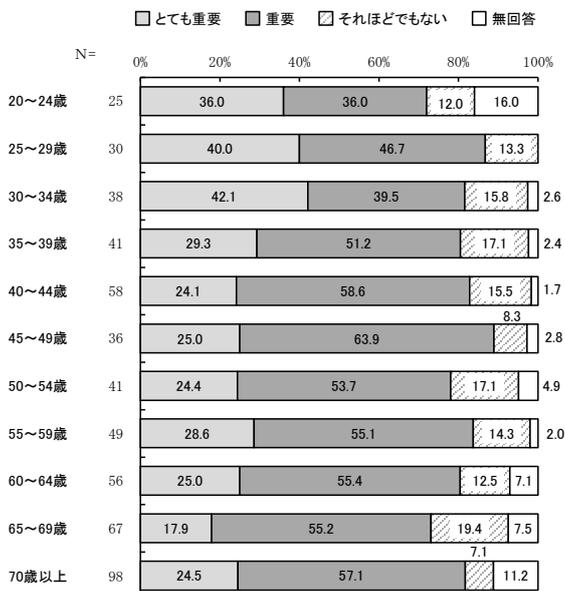


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】



【問1 満足度】

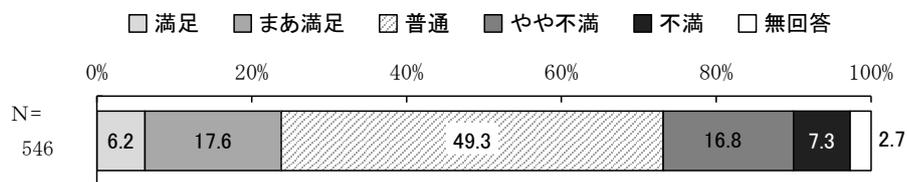
(13) まちなみや自然の景観の美しさ

全体でみると、「満足」と「まあ満足」を合わせた“満足”の割合と、「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合が共に約2割となっている。

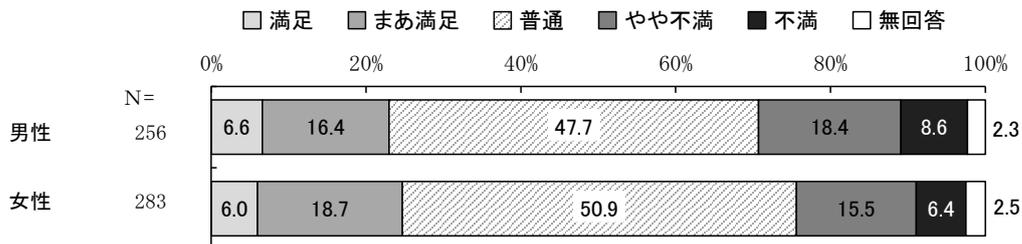
性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高くなっている。

年代別でみると、他の年代に比べ、20～24歳で“満足”の割合が高く、約4割となっている。

ライフステージ別でみると、他に比べ、家族形成期（第一子が未就学児）、家族成長期A（第一子が就学中（小学生～大学・大学院の教育期））で“満足”の割合が高く、3割を超えている。

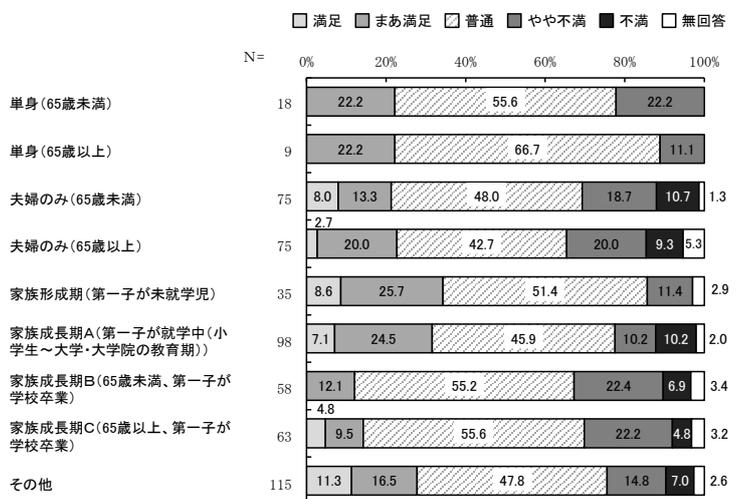
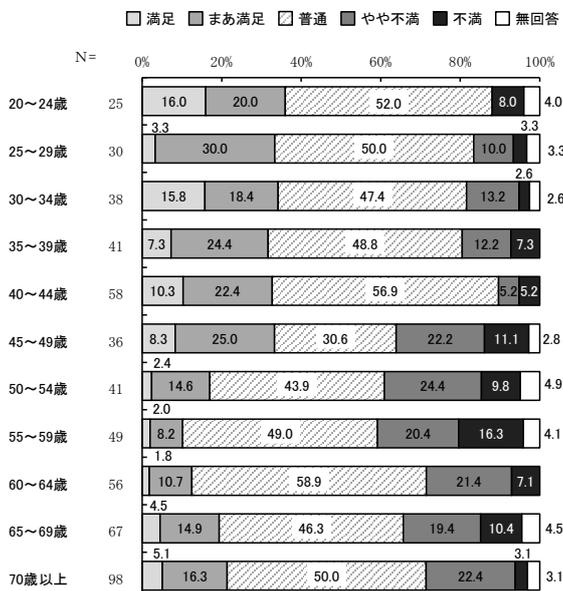


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】



【問1 重要度】

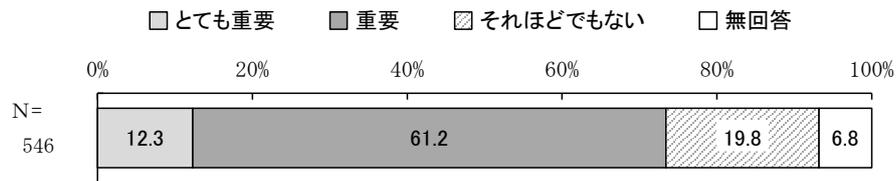
(13) まちなみや自然の景観の美しさ

全体でみると、「とても重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が高く、約7割となっている。

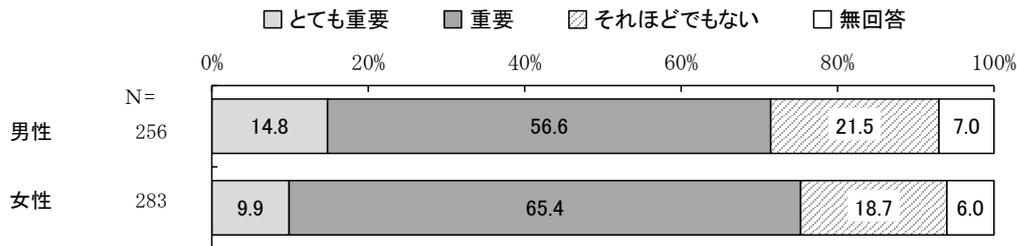
性別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、他の年代に比べ、20～24歳で“重要”の割合が低く、6割未満となっている。

ライフステージ別でみると、他に比べ、夫婦のみ（65歳未満）、家族成長期C（65歳以上、第一子が学校卒業）で“重要”の割合が高く、8割を超えている。

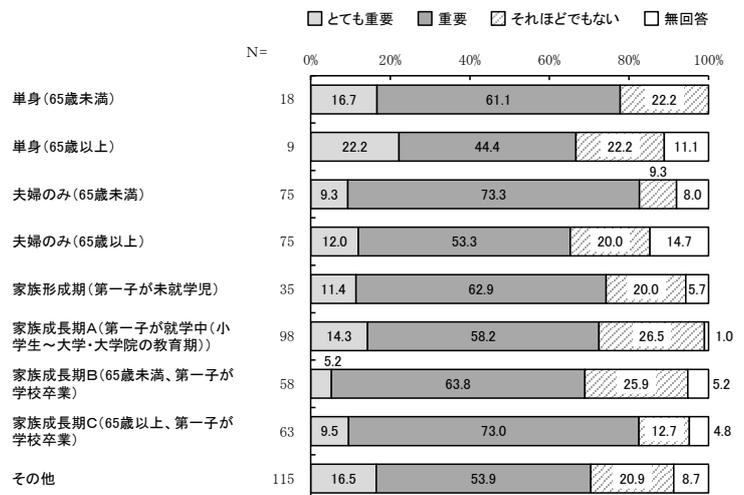
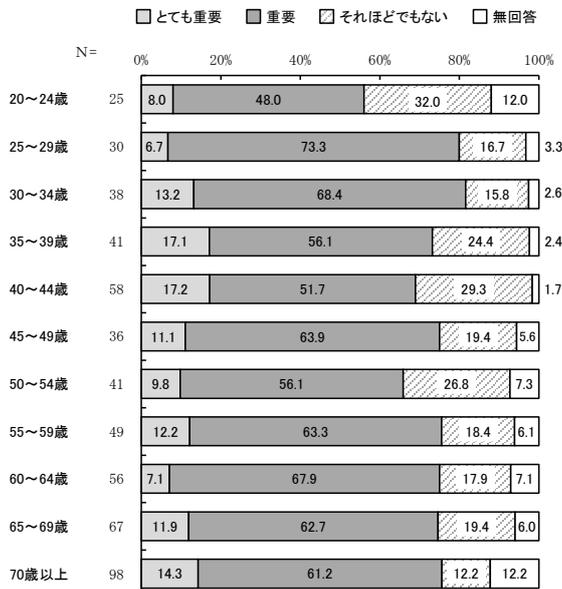


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】



【問1 満足度】

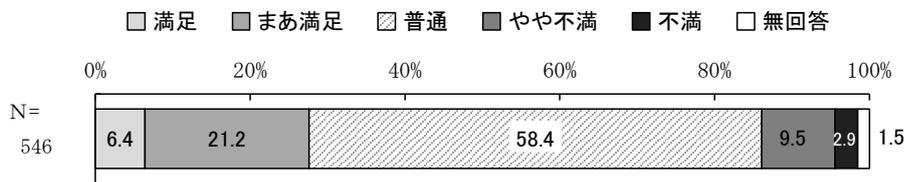
(14) 誰もが平等に情報を受け取ることができる（広報紙・無線、ホームページ、メールなど）環境

全体でみると、「満足」と「まあ満足」を合わせた“満足”の割合が高く、約3割となっている。

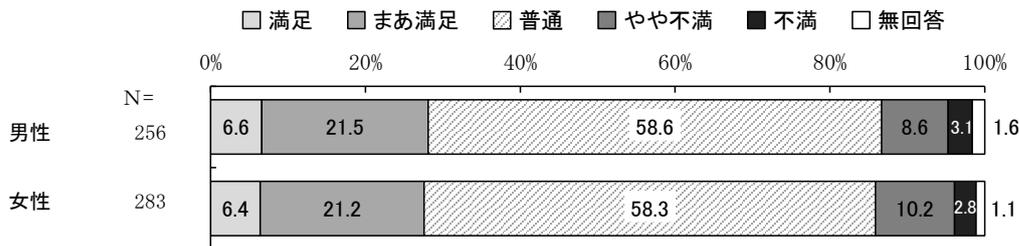
性別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、他の年代に比べ、35～39歳、40～44歳、45～49歳で“満足”の割合が高く、約4割となっている。

ライフステージ別でみると、他に比べ、家族成長期A（第一子が就学中（小学生～大学・大学院の教育期））で“満足”の割合が高く、約4割となっている。

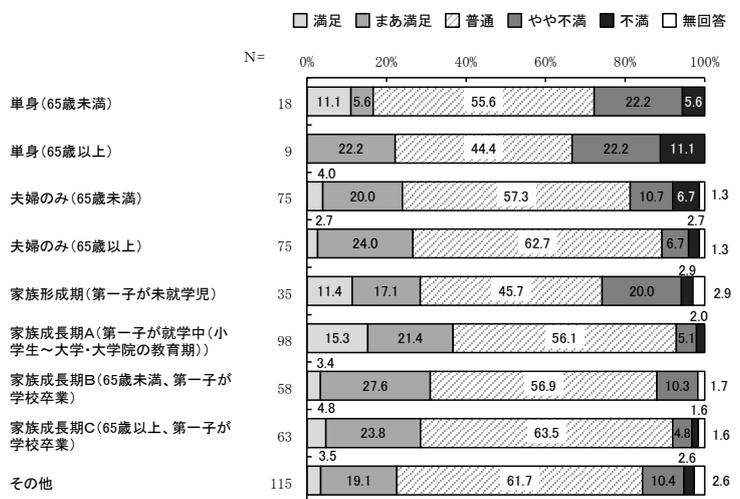
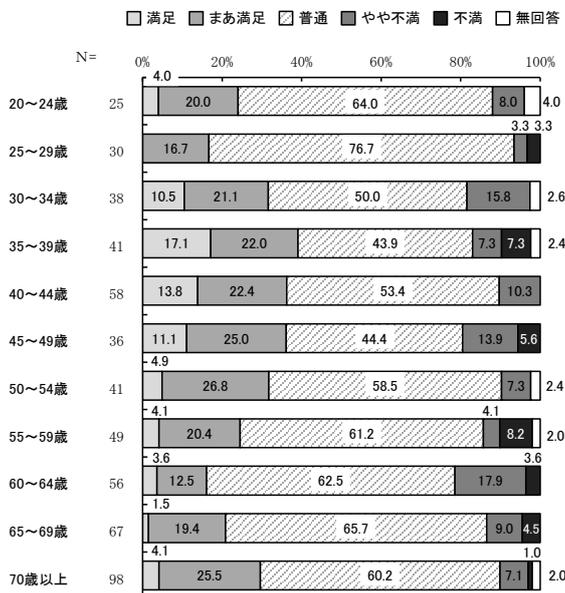


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】



【問1 重要度】

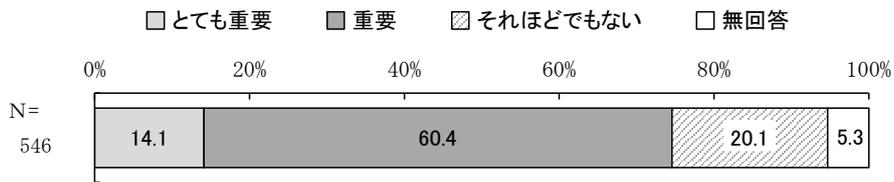
(14) 誰もが平等に情報を受け取ることができる（広報紙・無線、ホームページ、メールなど）環境

全体でみると、「とても重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が高く、7割を超えている。

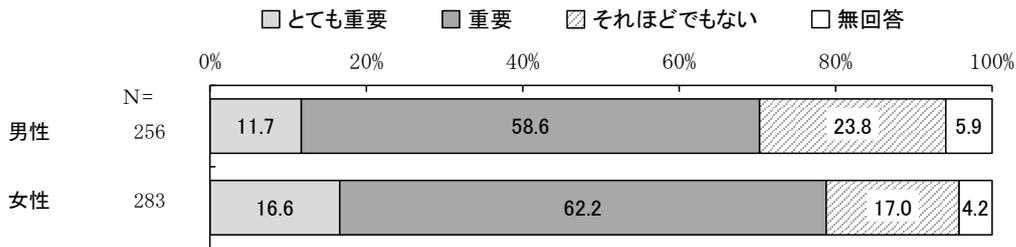
性別でみると、男性に比べ、女性で“重要”の割合が高くなっている。

年代別でみると、他の年代に比べ、55～59歳で「とても重要」の割合が高く、約3割となっている。

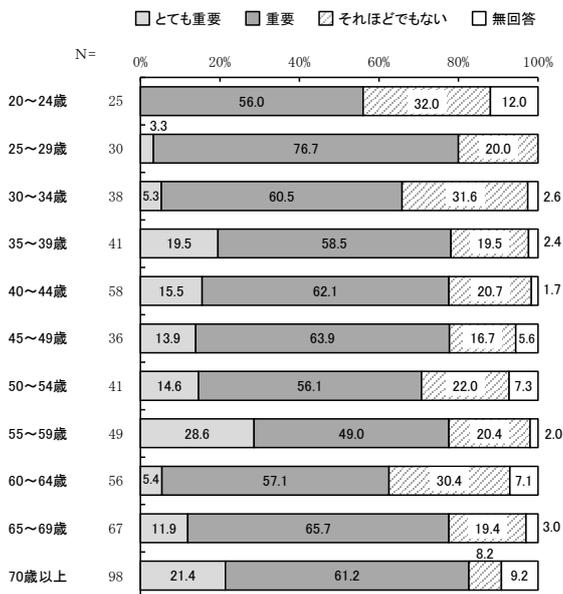
ライフステージ別でみると、他に比べ、家族成長期C（65歳以上、第一子が学校卒業）で“重要”の割合が高く、8割を超えている。



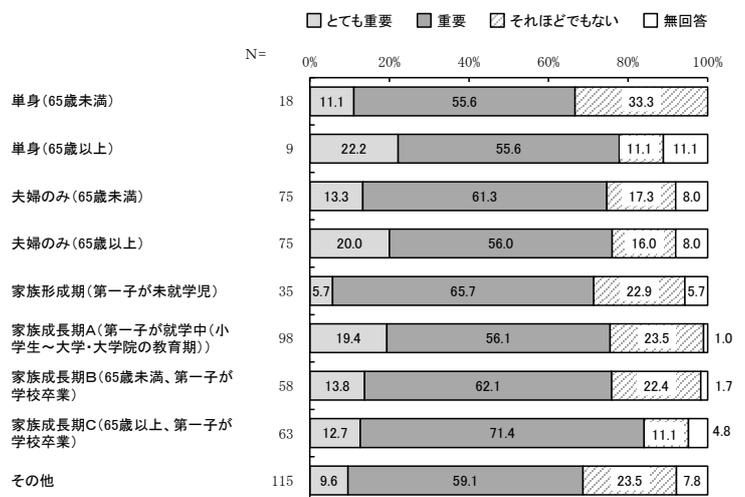
【性別】



【年代別】



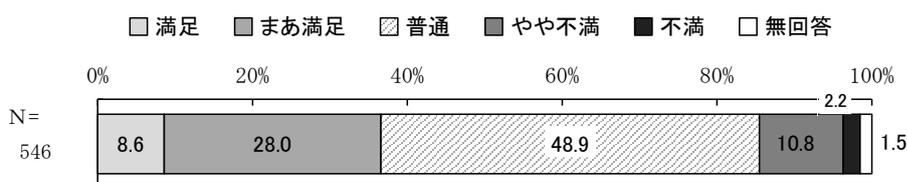
【ライフステージ別】



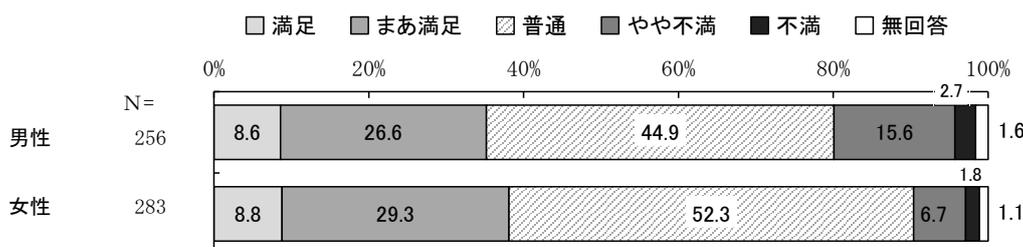
【問1 満足度】

(15) 空気や河川の水のきれいさ

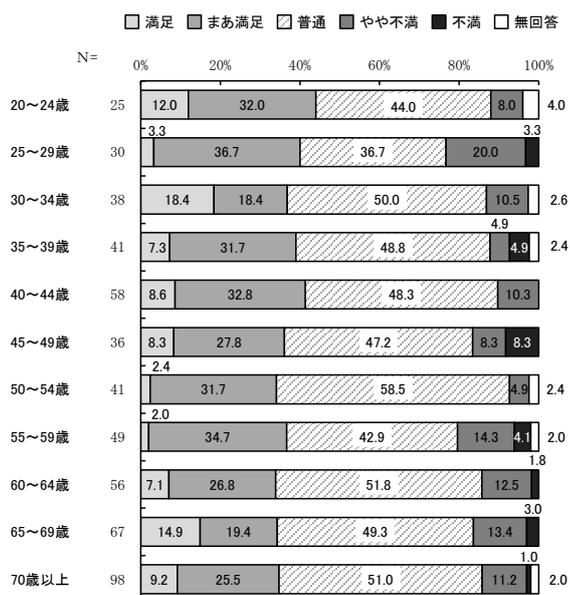
全体でみると、「満足」と「まあ満足」を合わせた“満足”の割合が高く、約4割となっている。  
 性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高くなっている。  
 年代別でみると、他の年代に比べ、25～29歳で“不満”の割合が高く、2割を超えている。  
 居住地区別でみると、他の地区に比べ、須山で“満足”の割合が高く、約6割となっている。



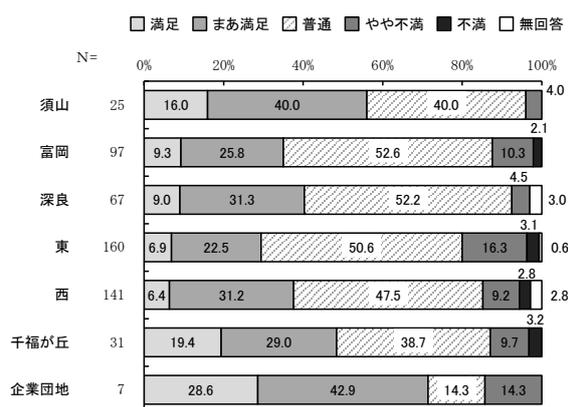
【性別】



【年代別】



【居住地区別】



【問1 重要度】

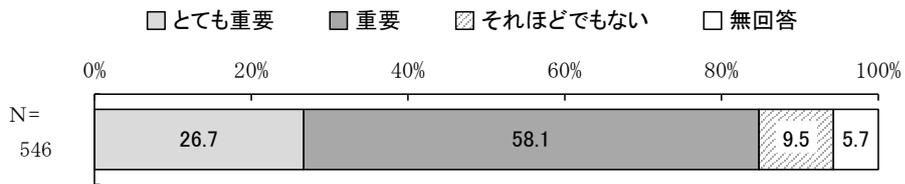
(15) 空気や河川の水のきれいさ

全体でみると、「とても重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が高く、約8割となっている。

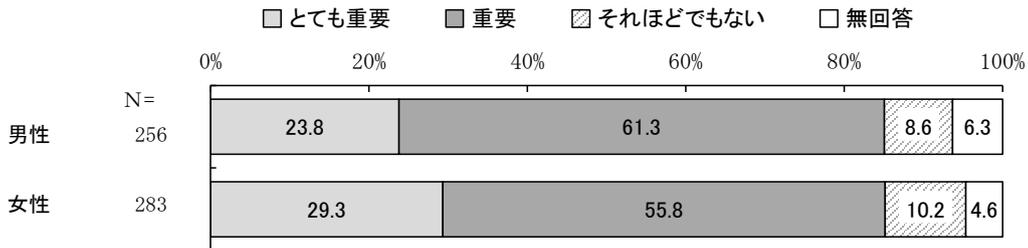
性別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、他の年代に比べ、25～29歳、35～39歳で“重要”の割合が高くなっている。一方、45～49歳で「それほどでもない」の割合が高くなっている。

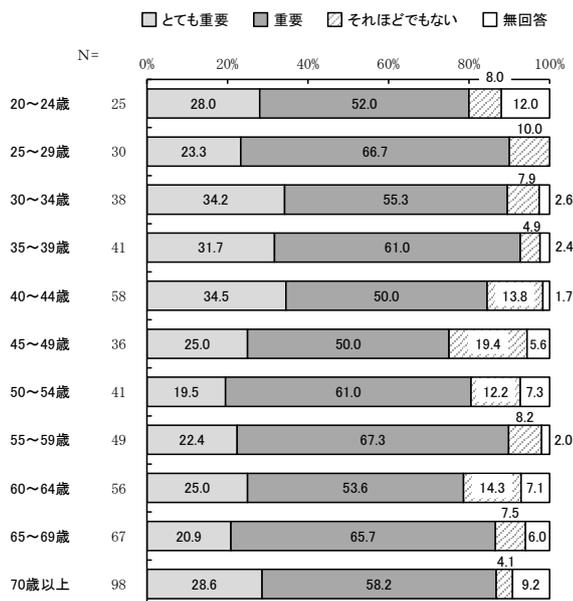
居住地区別でみると、他の地区に比べ、須山で“重要”の割合が低く、8割未満となっている。



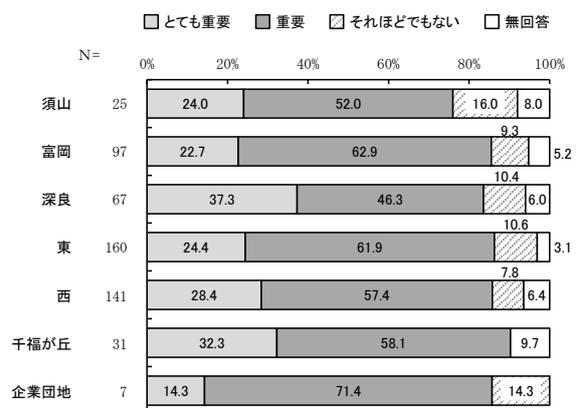
【性別】



【年代別】



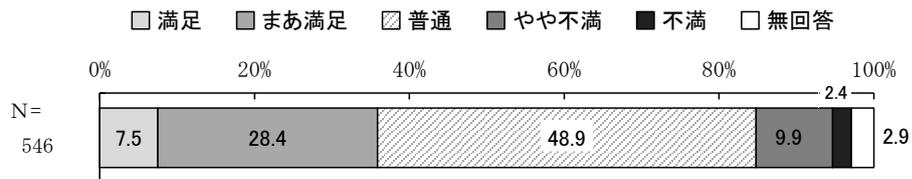
【居住地区別】



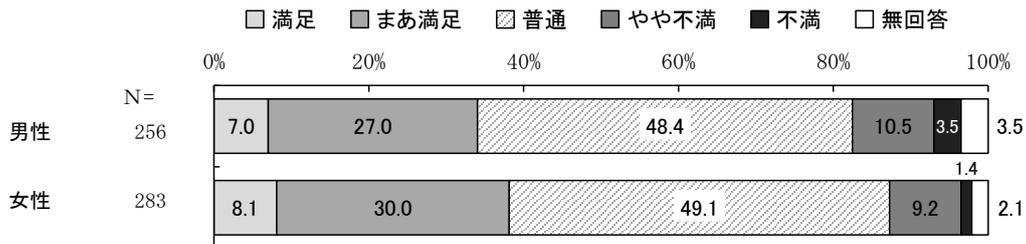
【問1 満足度】

(16) 「悪臭のなさ」、「散乱ごみの少なさ」

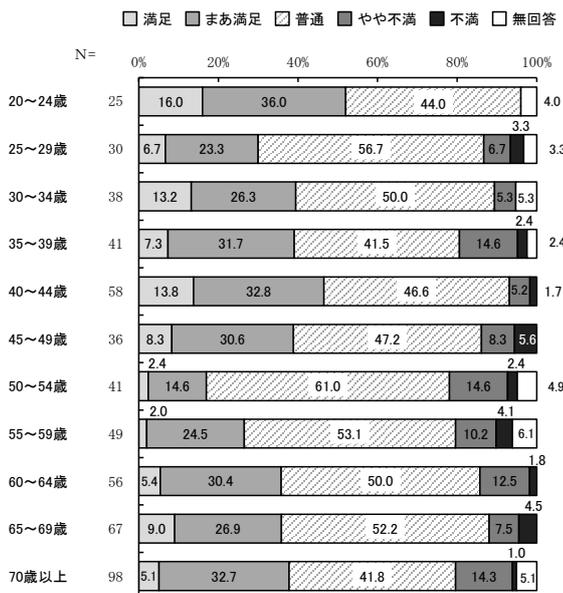
全体でみると、「満足」と「まあ満足」を合わせた“満足”の割合が高く、約4割となっている。  
 性別でみると、男性に比べ、女性で“満足”の割合が高くなっている。  
 年代別でみると、他の年代に比べ、20～24歳で“満足”の割合が高く、5割を超えている。  
 居住地区別でみると、他に比べ、富岡で“満足”の割合が低く、3割未満となっている。



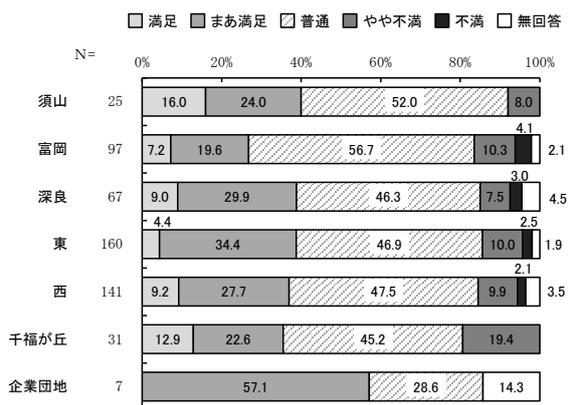
【性別】



【年代別】



【居住地区別】



【問1 重要度】

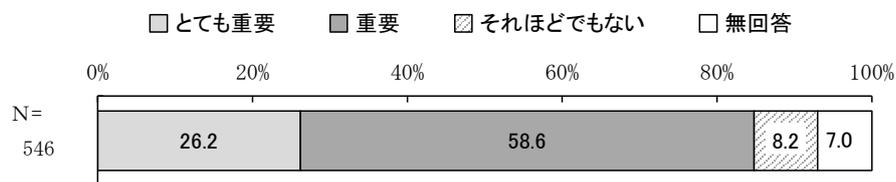
(16) 「悪臭のなさ」、「散乱ごみの少なさ」

全体でみると、「とても重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が高く、約8割となっている。

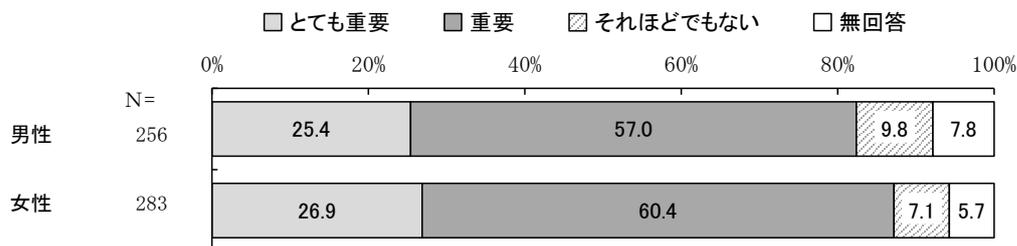
性別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、他の年代に比べ、35～39歳で「とても重要」の割合が高く、4割を超えている。一方、50～54歳で“重要”の割合が低くなっている。

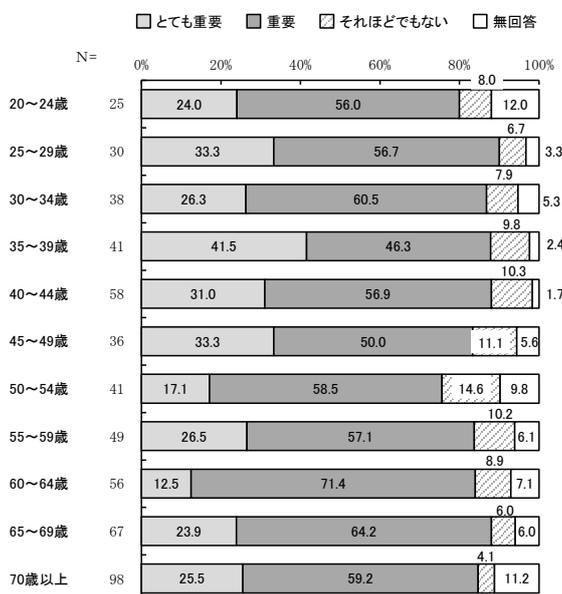
ライフステージ別でみると、他に比べ、家族成長期C（65歳以上、第一子が学校卒業）で“重要”の割合が高く、9割を超えている。



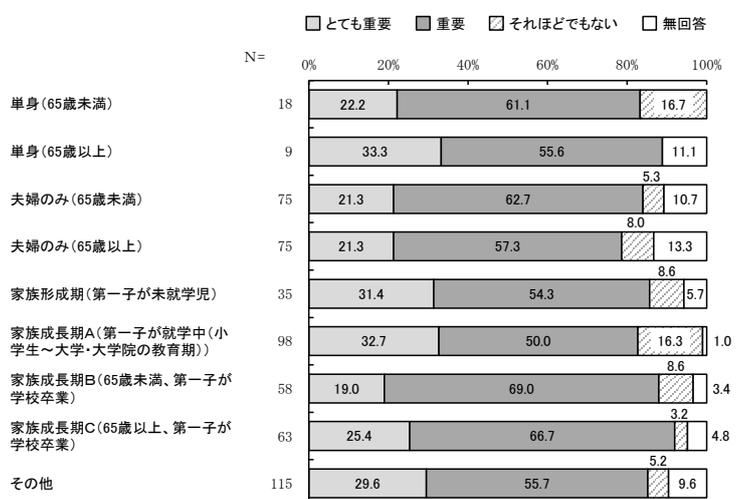
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】



【問1 満足度】

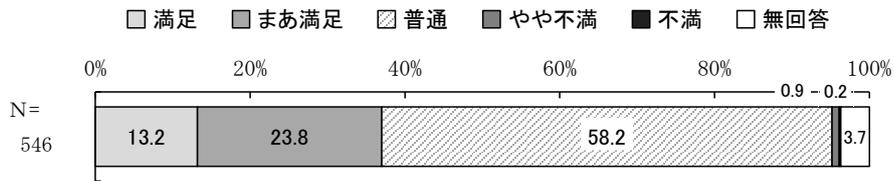
(17) 身近にすんでいる外国人とのトラブルの少なさ

全体でみると、「満足」と「まあ満足」を合わせた“満足”の割合が高く、約4割となっている。

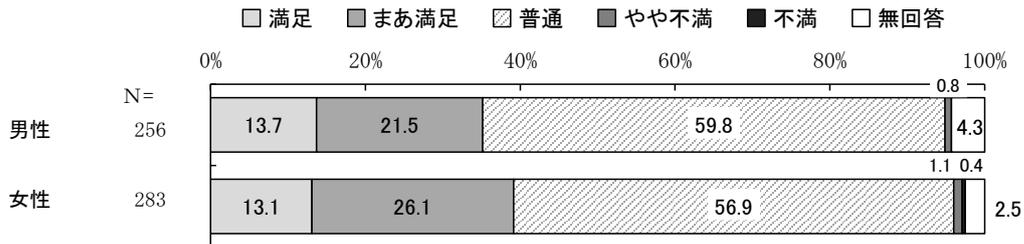
性別でみると、男性に比べ、女性で“満足”の割合が高くなっている。

年代別でみると、他の年代に比べ、25～29歳、40～44歳で“満足”の割合が高く、5割となっている。

ライフステージ別でみると、他に比べ、家族成長期A（第一子が就学中（小学生～大学・大学院の教育期））で“満足”の割合が高く、約5割となっている。

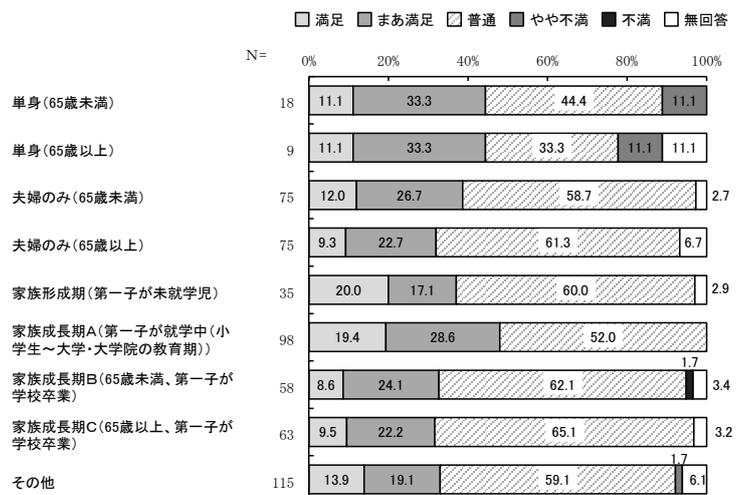
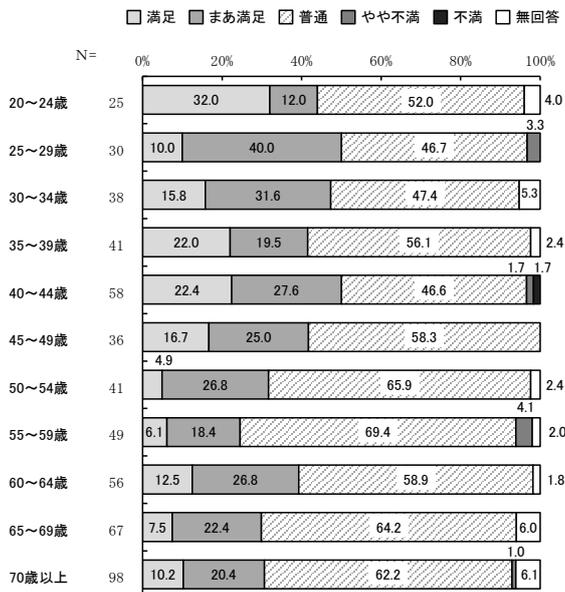


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】



【問1 重要度】

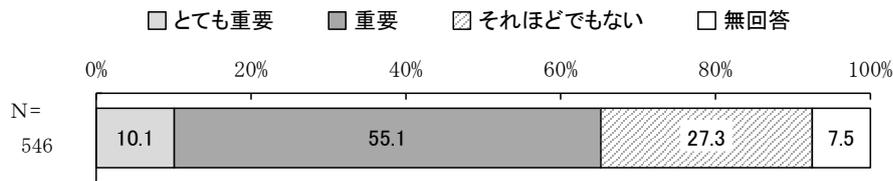
(17) 身近にすんでいる外国人とのトラブルの少なさ

全体でみると、「とても重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が高く、6割を超えている。

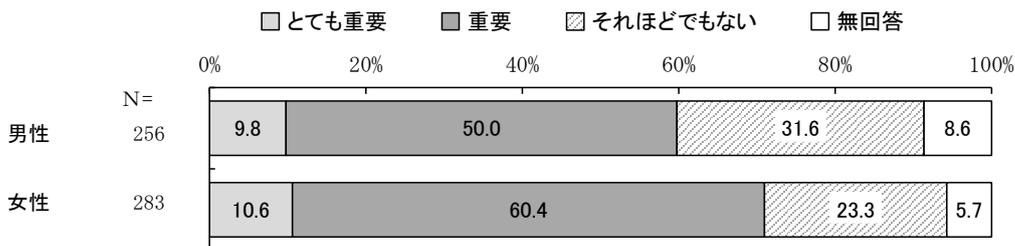
性別でみると、男性に比べ、女性で“重要”の割合が高くなっている。

年代別でみると、他の年代に比べ、25～29歳で“重要”の割合が高く、8割となっている。

ライフステージ別でみると、他に比べ、家族形成期（第一子が未就学児）、家族成長期B（65歳未満、第一子が学校卒業）で“重要”の割合が高く、7割を超えている。

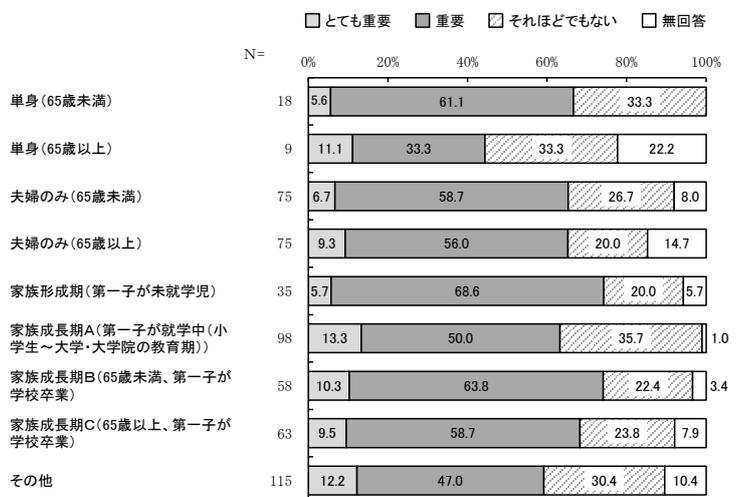
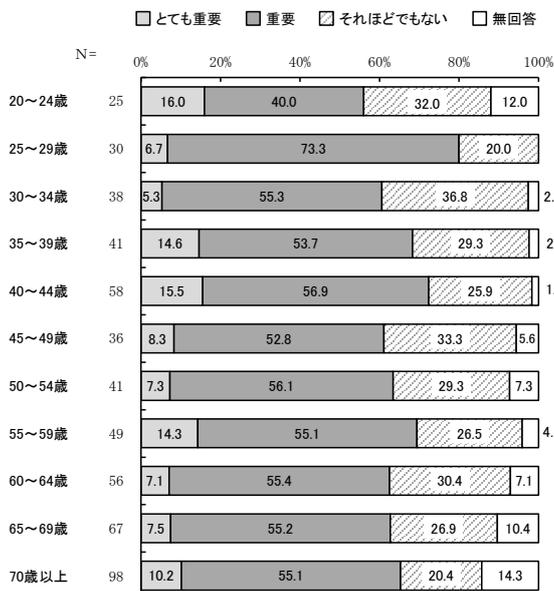


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】



【問1 満足度】

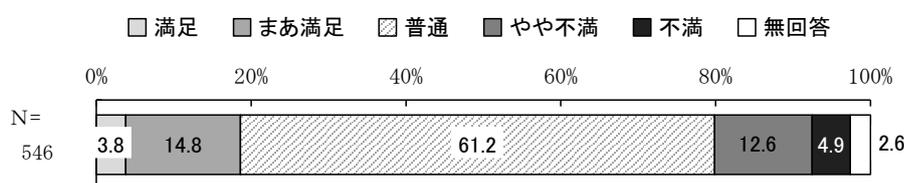
(18) 河川や水路の整備状況

全体でみると、「満足」と「まあ満足」を合わせた“満足”の割合と、「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合が共に約2割となっている。

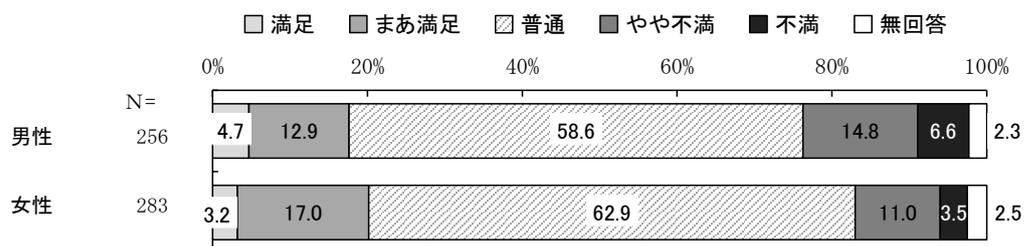
性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高くなっている。

年代別でみると、他の年代に比べ、65～69歳で“不満”の割合が高く、約3割となっている。

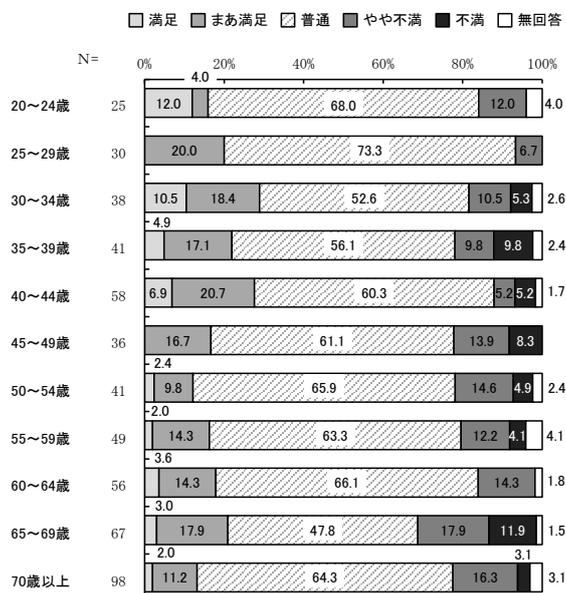
ライフステージ別でみると、他に比べ、家族形成期（第一子が未就学児）で“満足”の割合が高く、約3割となっている。



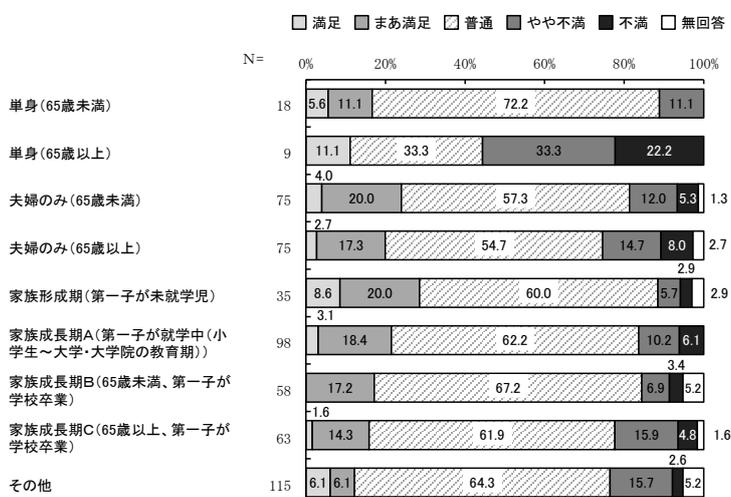
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】



【問1 重要度】

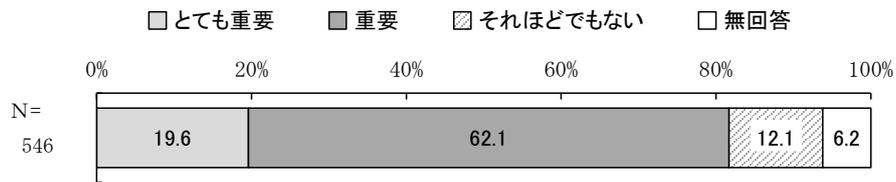
(18) 河川や水路の整備状況

全体でみると、「とても重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が高く、約8割となっている。

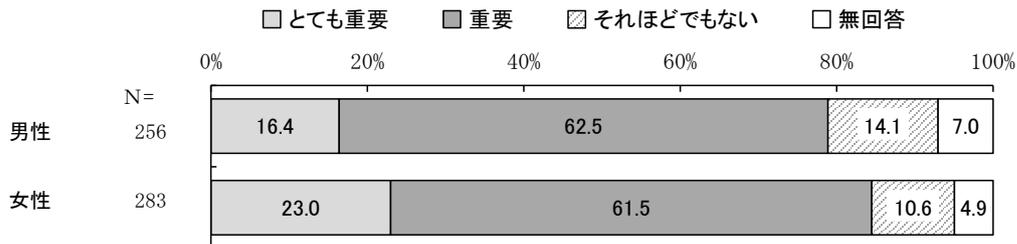
性別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、他の年代に比べ、25～29歳で“重要”の割合が高く、9割を超えている。

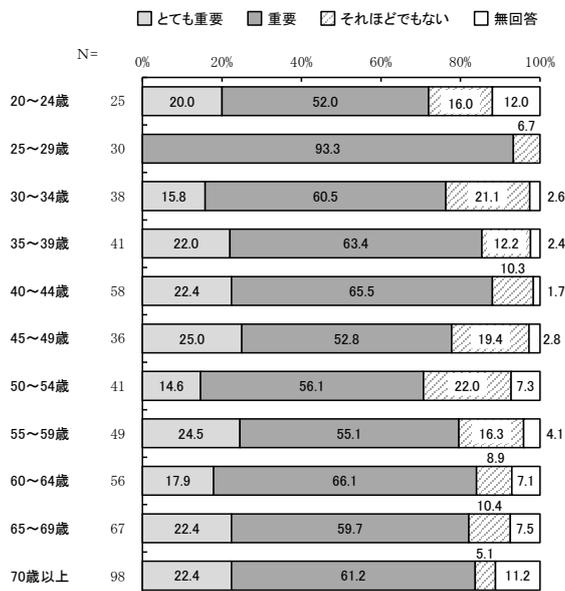
ライフステージ別でみると、他に比べ、単身（65歳未満）で「それほどでもない」の割合が高く、約3割となっている。



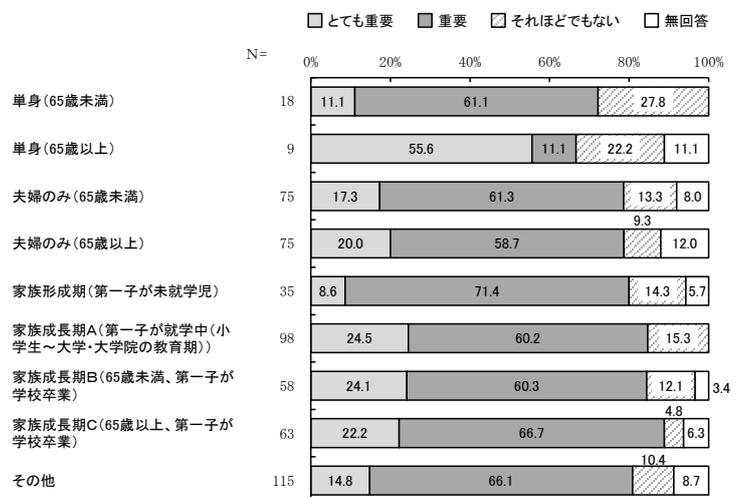
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】



【問1 満足度】

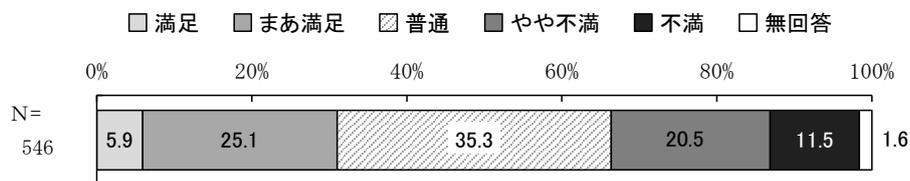
(19) 「近くで買い物ができる」「家の周りが静かである」など、まちの環境の快適度

全体でみると、「満足」と「まあ満足」を合わせた“満足”の割合と、「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合が共に約3割となっている。

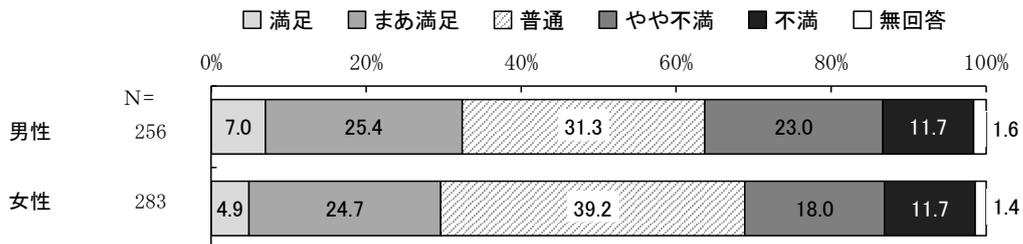
性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高くなっている。

年代別でみると、他の年代に比べ、30～34歳、35～39歳で“満足”の割合が高く、約4割となっている。

ライフステージ別でみると、他に比べ、家族成長期A（第一子が就学中（小学生～大学・大学院の教育期））で“満足”の割合が高く、約4割となっている。

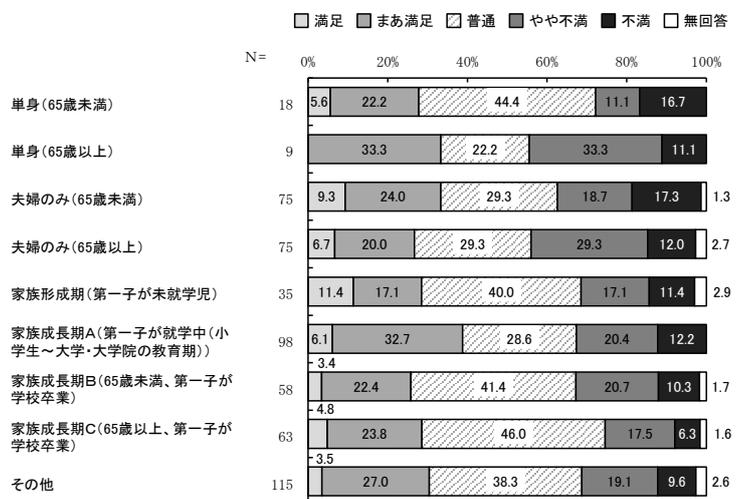
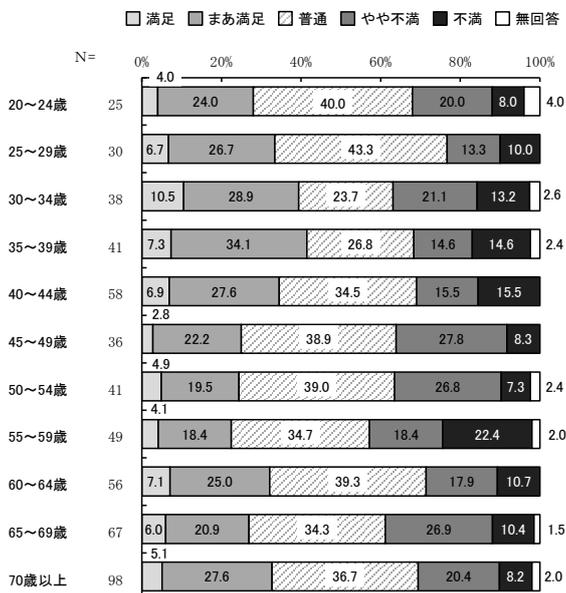


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】



【問1 重要度】

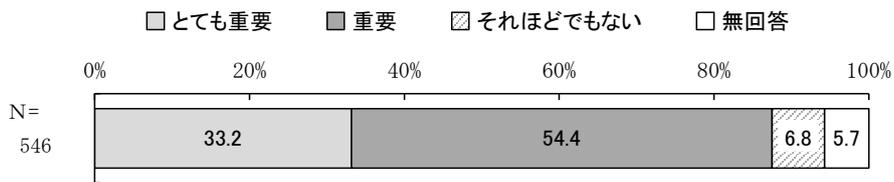
(19) 「近くで買い物ができる」「家の周りが静かである」など、まちの環境の快適度

全体でみると、「とても重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が高く、約9割となっている。

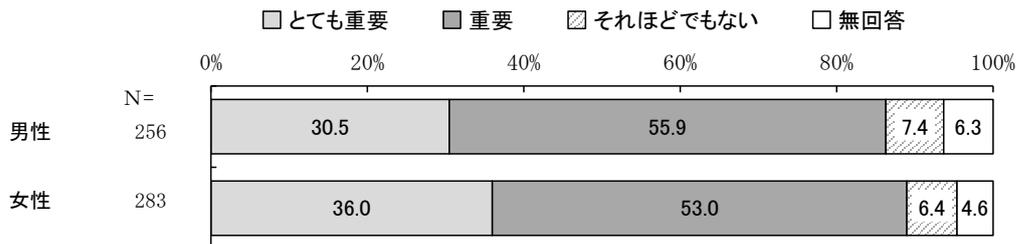
性別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、20～24歳、30～34歳で「とても重要」の割合が高く、約5割となっている。

ライフステージ別でみると、他に比べ、家族成長期A（第一子が就学中（小学生～大学・大学院の教育期））で“重要”の割合が高く、9割を超えている。

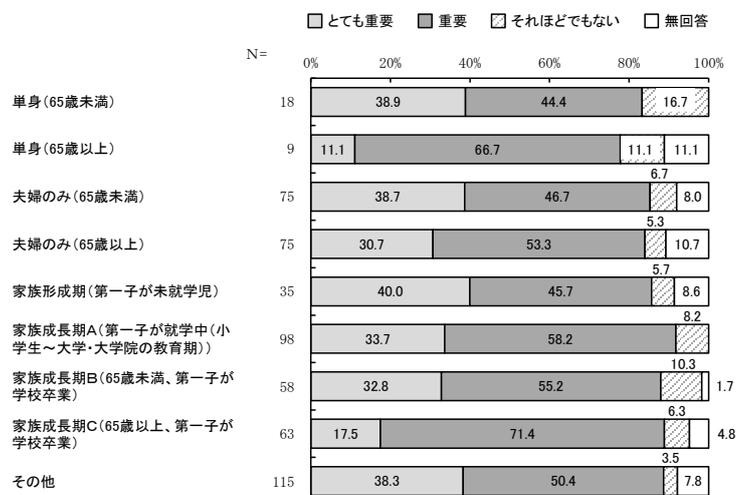
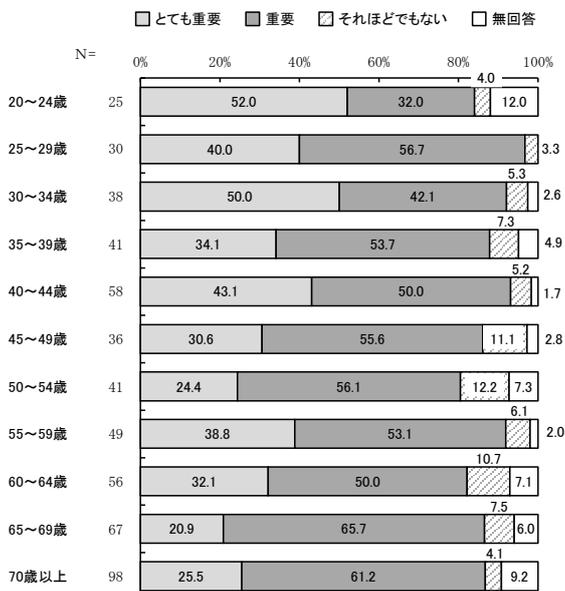


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】



②裾野市の取り組みについて（市施策）

問2 裾野市の行政としての取り組みについてお答えください。（満足度については番号に、重要度についてはアルファベットに、それぞれ〇は1つずつ）

現状の満足度と今度の重要度

現状の評価と重要度を下表に示すように点数化し、その程度を分析した。

各項目の回答者に下表の点数をかけて合計し、回答者総数で割った平均値を得点とする。

現状の評価基準

項目	点数
満足	2点
まあ満足	1点
普通	0点
やや不満	-1点
不満	-2点

重要度の評価基準

項目	点数
とても重要	2点
重要	1点
それほどでもない	0点

満足度ベスト3

順位	項目	得点
1	豊かで良質な水道水の確保	0.55
2	リサイクルやごみの減量化等の環境に配慮した取り組み	0.12
3	市の行う広報(広報紙・無線、報道など)の「わかりやすさ」や「情報の量」	0.03

重要度ベスト3

順位	項目	得点
1	豊かで良質な水道水の確保	1.49
2	市の「予算の使い方」などの財政運営の効率化	1.41
3	安心して子育てができる環境の充実	1.39

満足度が低く重要度が高い項目（今後、重点課題として検討が必要）

順位	項目	満足度	重要度	点数差※
1	市の「予算の使い方」などの財政運営の効率化	-0.52	1.41	-1.93
2	市内の土地利用のバランスの良さ	-0.72	1.15	-1.87
3	にぎわいのある商業地づくりと、すそのブランドの利用推進	-0.56	1.10	-1.66

※点数差：満足度の得点から重要度の得点を引いたもの。点数差を求めることで、満足度が低く、重要度が高い、今後の重点課題として検討が必要なものを数値化したもの。

## 満足度・重要度による順位

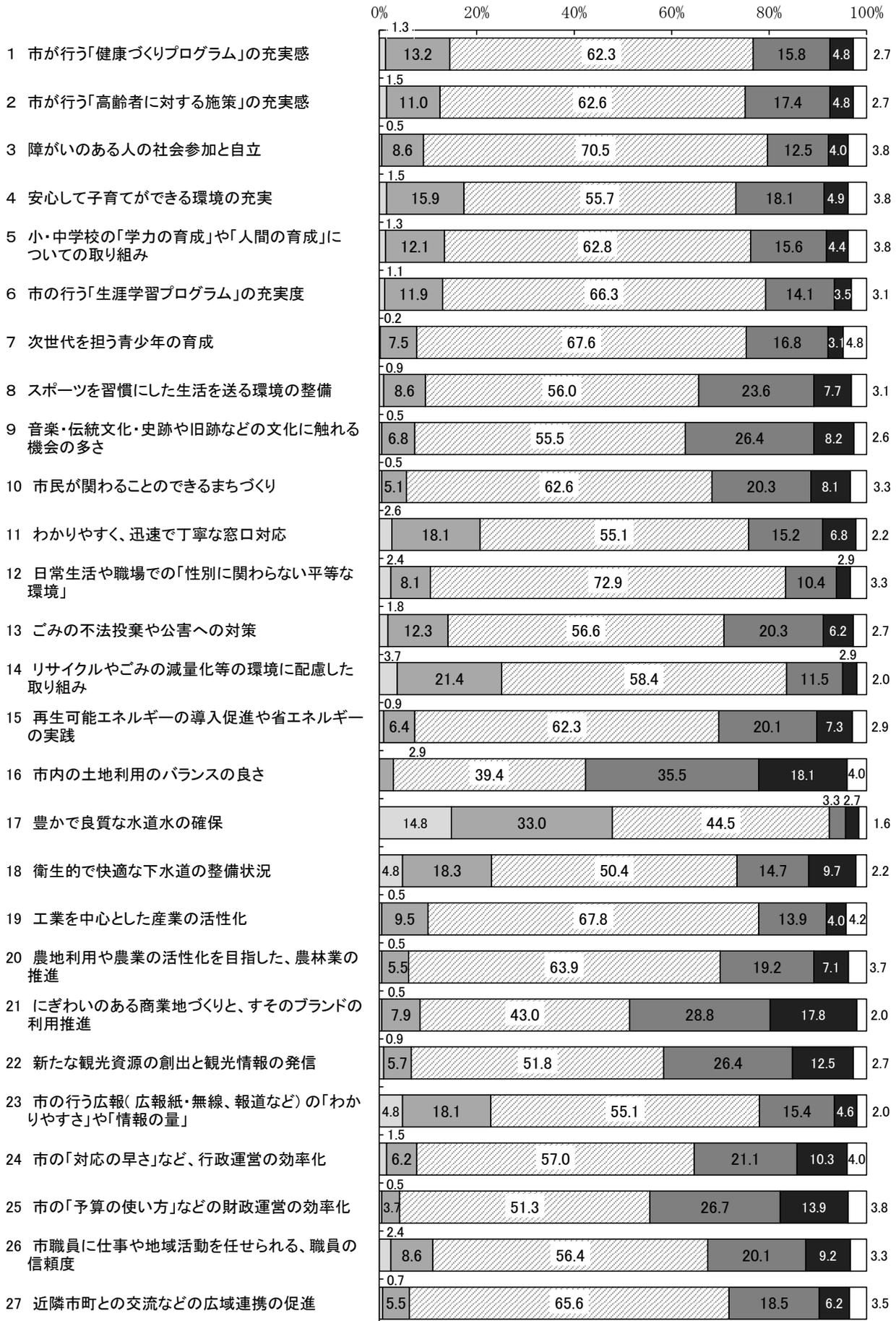
※得点が高い項目順に、小数第二位までを表示している。

満足度	得点	順位	得点	重要度
豊かで良質な水道水の確保	0.55	1	1.49	豊かで良質な水道水の確保
リサイクルやごみの減量化等の環境に配慮した取り組み	0.12	2	1.41	市の「予算の使い方」などの財政運営の効率化
市の行う広報(広報紙・無線、報道など)の「わかりやすさ」や「情報の量」	0.03	3	1.39	安心して子育てができる環境の充実
日常生活や職場での「性別に関わらない平等な環境」	-0.04	4	1.38	小・中学校の「学力の育成」や「人間の育成」についての取り組み
わかりやすく、迅速で丁寧な窓口対応	-0.06	5	1.35	衛生的で快適な下水道の整備状況
衛生的で快適な下水道の整備状況	-0.06	6	1.32	ごみの不法投棄や公害への対策
市の行う「生涯学習プログラム」の充実度	-0.07	7	1.29	市職員に仕事や地域活動を任せられる、職員の信頼度
市が行う「健康づくりプログラム」の充実感	-0.10	8	1.27	市の「対応の早さ」など、行政運営の効率化
安心して子育てができる環境の充実	-0.10	9	1.24	次世代を担う青少年の育成
小・中学校の「学力の育成」や「人間の育成」についての取り組み	-0.10	10	1.19	リサイクルやごみの減量化等の環境に配慮した取り組み
障がいのある人の社会参加と自立	-0.11	11	1.17	再生可能エネルギーの導入促進や省エネルギーの実践
工業を中心とした産業の活性化	-0.12	12	1.15	市内の土地利用のバランスの良さ
市が行う「高齢者に対する施策」の充実感	-0.13	13	1.14	市が行う「高齢者に対する施策」の充実感
次世代を担う青少年の育成	-0.16	14	1.14	わかりやすく、迅速で丁寧な窓口対応
ごみの不法投棄や公害への対策	-0.17	15	1.13	障がいのある人の社会参加と自立
近隣市町との交流などの広域連携の促進	-0.25	16	1.11	工業を中心とした産業の活性化
市職員に仕事や地域活動を任せられる、職員の信頼度	-0.26	17	1.10	にぎわいのある商業地づくりと、すそのブランドの利用推進
再生可能エネルギーの導入促進や省エネルギーの実践	-0.27	18	1.08	農地利用や農業の活性化を目指した、農林業の推進
農地利用や農業の活性化を目指した、農林業の推進	-0.28	19	1.05	市の行う広報(広報紙・無線、報道など)の「わかりやすさ」
スポーツを習慣にした生活を送る環境の整備	-0.29	20	1.04	近隣市町との交流などの広域連携の促進
市民が関わることのできるまちづくり	-0.31	21	1.03	新たな観光資源の創出と観光情報の発信
市の「対応の早さ」など、行政運営の効率化	-0.34	22	0.96	日常生活や職場での「性別に関わらない平等な環境」
音楽・伝統文化・史跡や旧跡などの文化に触れる機会の多さ	-0.36	23	0.95	市民が関わることのできるまちづくり
新たな観光資源の創出と観光情報の発信	-0.45	24	0.93	スポーツを習慣にした生活を送る環境の整備
市の「予算の使い方」などの財政運営の効率化	-0.52	25	0.84	市が行う「健康づくりプログラム」の充実感
にぎわいのある商業地づくりと、すそのブランドの利用推進	-0.56	26	0.84	市の行う「生涯学習プログラム」の充実度
市内の土地利用のバランスの良さ	-0.72	27	0.77	音楽・伝統文化・史跡や旧跡などの文化に触れる機会の多さ

【問2 満足度】

□ 満足 □ まあ満足 □ 普通 □ やや不満 □ 不満 □ 無回答

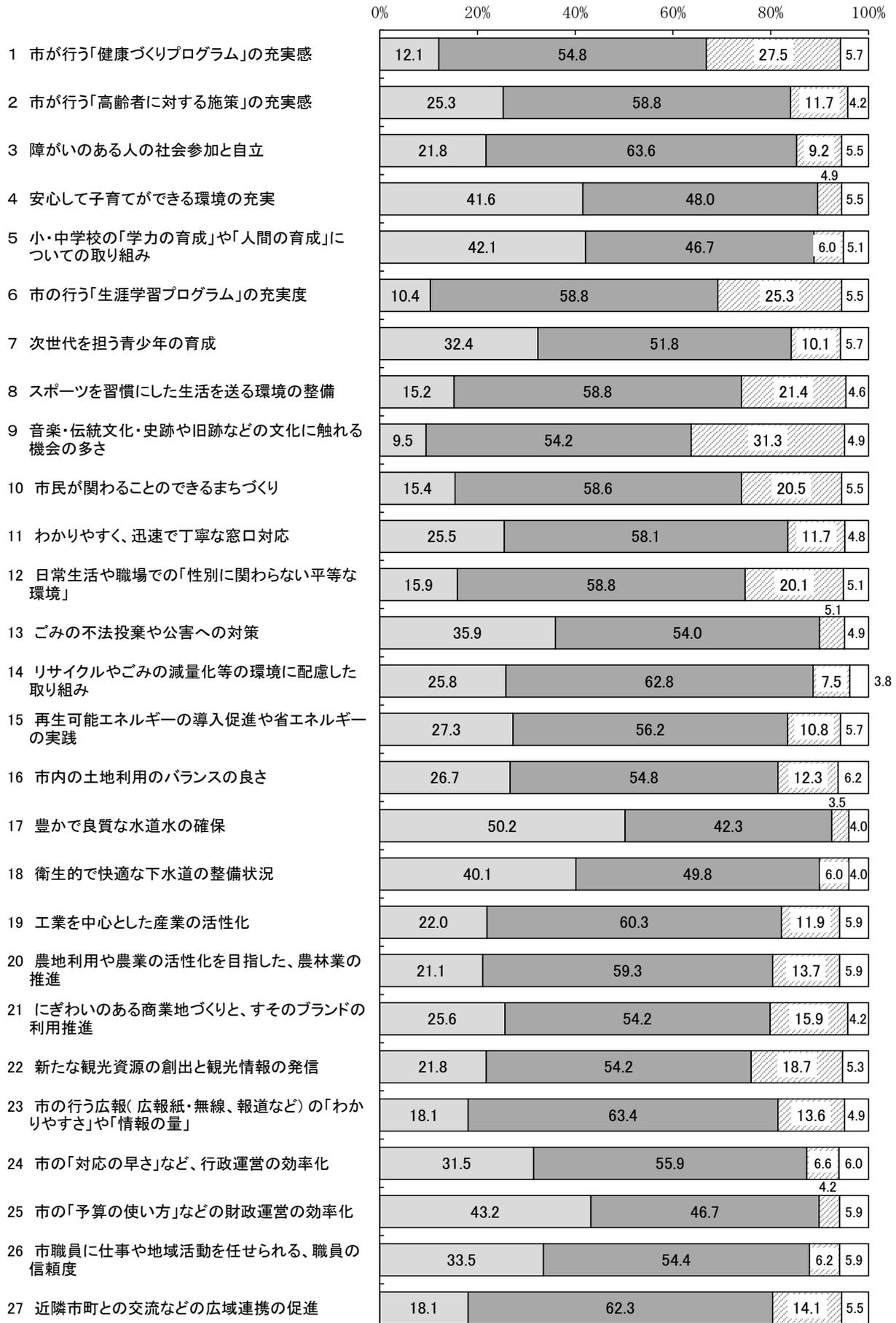
N=546



【問2 重要度】

□ とも重要   ■ 重要   ▨ それほどでもない   □ 無回答

N=546



## 【問2 満足度】

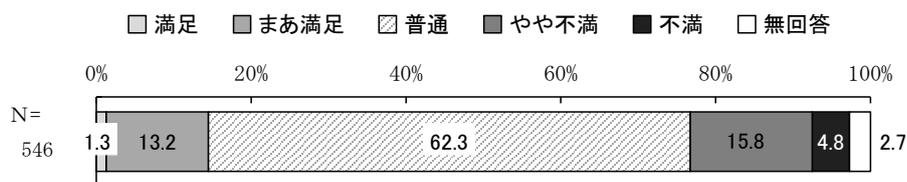
### (1) 市が行う「健康づくりプログラム」の充実感

全体でみると、「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合が高く、約2割となっている。

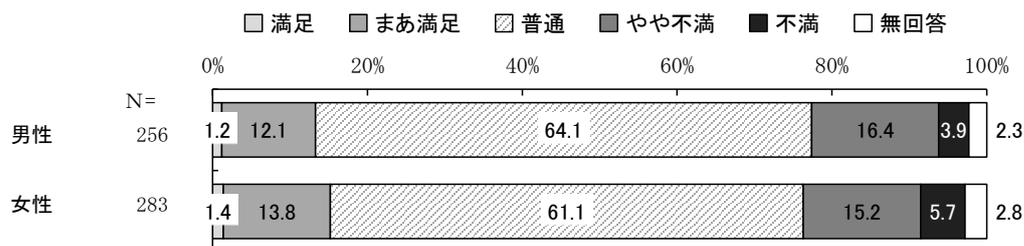
性別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、他の年代に比べ、70歳以上で“満足”の割合が高く、3割を超えている。

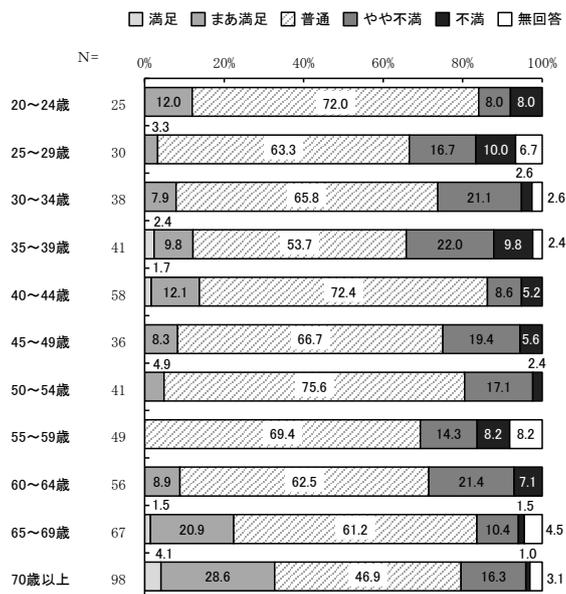
ライフステージ別でみると、他に比べ、家族成長期C（65歳以上、第一子が学校卒業）で“満足”の割合が高く、3割を超えている。



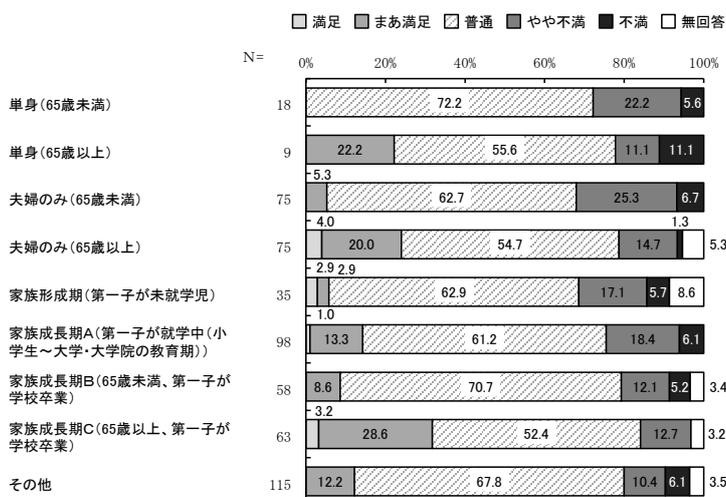
### 【性別】



### 【年代別】



### 【ライフステージ別】



【問2 重要度】

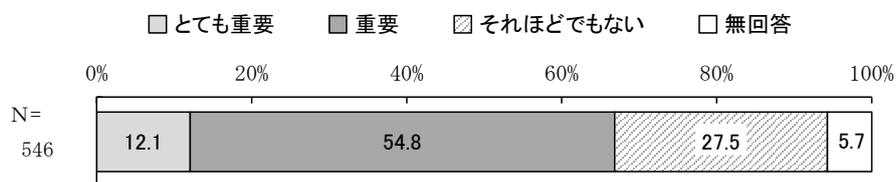
(1) 市が行う「健康づくりプログラム」の充実感

全体でみると、「とても重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が高く、約7割となっている。

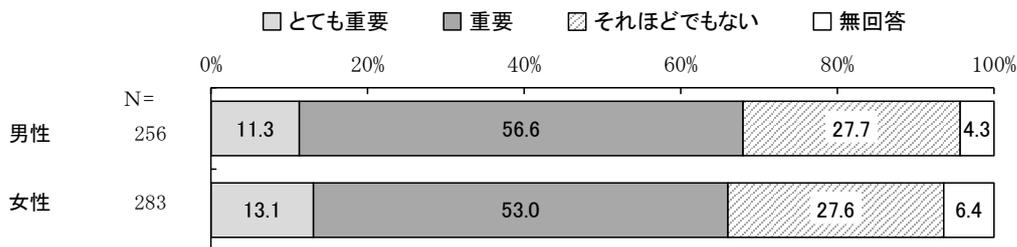
性別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、他の年代に比べ、70歳以上で“重要”の割合が高く、約8割となっている。一方、20～24歳、30～34歳で「それほどでもない」の割合が高くなっている。

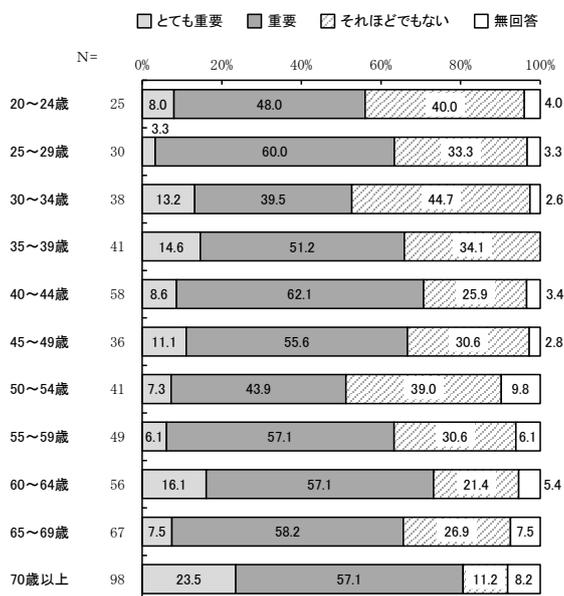
ライフステージ別でみると、他に比べ、家族形成期（第一子が未就学児）で“重要”の割合が低く、5割未満となっている。



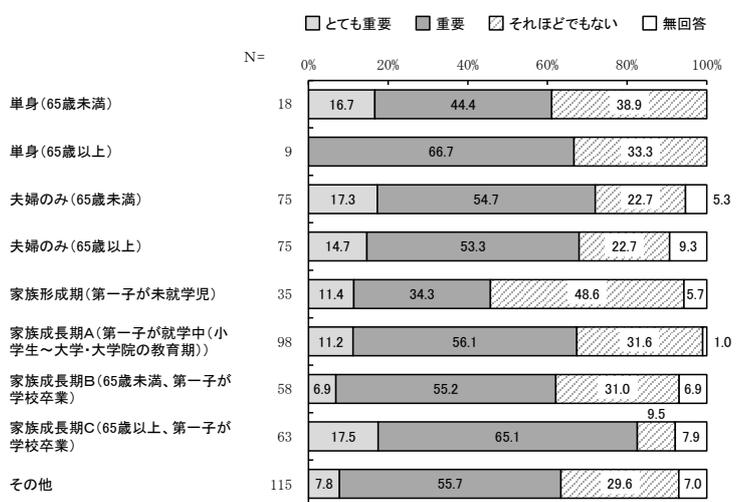
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】



【問2 満足度】

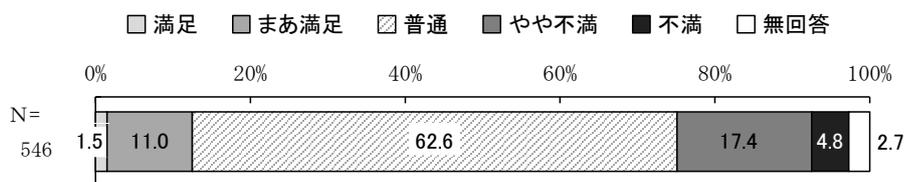
(2) 市が行う「高齢者に対する施策」の充実感

全体でみると、「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合が高く、約2割となっている。

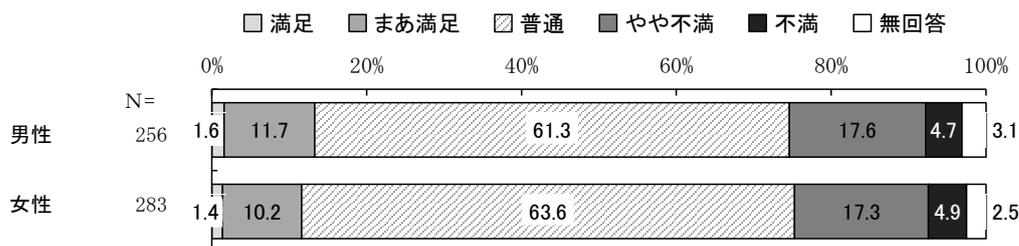
性別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、他の年代に比べ、55～59歳で“不満”の割合が高く、約3割となっている。

ライフステージ別でみると、他に比べ、家族成長期C（65歳以上、第一子が学校卒業）で“満足”の割合が高く、約2割となっている。

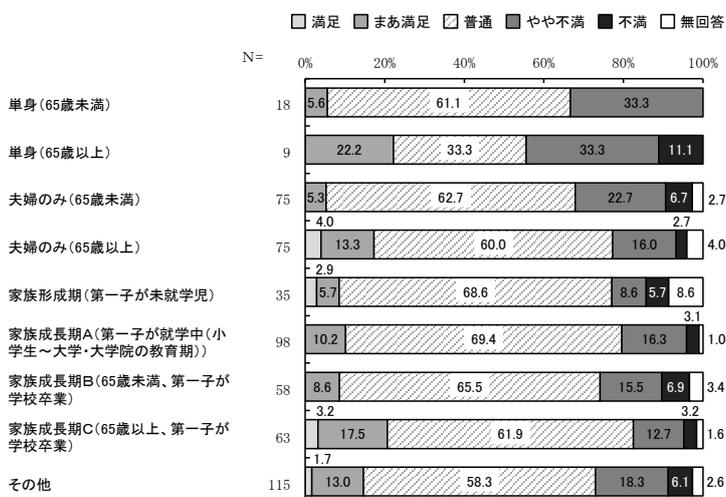
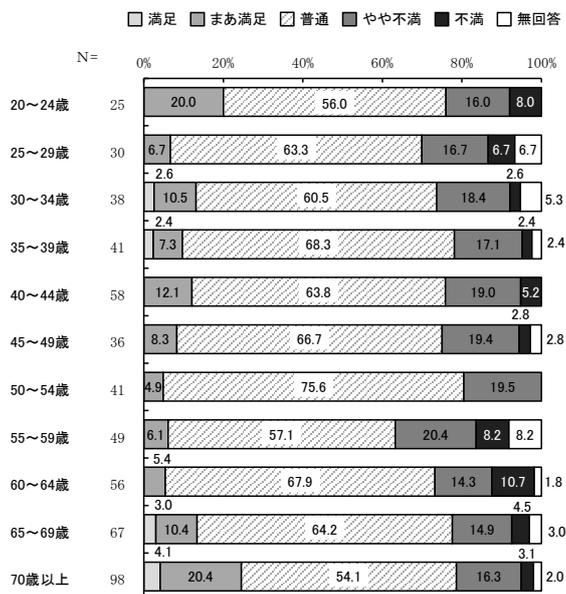


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】



【問2 重要度】

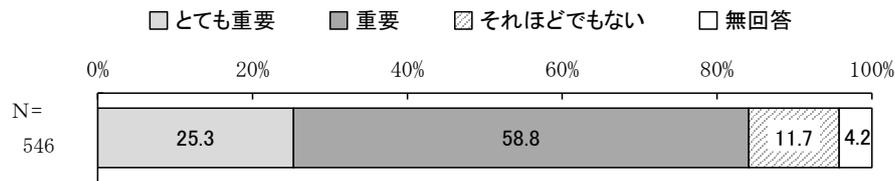
(2) 市が行う「高齢者に対する施策」の充実感

全体でみると、「とても重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が高く、約8割となっている。

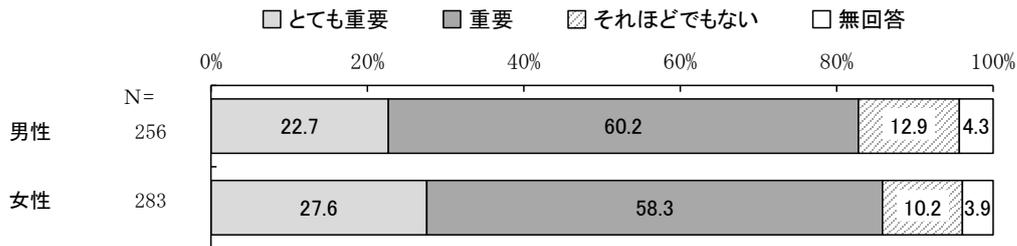
性別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、他の年代に比べ、20～24歳、25～29歳で“重要”の割合が高く、9割を超えている。

ライフステージ別でみると、他に比べ、家族形成期（第一子が未就学児）で“重要”の割合が低く、8割未満となっている。

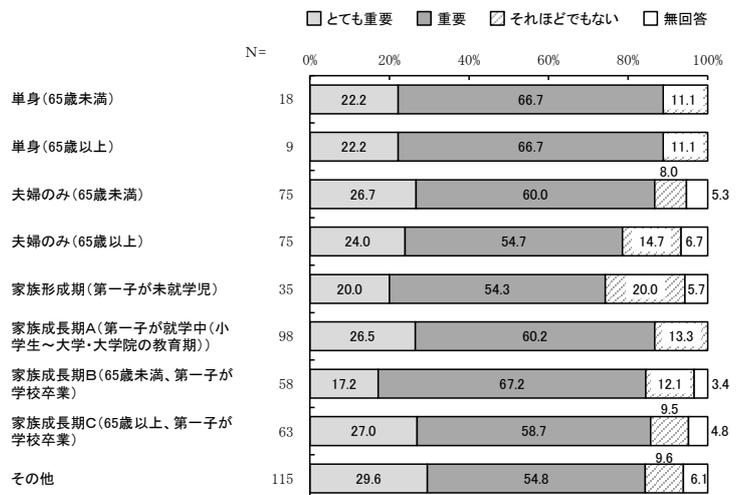
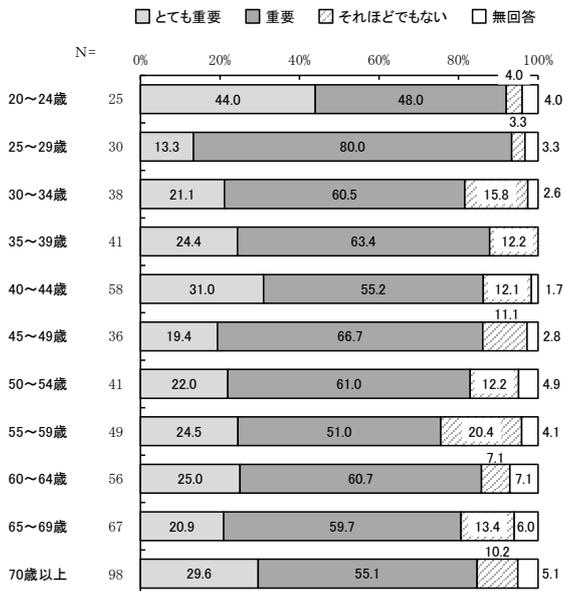


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】



## 【問2 満足度】

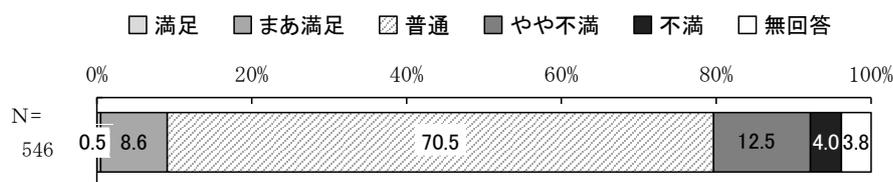
### (3) 障がいのある人の社会参加と自立

全体でみると、「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合が高く、約2割となっている。

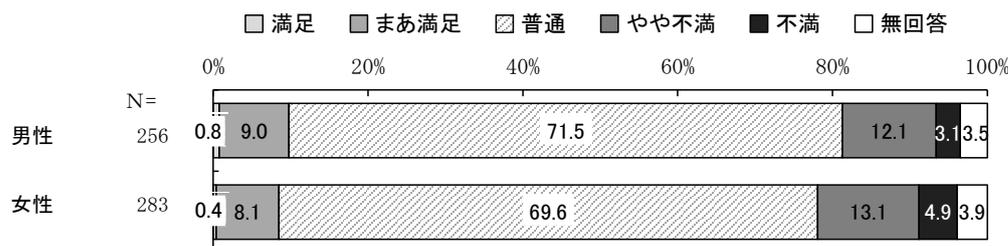
性別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、他の年代に比べ、50～54歳、55～59歳で“不満”の割合が高く、約3割となっている。

ライフステージ別でみると、他に比べ、単身(65歳未満)、家族成長期B(65歳未満、第一子が学校卒業)で“不満”の割合が高く、約3割となっている。

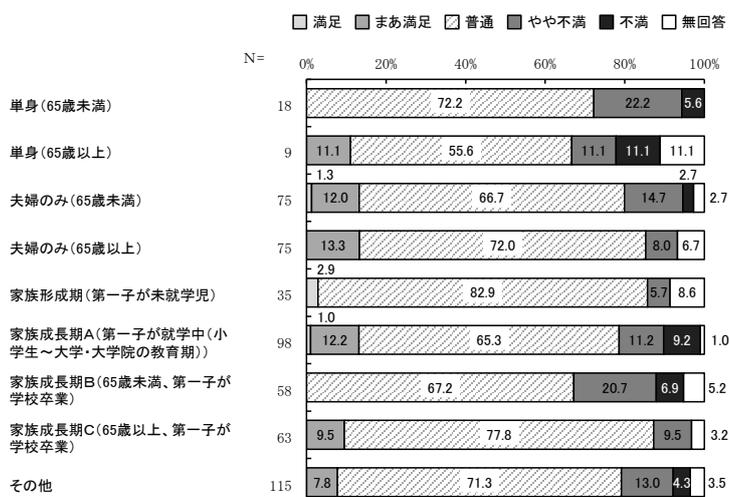
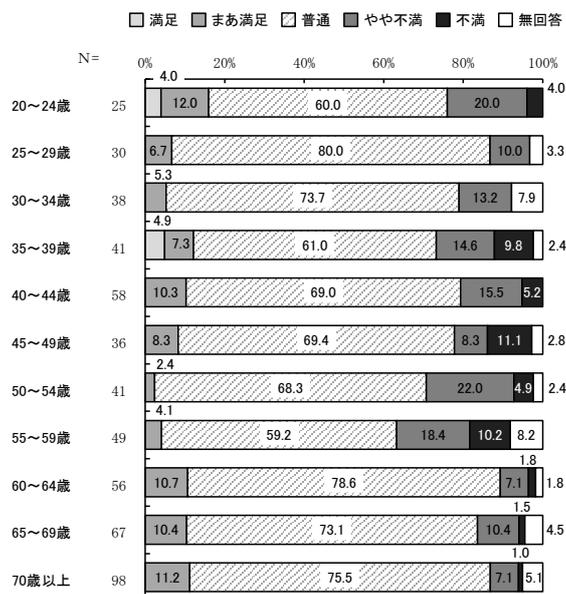


### 【性別】



### 【年代別】

### 【ライフステージ別】



【問2 重要度】

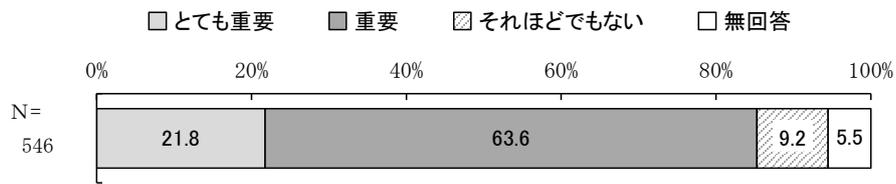
(3) 障がいのある人の社会参加と自立

全体でみると、「とても重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が高く、8割を超えている。

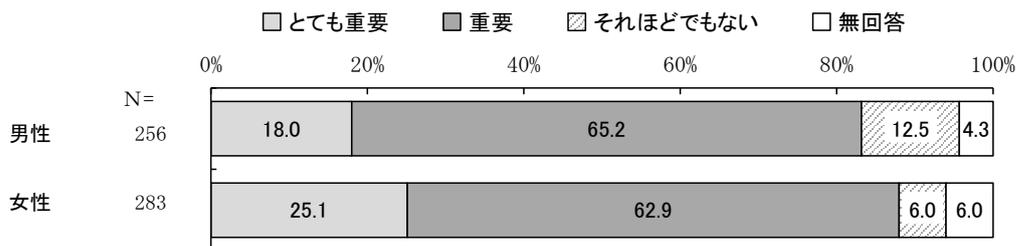
性別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、他の年代に比べ、20～24歳、40～44歳で「とても重要」の割合が高く、3割を超えている。

ライフステージ別でみると、他に比べ、単身(65歳未満)で“重要”の割合が高く、9割を超えている。

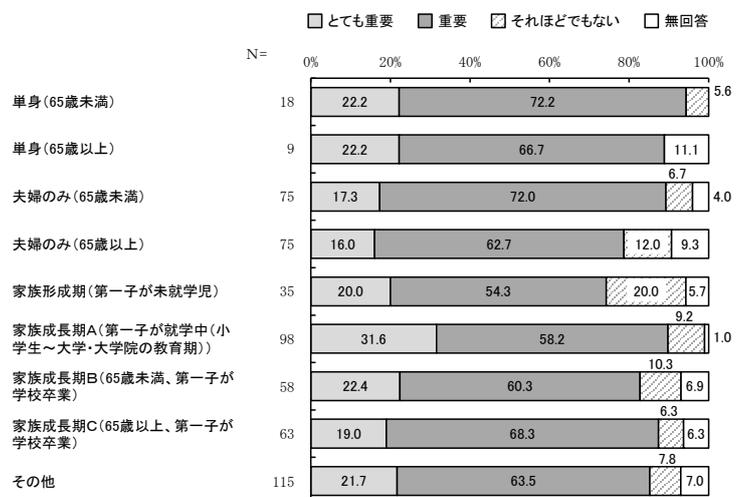
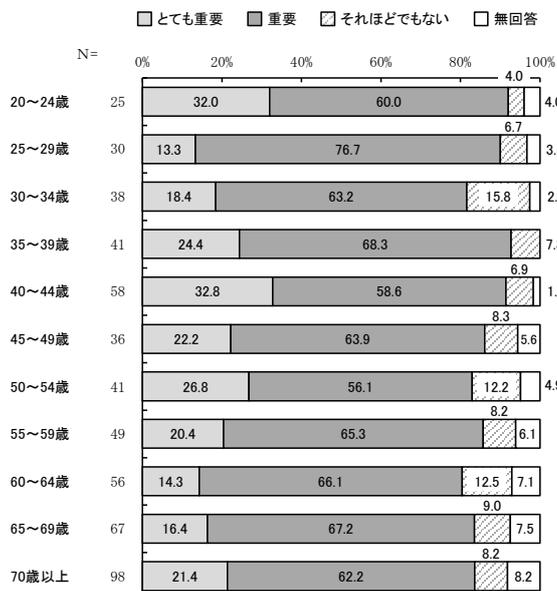


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】



【問2 満足度】

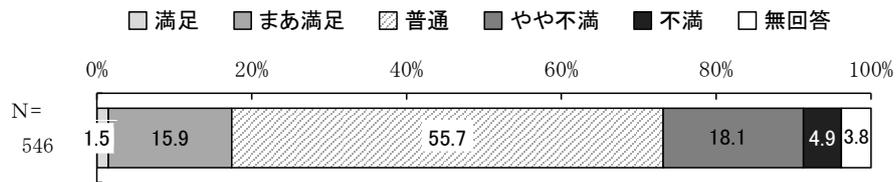
(4) 安心して子育てができる環境の充実

全体でみると、「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合が高く、2割を超えている。

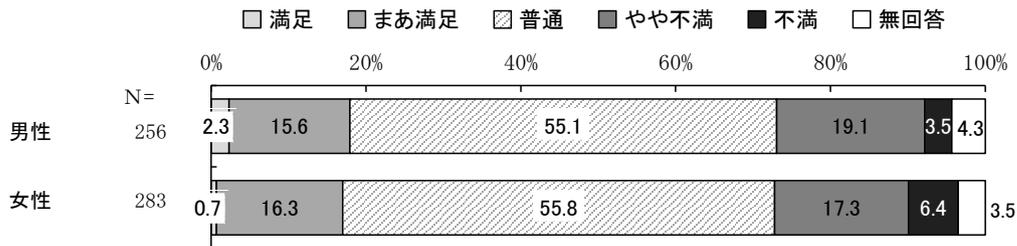
性別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、他の年代に比べ、20～24歳、45～49歳で“満足”の割合が高く、約4割となっている。

ライフステージ別でみると、他に比べ、家族形成期（第一子が未就学児）で“不満”の割合が高く、約4割となっている。

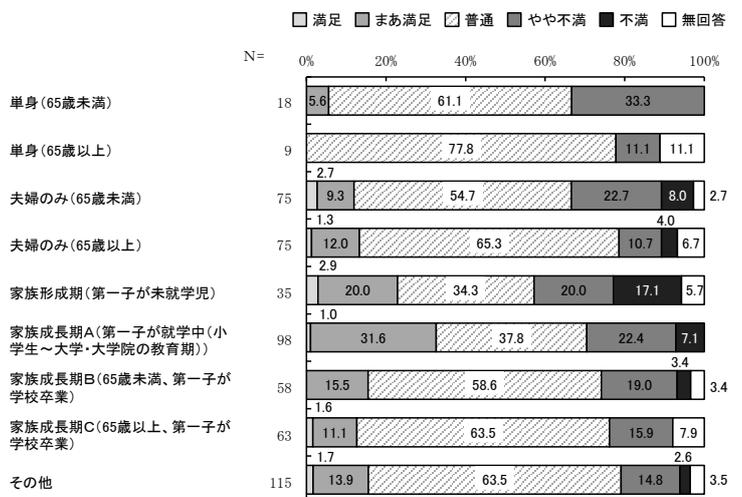
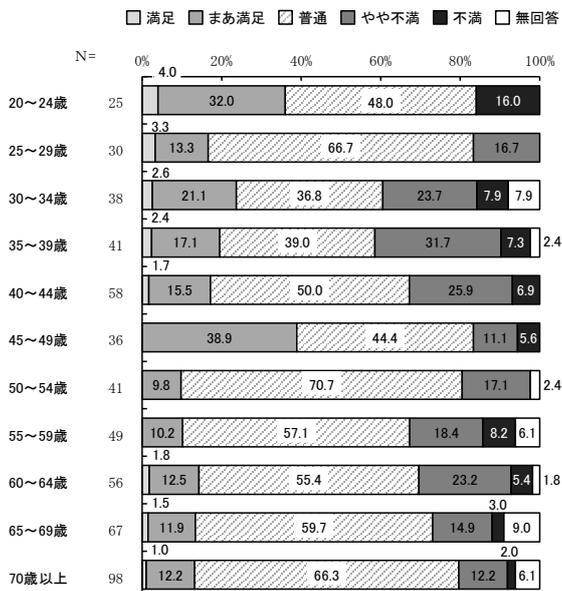


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】



【問2 重要度】

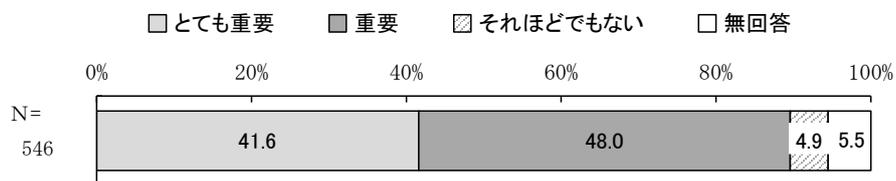
(4) 安心して子育てができる環境の充実

全体でみると、「とても重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が高く、約9割となっている。

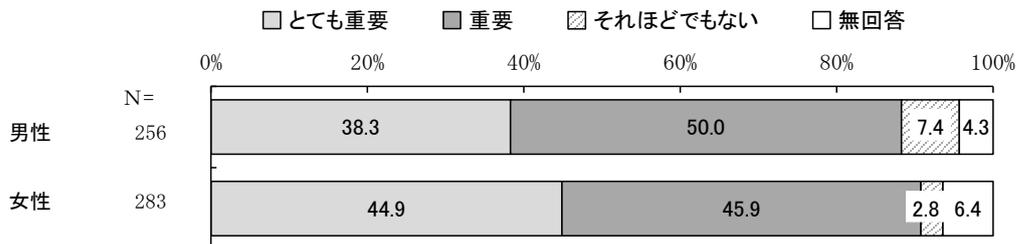
性別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、他の年代に比べ、20～24歳、35～39歳で「とても重要」の割合が高く、6割を超えている。

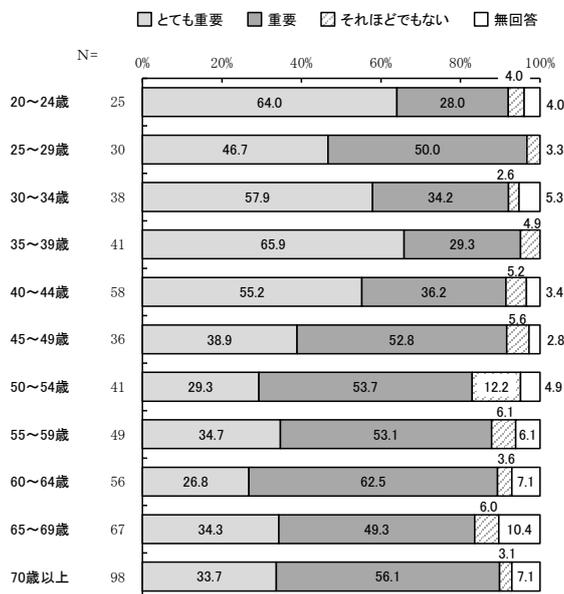
ライフステージ別でみると、他に比べ、家族形成期（第一子が未就学児）で「とても重要」の割合が高く、約7割となっている。



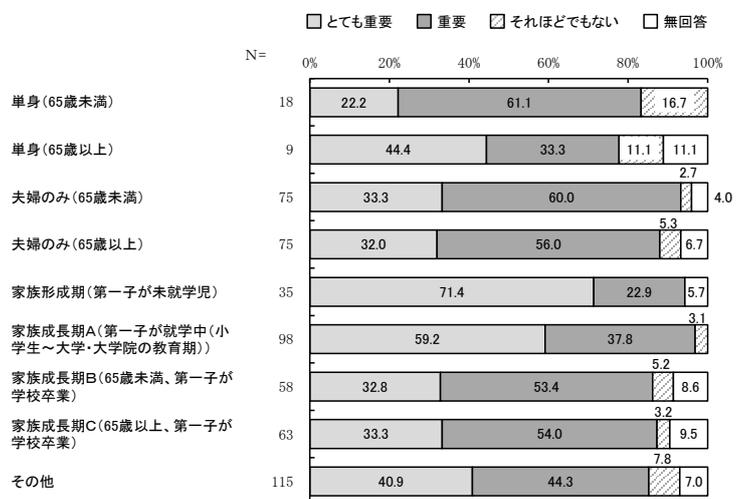
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】



【問2 満足度】

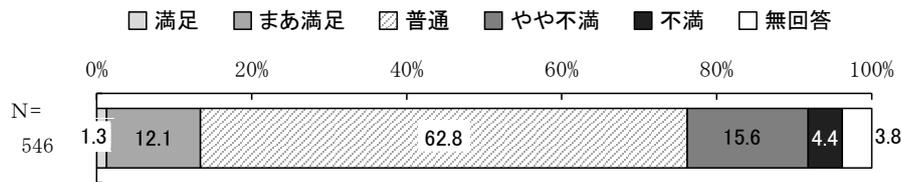
(5) 小・中学校の「学力の育成」や「人間の育成」についての取り組み

全体でみると、「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合が高く、2割となっている。

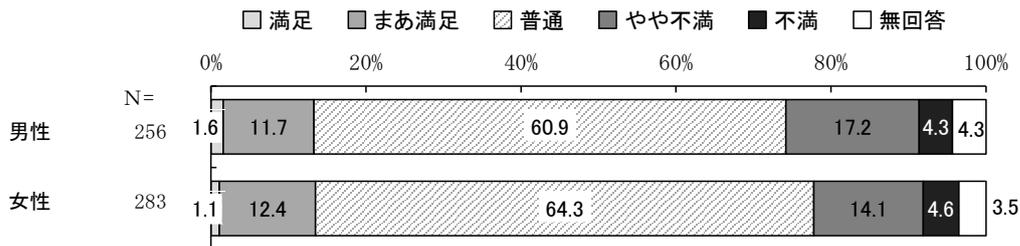
性別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、他の年代に比べ、20～24歳、30～34歳で“不満”の割合が高く、約3割となっている。

ライフステージ別でみると、他に比べ、家族成長期A（第一子が就学中（小学生～大学・大学院の教育期））で“不満”の割合が高く、3割を超えている。

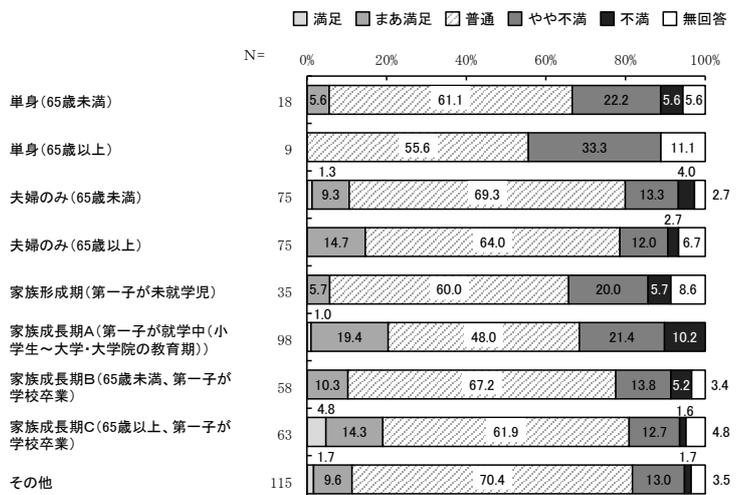
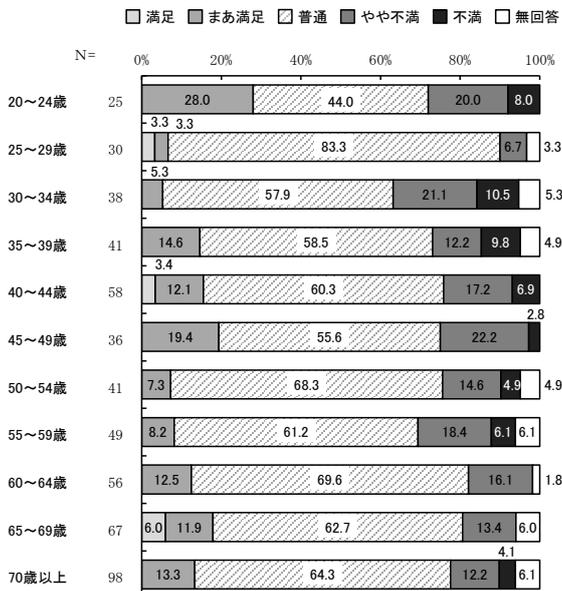


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】



【問2 重要度】

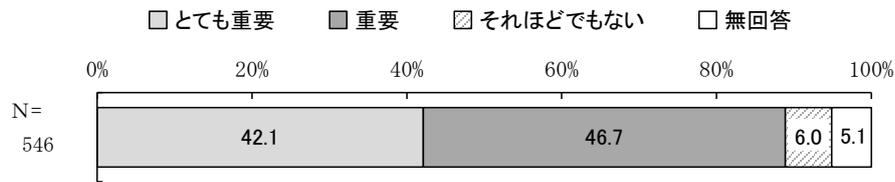
(5) 小・中学校の「学力の育成」や「人間の育成」についての取り組み

全体でみると、「とても重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が高く、約9割となっている。

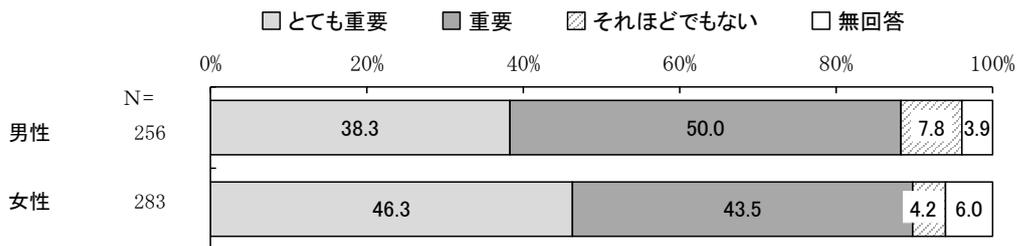
性別でみると、男性に比べ、女性で「とても重要」の割合が高くなっている。

年代別でみると、他の年代に比べ、50～54歳で“重要”の割合が低く、8割未満となっている。

ライフステージ別でみると、他に比べ、家族形成期（第一子が未就学児）、家族成長期A（第一子が就学中（小学生～大学・大学院の教育期））で“重要”の割合が高く、9割を超えている。

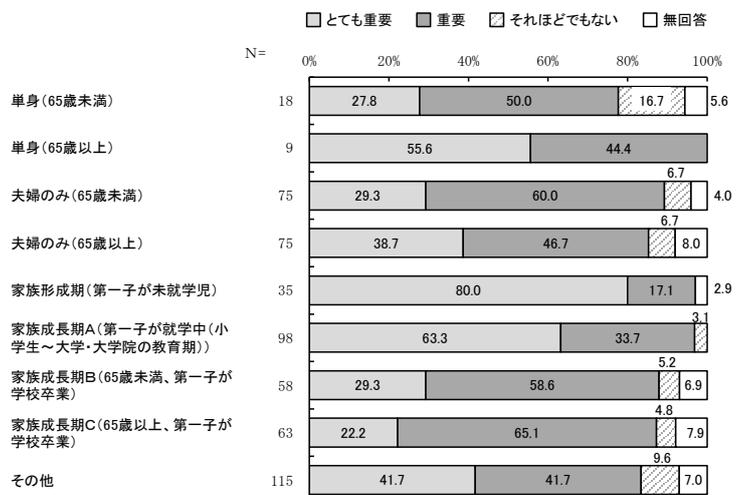
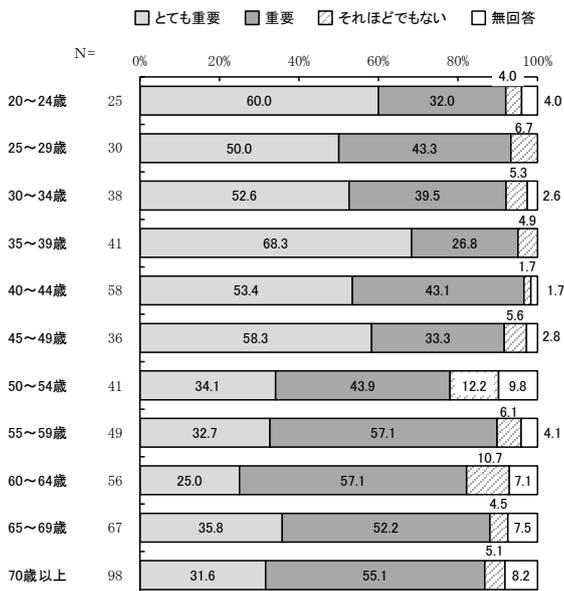


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】



【問2 満足度】

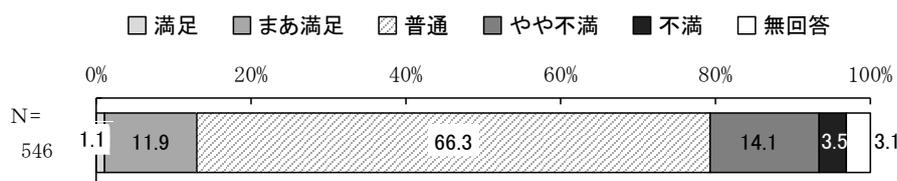
(6) 市の行う「生涯学習プログラム」の充実度

全体でみると、「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合が高く、約2割となっている。

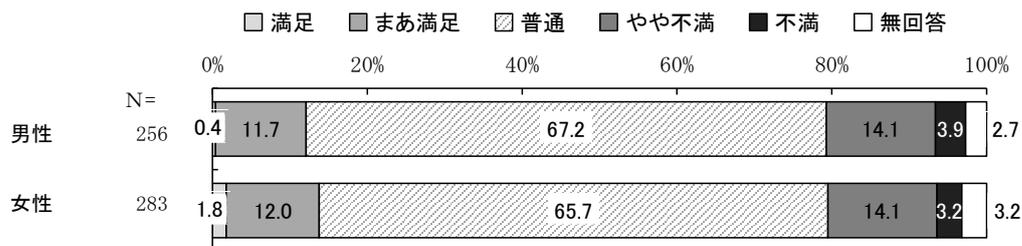
性別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、他の年代に比べ、35～39歳で“不満”の割合が高く、約4割となっている。

ライフステージ別でみると、他に比べ、夫婦のみ（65歳未満）で“不満”の割合が高く、3割を超えている。

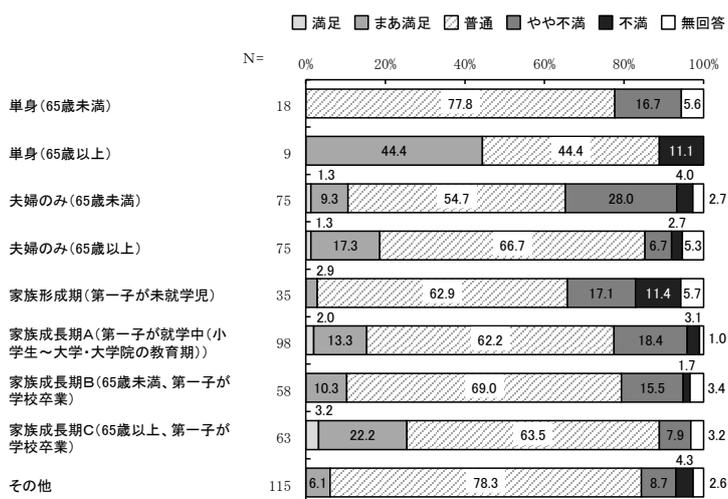
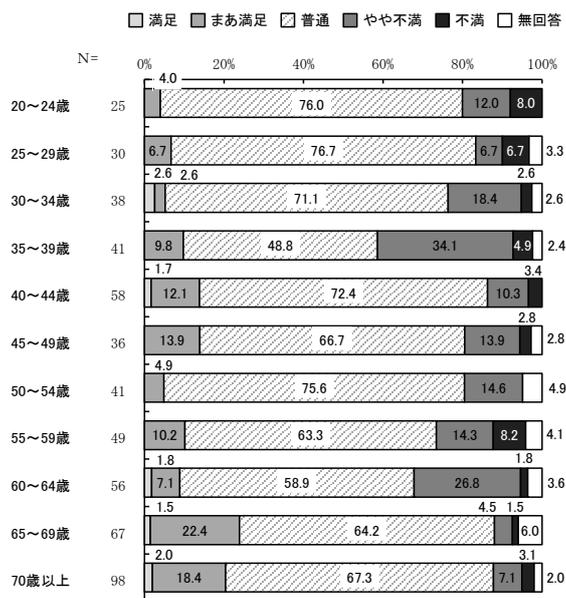


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】



【問2 重要度】

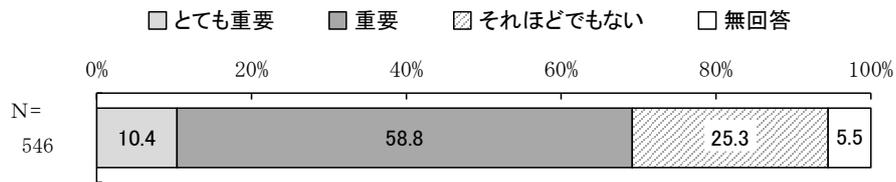
(6) 市の行う「生涯学習プログラム」の充実度

全体でみると、「とても重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が高く、約7割となっている。

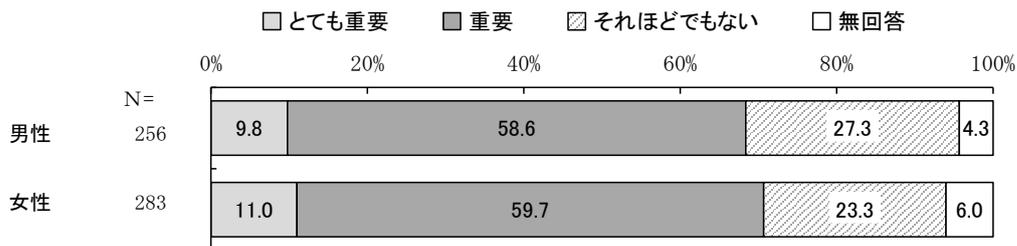
性別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、他の年代に比べ、35～39歳で“重要”の割合が高く、8割を超えている。

ライフステージ別でみると、他に比べ、家族形成期（第一子が未就学児）で“重要”の割合が高く、8割を超えている。

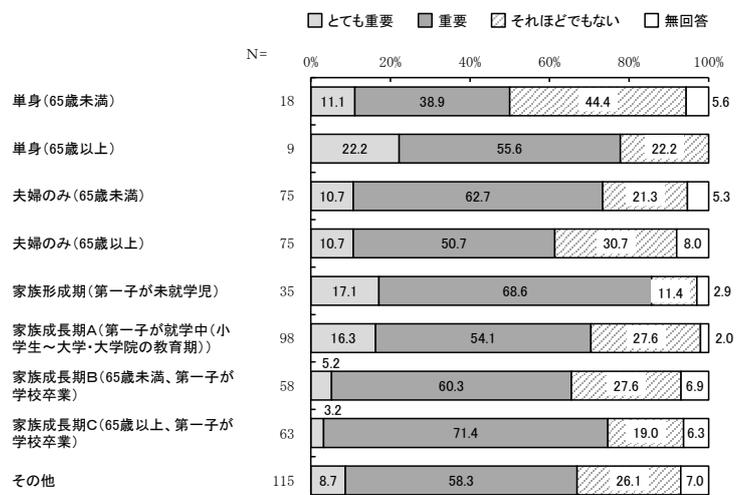
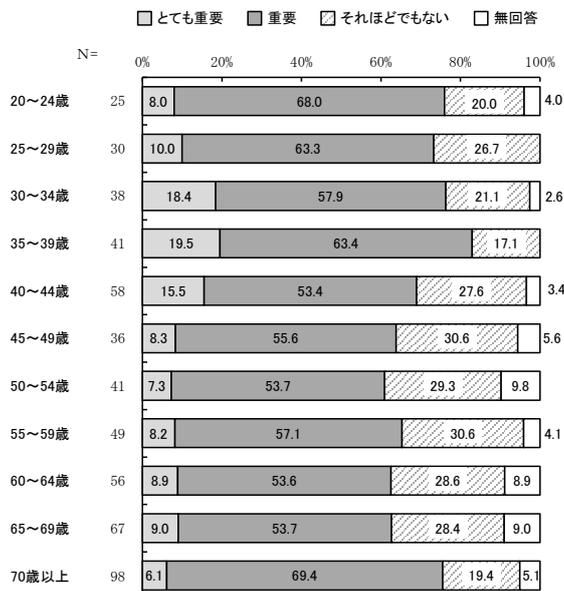


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】



## 【問2 満足度】

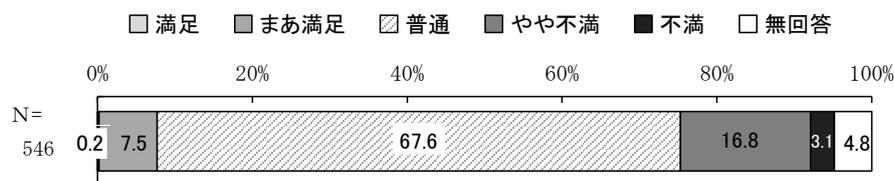
### (7) 次世代を担う青少年の育成

全体でみると、「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合が高く、約2割となっている。

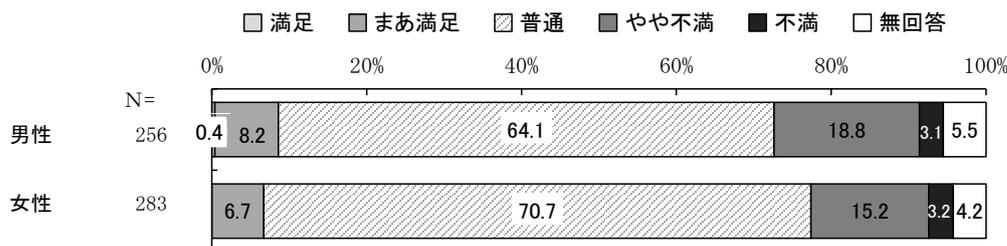
性別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、他の年代に比べ、65～69歳、70歳以上で“不満”の割合が低く、約1割となっている。

ライフステージ別でみると、他に比べ、夫婦のみ(65歳未満)、家族成長期A(第一子が就学中(小学生～大学・大学院の教育期))で“不満”の割合が高く、約3割となっている。

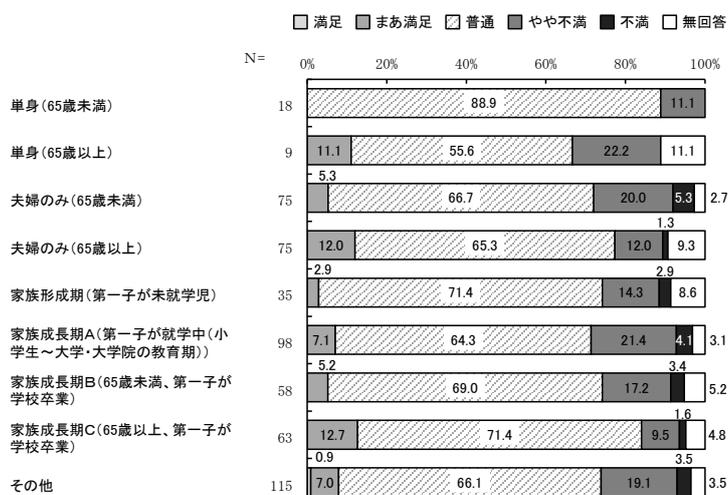
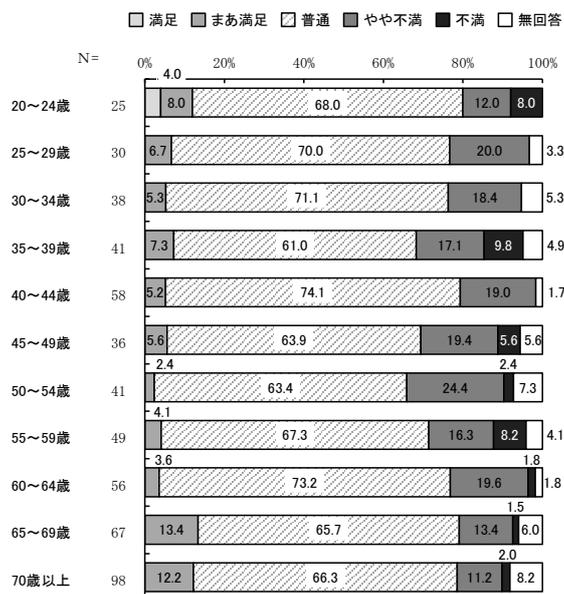


## 【性別】



## 【年代別】

## 【ライフステージ別】



【問2 重要度】

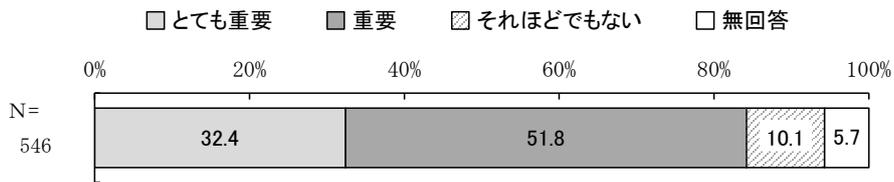
(7) 次世代を担う青少年の育成

全体でみると、「とても重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が高く、約8割となっている。

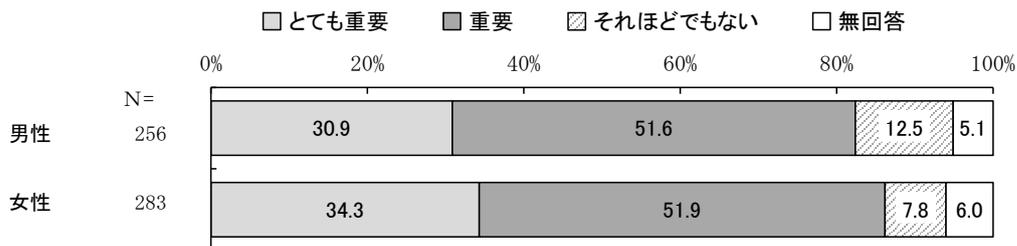
性別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、他の年代に比べ、25～29歳、35～39歳で“重要”の割合が高く、9割を超えている。

ライフステージ別でみると、他に比べ、家族形成期（第一子が未就学児）で「とても重要」の割合が高く、約5割となっている。

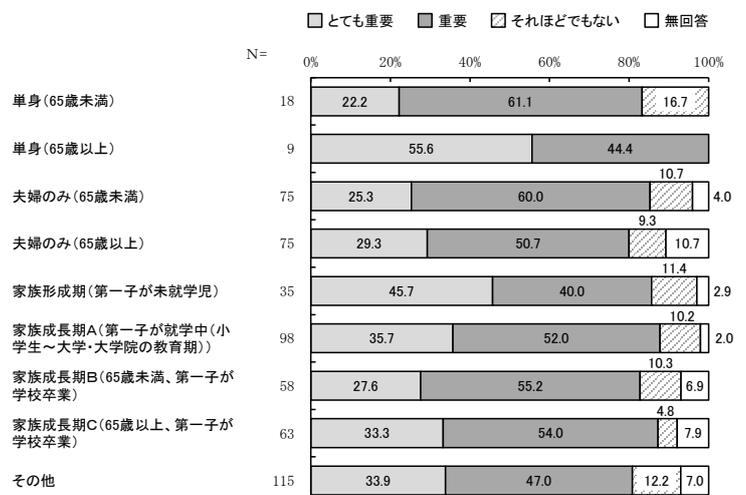
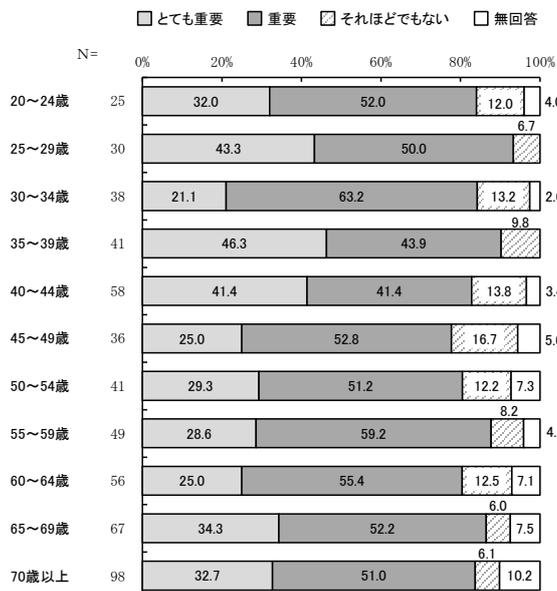


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】



【問2 満足度】

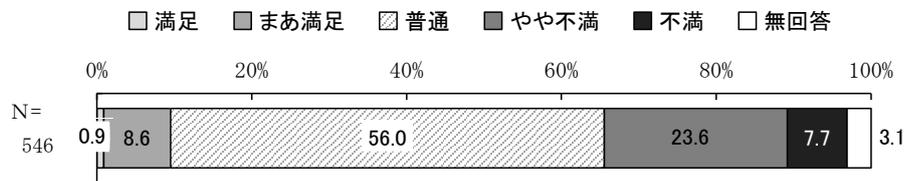
(8) スポーツを習慣にした生活を送る環境の整備

全体でみると、「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合が高く、約3割となっている。

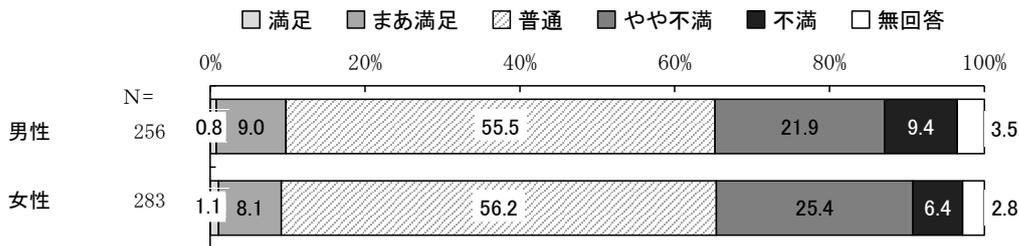
性別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、他の年代に比べ、20～24歳、65～69歳、70歳以上で“満足”の割合が高く、約2割となっている。

ライフステージ別でみると、他に比べ、家族成長期A（第一子が就学中（小学生～大学・大学院の教育期））で“不満”の割合が高く、4割を超えている。

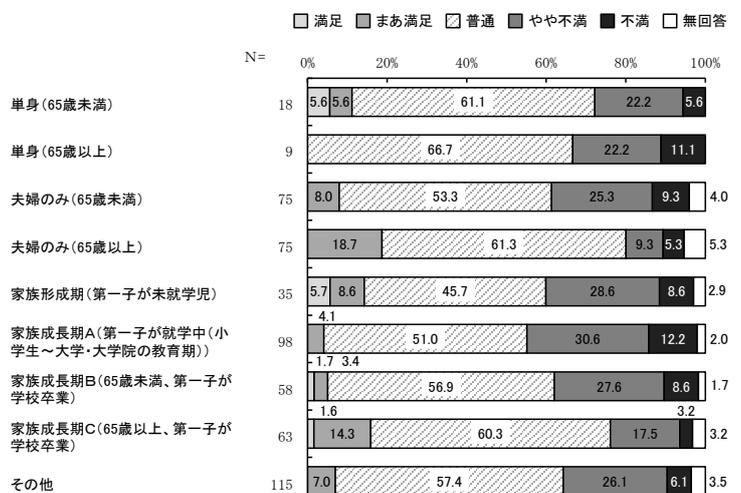
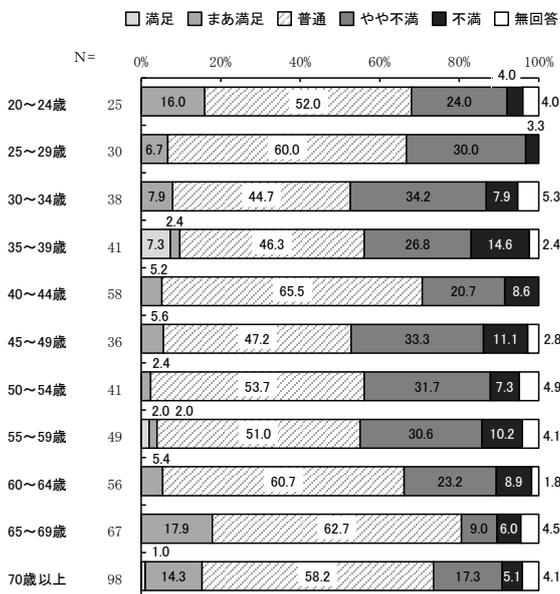


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】



【問2 重要度】

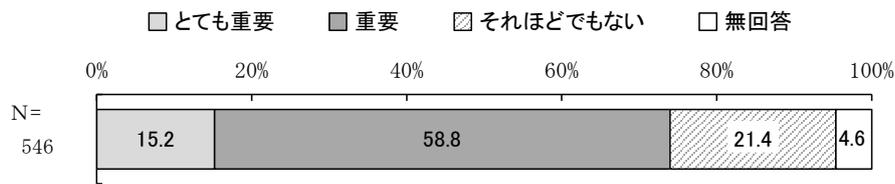
(8) スポーツを習慣にした生活を送る環境の整備

全体でみると、「とても重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が高く、約7割となっている。

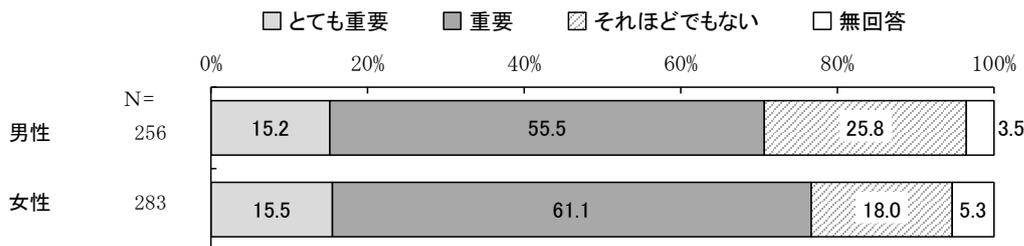
性別でみると、男性に比べ、女性で“重要”の割合が高くなっている。

年代別でみると、他の年代に比べ、35～39歳で“重要”の割合が高く、約9割となっている。

ライフステージ別でみると、他に比べ、家族形成期（第一子が未就学児）で“重要”の割合が高く、8割を超えている。

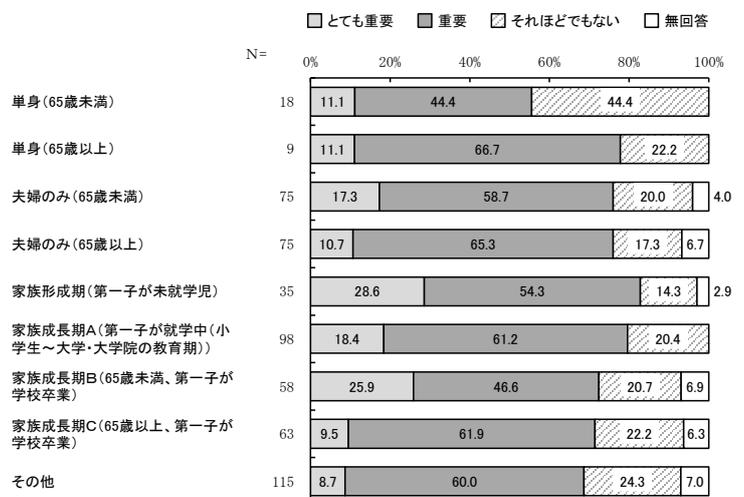
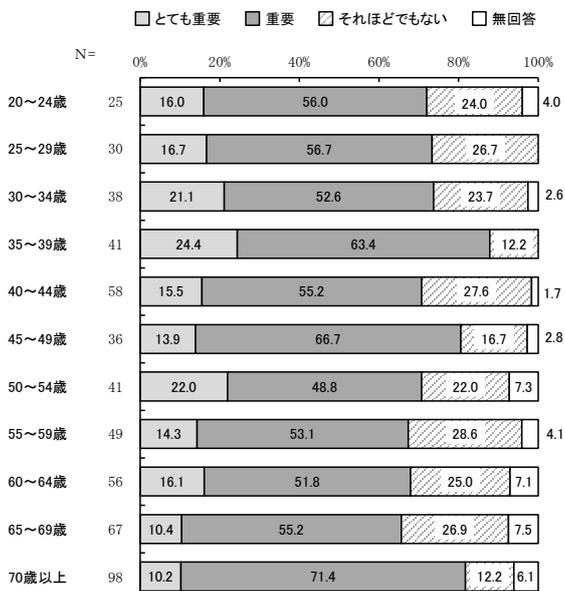


【性別】



【年代別】

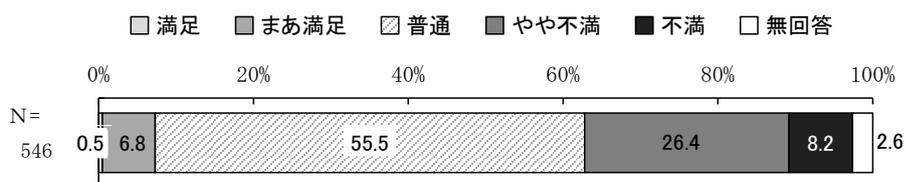
【ライフステージ別】



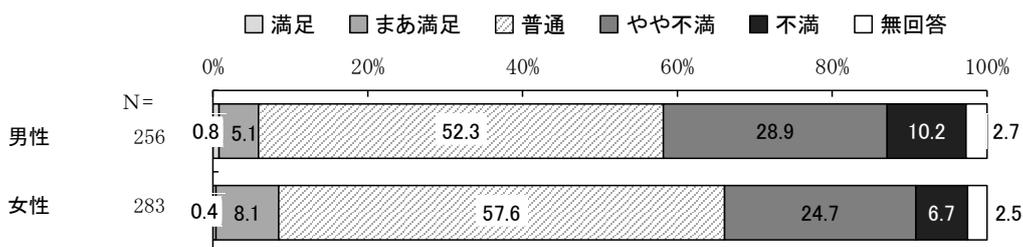
【問2 満足度】

(9) 音楽・伝統文化・史跡や旧跡などの文化に触れる機会の多さ

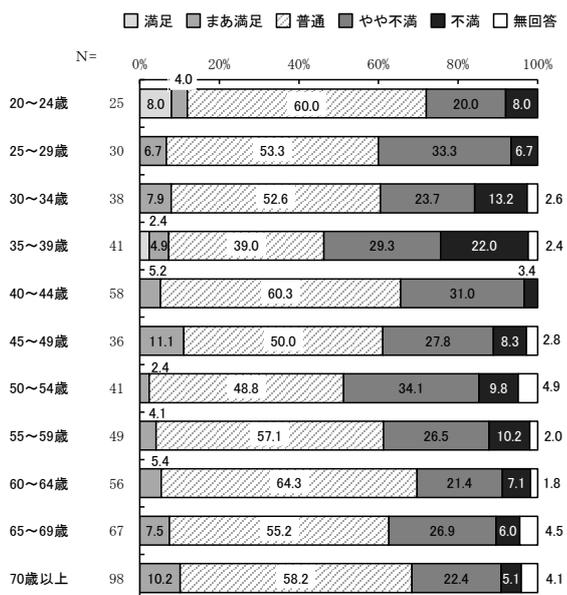
全体でみると、「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合が高く、約3割となっている。  
 性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高くなっている。  
 年代別でみると、他の年代に比べ、35～39歳で“不満”の割合が高く、約5割となっている。  
 居住地区別でみると、他の地区に比べ、深良で“不満”の割合が低く、約2割となっている。



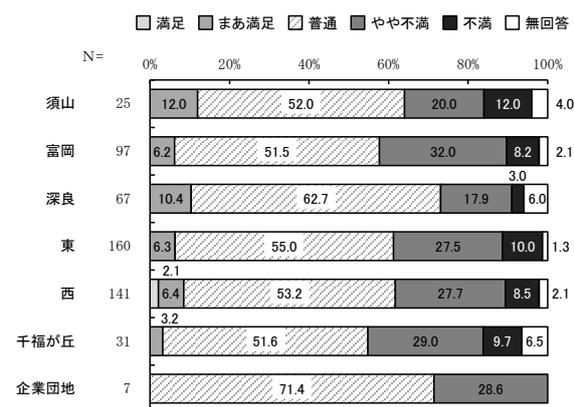
【性別】



【年代別】



【居住地区別】



【問2 重要度】

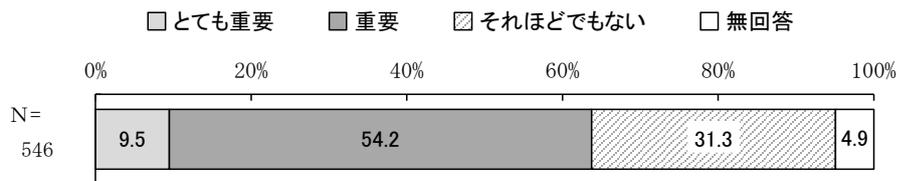
(9) 音楽・伝統文化・史跡や旧跡などの文化に触れる機会の多さ

全体でみると、「とても重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が高く、約6割となっている。

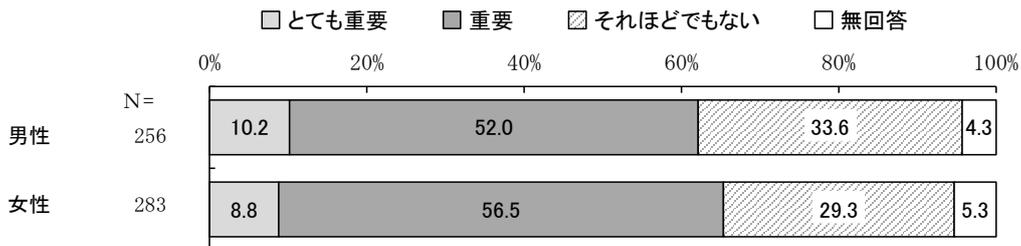
性別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、他の年代に比べ、35～39歳、70歳以上で“重要”の割合が高く、7割を超えている。

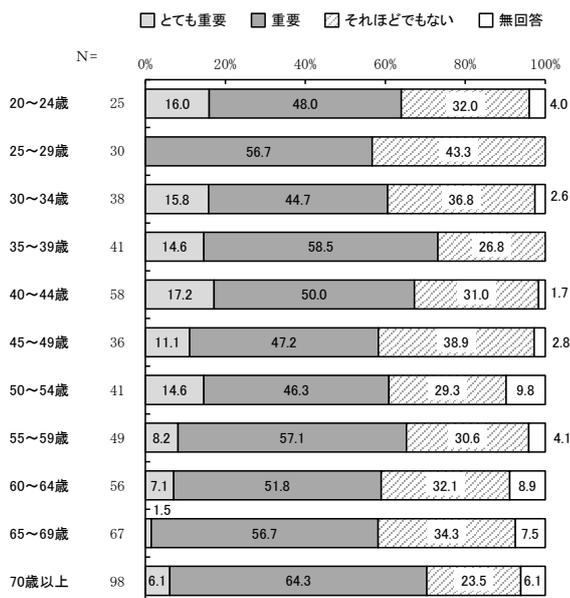
居住地区別でみると、大きな差異はみられない。



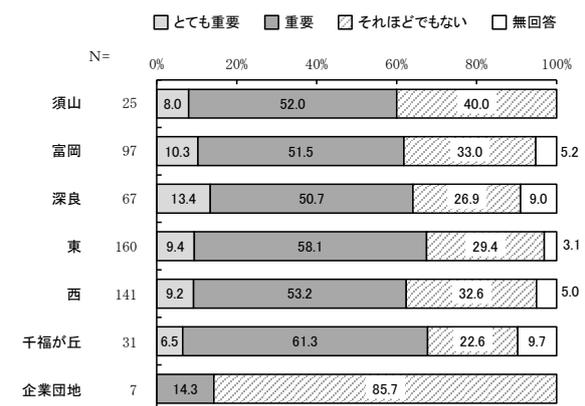
【性別】



【年代別】



【居住地区別】



【問2 満足度】

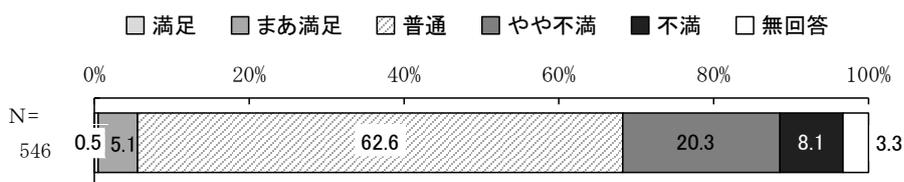
(10) 市民が関わることのできるまちづくり

全体でみると、「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合が高く、約3割となっている。

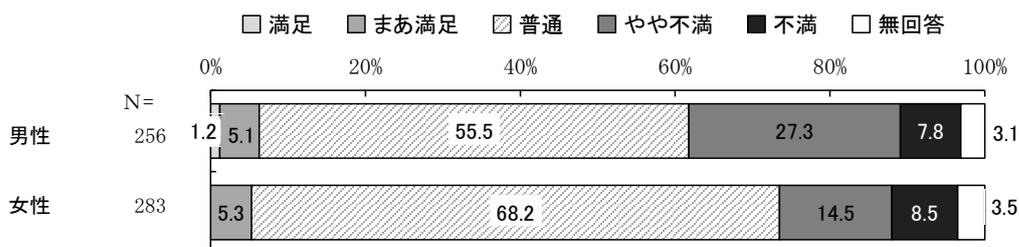
性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高くなっている。

年代別でみると、他の年代に比べ、60～64歳で“不満”の割合が高く、約4割となっている。

ライフステージ別でみると、他に比べ、夫婦のみ（65歳未満）で“不満”の割合が高く、約4割となっている。

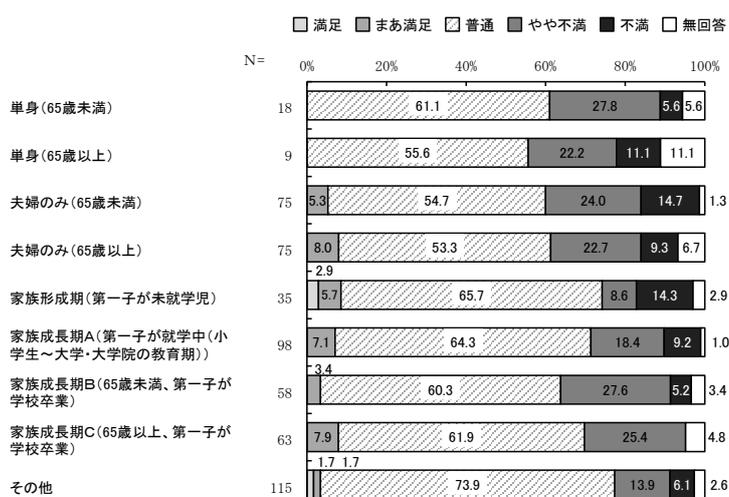
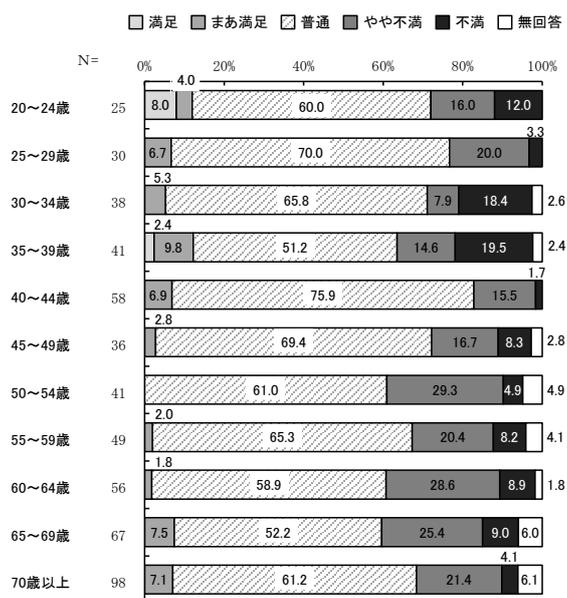


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】



【問2 重要度】

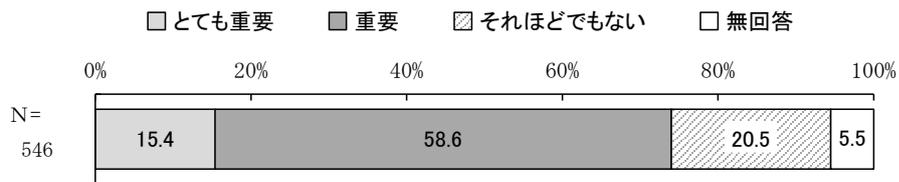
(10) 市民が関わることのできるまちづくり

全体でみると、「とても重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が高く、約7割となっている。

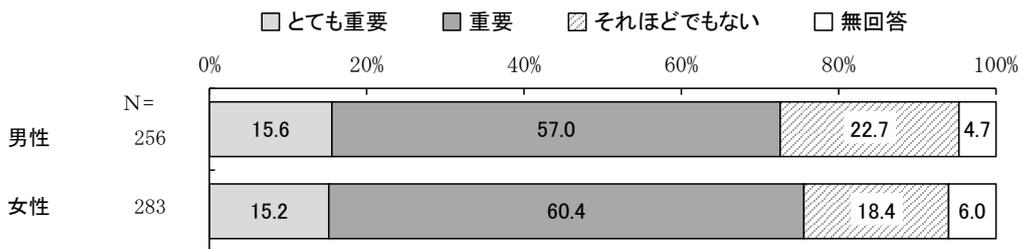
性別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、他の年代に比べ、35～39歳、70歳以上で“重要”の割合が高く、8割を超えている。

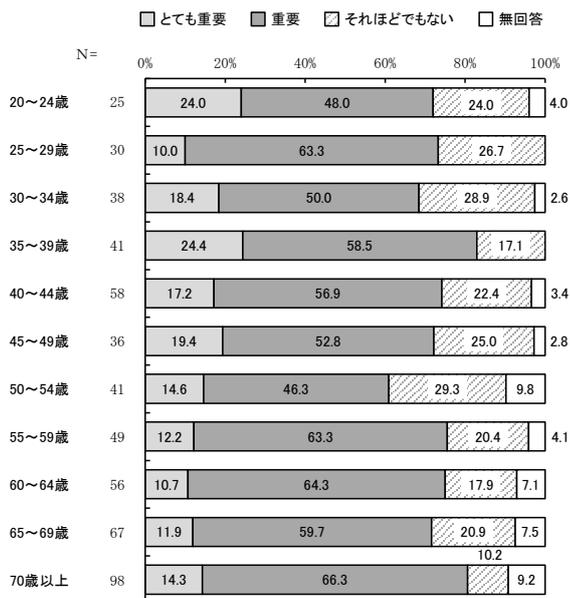
居住地区別でみると、他の地区に比べ、千福が丘で“重要”の割合が低く、約6割となっている。



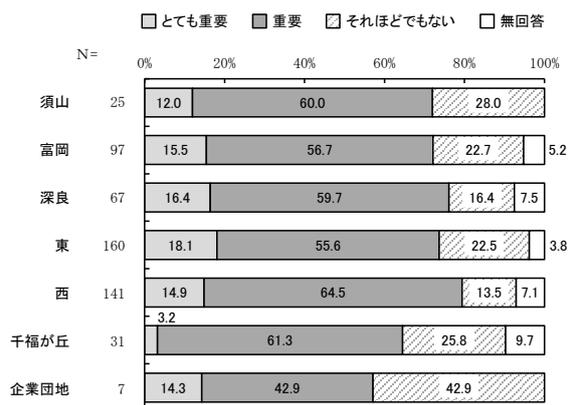
【性別】



【年代別】



【居住地区別】



【問2 満足度】

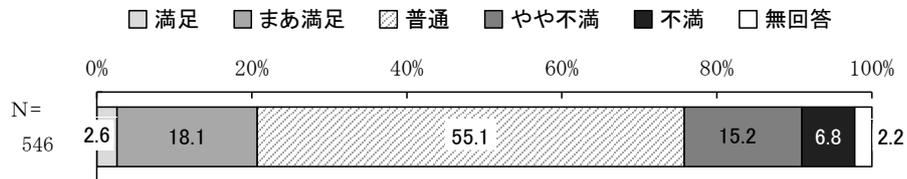
(11) わかりやすく、迅速で丁寧な窓口対応

全体でみると、「満足」と「まあ満足」を合わせた“満足”の割合と、「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合が共に約2割となっている。

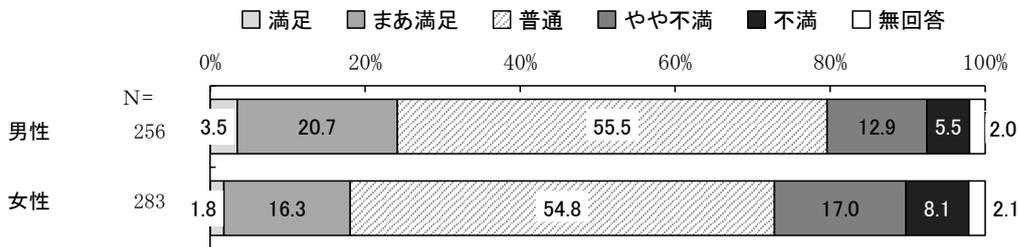
性別でみると、女性に比べ、男性で“満足”の割合が高くなっている。

年代別でみると、他の年代に比べ、20～24歳、70歳以上で“満足”の割合が高く、約4割となっている。一方、55～59歳で“満足”と回答した方はいなかった。

ライフステージ別でみると、他に比べ、家族成長期C（65歳以上、第一子が学校卒業）で“満足”の割合が高く、約4割となっている。

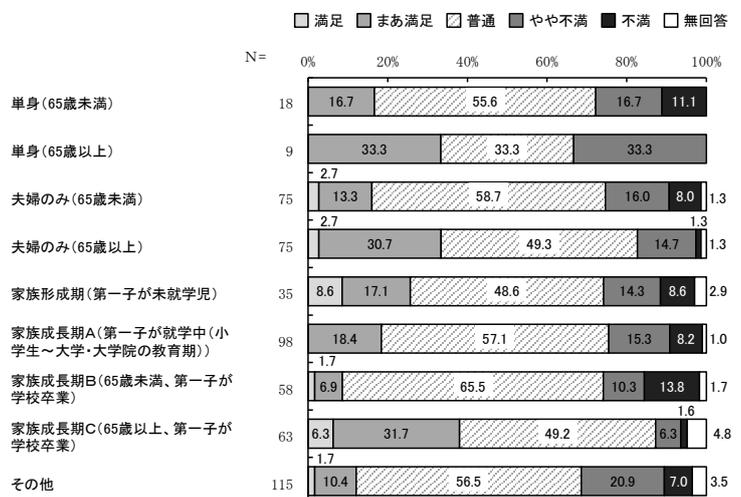
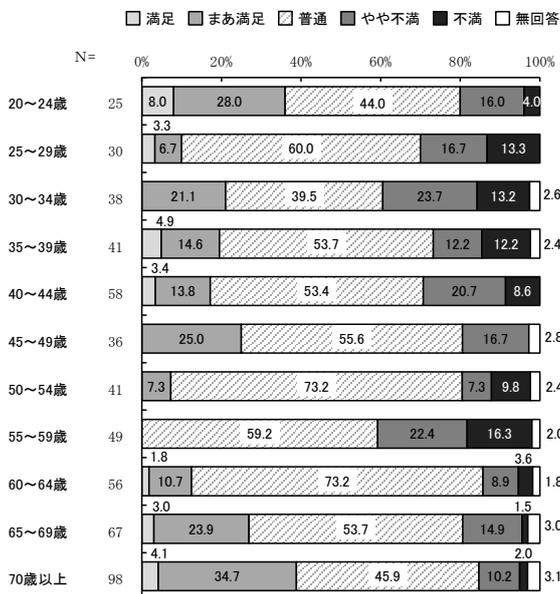


【性別】



【年代別】

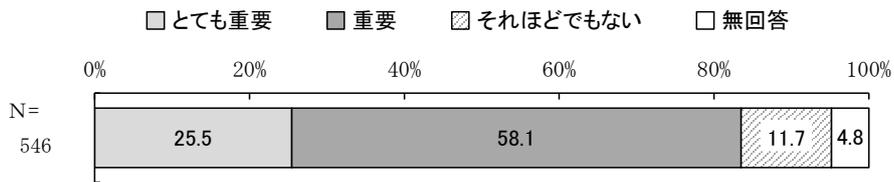
【ライフステージ別】



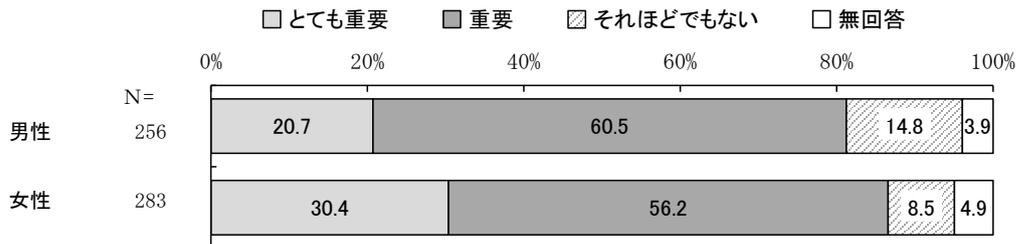
【問2 重要度】

(11) わかりやすく、迅速で丁寧な窓口対応

全体でみると、「とても重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が高く、約8割となっている。  
 性別でみると、男性に比べ、女性で「とても重要」の割合が高く、約3割となっている。  
 年代別でみると、他の年代に比べ、25～29歳、35～39歳で“重要”の割合が高く、9割を超えている。  
 ライフステージ別でみると、他に比べ、家族形成期（第一子が未就学児）で「とても重要」の割合が高く、約5割となっている。

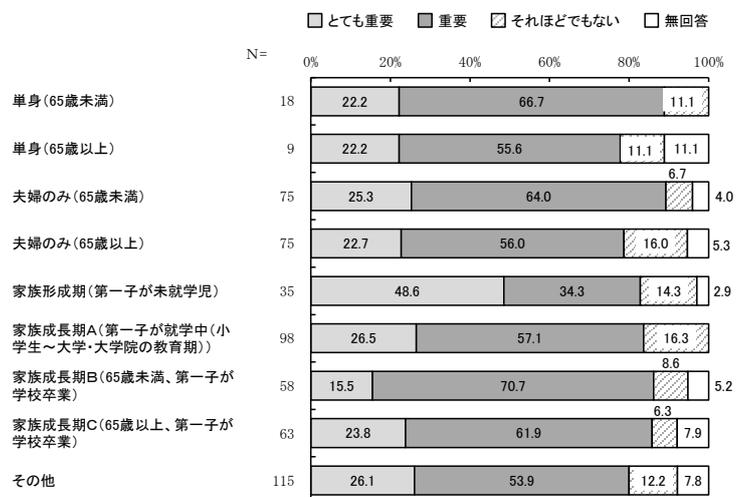
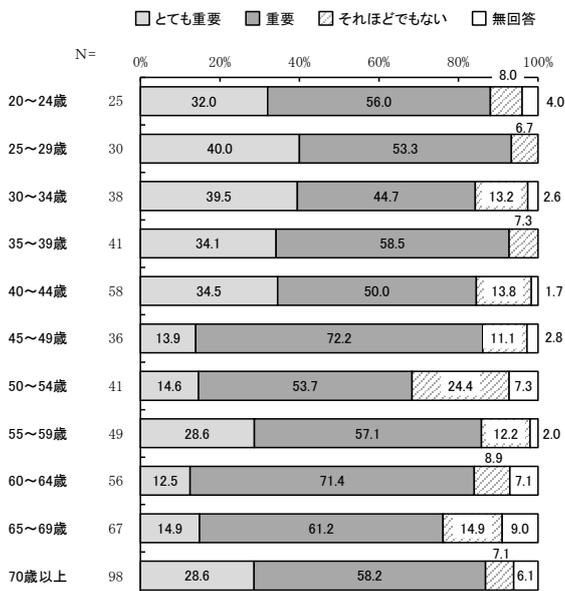


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】



【問2 満足度】

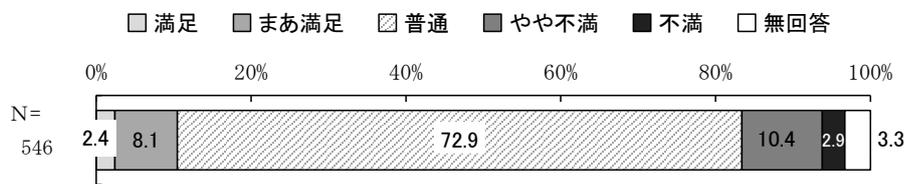
(12) 日常生活や職場での「性別に関わらない平等な環境」

全体でみると、「満足」と「まあ満足」を合わせた“満足”の割合と、「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合が共に約1割となっている。

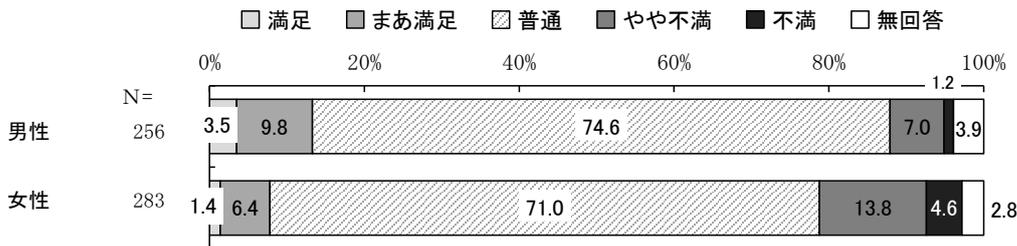
性別でみると、男性に比べ、女性で“不満”の割合が高くなっている。

年代別でみると、55～59歳で“満足”と回答した方はなく、他の年代に比べ、“不満”の割合が高くなっている。

ライフステージ別でみると、他に比べ、夫婦のみ（65歳未満）で“不満”の割合が高く、約2割となっている。

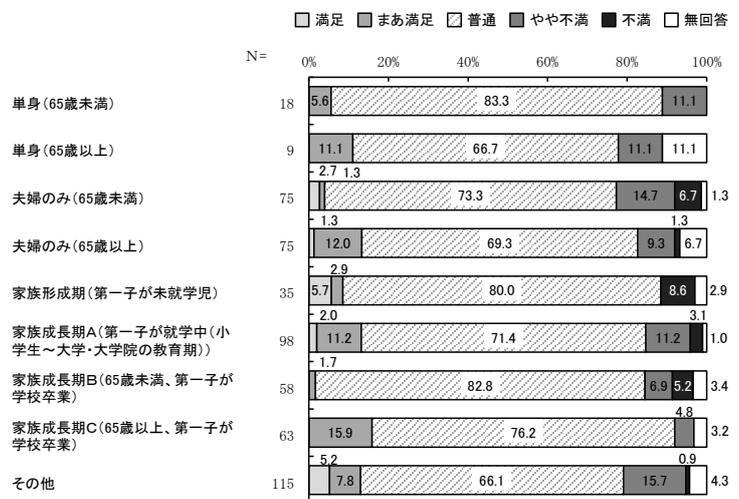
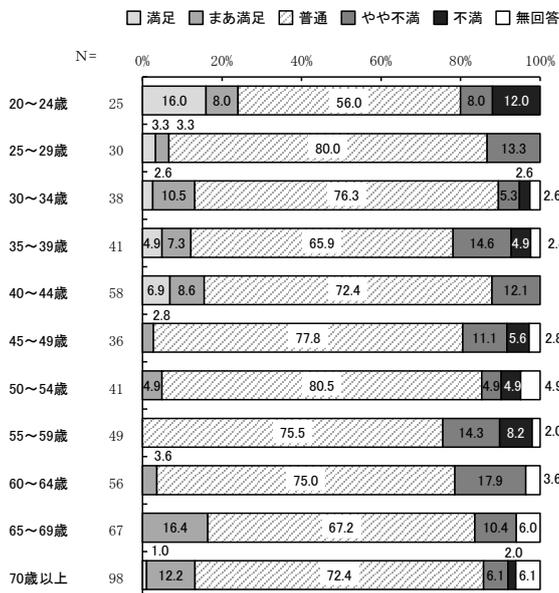


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】



【問2 重要度】

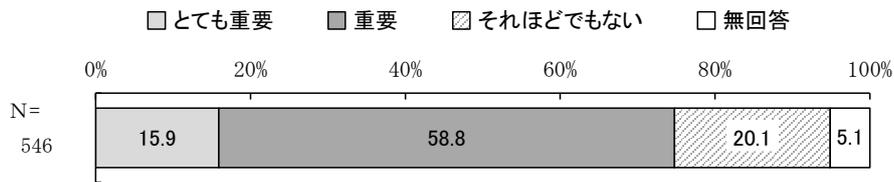
(12) 日常生活や職場での「性別に関わらない平等な環境」

全体でみると、「とても重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が高く、7割を超えている。

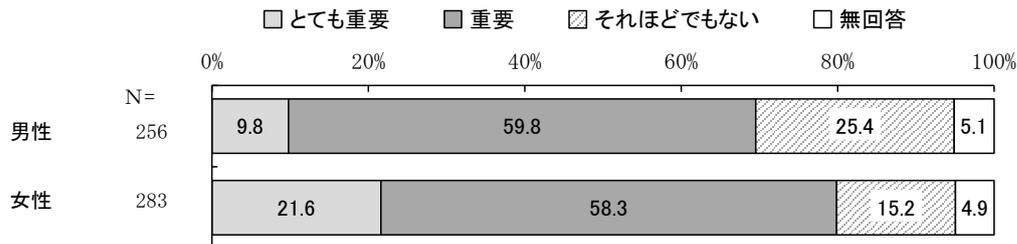
性別でみると、男性に比べ、女性で“重要”の割合が高く、約8割となっている。

年代別でみると、他の年代に比べ、50～54歳で“重要”の割合が低く、約6割となっている。

ライフステージ別でみると、他に比べ、夫婦のみ（65歳未満）、家族成長期C（65歳以上、第一子が学校卒業）で“重要”の割合が高く、8割を超えている。

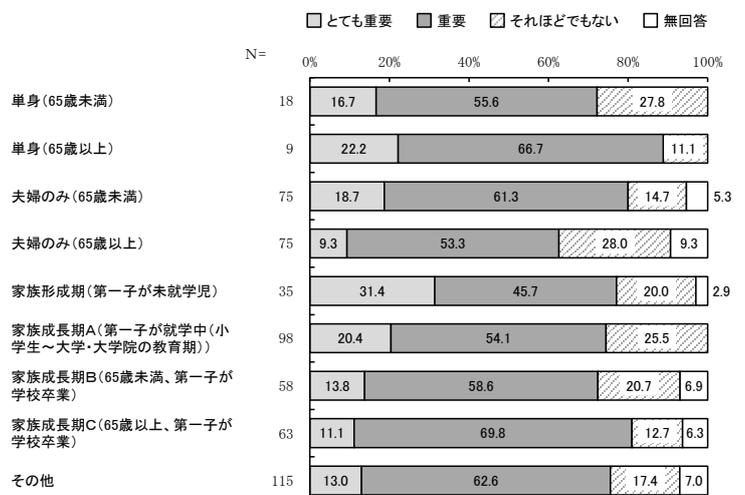
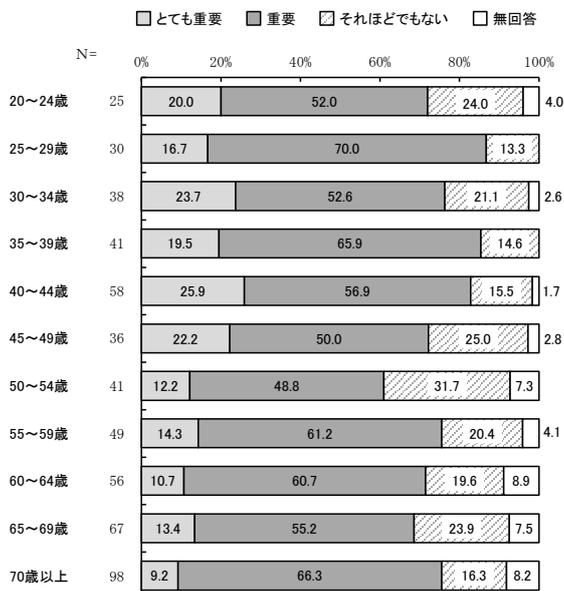


【性別】



【年代別】

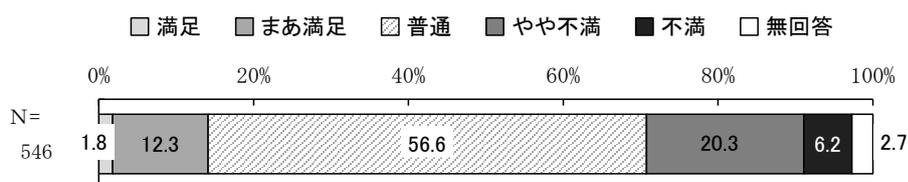
【ライフステージ別】



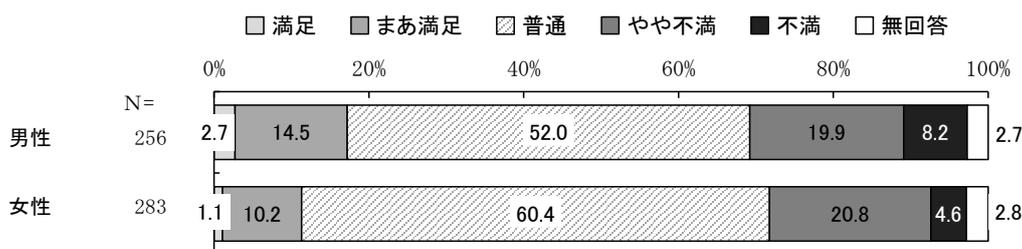
【問2 満足度】

(13) ごみの不法投棄や公害への対策

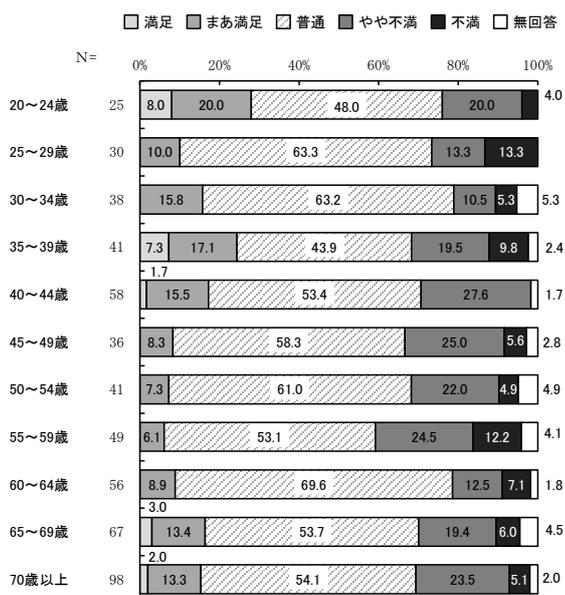
全体でみると、「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合が高く、約3割となっている。  
 性別でみると、女性に比べ、男性で“満足”の割合が高くなっている。  
 年代別でみると、他の年代に比べ、55～59歳で“不満”の割合が高く、約4割となっている。  
 居住地区別でみると、他の地区に比べ、須山で“不満”の割合が高く、約5割となっている。



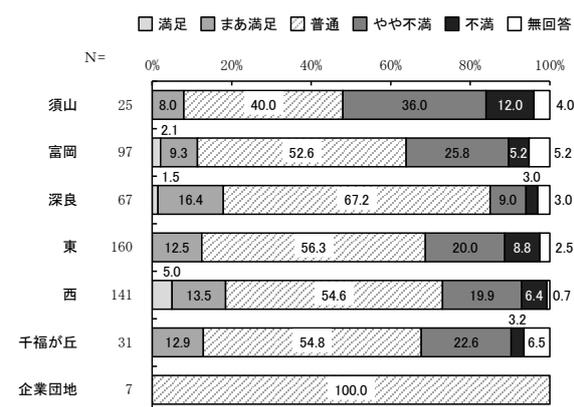
【性別】



【年代別】



【居住地区別】



【問2 重要度】

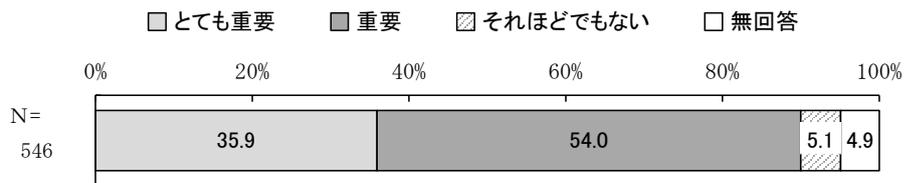
(13) ごみの不法投棄や公害への対策

全体でみると、「とても重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が高く、約9割となっている。

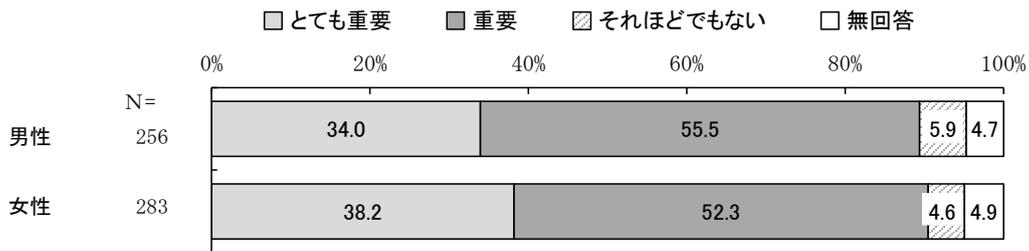
性別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、他の年代に比べ、50～54歳で“重要”の割合が低く、約8割となっている。

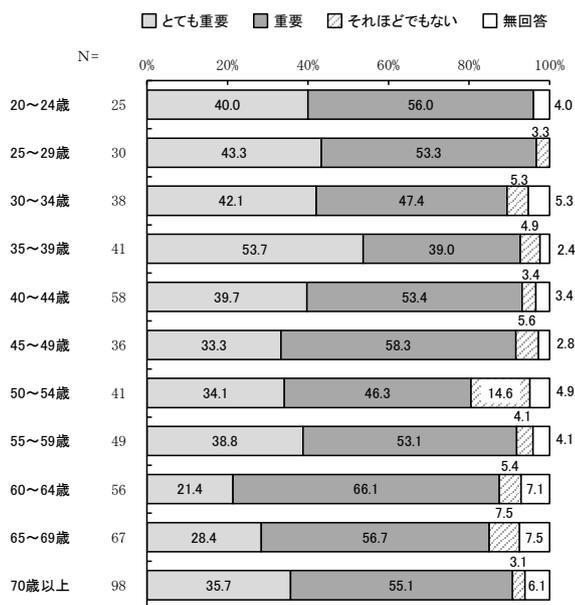
居住地区別でみると、他に地区に比べ、千福が丘で「とても重要」の割合が低く、3割未満となっている。



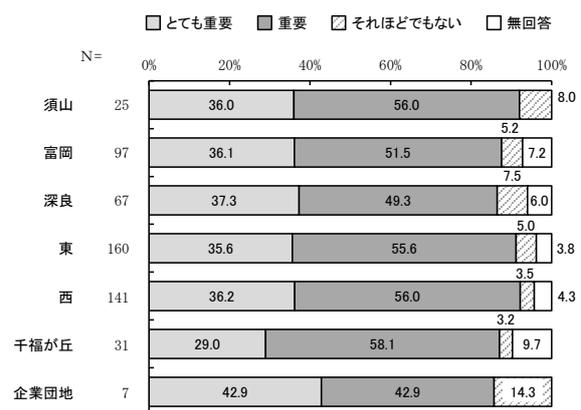
【性別】



【年代別】



【居住地区別】



## 【問2 満足度】

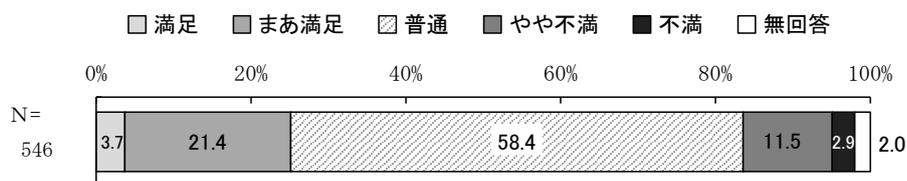
### (14) リサイクルやごみの減量化等の環境に配慮した取り組み

全体でみると、「満足」と「まあ満足」を合わせた“満足”の割合が高く、約3割となっている。

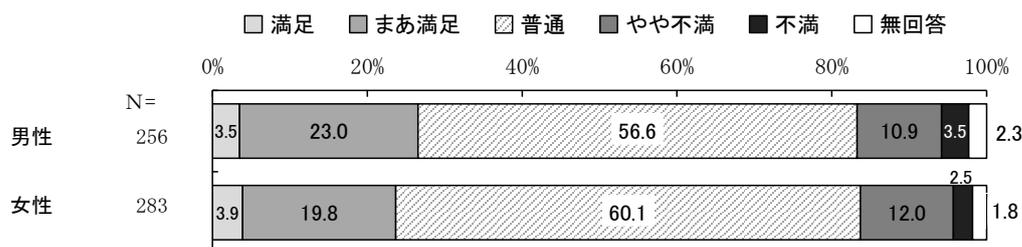
性別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、他の年代に比べ、70歳以上で“満足”の割合が高く、約4割となっている。

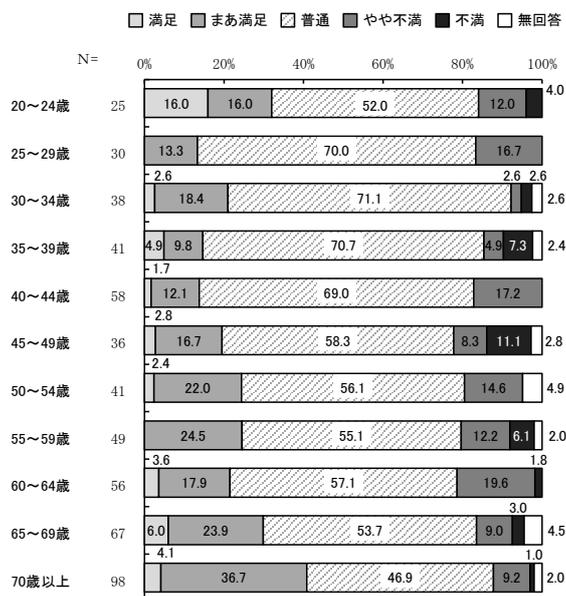
ライフステージ別でみると、他に比べ、家族成長期C（65歳以上、第一子が学校卒業）で“満足”の割合が高く、約4割となっている。



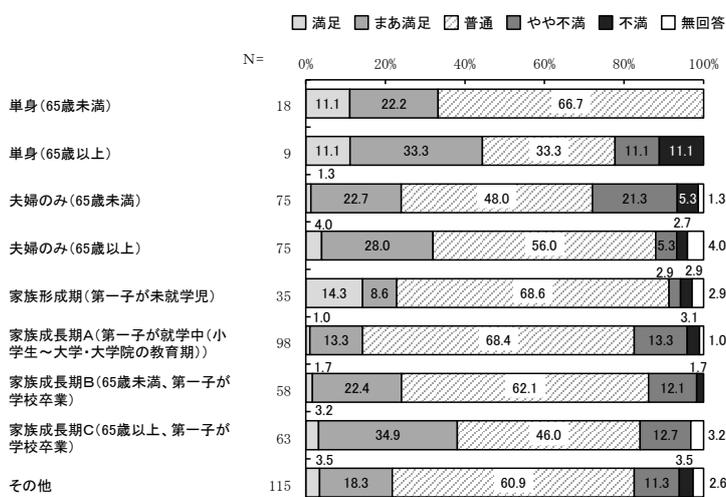
## 【性別】



## 【年代別】



## 【ライフステージ別】



【問2 重要度】

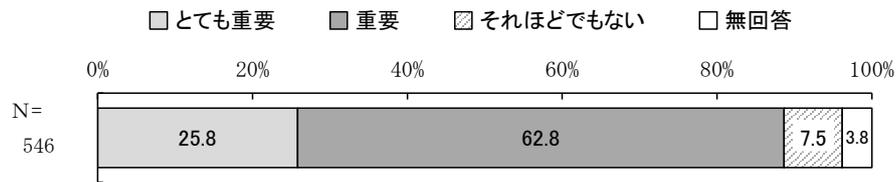
(14) リサイクルやごみの減量化等の環境に配慮した取り組み

全体でみると、「とても重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が高く、約9割となっている。

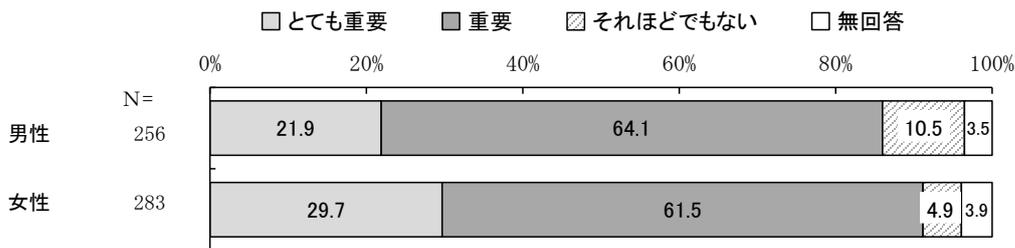
性別でみると、男性に比べ、女性で「とても重要」の割合が高く、約3割となっている。

年代別でみると、他の年代に比べ、45～49歳、50～54歳で“重要”の割合が低く、約8割となっている。

ライフステージ別でみると、他に比べ、単身（65歳未満）、家族成長期B（65歳未満、第一子が学校卒業）で「とても重要」の割合が低く、2割未満となっている。

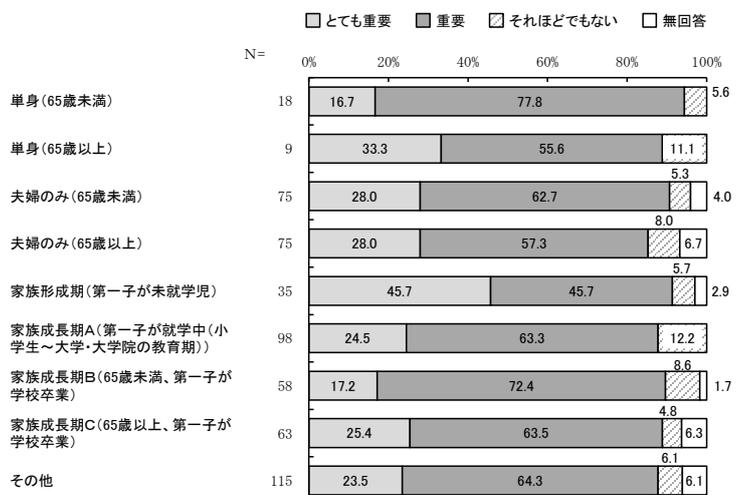
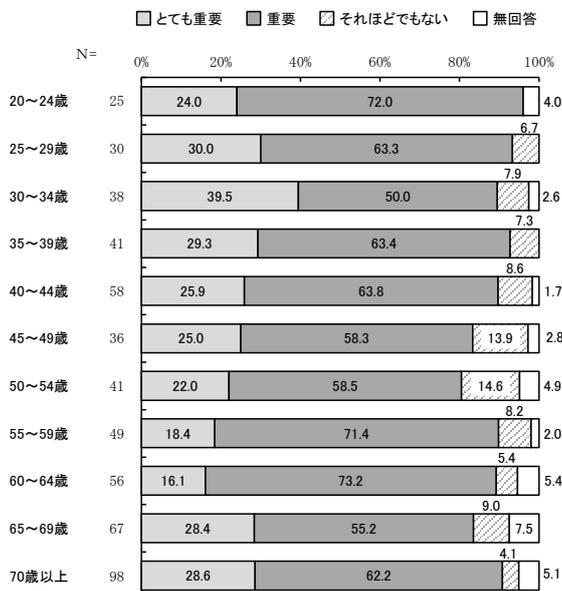


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】



【問2 満足度】

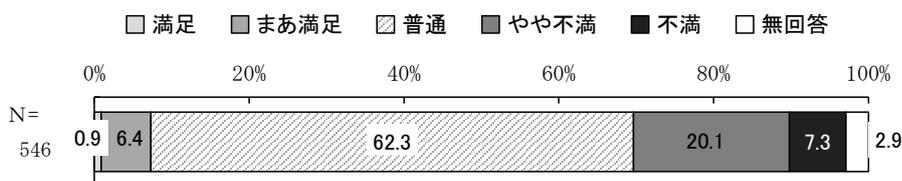
(15) 再生可能エネルギーの導入促進や省エネルギーの実践

全体でみると、「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合が高く、約3割となっている。

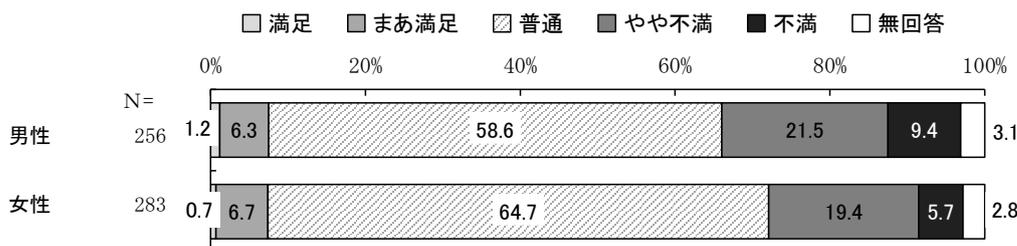
性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高くなっている。

年代別でみると、他の年代に比べ、50～54歳で“不満”の割合が高く、4割を超えている。

ライフステージ別でみると、他に比べ、家族成長期B（65歳未満、第一子学校卒業）で“不満”の割合が高く、約4割となっている。

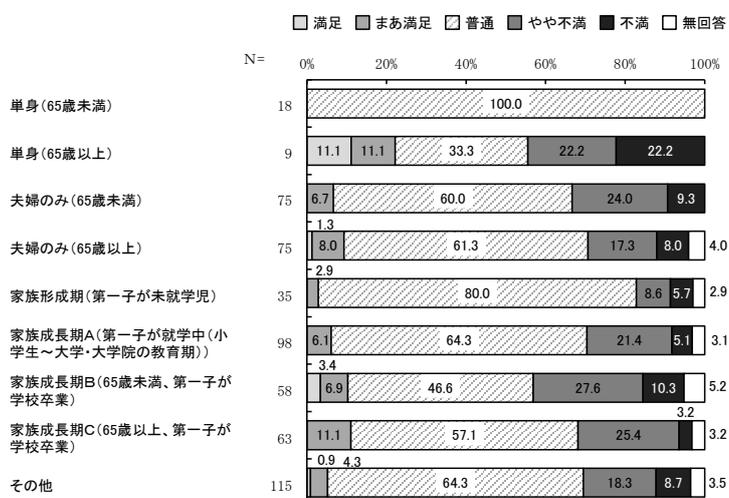
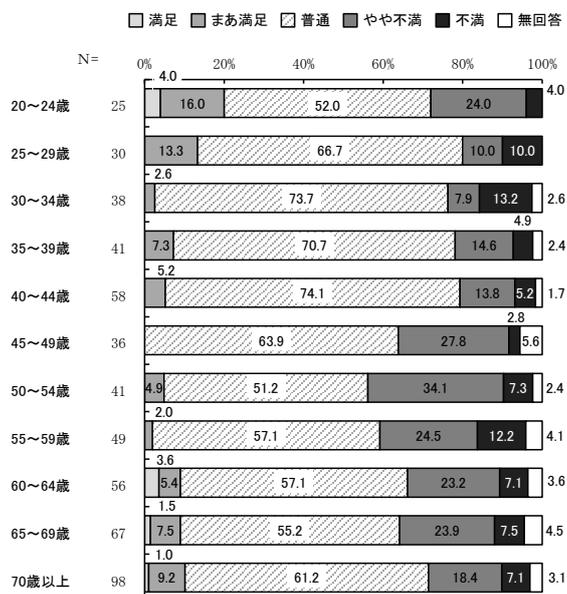


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】



【問2 重要度】

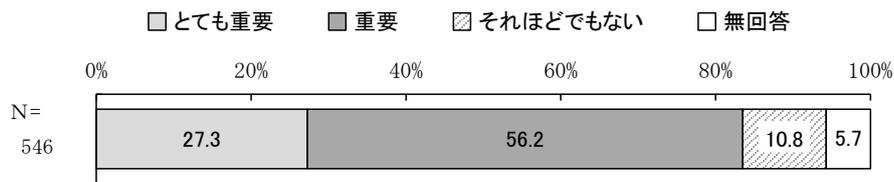
(15) 再生可能エネルギーの導入促進や省エネルギーの実践

全体でみると、「とても重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が高く、約8割となっている。

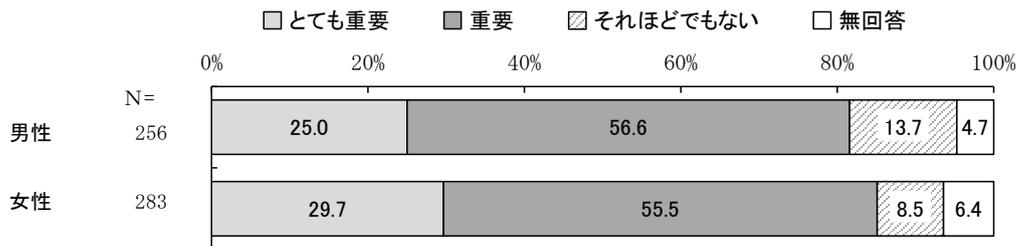
性別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、他の年代に比べ、20～24歳、25～29歳で“重要”の割合が高く、9割を超えている。

ライフステージ別でみると、大きな差異はみられない。

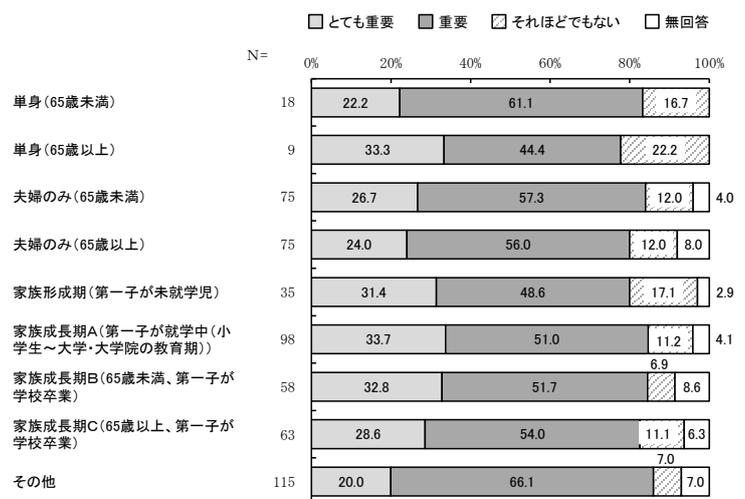
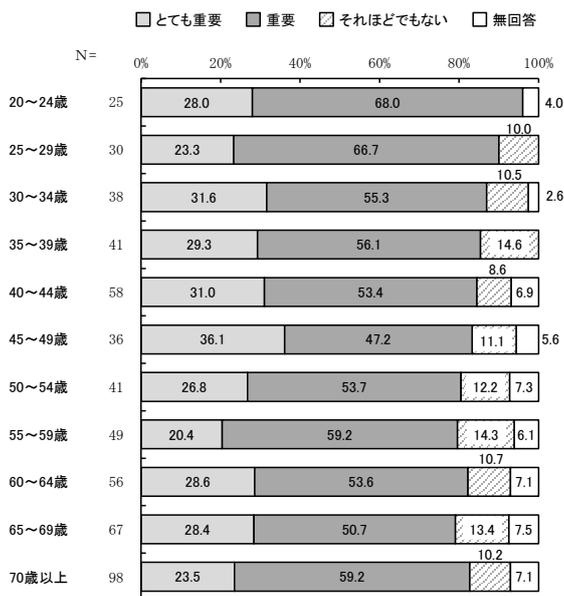


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】



【問2 満足度】

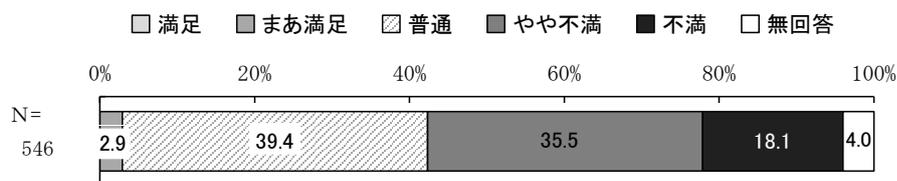
(16) 市内の土地利用のバランスの良さ

全体でみると、「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合が高く、約5割となっている。一方、「満足」と回答した方はいなかった。

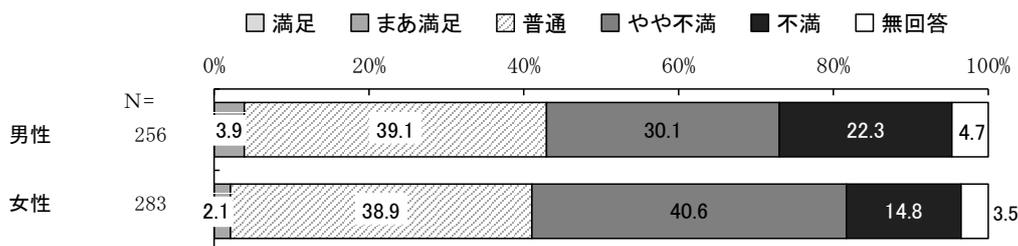
性別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、他の年代に比べ、55～59歳、65～69歳で“不満”の割合が高く、6割を超えている。

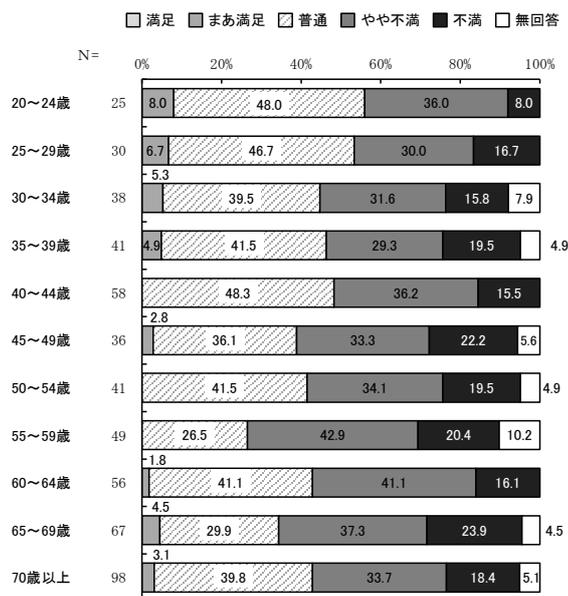
居住地区別でみると、他の地区に比べ、須山で“不満”の割合が高く、7割を超えている。



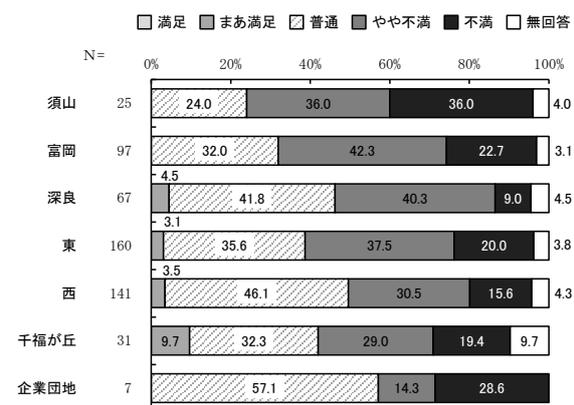
【性別】



【年代別】



【居住地区別】



【問2 重要度】

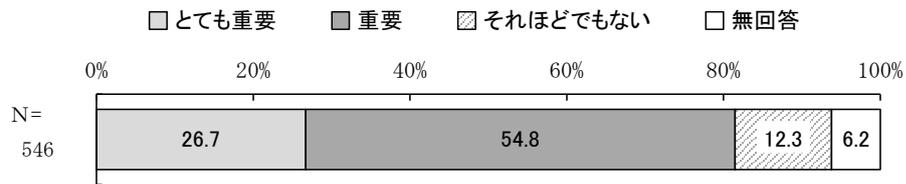
(16) 市内の土地利用のバランスの良さ

全体でみると、「とても重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が高く、約8割となっている。

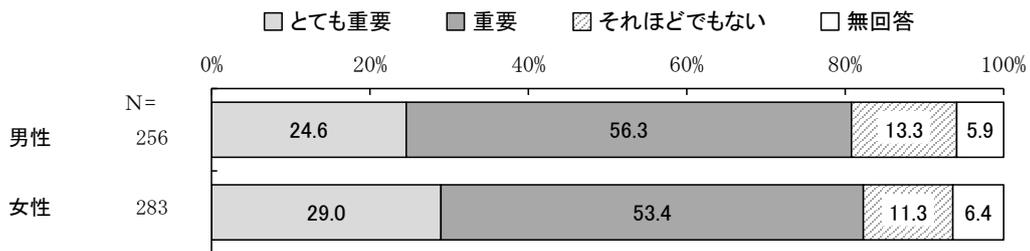
性別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、他の年代に比べ、25～29歳、35～39歳、40～44歳で“重要”の割合が高く、9割を超えている。

居住地区別でみると、他の地区に比べ、千福が丘で“重要”の割合が低く、2割未満となっている。

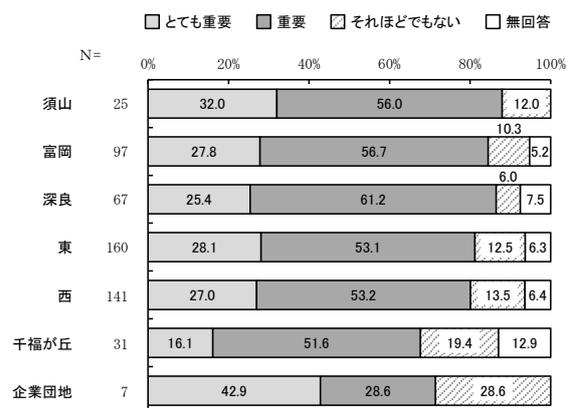
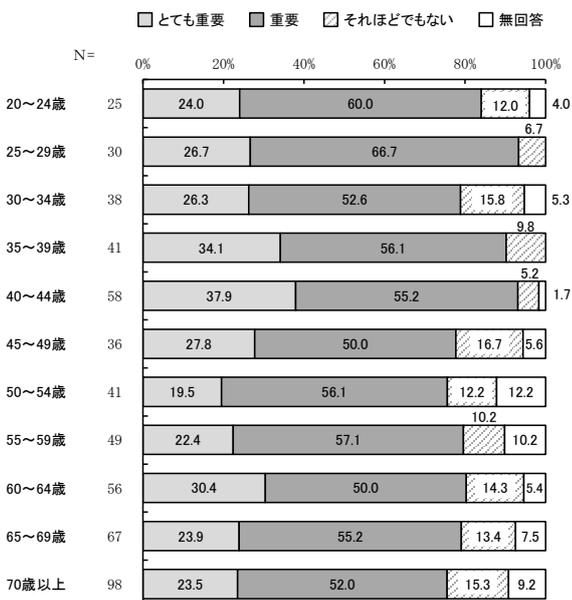


【性別】



【年代別】

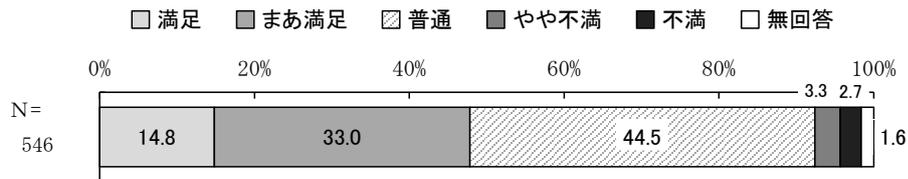
【居住地区別】



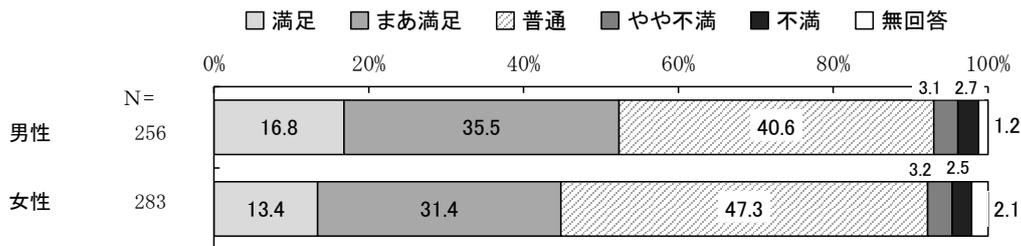
【問2 満足度】

(17) 豊かで良質な水道水の確保

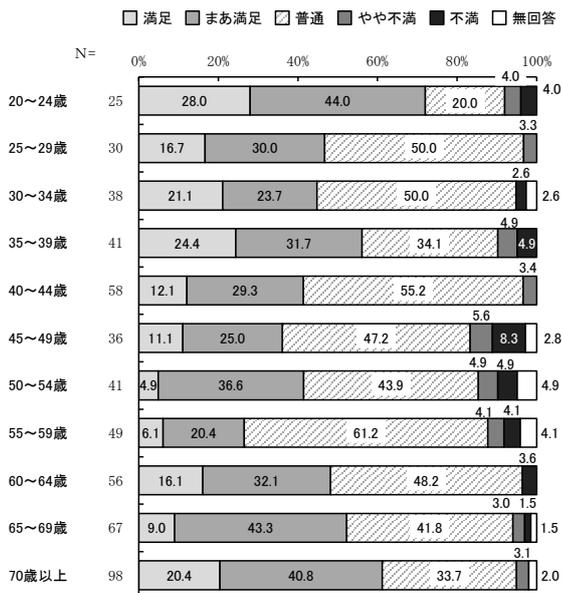
全体でみると、「満足」と「まあ満足」を合わせた“満足”の割合が高く、約5割となっている。  
 性別でみると、女性に比べ、男性で“満足”の割合が高く、5割を超えている。  
 年代別でみると、他の年代に比べ、20～24歳で“満足”の割合が高く、7割を超えている。  
 居住地区別でみると、他の地区に比べ、深良で“満足”の割合が高く、約6割となっている。



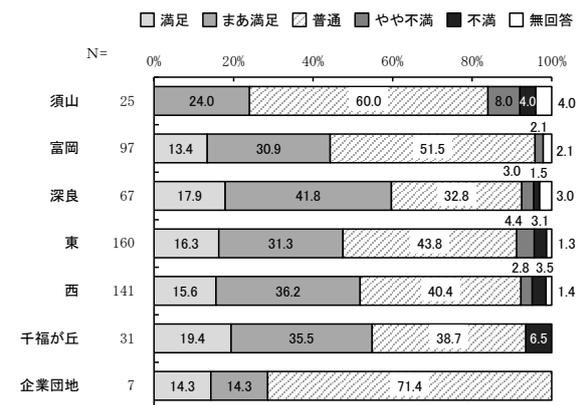
【性別】



【年代別】



【居住地区別】



【問2 重要度】

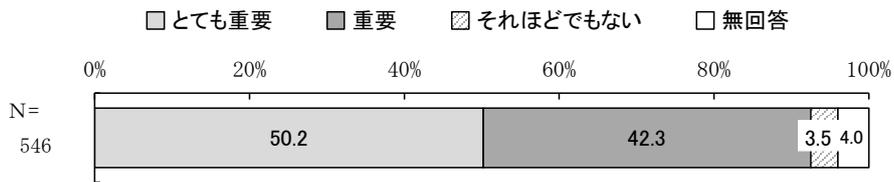
(17) 豊かで良質な水道水の確保

全体でみると、「とても重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が高く、約9割となっている。

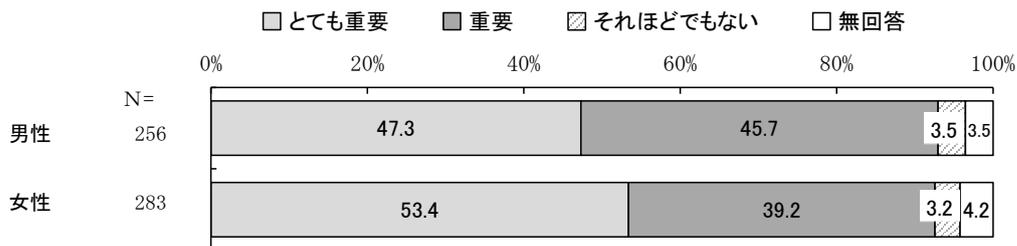
性別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、他の年代に比べ、55～59歳で「とても重要」の割合が低く、4割未満となっている。

ライフステージ別でみると、他に比べ、家族形成期（第一子が未就学児）で「とても重要」の割合が高く、6割を超えている。

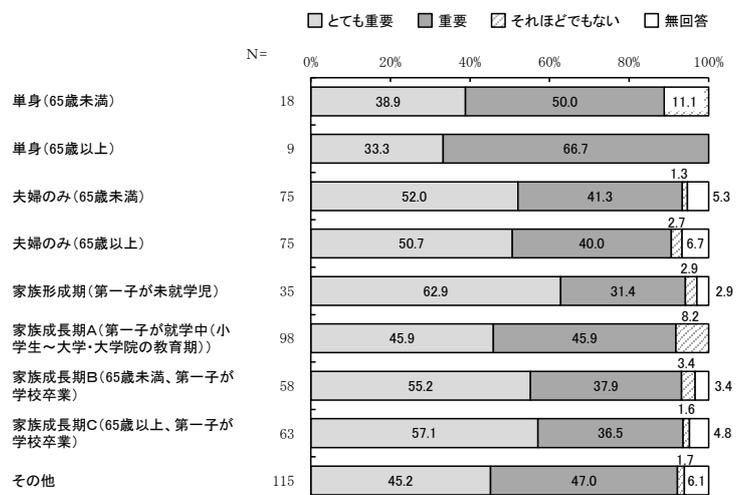
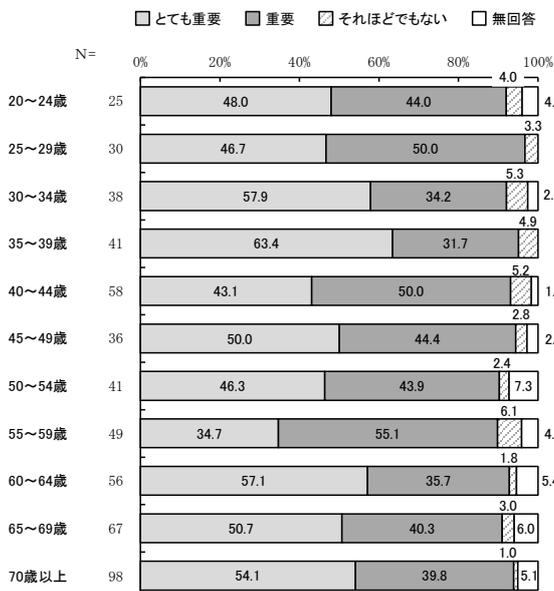


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】



## 【問2 満足度】

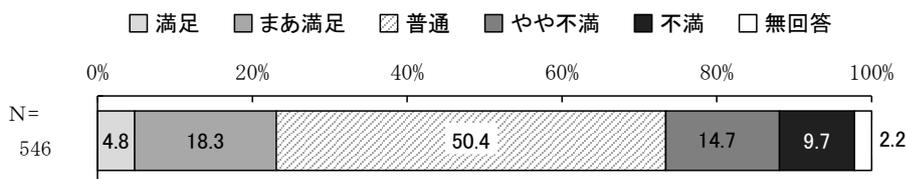
### (18) 衛生的で快適な下水道の整備状況

全体でみると、「満足」と「まあ満足」を合わせた“満足”の割合と、「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合が共に約2割となっている。

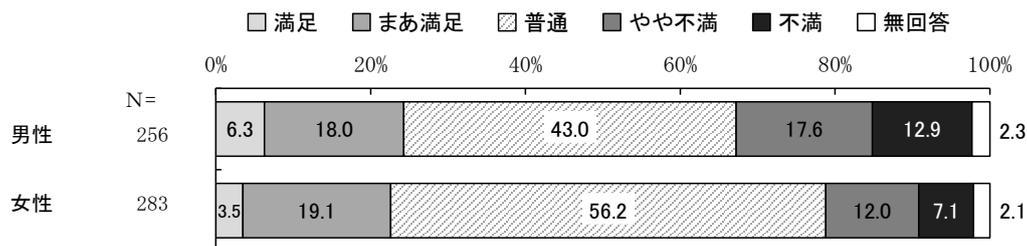
性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高く、約3割となっている。

年代別でみると、他の年代に比べ、20～24歳で“満足”の割合が高く、4割を超えている。

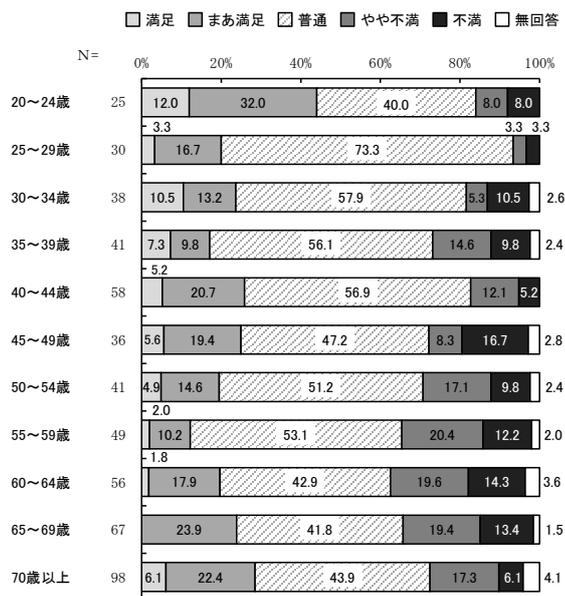
居住地区別でみると、他の地区に比べ、西で“満足”の割合が高く、“不満”の割合が低くなっている。



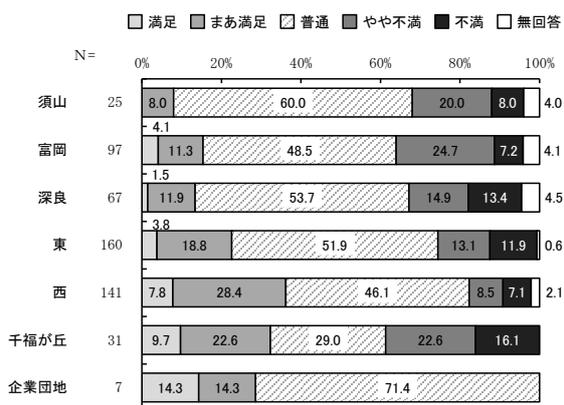
## 【性別】



## 【年代別】



## 【居住地区別】



【問2 重要度】

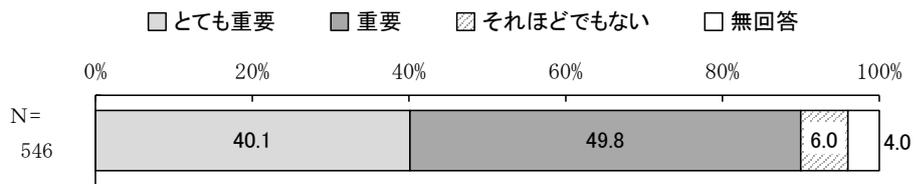
(18) 衛生的で快適な下水道の整備状況

全体でみると、「とても重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が高く、約9割となっている。

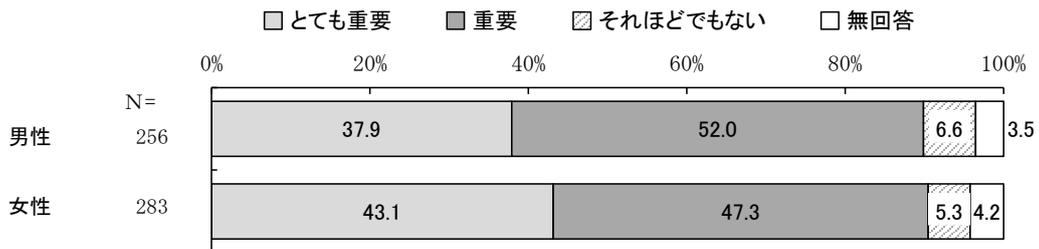
性別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、他の年代に比べ、45～49歳、50～54歳で“重要”の割合が低く、約8割となっている。

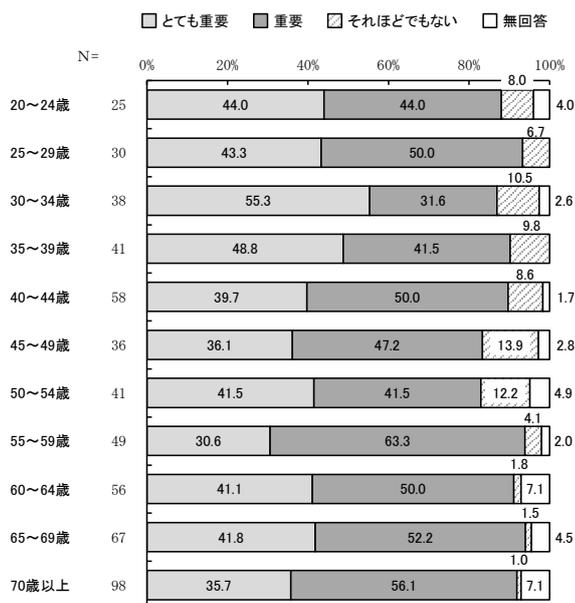
居住地区別でみると、他の地区に比べ、須山で「とても重要」の割合が低く、2割となっている。



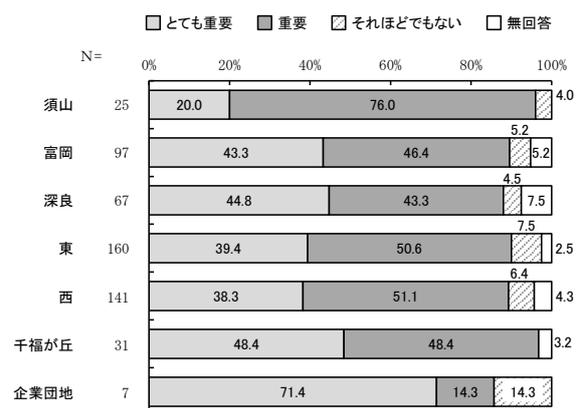
【性別】



【年代別】



【居住地区別】



【問2 満足度】

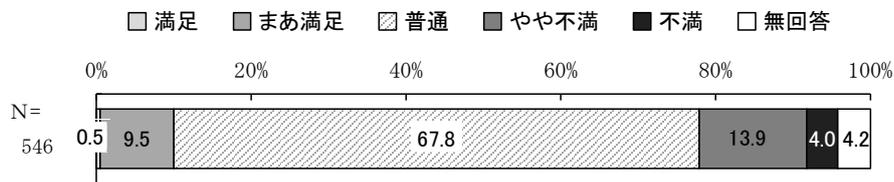
(19) 工業を中心とした産業の活性化

全体でみると、「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合が高く、約2割となっている。

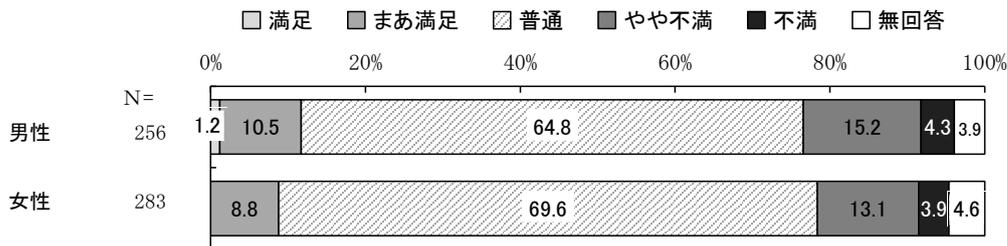
性別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、他の年代に比べ、20～24歳で“満足”の割合が高く、2割となっている。一方、50～54歳で“満足”と回答した方はいなかった。

ライフステージ別でみると、他に比べ、単身（65歳未満）、夫婦のみ（65歳以上）、家族成長期C（65歳以上、第一子が学校卒業）で“不満”の割合が低く、約1割となっている。

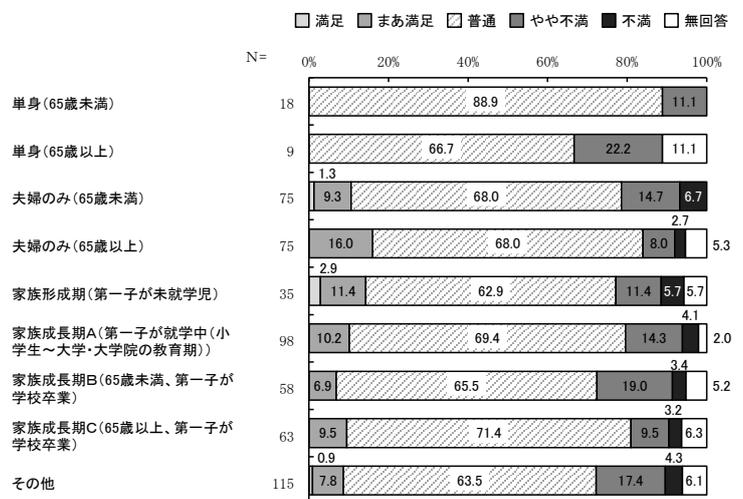
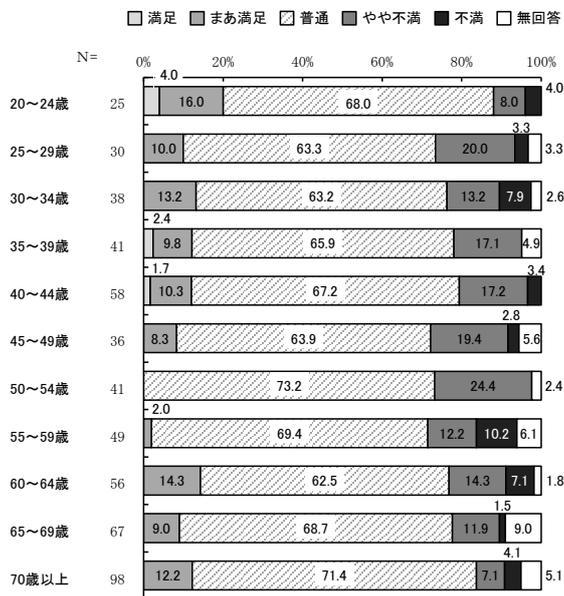


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】



【問2 重要度】

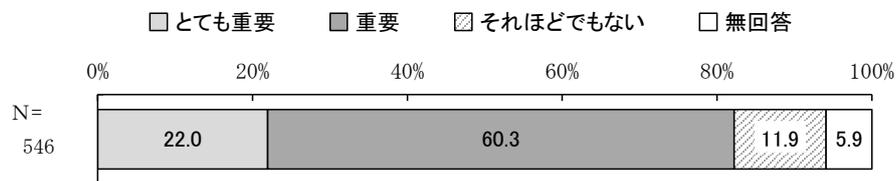
(19) 工業を中心とした産業の活性化

全体でみると、「とても重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が高く、約8割となっている。

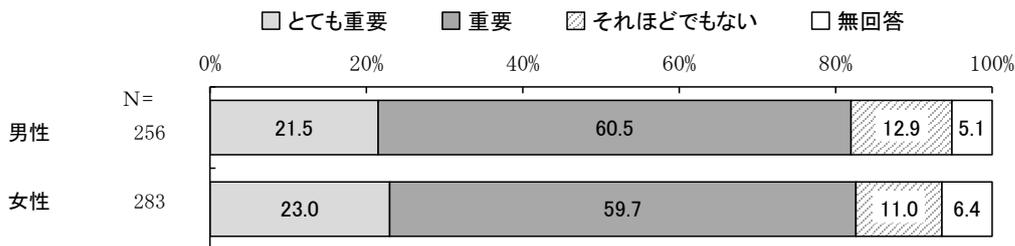
性別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、他の年代に比べ、25～29歳、40～44歳、45～49歳で“重要”の割合が高く、約9割となっている。

ライフステージ別でみると、他に比べ、夫婦のみ（65歳未満）、家族成長期A（第一子が就学中（小学生～大学・大学院の教育期））で“重要”の割合が高く、約9割となっている。

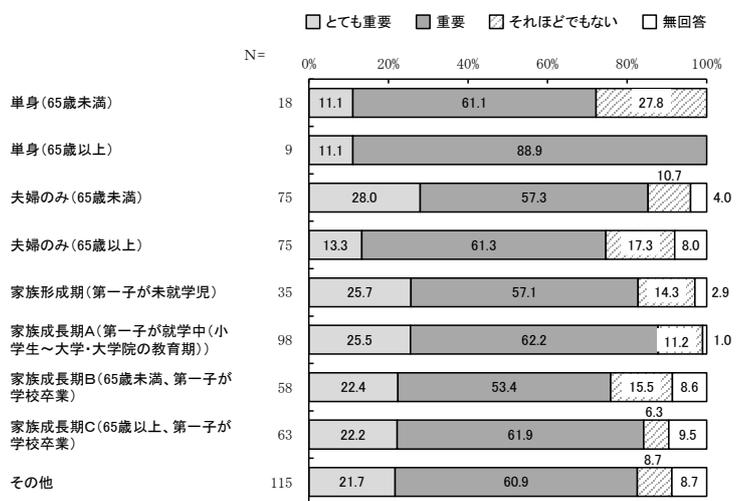
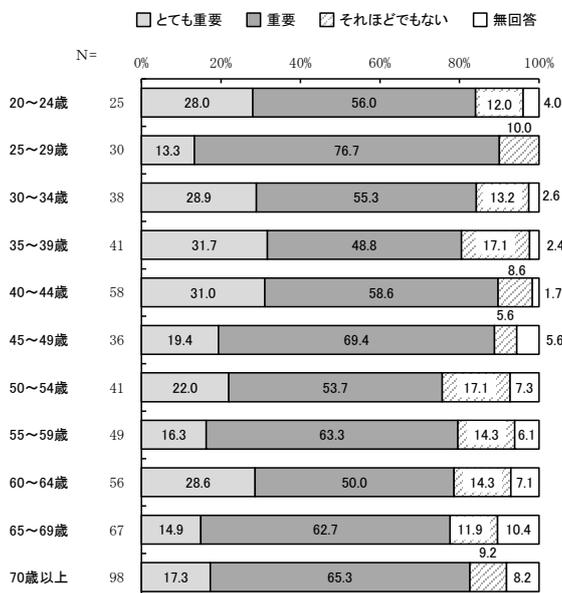


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】



【問2 満足度】

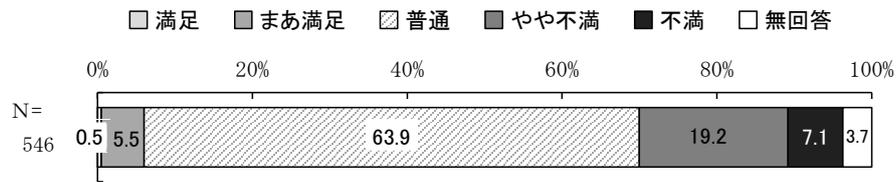
(20) 農地利用や農業の活性化を目指した、農林業の推進

全体でみると、「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合が高く、約3割となっている。

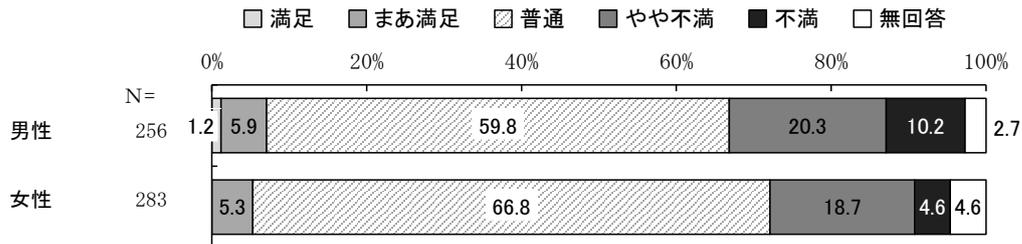
性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高く、約3割となっている。

年代別でみると、他の年代に比べ、65～69歳で“不満”の割合が高く、約4割となっている。

ライフステージ別でみると、他に比べ、家族成長期B（65歳未満、第一子が学校卒業）、家族成長期C（65歳以上、第一子が学校卒業）で“不満”の割合が高く、3割を超えている。

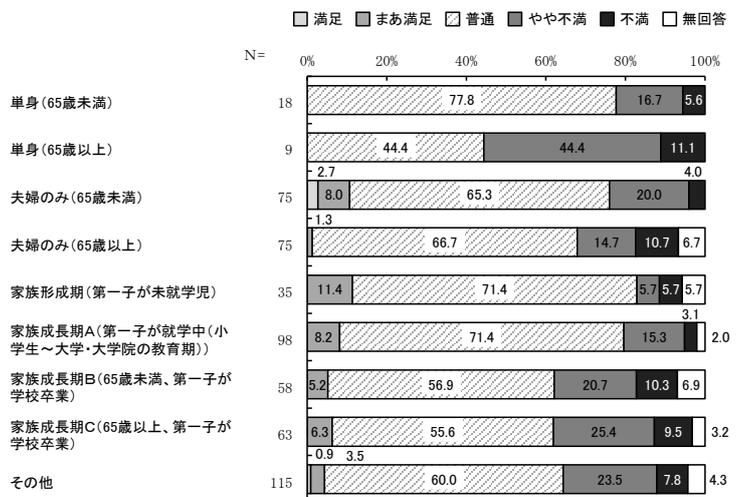
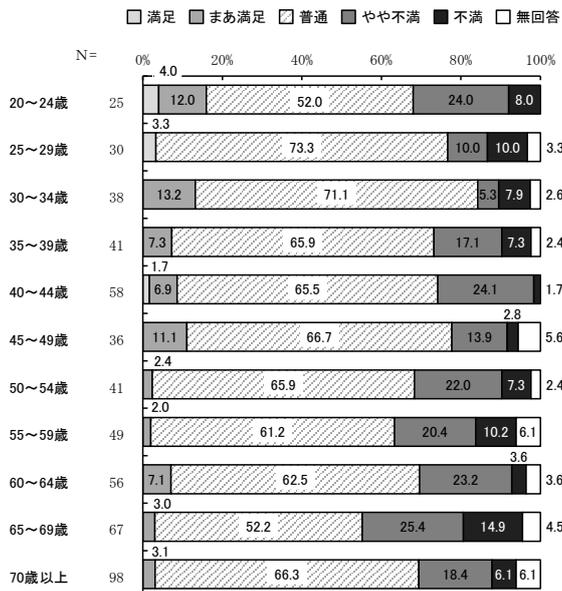


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】



【問2 重要度】

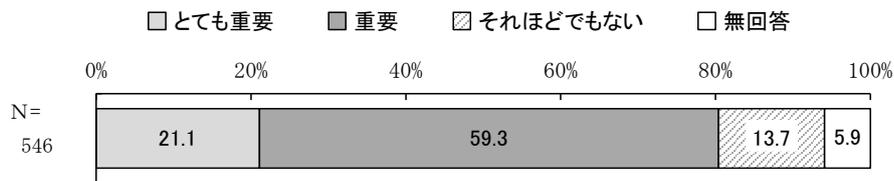
(20) 農地利用や農業の活性化を目指した、農林業の推進

全体でみると、「とても重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が高く、約8割となっている。

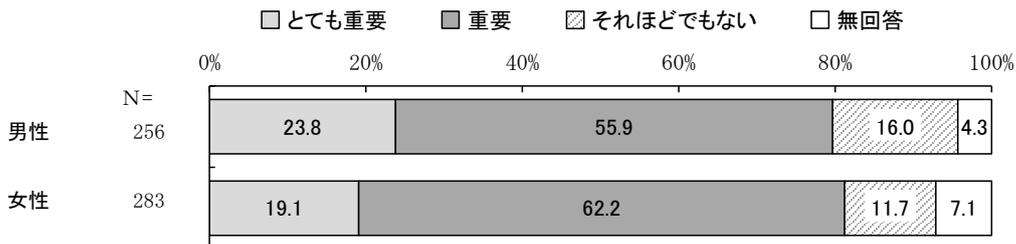
性別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、他の年代に比べ、20～24歳、25～29歳で“重要”の割合が高く、9割を超えている。

ライフステージ別でみると、他に比べ、家族成長期B（65歳未満、第一子が学校卒業）で「とても重要」の割合が高く、約3割となっている。

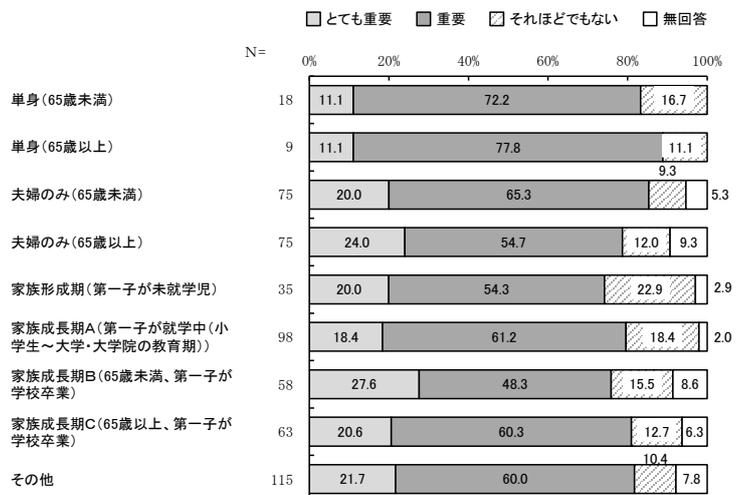
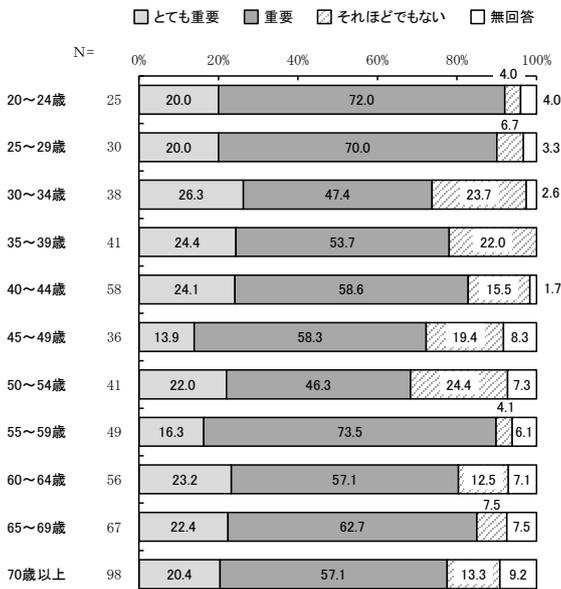


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】



【問2 満足度】

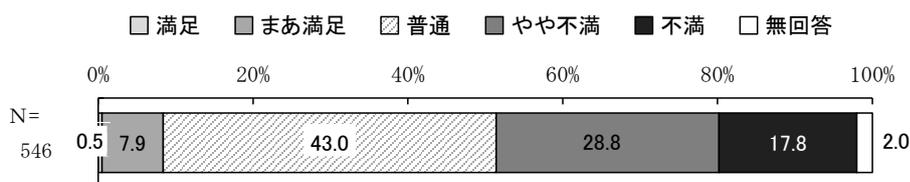
(21) にぎわいのある商業地づくりと、すそのブランドの利用推進

全体でみると、「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合が高く、約5割となっている。

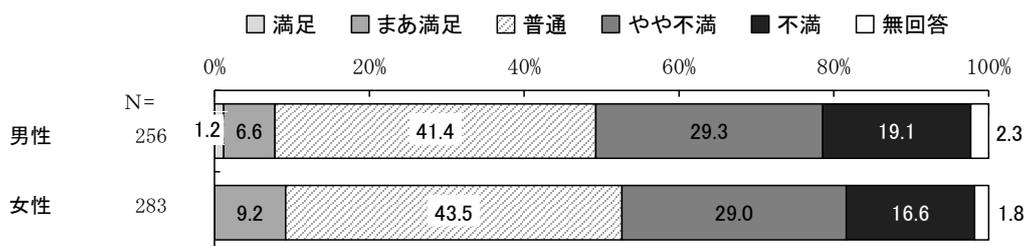
性別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、他の年代に比べ、50～54歳、60～64歳で“不満”の割合が高く、約6割となっている。

居住地区別でみると、他の地区に比べ、東、千福が丘で“不満”の割合が高く、約6割となっている。

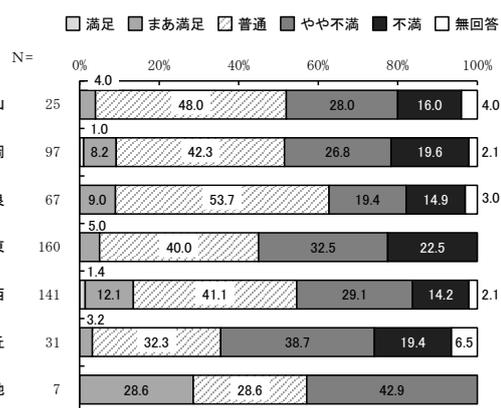
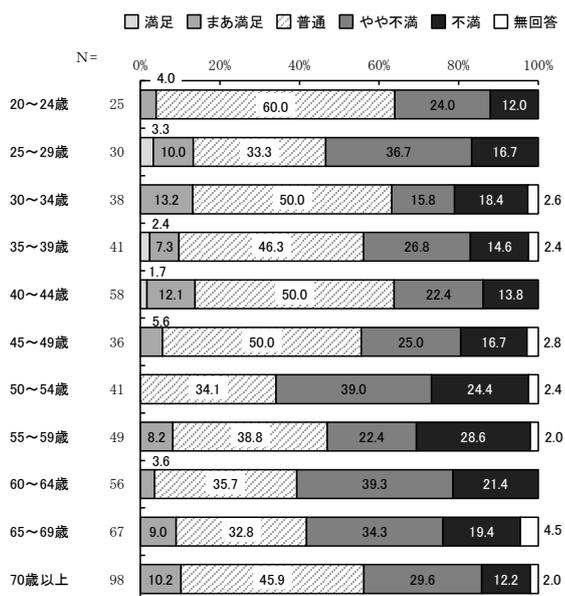


【性別】



【年代別】

【居住地区別】



【問2 重要度】

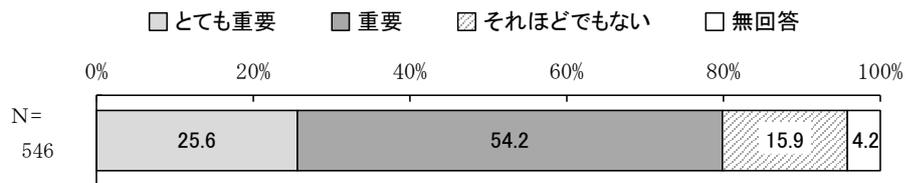
(21) にぎわいのある商業地づくりと、そのブランドの利用推進

全体でみると、「とても重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が高く、約8割となっている。

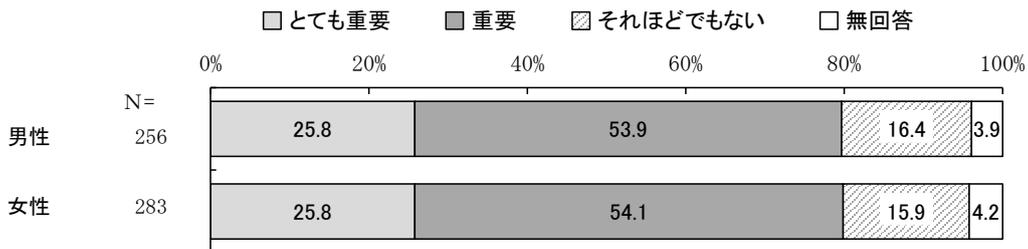
性別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、他の年代に比べ、35～39歳で「とても重要」の割合が高く、約4割となっている。

居住地区別でみると、他の地区に比べ、須山で“重要”の割合が高く、9割を超えている。

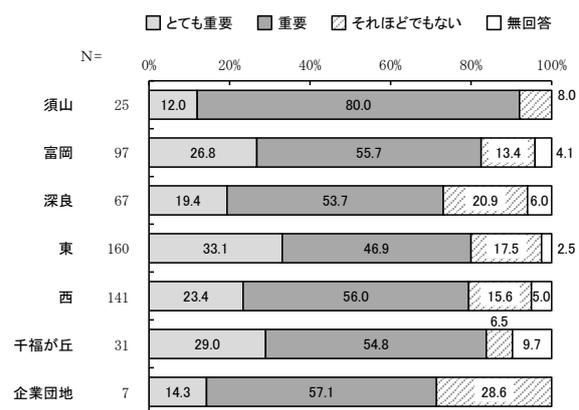
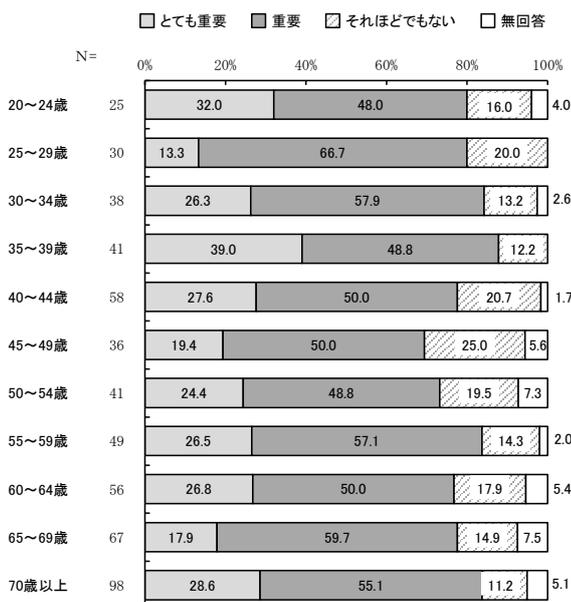


【性別】



【年代別】

【居住地区別】



【問2 満足度】

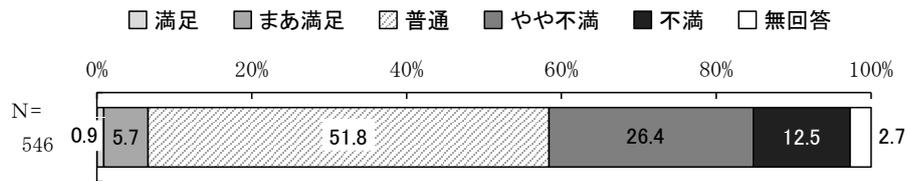
(22) 新たな観光資源の創出と観光情報の発信

全体でみると、「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合が高く、約4割となっている。

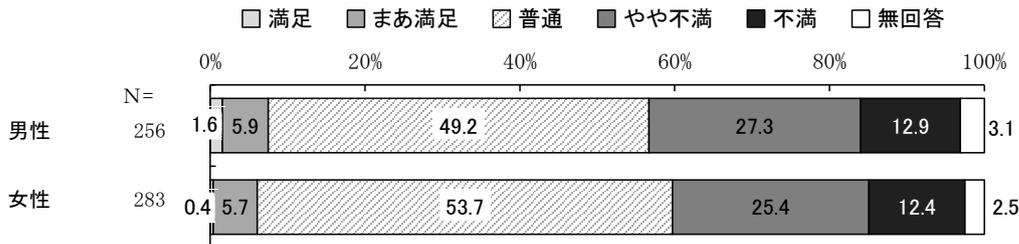
性別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、他の年代に比べ、50～54歳で“不満”の割合が高く、5割を超えている。

ライフステージ別でみると、他に比べ、家族成長期B（65歳未満、第一子が学校卒業）で“不満”の割合が高く、5割を超えている。

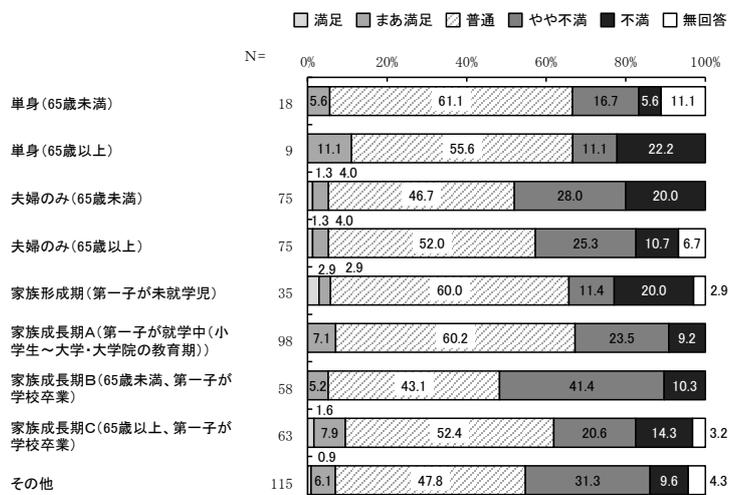
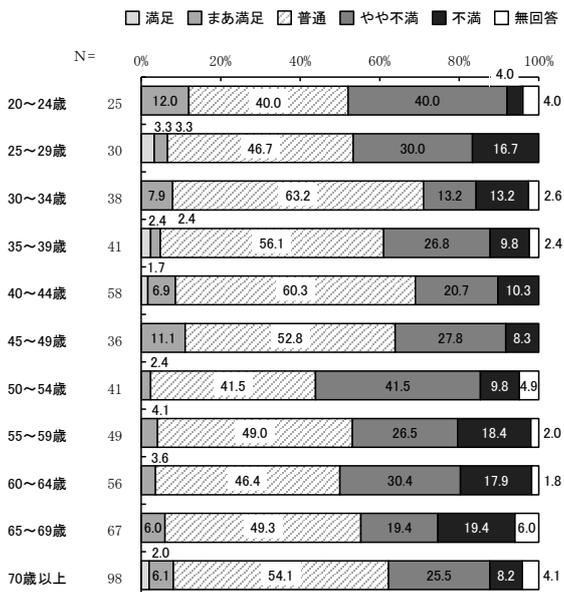


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】



【問2 重要度】

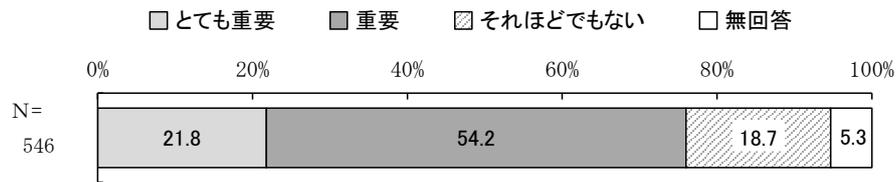
(22) 新たな観光資源の創出と観光情報の発信

全体でみると、「とても重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が高く、約8割となっている。

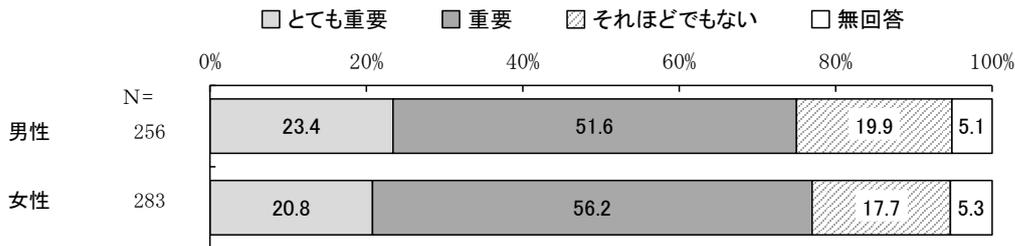
性別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、他の年代に比べ、45～49歳、50～54歳で“重要”の割合が低く、7割未満となっている。

ライフステージ別でみると、他に比べ、単身（65歳未満）で“重要”の割合が低く、6割未満となっている。

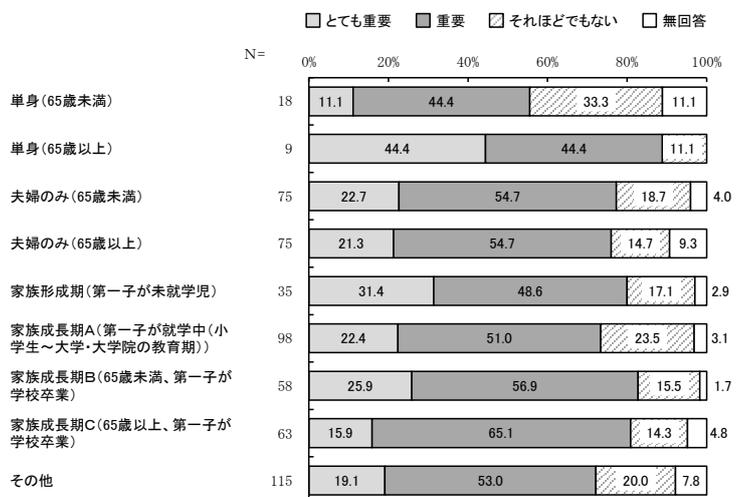
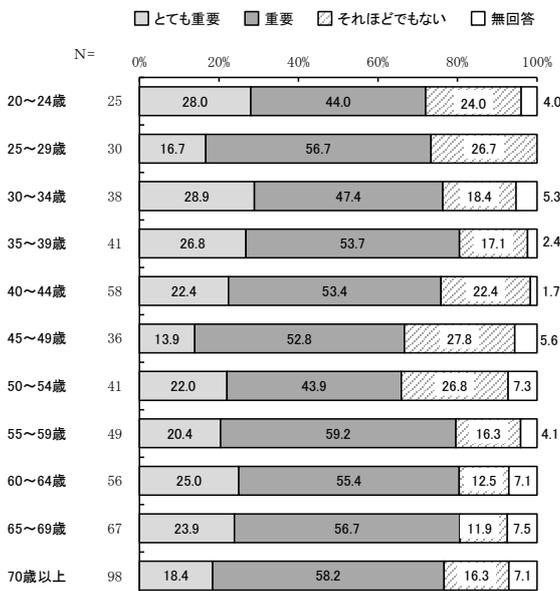


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】



【問2 満足度】

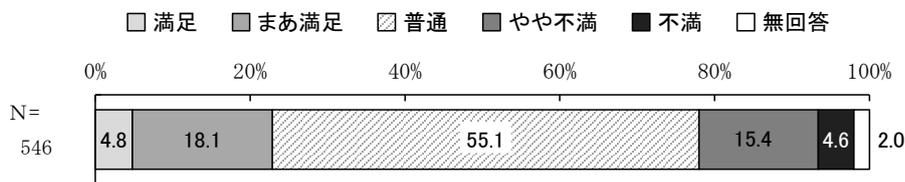
(23) 市の行う広報（広報紙・無線、報道など）の「わかりやすさ」や「情報の量」

全体でみると、「満足」と「まあ満足」を合わせた“満足”の割合と、「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合が共に約2割となっている。

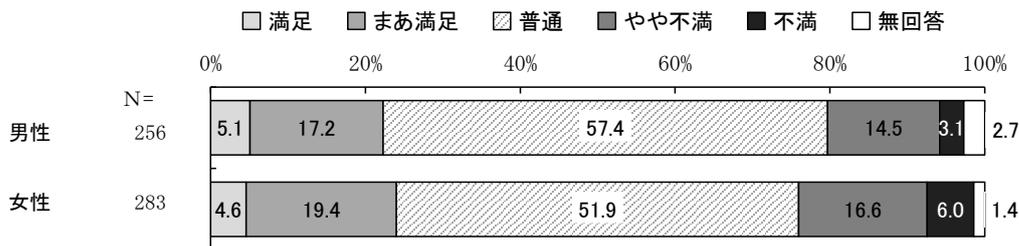
性別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、他の年代に比べ、70歳以上で“満足”の割合が高く、約4割となっている。

ライフステージ別でみると、他に比べ、家族形成期（第一子が未就学児）で“不満”の割合が高く、4割となっている。

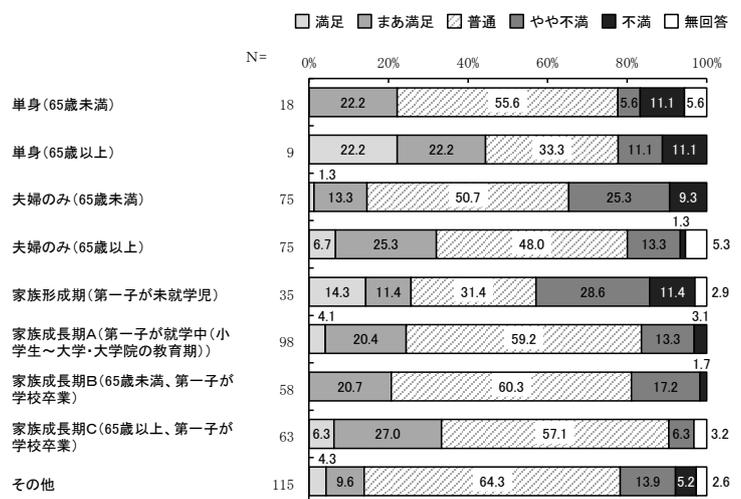
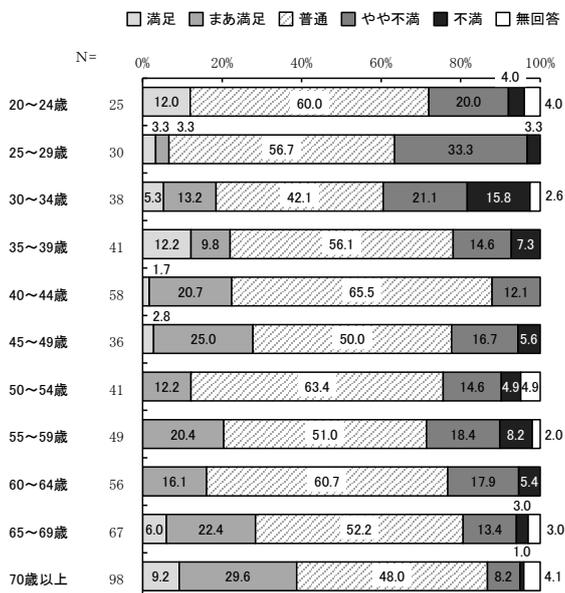


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】



【問2 重要度】

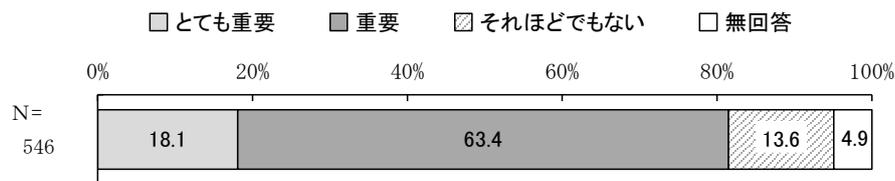
(23) 市の行う広報（広報紙・無線、報道など）の「わかりやすさ」や「情報の量」

全体でみると、「とても重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が高く、約8割となっている。

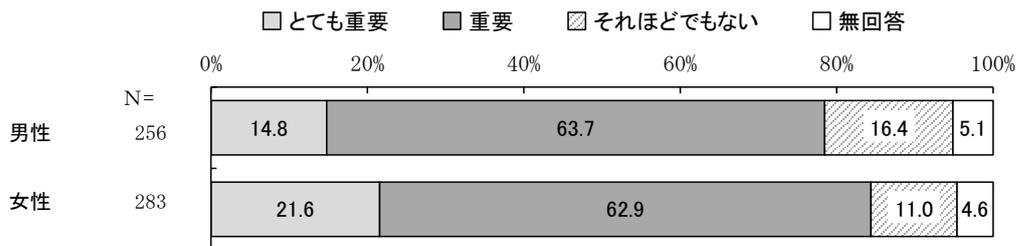
性別でみると、男性に比べ、女性で「とても重要」の割合が高くなっている。

年代別でみると、他の年代に比べ、35～39歳、70歳以上で“重要”の割合が高く、約9割となっている。

ライフステージ別でみると、他に比べ、単身（65歳未満）で“重要”の割合が低く、7割未満となっている。

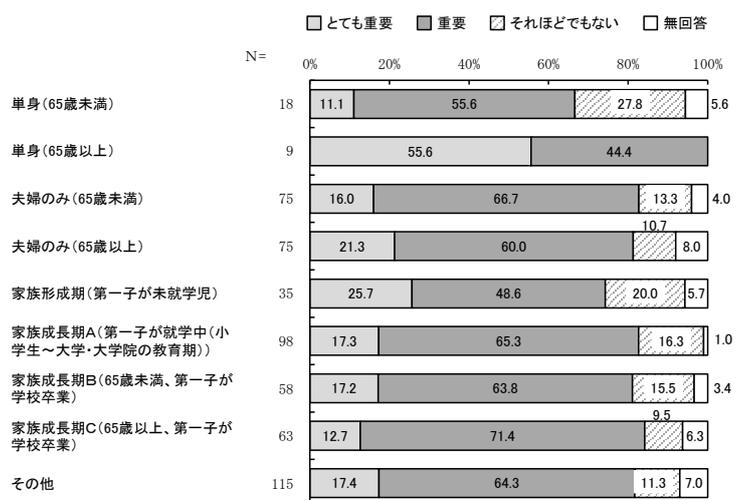
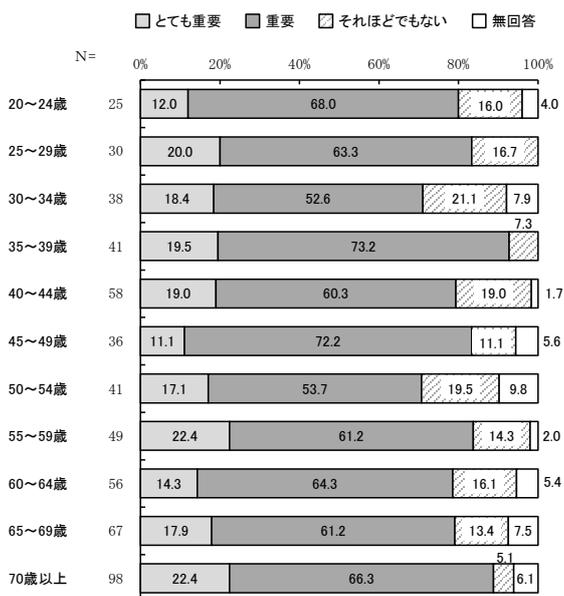


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】



【問2 満足度】

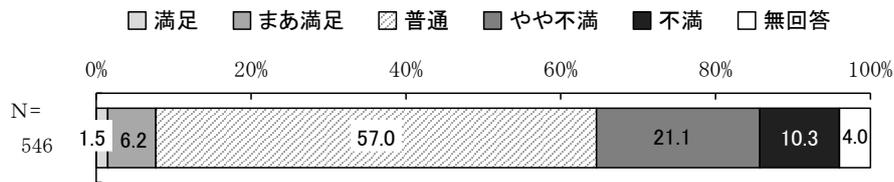
(24) 市の「対応の早さ」など、行政運営の効率化

全体でみると、「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合が高く、約3割となっている。

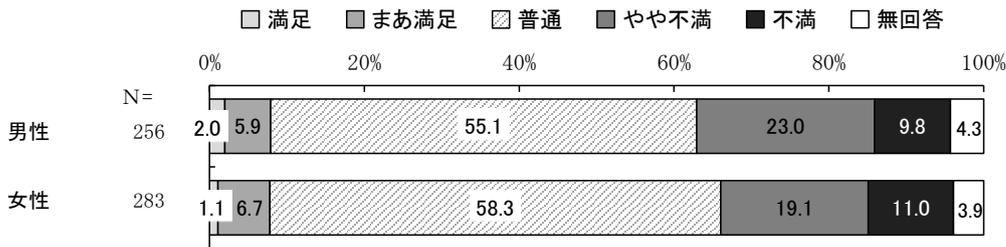
性別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、他の年代に比べ、55～59歳で“不満”の割合が高く、4割を超えている。

ライフステージ別でみると、他に比べ、夫婦のみ（65歳未満）、家族成長期B（65歳未満、第一子が学校卒業）で“不満”の割合が高く、約4割となっている。

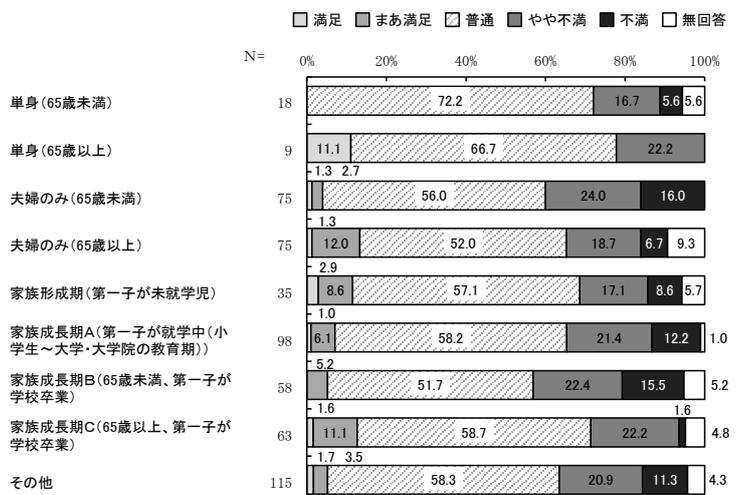
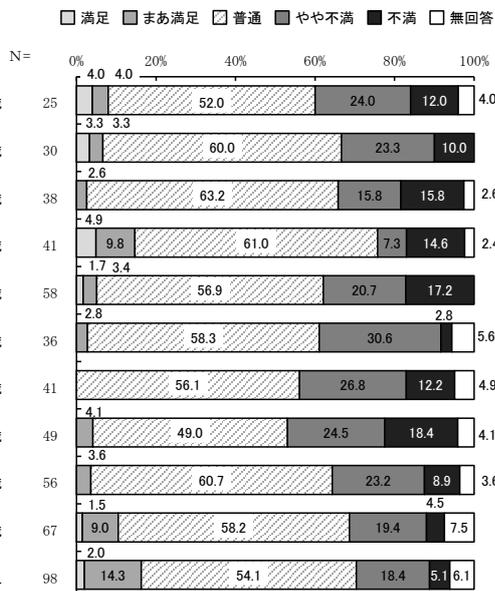


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】



【問2 重要度】

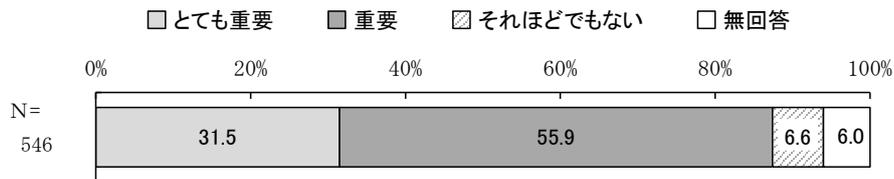
(24) 市の「対応の早さ」など、行政運営の効率化

全体でみると、「とても重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が高く、約9割となっている。

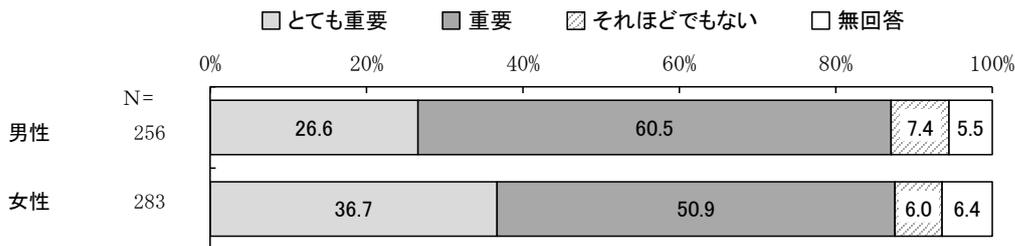
性別でみると、男性に比べ、女性で「とても重要」の割合が高くなっている。

年代別でみると、他の年代に比べ、30～34歳で“重要”の割合が低く、8割未満となっている。

ライフステージ別でみると、他に比べ、家族形成期（第一子が未就学児）で「とても重要」の割合が高く、4割を超えている。

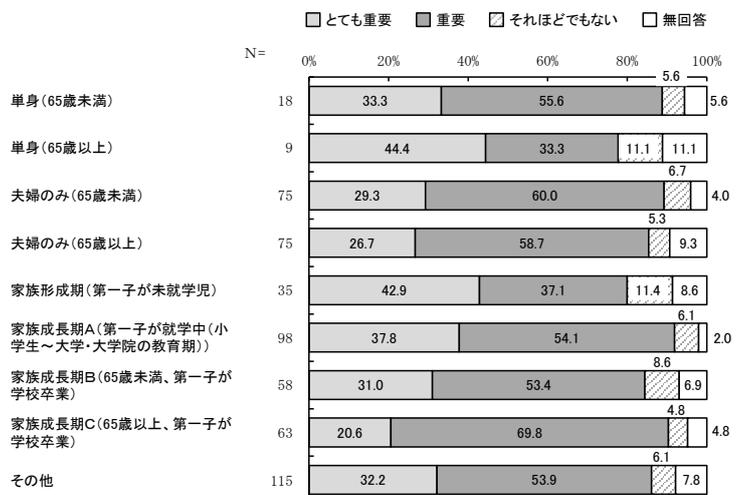
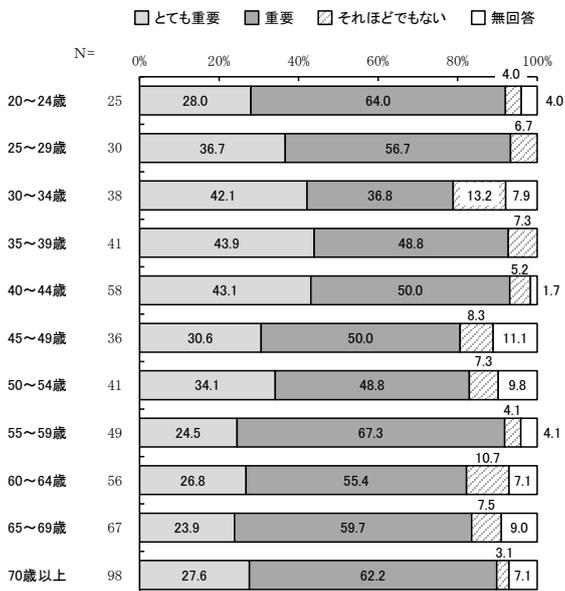


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】



【問2 満足度】

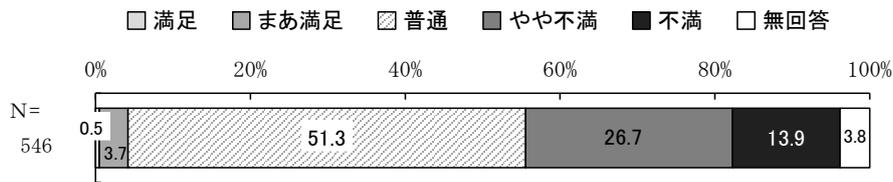
(25) 市の「予算の使い方」などの財政運営の効率化

全体でみると、「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合が高く、約4割となっている。

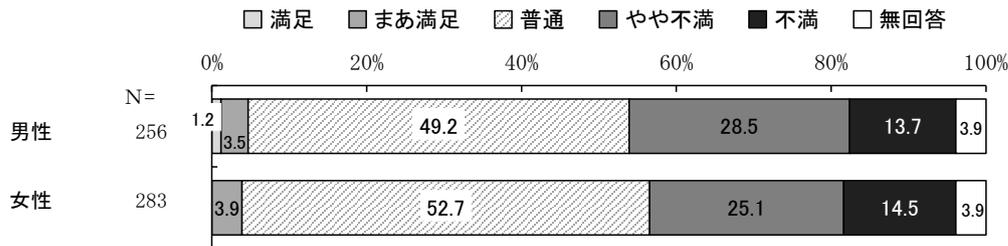
性別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、他の年代に比べ、55～59歳、60～64歳で“不満”の割合が高く、約6割となっている。

ライフステージ別でみると、他に比べ、夫婦のみ（65歳未満）、家族成長期B（65歳未満、第一子が学校卒業）で“不満”の割合が高く、約5割となっている。

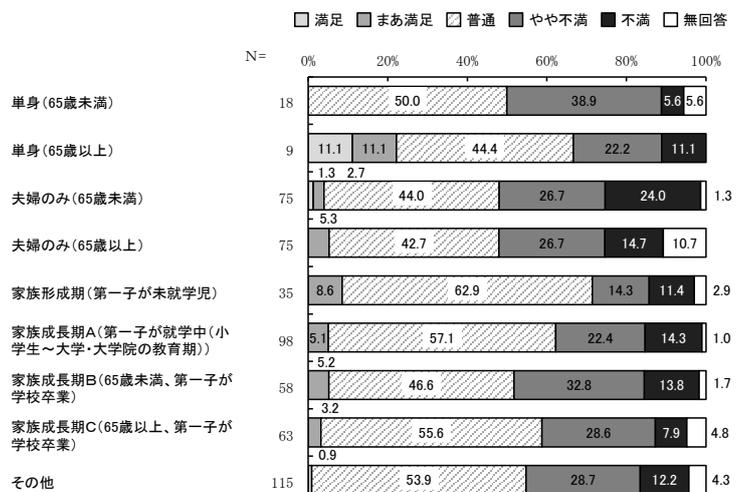
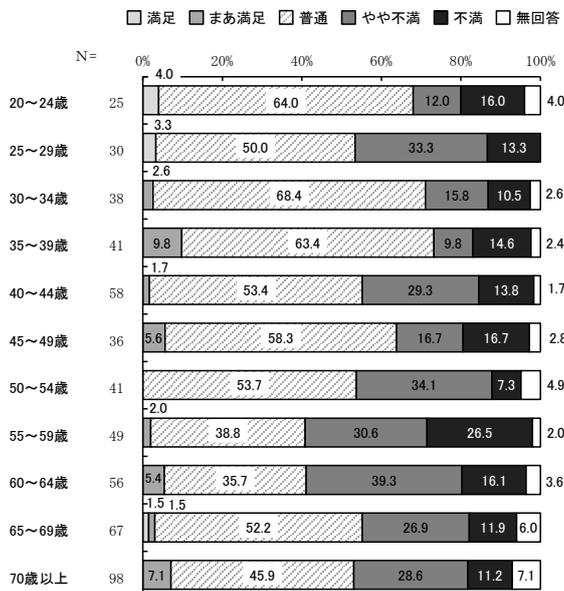


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】



【問2 重要度】

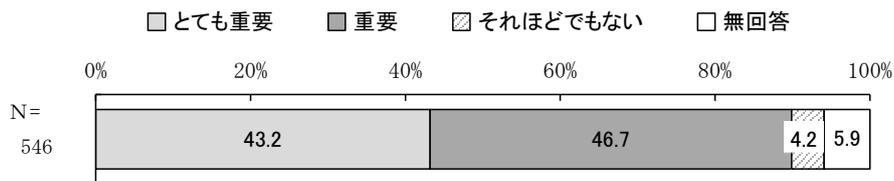
(25) 市の「予算の使い方」などの財政運営の効率化

全体でみると、「とても重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が高く、約9割となっている。

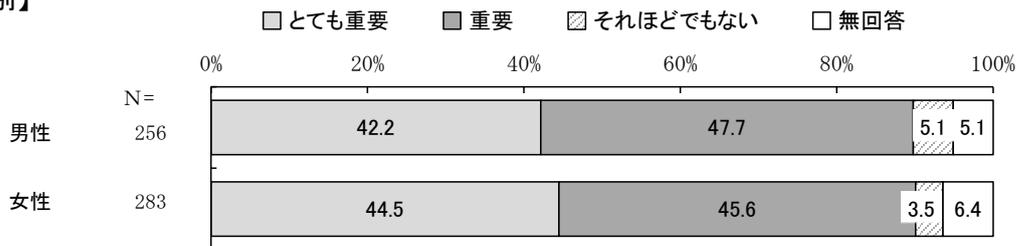
性別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、他の年代に比べ、45～49歳で「とても重要」の割合が高く、5割を超えている。

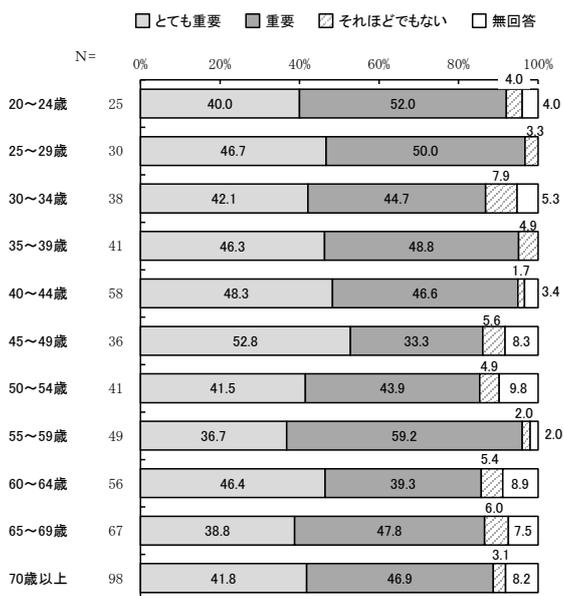
ライフステージ別でみると、他に比べ、単身（65歳未満）で“重要”の割合が低く、8割未満となっている。



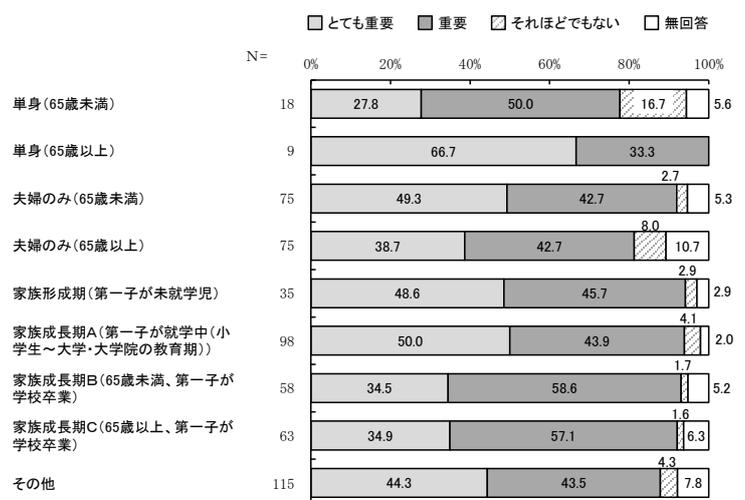
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】



【問2 満足度】

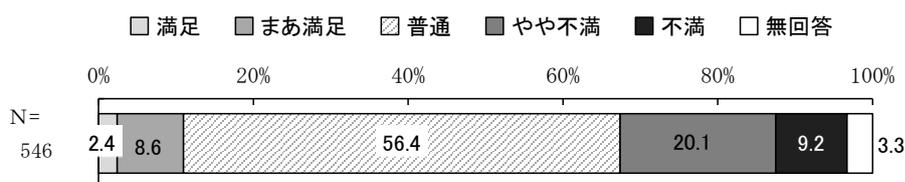
(26) 市職員に仕事や地域活動を任せられる、職員の信頼度

全体でみると、「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合が高く、約3割となっている。

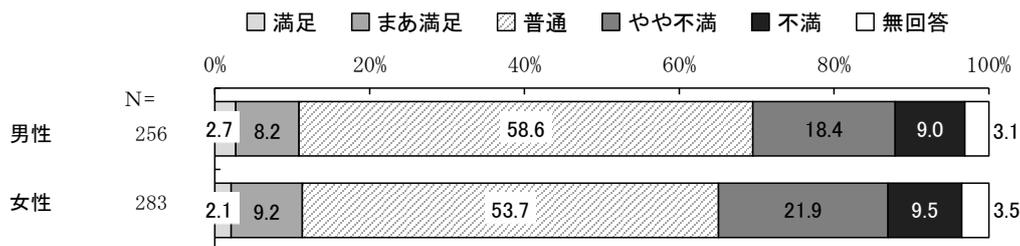
性別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、他の年代に比べ、30～34歳、55～59歳で“不満”の割合が高く、4割を超えている。

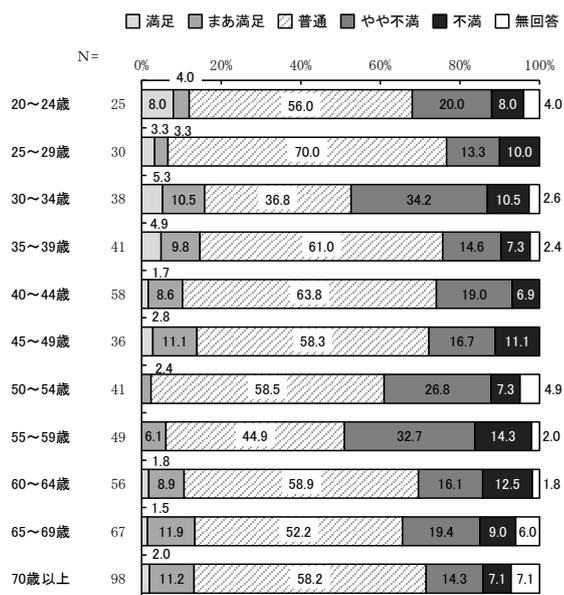
居住地区別でみると、他の地区に比べ、須山、東で“不満”の割合が高く、3割を超えている。



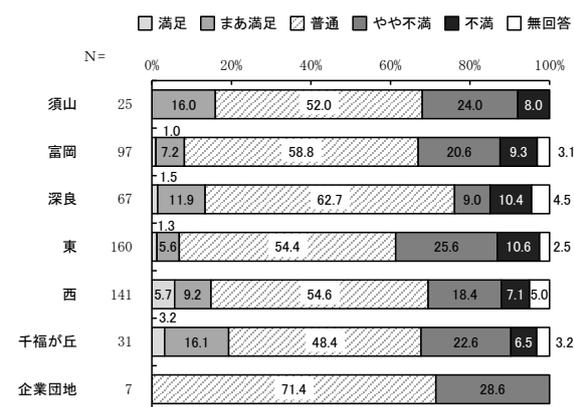
【性別】



【年代別】



【居住地区別】



【問2 重要度】

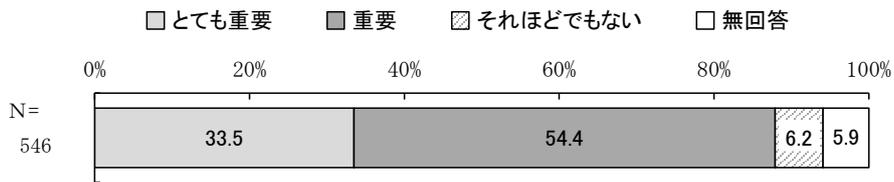
(26) 市職員に仕事や地域活動を任せられる、職員の信頼度

全体でみると、「とても重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が高く、約9割となっている。

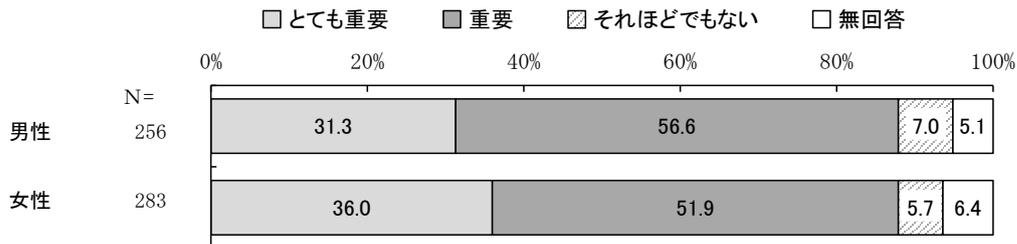
性別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、他の年代に比べ、50～54歳で“重要”の割合が低く、8割未満となっている。

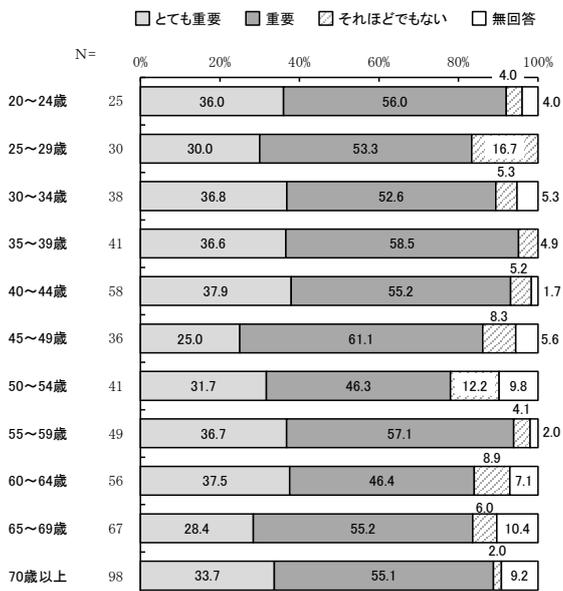
ライフステージ別でみると、他に比べ、家族形成期（第一子が未就学児）で「とても重要」の割合が高く、約5割となっている。



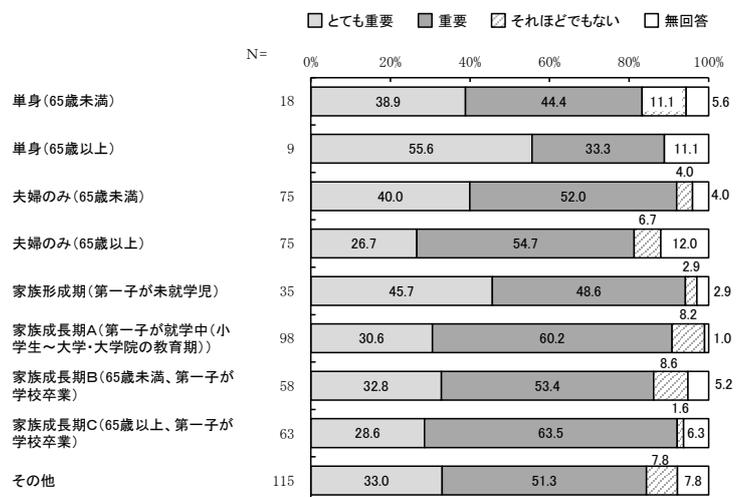
【性別】



【年代別】



【ライフステージ別】



【問2 満足度】

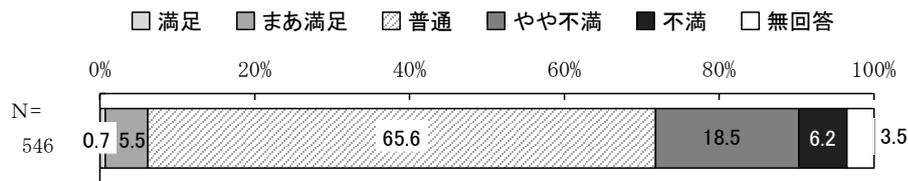
(27) 近隣市町との交流などの広域連携の促進

全体でみると、「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合が高く、約2割となっている。

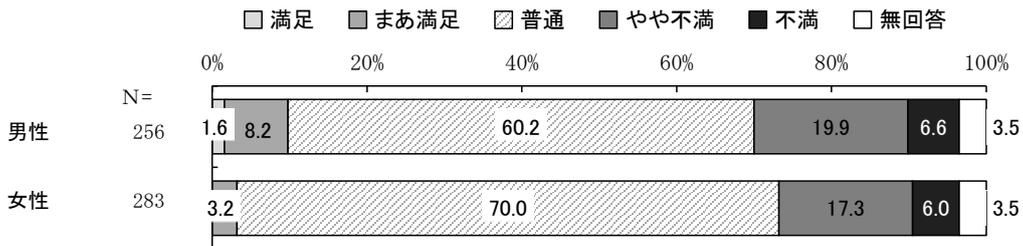
性別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、他の年代に比べ、20～24歳で“不満”の割合が高く、3割を超えている。

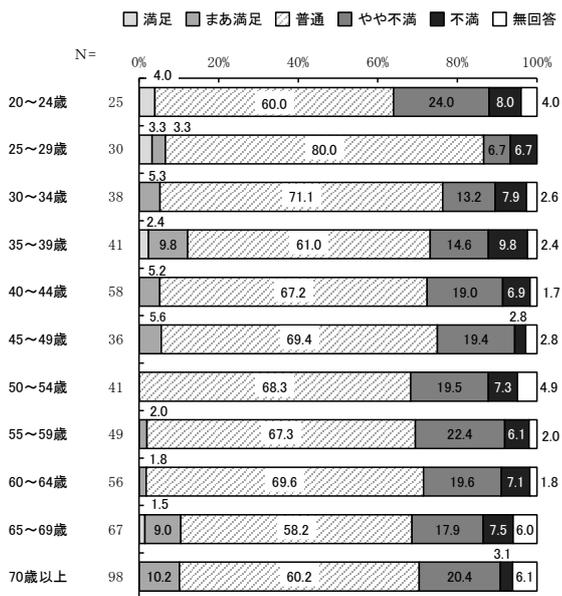
居住地区別でみると、他の地区に比べ、須山、東、千福が丘で“不満”の割合が高く、約3割となっている。



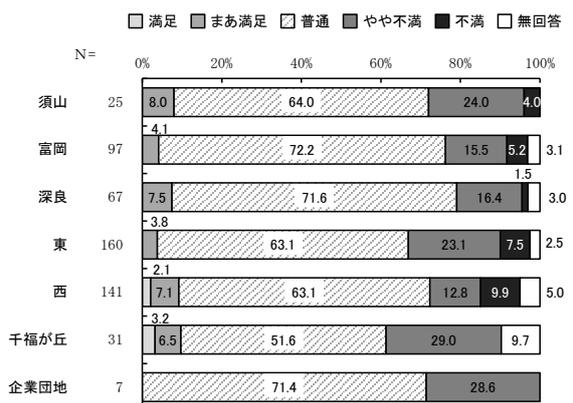
【性別】



【年代別】



【居住地区別】



【問2 重要度】

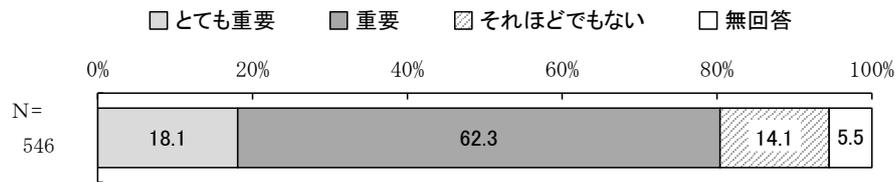
(27) 近隣市町との交流などの広域連携の促進

全体でみると、「とても重要」と「重要」を合わせた“重要”の割合が高く、約8割となっている。

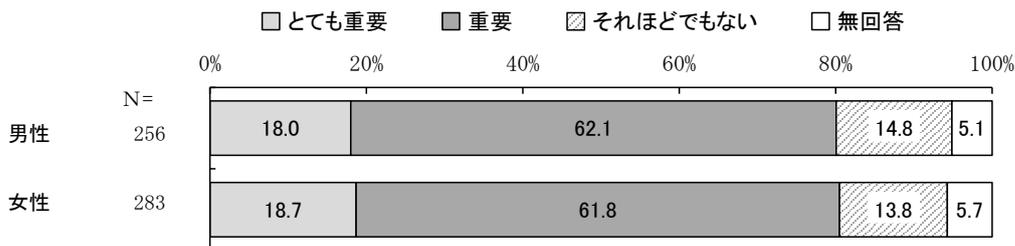
性別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、他の年代に比べ、35～39歳、70歳以上で“重要”の割合が高く、約9割となっている。

ライフステージ別でみると、他に比べ、家族成長期A（第一子が就学中（小学生～大学・大学院の教育期））で“重要”の割合が高く、約9割となっている。

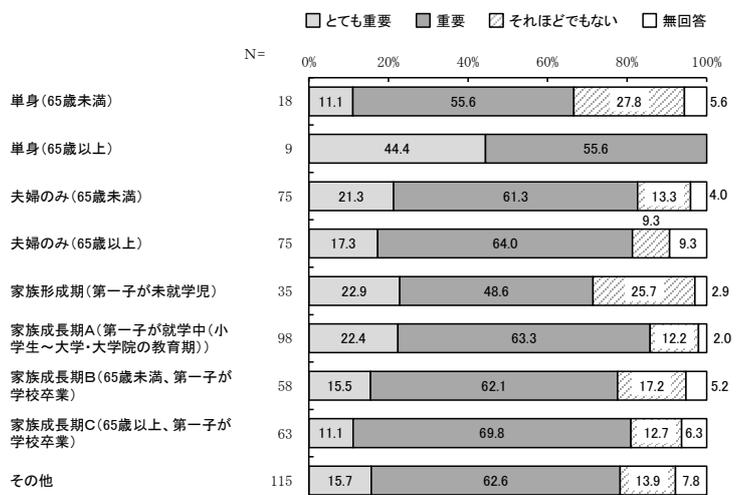
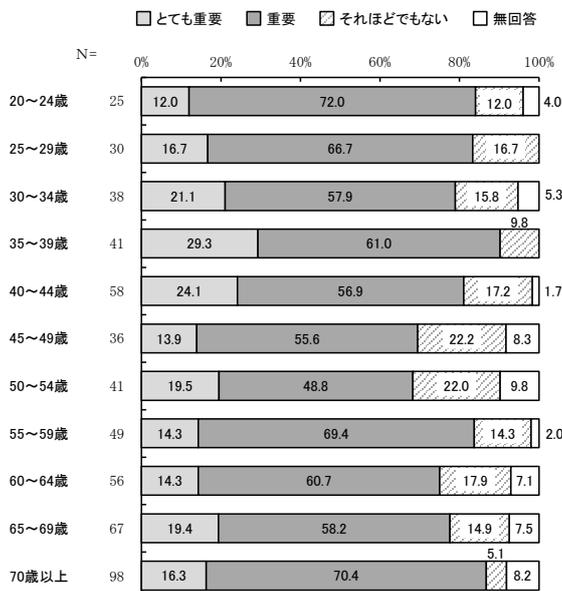


【性別】



【年代別】

【ライフステージ別】



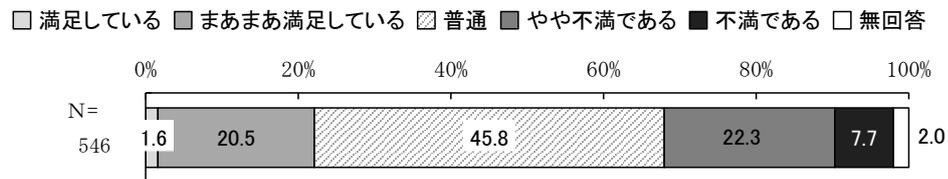
## 2 市の政策全体について

### 問3 裾野市の政策全体についてどの程度満足していますか。(〇は1つ)

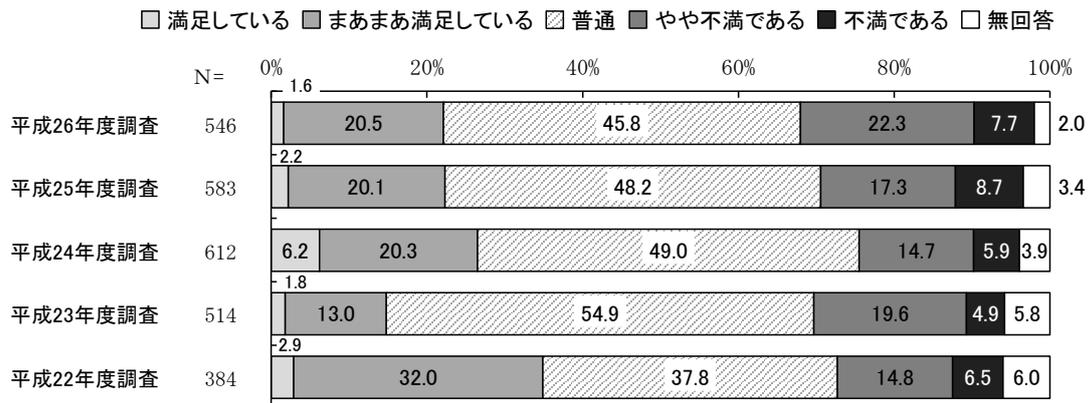
市の政策全体の満足度は、「満足」と「まあ満足」を合わせた“満足”の割合が22.1%、「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合が30.0%となり、“不満”の割合の方が高くなっている。

経年比較をすると、“満足”の割合は平成24年度調査から減少が続いている。“不満”の割合は平成22年度調査から2割程度で推移していたが、今回は3割に増加している。

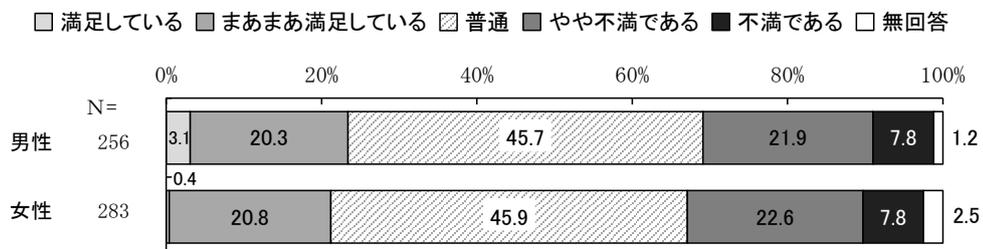
性別でみると、大きな差異は見られない。



#### 【経年比較】



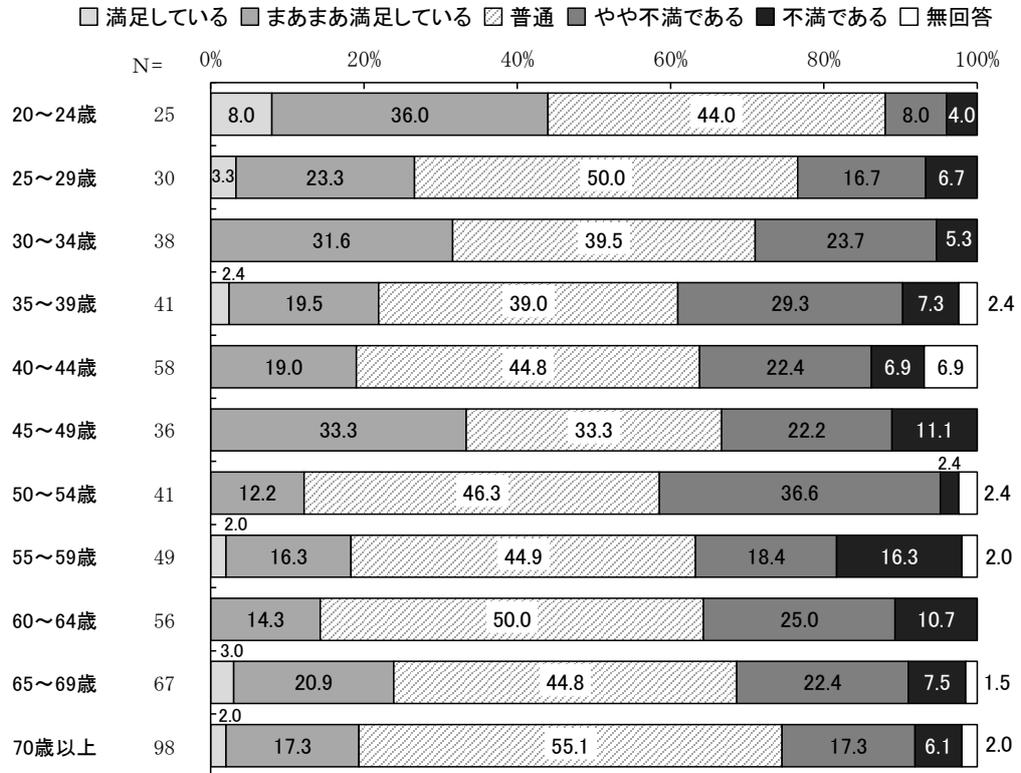
#### 【性別】



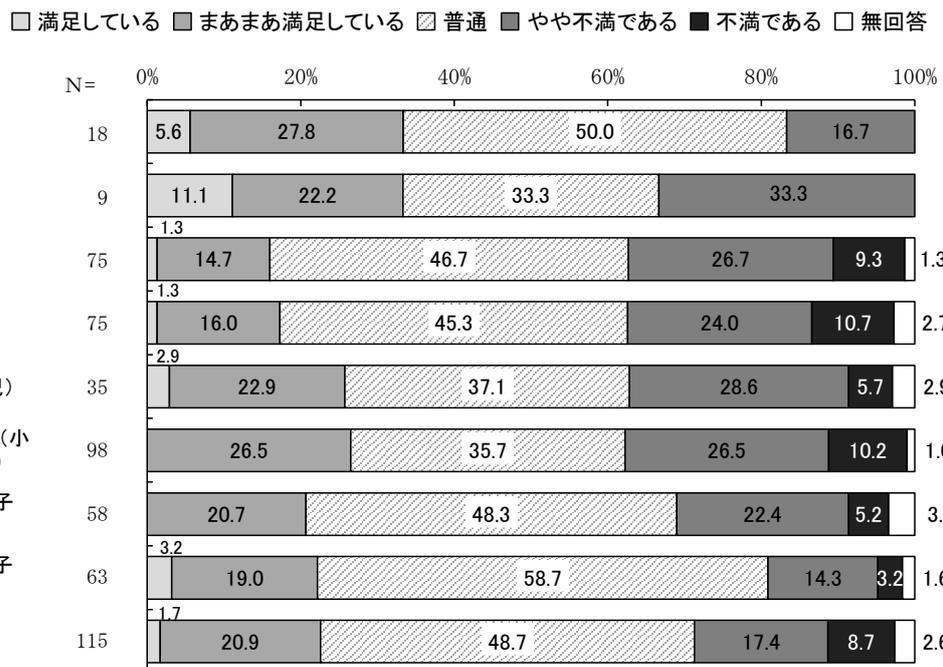
年代別でみると、他の年代に比べ、20～24歳で“満足”の割合が高く、4割を超えている。一方、50～54歳で“不満”の割合が高く、約4割となっている。

ライフステージ別でみると、他に比べ、単身（65歳未満）で“満足”の割合が高く、3割を超えている。

【年代別】



【ライフステージ別】



### 3 市民協働について

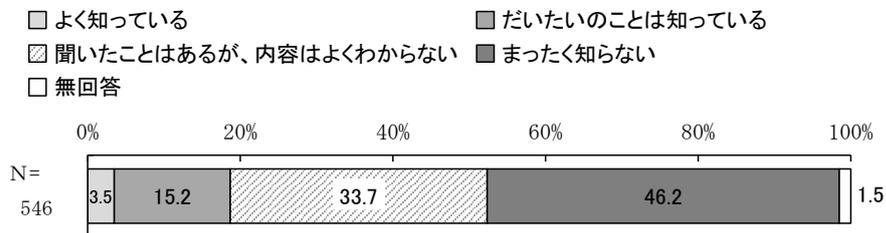
#### 問4 あなたは「協働」という言葉を知っていますか。(〇は1つ)

※協働とは、市民や区、事業者、行政等が対等な立場で協力し、地域づくりや公共的な課題の解決に取り組むことをいいます。

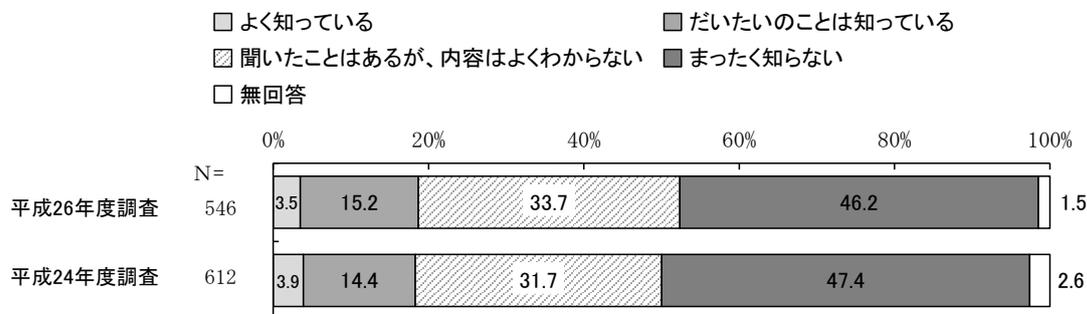
「協働」という言葉の認知度は、「よく知っている」と「だいたいのことは知っている」を合わせた“知っている”の割合が18.7%、「聞いたことはあるが、内容はよくわからない」と「まったく知らない」を合わせた“知らない”の割合が79.9%となり、“知らない”の割合の方が高くなっている。

経年比較をすると、平成24年度調査からはいずれの割合もほぼ横ばいとなっている。

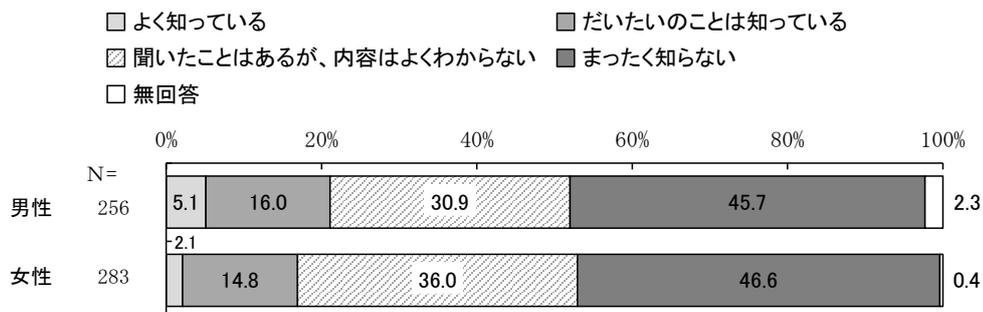
性別でみると、大きな差異はみられない。



#### 【経年比較】



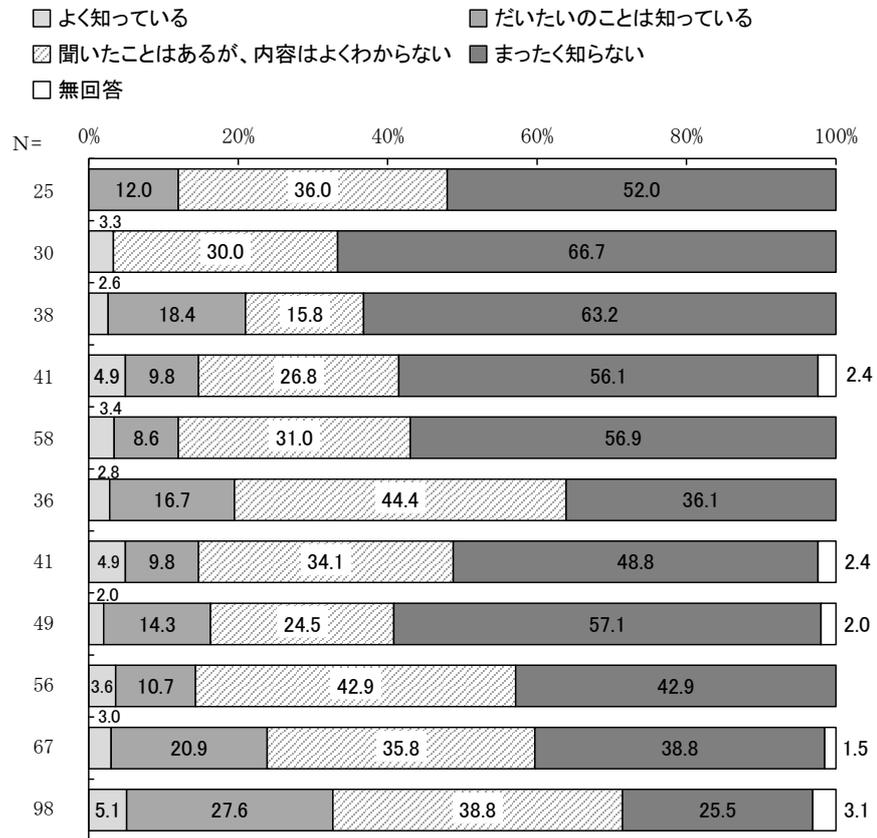
#### 【性別】



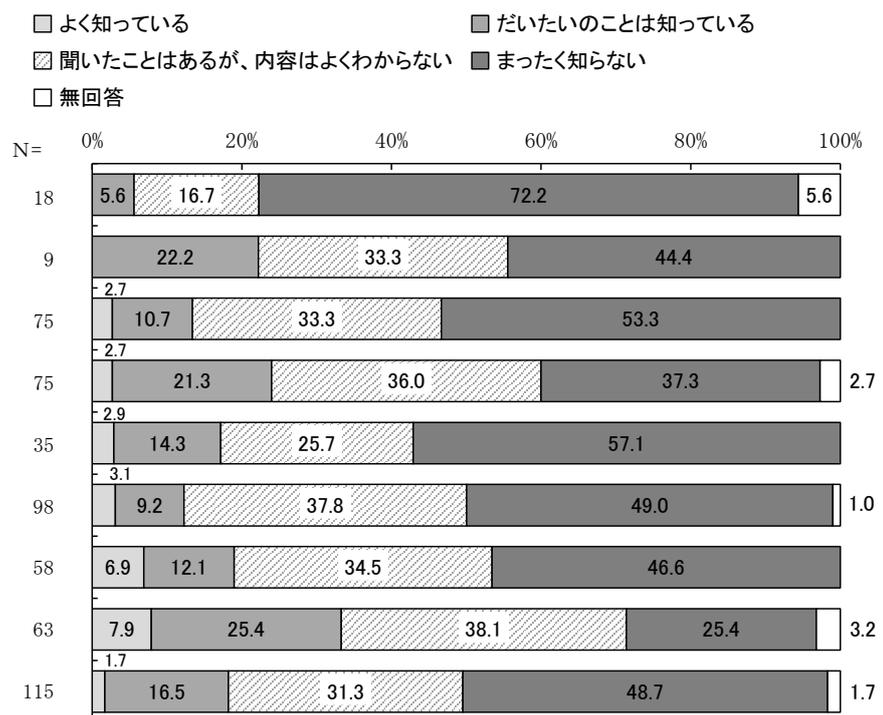
年代別でみると、他の年代に比べ、70歳以上で“知っている”の割合が高く、約3割となっている。一方、25～29歳で“知らない”の割合が高く、9割を超えている。

ライフステージ別でみると、他に比べ、家族成長期C（65歳以上、第一子が学校卒業）で“知っている”の割合が高く、3割を超えている。また、単身（65歳未満）、夫婦のみ（65歳未満）、家族成長期A（第一子が就学中（小学生～大学・大学院の教育期））で“知らない”の割合が高くなっている。

【年代別】



【ライフステージ別】

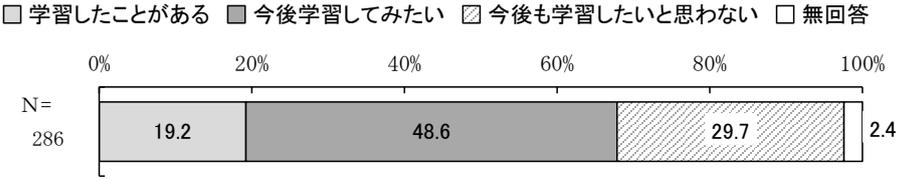


問4-1 問4で「1～3」を選んだ方にお聞きします。協働とは何かについて学習したことがありますか。または今後学習してみたいと思いますか。(〇は1つ)

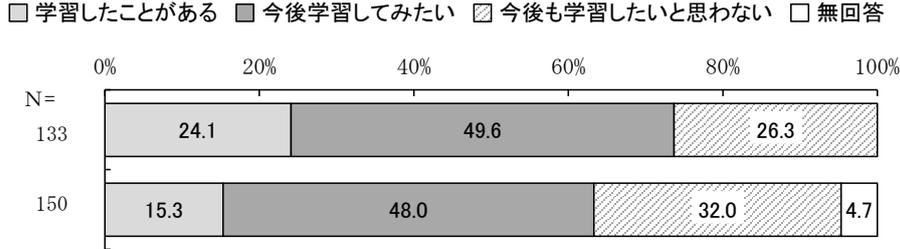
協働についての学習経験と学習意向は、「今後学習してみたい」の割合が48.6%と最も高く、次いで「今後も学習したいと思わない」の割合が29.7%、「学習したことがある」の割合が19.2%となっている。

性別でみると、女性に比べ、男性で「学習したことがある」の割合が高くなっている。

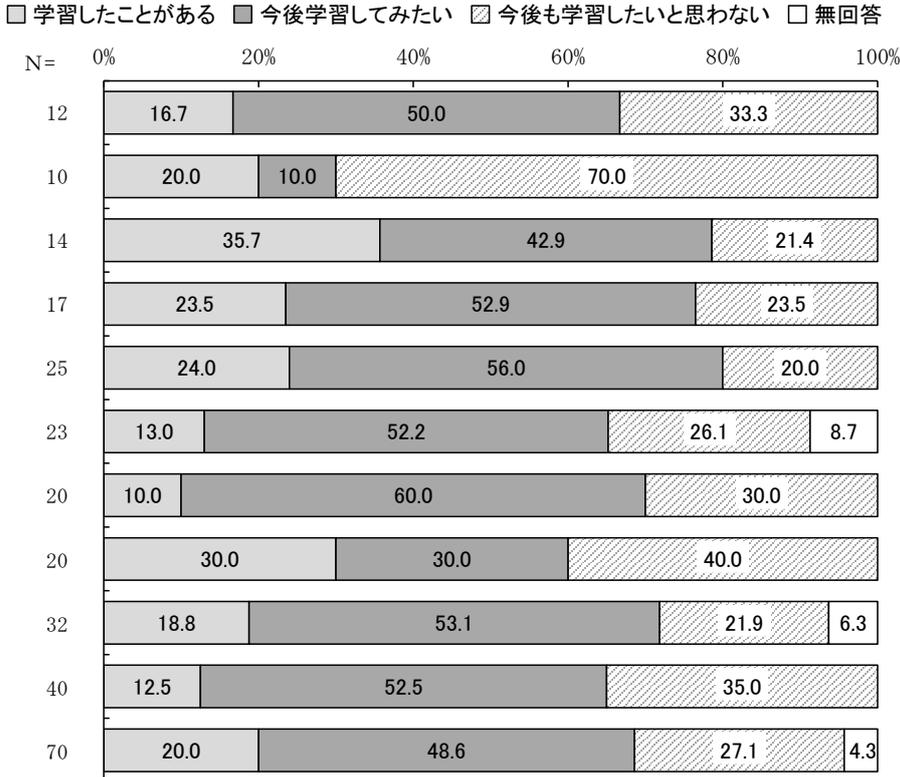
年代別でみると、他の年代に比べ、40～44歳、50～54歳で「今後学習してみたい」の割合が高く、約6割となっている。



【性別】



【年代別】

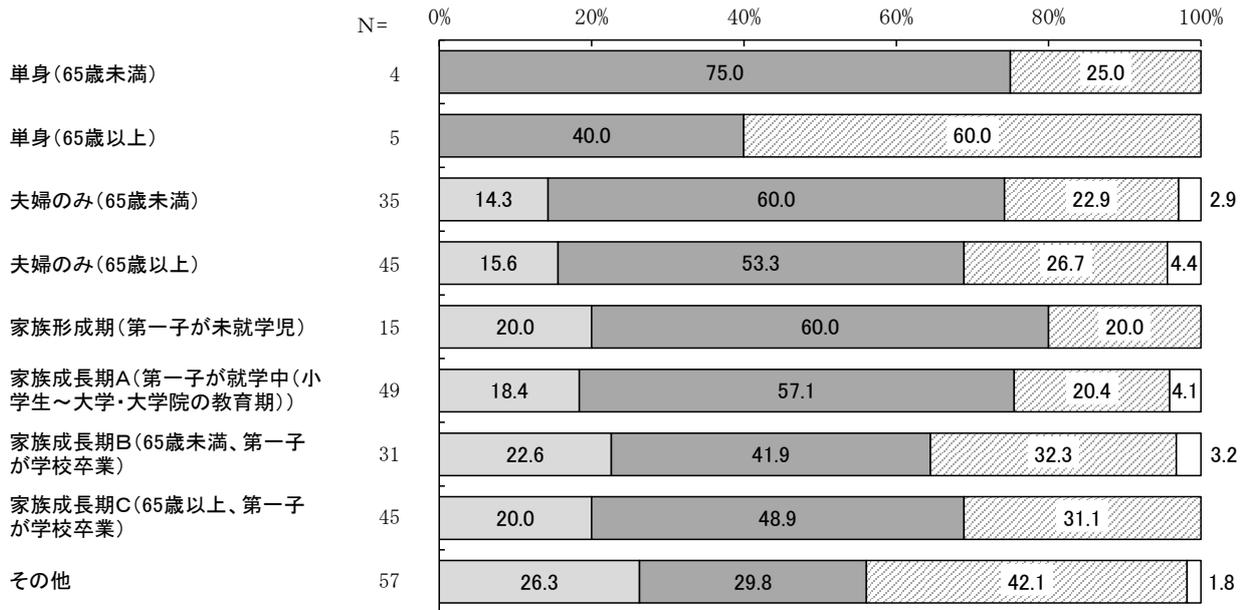


ライフステージ別でみると、他に比べ、夫婦のみ（65歳未満）、家族形成期（第一子が未就学児）、家族成長期A（第一子が就学中（小学生～大学・大学院の教育期））で「今後学習してみたい」の割合が高く、約6割となっている。

居住地区別でみると、他の地区に比べ、千福が丘で「学習したことがある」の割合が高く、約3割となっている。

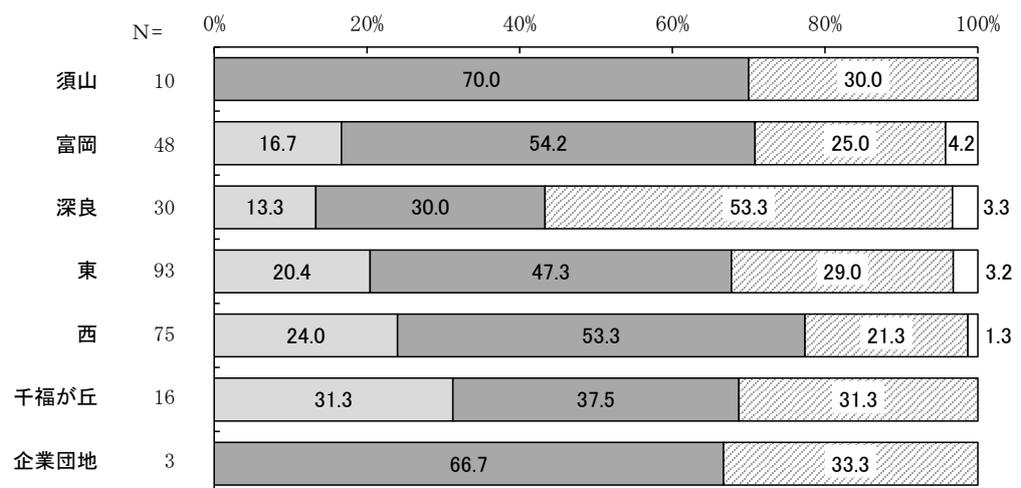
### 【ライフステージ別】

□ 学習したことがある ■ 今後学習してみたい ▨ 今後も学習したいと思わない □ 無回答



### 【居住地区別】

□ 学習したことがある ■ 今後学習してみたい ▨ 今後も学習したいと思わない □ 無回答

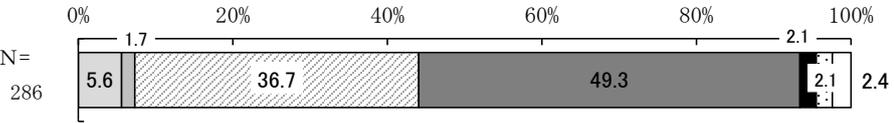


問4-2 問4で「1～3」を選んだ方にお聞きます。あなたは、協働への関わりについてどのように  
 思っていますか。(〇は1つ)

協働への関わりについての考えは、「特に考えていない」の割合が49.3%と最も高く、次いで「機会があれば協働事業に参加したい」の割合が36.7%、「既に協働による活動を行っている」の割合が5.6%などとなっている。

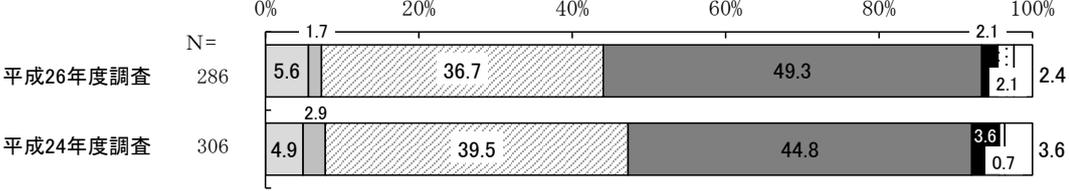
経年比較をすると、平成24年度調査からはいずれの割合もほぼ横ばいとなっている。  
 性別でみると、女性に比べ、男性で「機会があれば協働事業に参加したい」の割合が高くなっている。

- 既に協働による活動を行っている    □ 積極的に協働事業に参加したい    □ 機会があれば協働事業に参加したい
- 特に考えていない    ■ できれば関わりたくない    □ その他
- 無回答



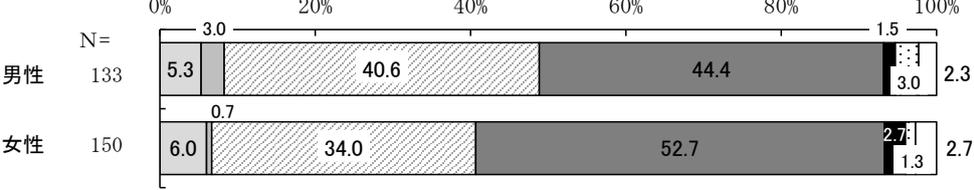
【経年比較】

- 既に協働による活動を行っている    □ 積極的に協働事業に参加したい    □ 機会があれば協働事業に参加したい
- 特に考えていない    ■ できれば関わりたくない    □ その他
- 無回答



【性別】

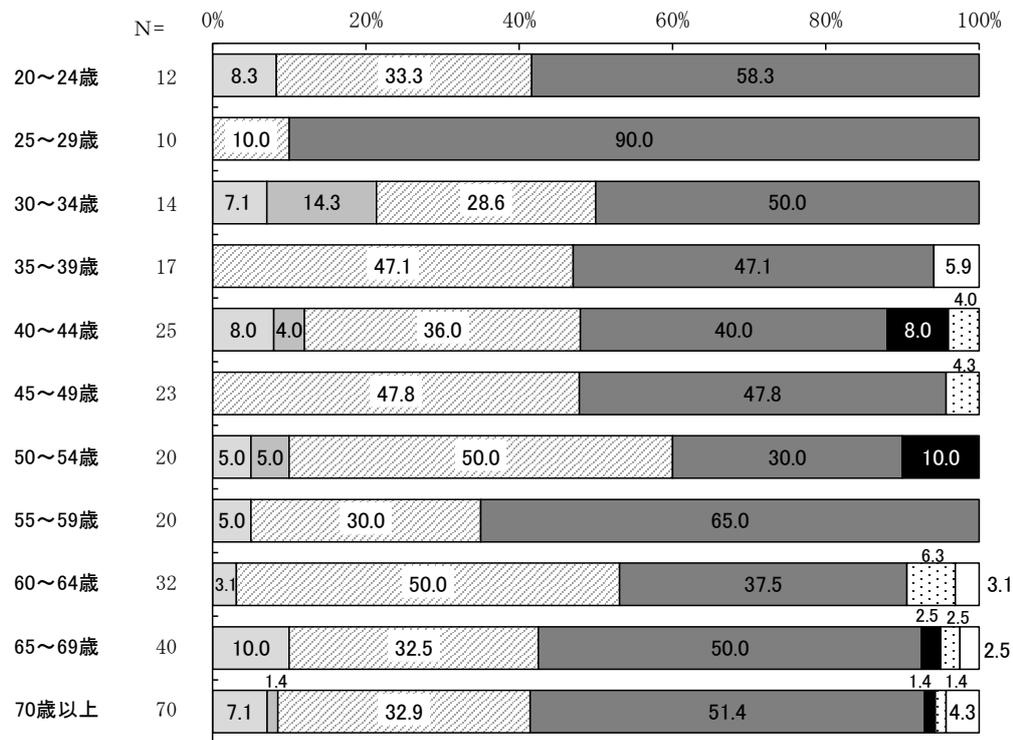
- 既に協働による活動を行っている    □ 積極的に協働事業に参加したい    □ 機会があれば協働事業に参加したい
- 特に考えていない    ■ できれば関わりたくない    □ その他
- 無回答



年代別でみると、他の年代に比べ、30～34歳で「積極的に協働事業に参加したい」の割合が高くなって  
いる。また、25～29歳で「特に考えていない」の割合が高く、9割となっている。

【年代別】

- 既に協働による活動を行っている    □ 積極的に協働事業に参加したい    □ 機会があれば協働事業に参加したい
- 特に考えていない    ■ できれば関わりたくない    □ その他
- 無回答

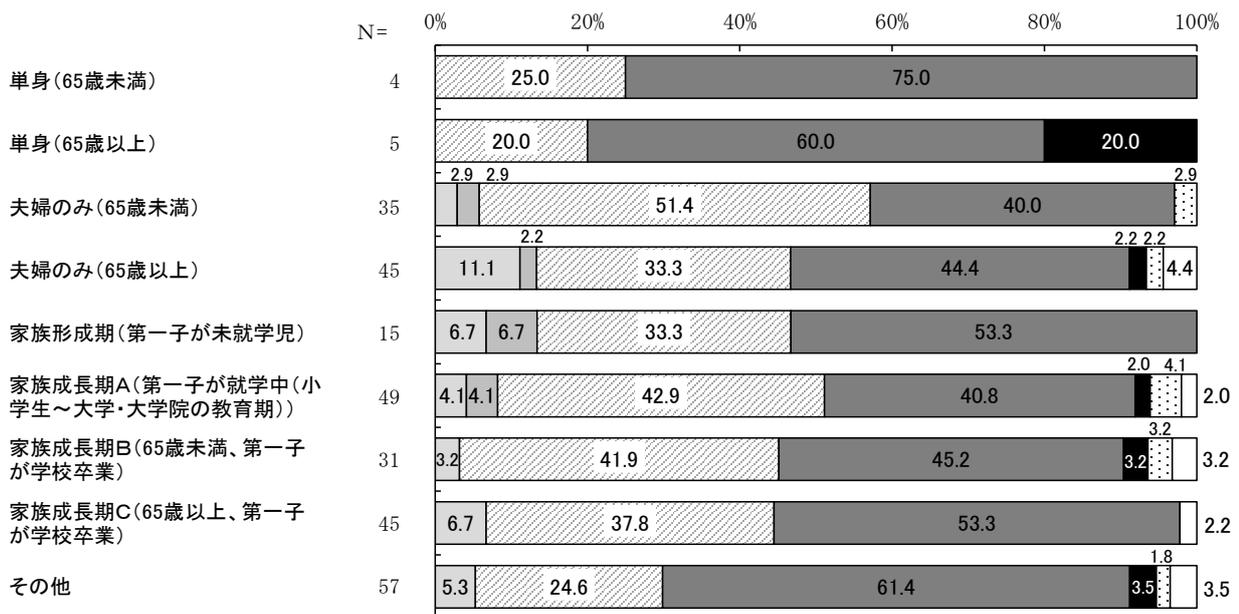


ライフステージ別でみると、他に比べ、夫婦のみ（65歳以上）で「既に協働による活動を行っている」の割合が高くなっている。また、夫婦のみ（65歳未満）で「機会があれば協働事業に参加したい」の割合が高く、約5割となっている。

居住地区別でみると、他の地区に比べ、深良で「特に考えていない」の割合が高く、7割を超えている。

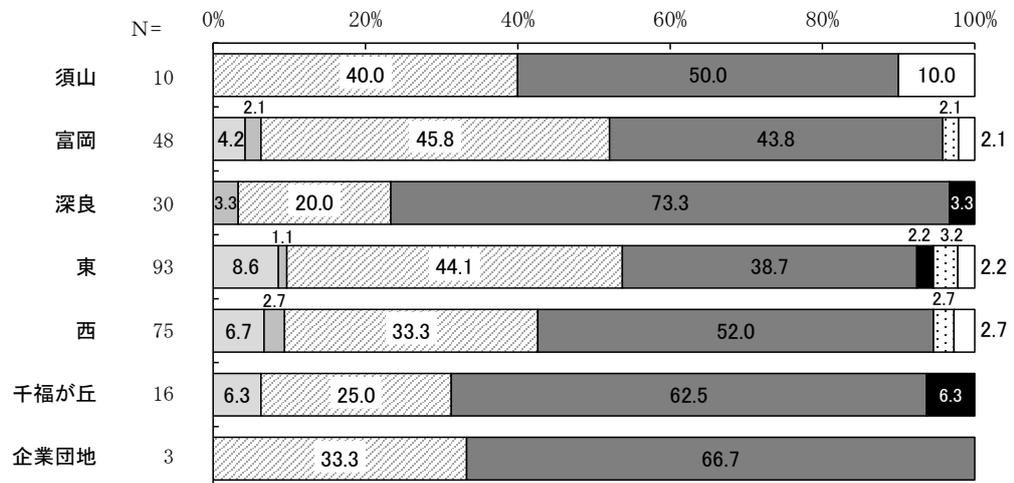
### 【ライフステージ別】

- 既に協働による活動を行っている
- 積極的に協働事業に参加したい
- ▨ 機会があれば協働事業に参加したい
- 特に考えていない
- できれば関わりたくない
- ▨ その他
- 無回答



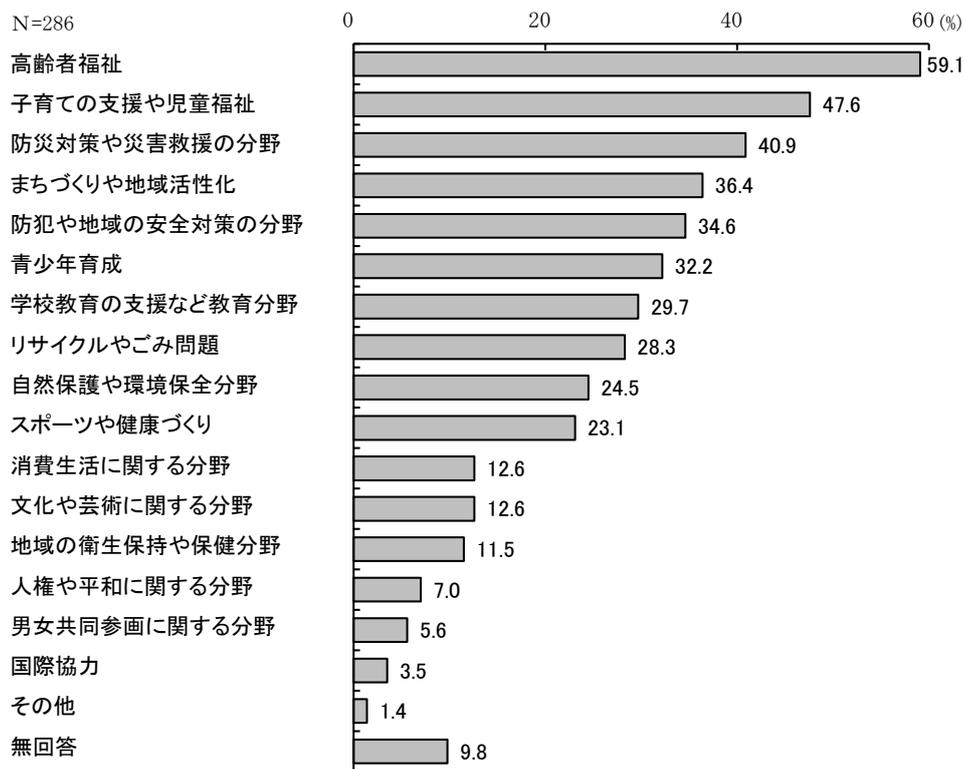
### 【居住地区別】

- 既に協働による活動を行っている
- 積極的に協働事業に参加したい
- ▨ 機会があれば協働事業に参加したい
- 特に考えていない
- できれば関わりたくない
- ▨ その他
- 無回答

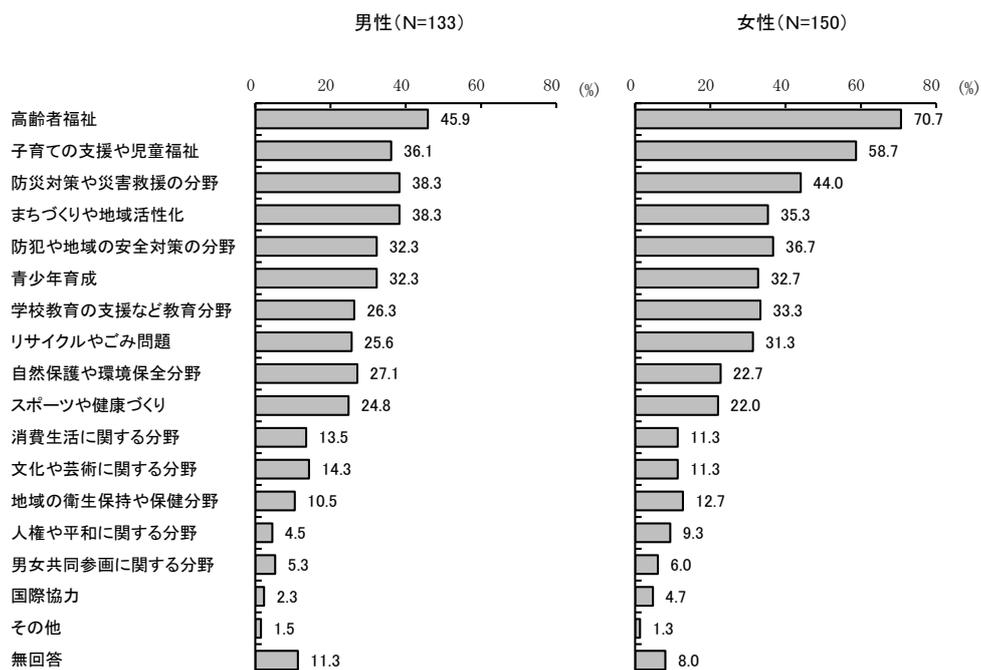


問4-3 問4で「1～3」を選んだ方にお聞きします。協働して取り組む必要性が高い分野はどれだと思いますか。(〇はいくつでも)

協働して取り組む必要性が高い分野は、「高齢者福祉」の割合が59.1%と最も高く、次いで「子育ての支援や児童福祉」の割合が47.6%、「防災対策や災害救援の分野」の割合が40.9%などとなっている。性別でみると、男性に比べ、女性で「高齢者福祉」の割合が高く、約7割となっている。

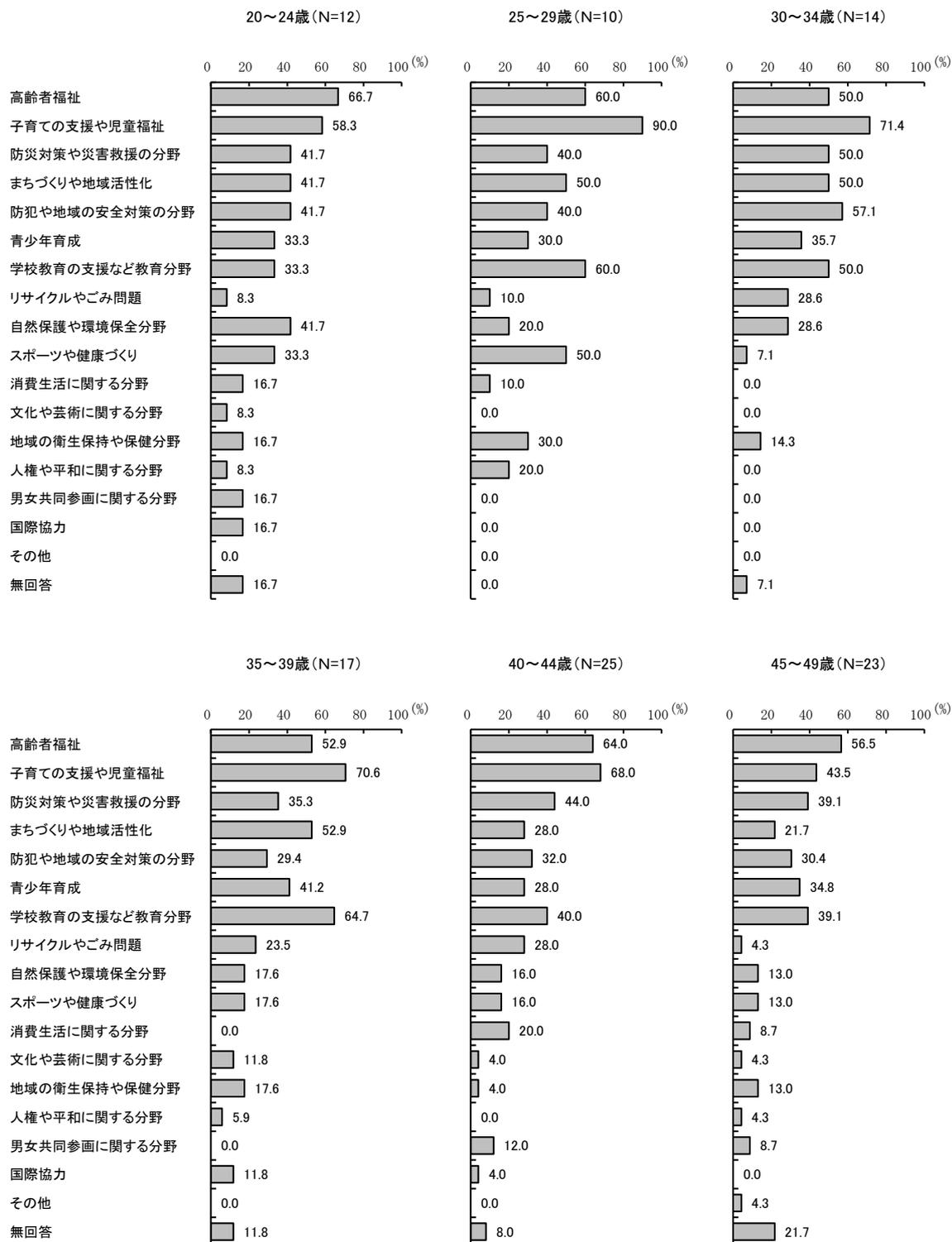


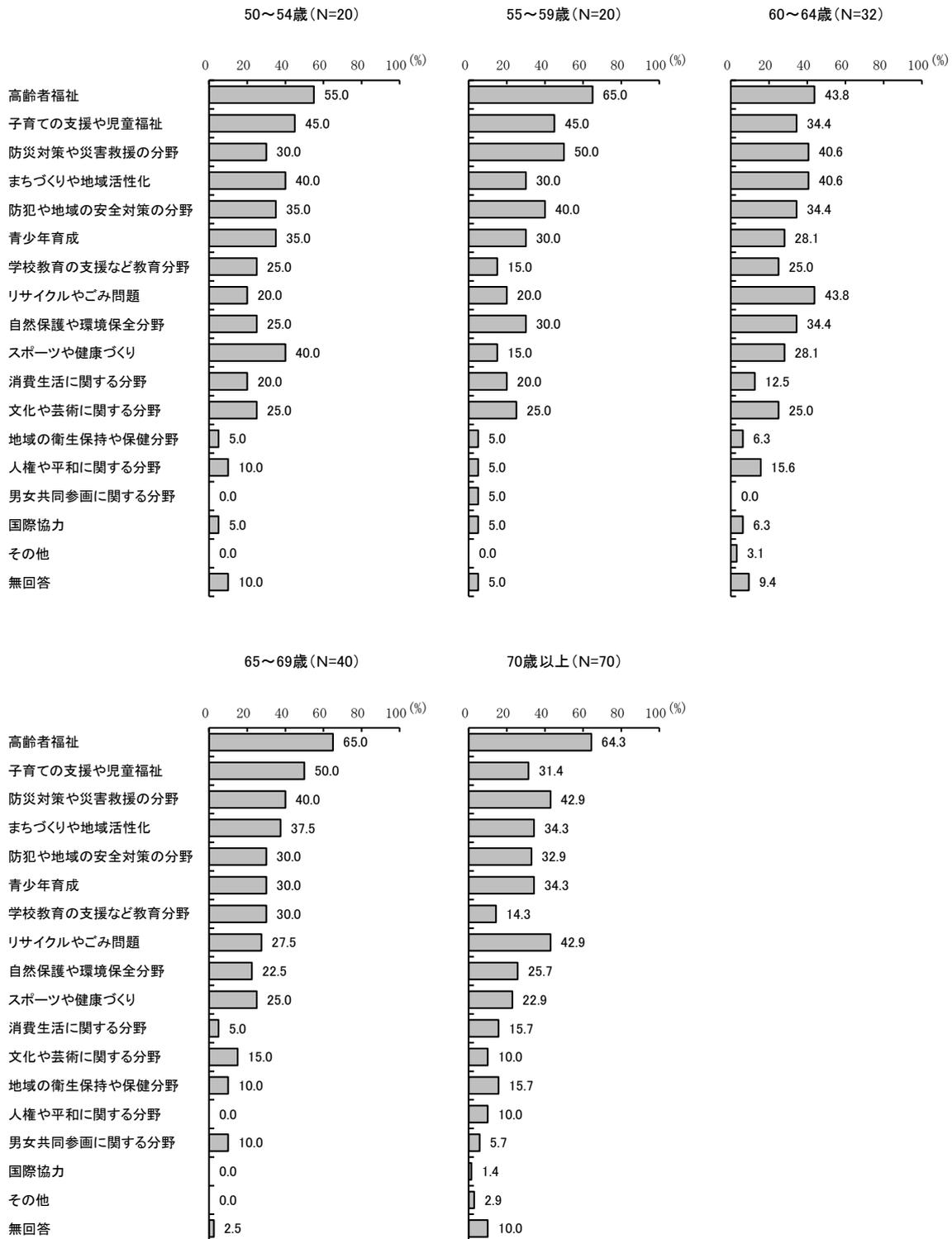
【性別】



年代別でみると、他の年代に比べ、25～29歳で「子育ての支援や児童福祉」、25～29歳、35～39歳で「学校教育の支援など教育分野」の割合が高くなっている。また、30～34歳で「防犯や地域の安全対策の分野」、60～64歳、70歳以上で「リサイクルやごみ問題」の割合が高くなっている。

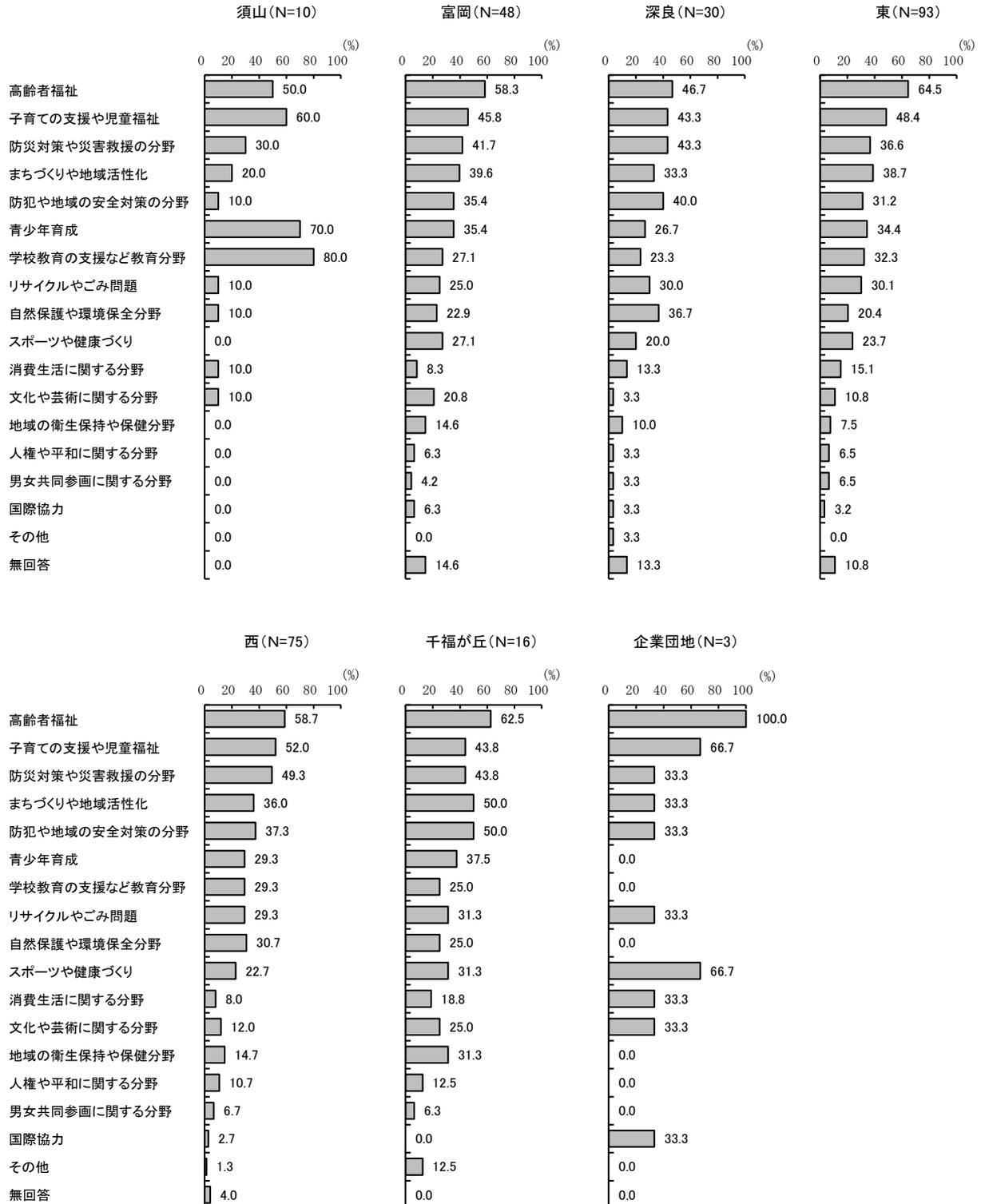
### 【年代別】





居住地区別でみると、他の地区に比べ、須山で「学校教育の支援など教育分野」、「青少年育成」の割合が高くなっている。また、千福が丘で「まちづくりや地域活性化」、「地域の衛生保持や保健分野」の割合が高くなっている。

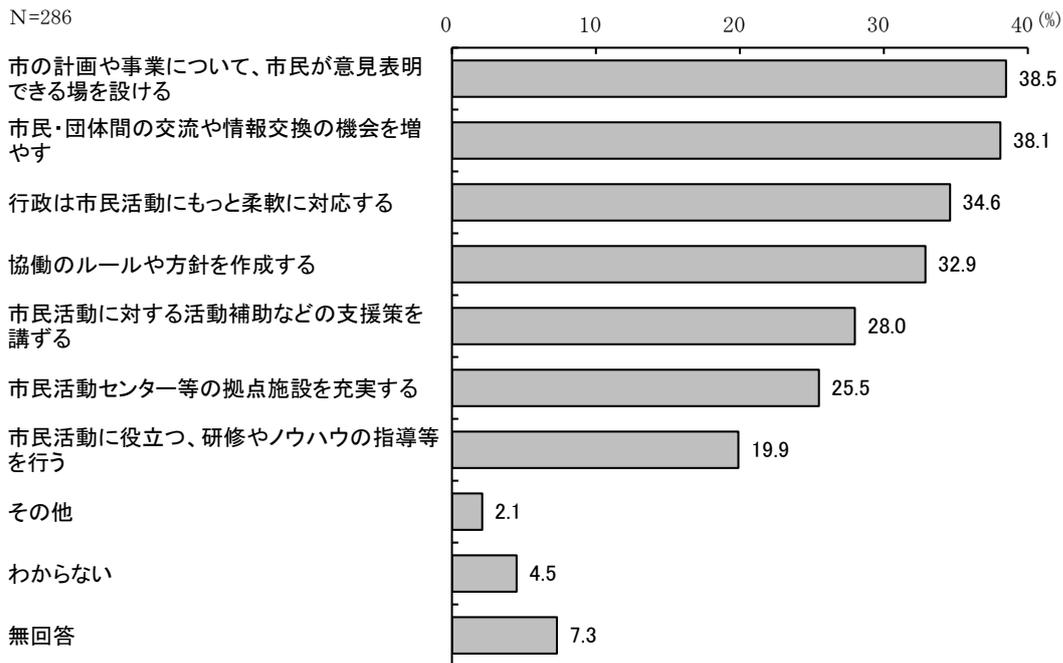
### 【居住地区別】



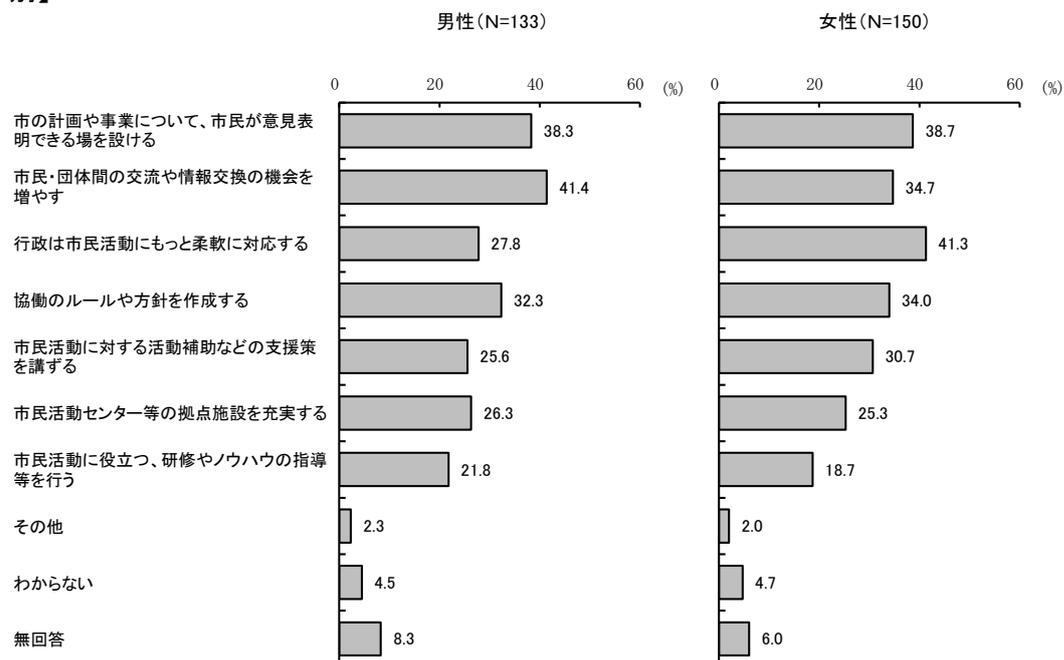
問4-4 問4で「1～3」を選んだ方にお聞きします。協働によるまちづくりを進めていく上で、行政はどのようなことをすればよいと思いますか。(〇はいくつでも)

協働によるまちづくりを進める上での行政の役割は、「市の計画や事業について、市民が意見表明できる場を設ける」の割合が38.5%と最も高く、次いで「市民・団体間の交流や情報交換の機会を増やす」の割合が38.1%、「行政は市民活動にもっと柔軟に対応する」の割合が34.6%などとなっている。

性別でみると、男性に比べ、女性で「行政は市民活動にもっと柔軟に対応する」の割合が高く、約4割となっている。

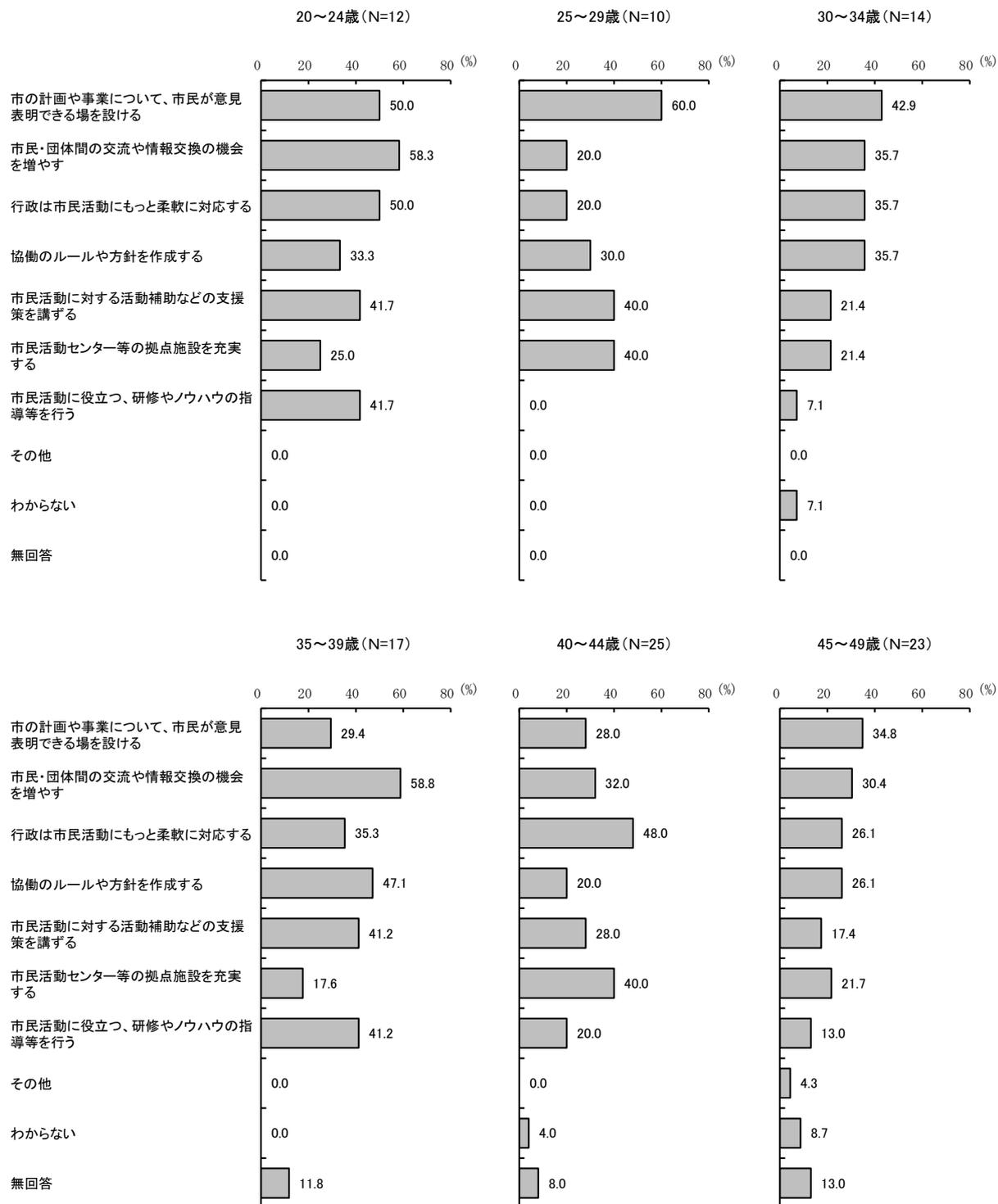


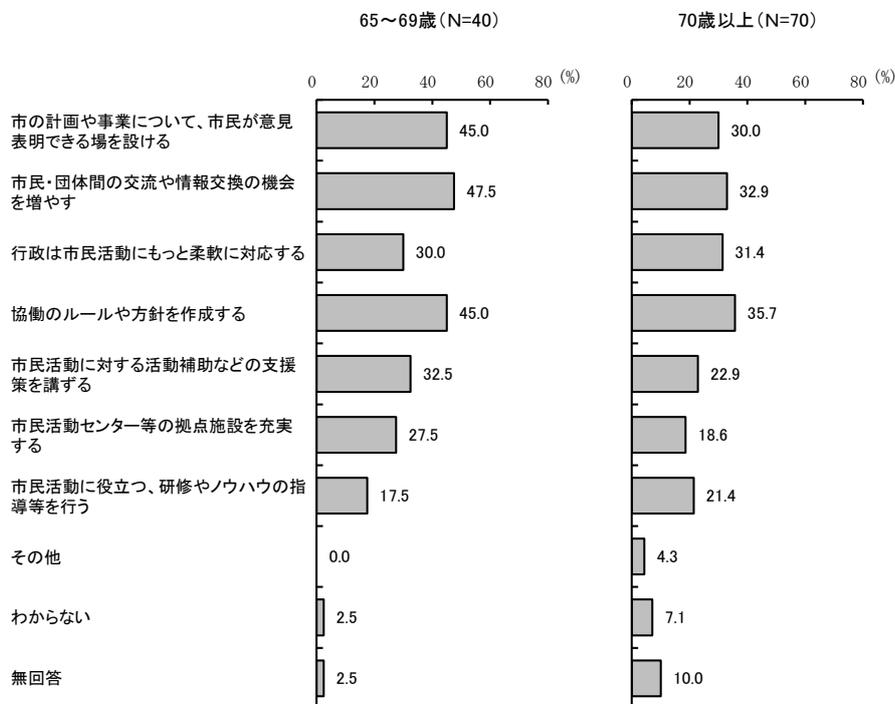
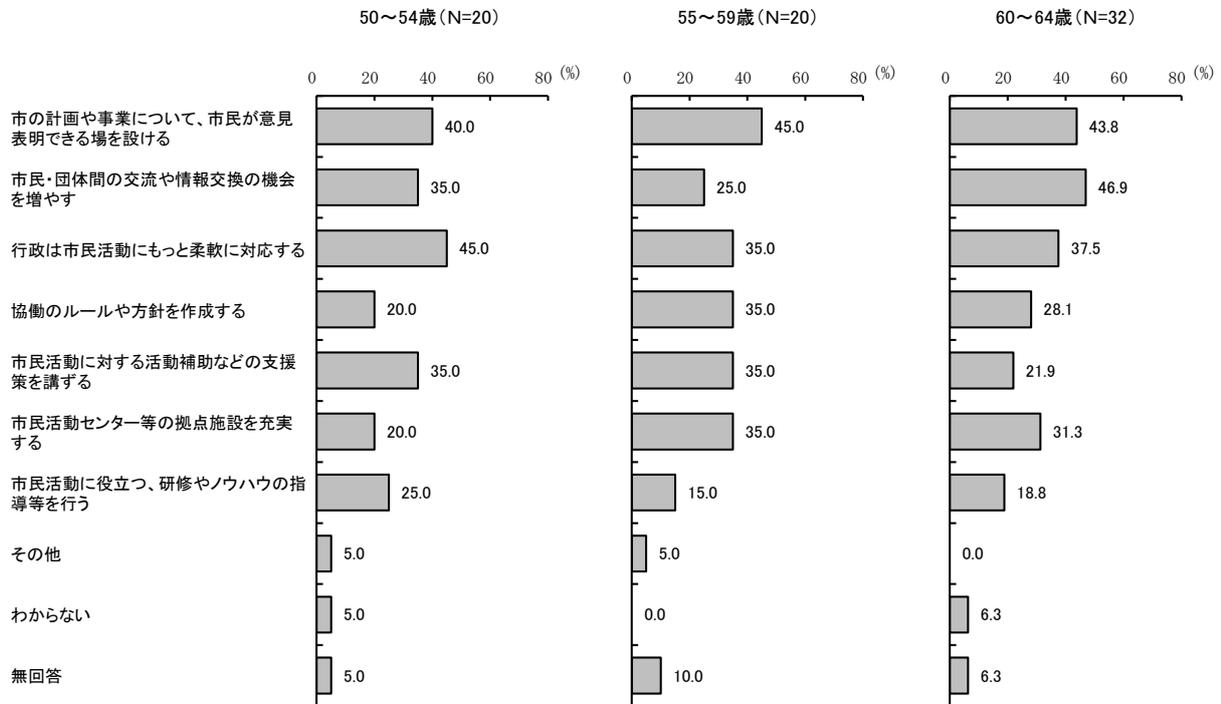
## 【性別】



年代別でみると、他の年代に比べ、25～29歳で「市の計画や事業について、市民が意見表明できる場を設ける」、20～24歳、35～39歳で「市民・団体間の交流や情報交換の機会を増やす」の割合が高く、約6割となっている。

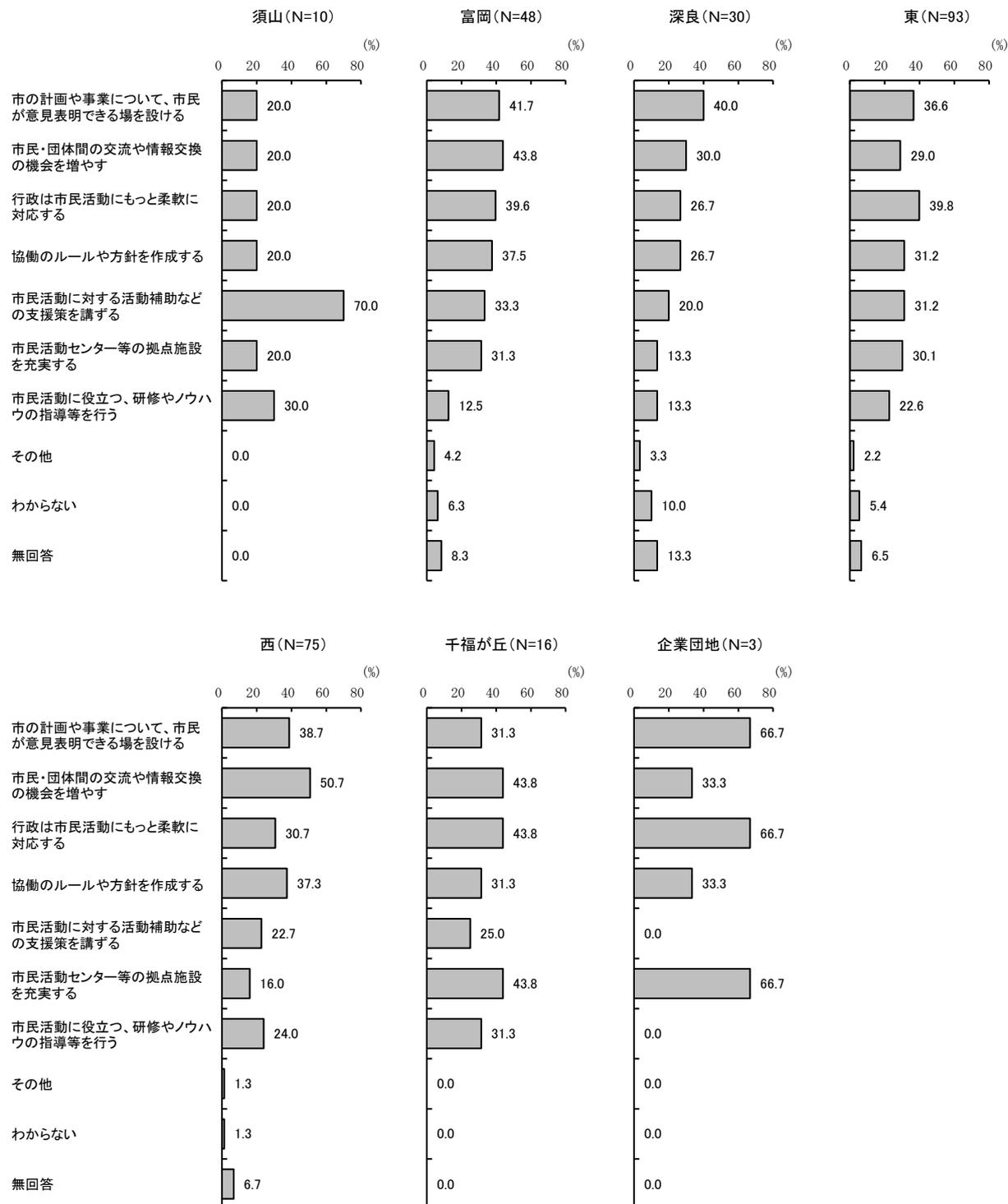
【年代別】





居住地区別でみると、他の地区に比べ、須山で「市民活動に対する活動補助などの支援策を講ずる」の割合が高く、7割となっている。また、西で「市民・団体間の交流や情報交換の機会を増やす」、千福が丘で「市民活動センター等の拠点施設を充実する」の割合が高くなっている。

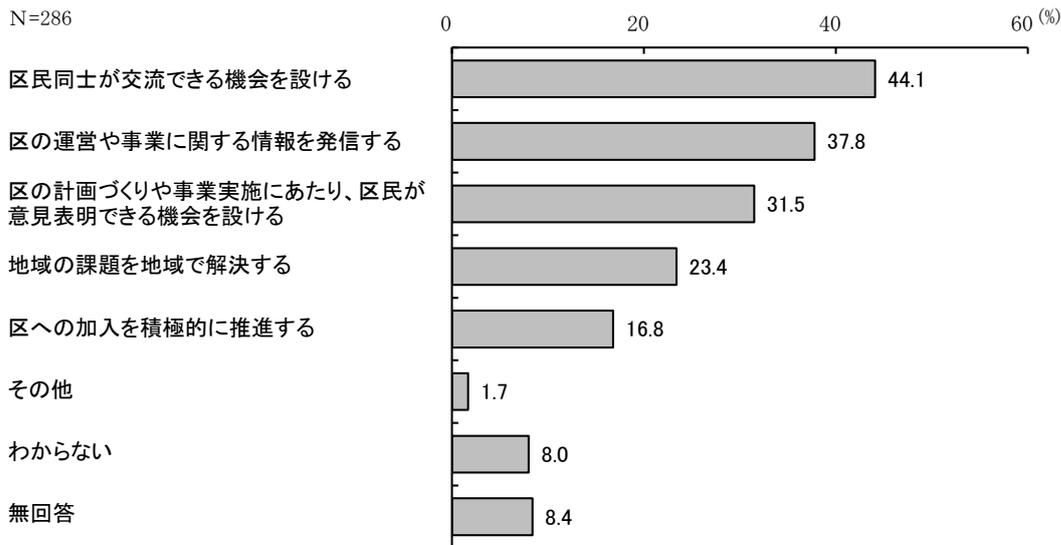
### 【居住地区別】



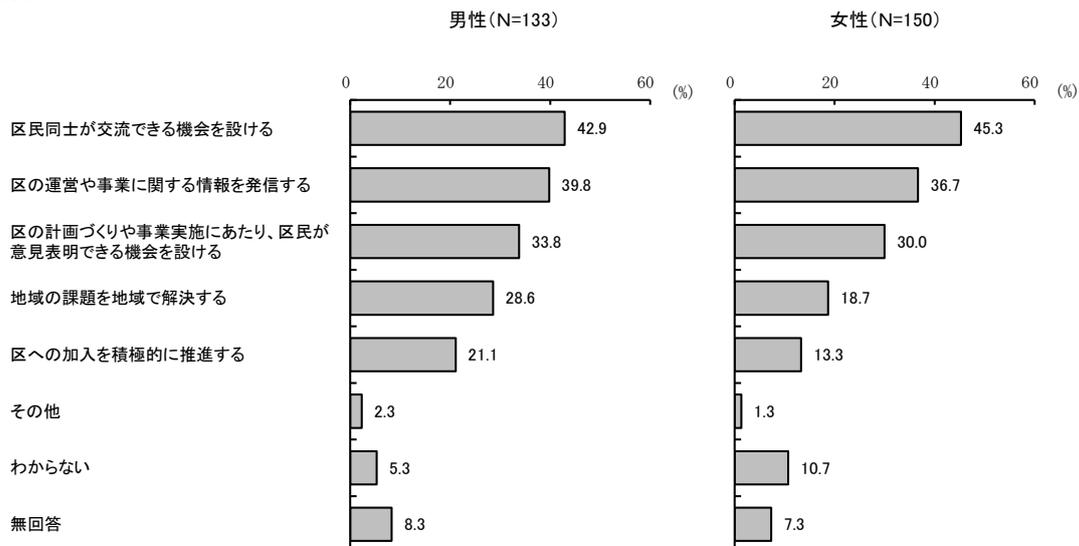
問4-5 問4で「1～3」を選んだ方にお聞きします。協働によるまちづくりを進めていく上で、区（自治会）はどのようなことをすればよいと思いますか。（〇はいくつでも）

協働によるまちづくりを進める上での区（自治会）の役割は、「区民同士が交流できる機会を設ける」の割合が44.1%と最も高く、次いで「区の運営や事業に関する情報を発信する」の割合が37.8%、「区の計画づくりや事業実施にあたり、区民が意見表明できる機会を設ける」の割合が31.5%などとなっている。

性別でみると、女性に比べ、男性で「地域の課題を地域で解決する」の割合が高く、約3割となっている。

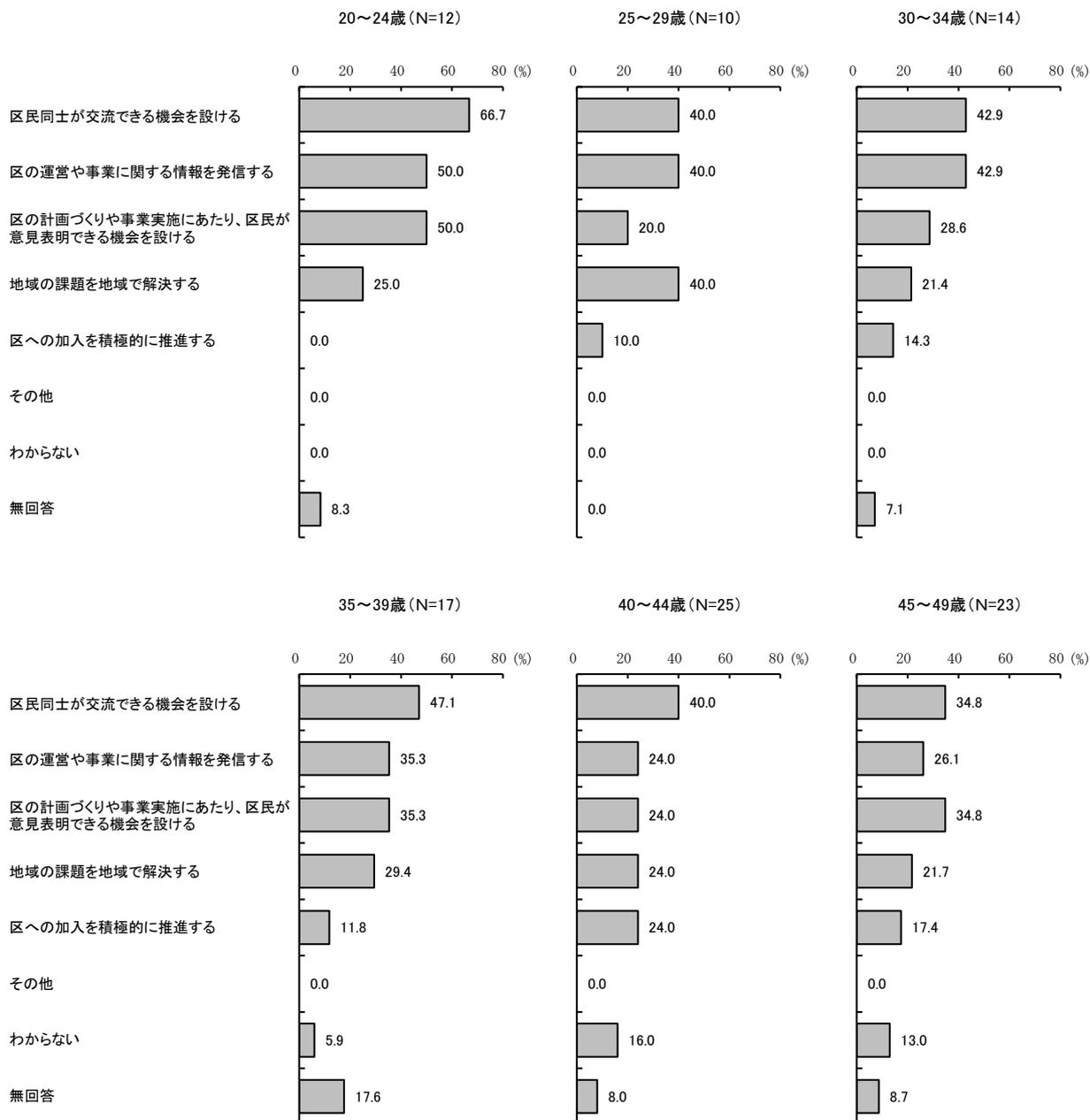


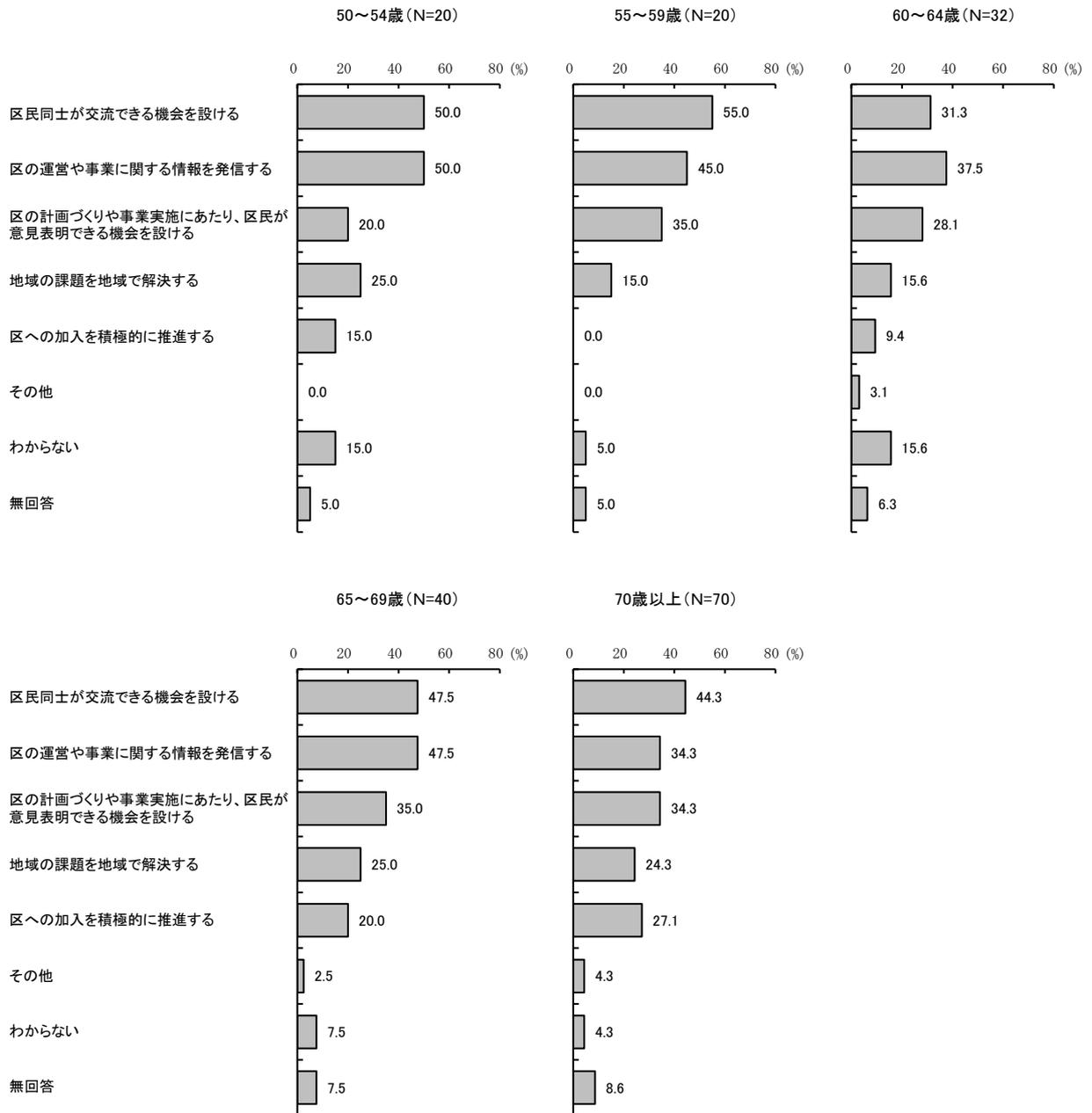
### 【性別】



年代別でみると、他の年代に比べ、20～24歳で「区民同士が交流できる機会を設ける」の割合が高く、約7割となっている。また、25～29歳で「地域の課題を地域で解決する」の割合が高く、4割となっている。

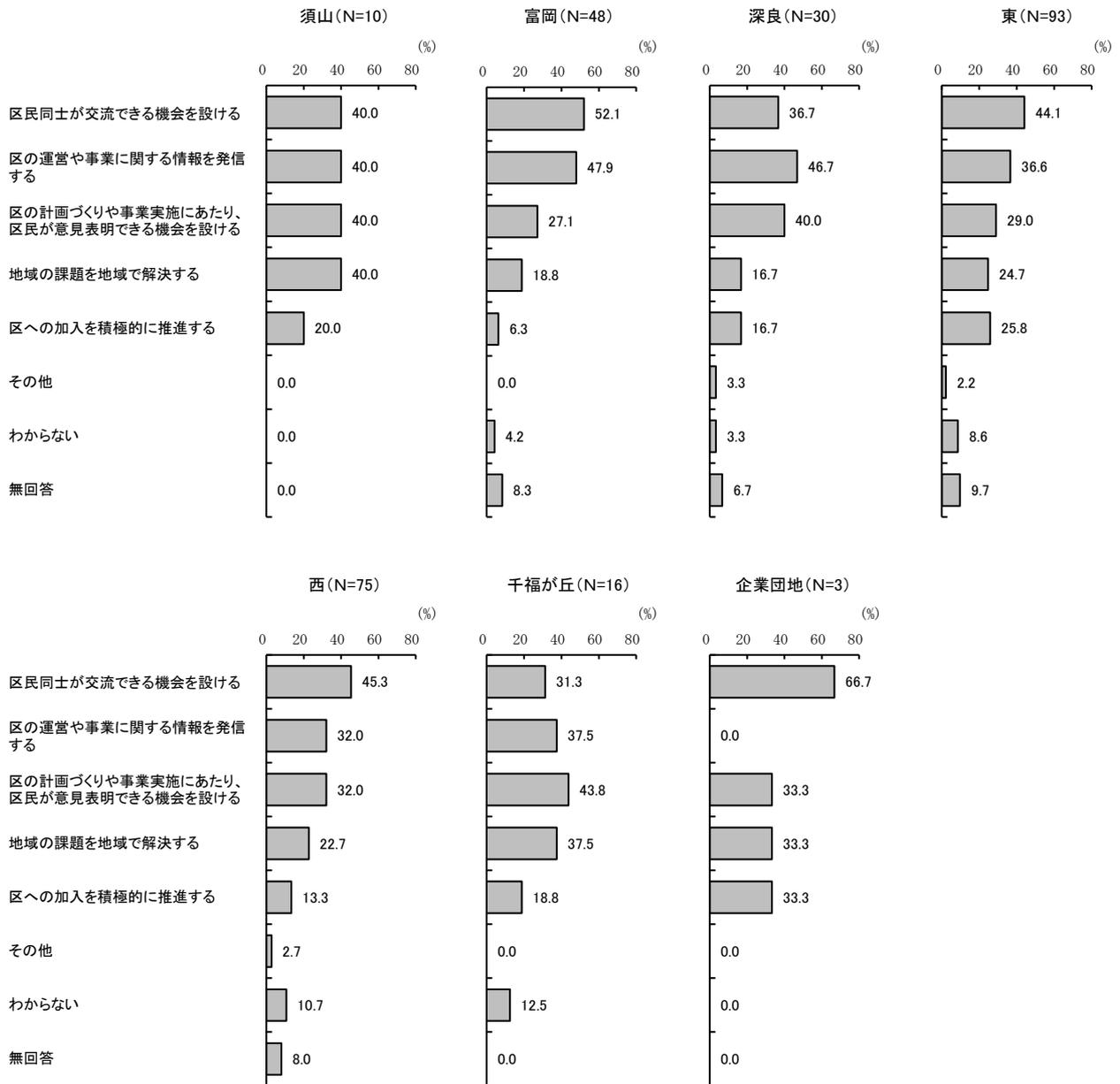
### 【年代別】





居住地区別でみると、他の地区に比べ、富岡で「区民同士が交流できる機会を設ける」の割合が高く、5割を超えている。また、須山、千福が丘で「地域の課題を地域で解決する」の割合が高く、約4割となっている。

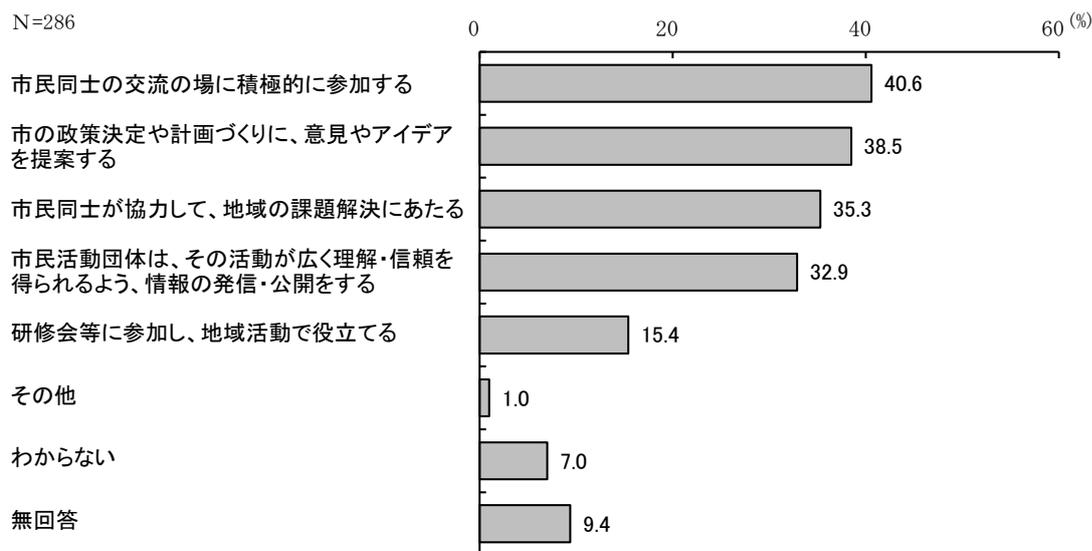
### 【居住地区別】



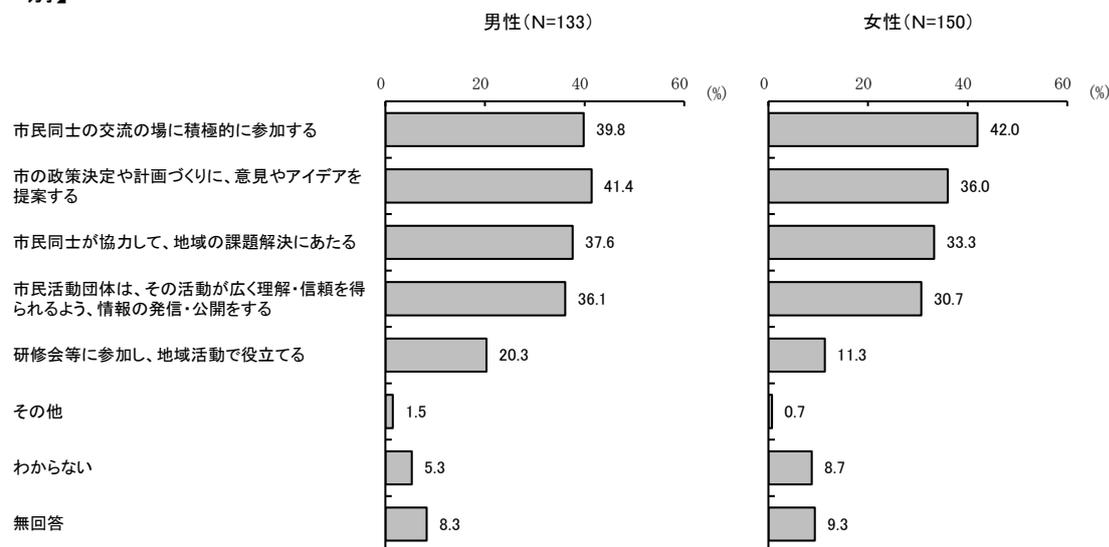
問4-6 問4で「1～3」を選んだ方にお聞きします。協働によるまちづくりを進めていく上で、市民（あなた）はどのようなことをすればよいと思いますか。（〇はいくつでも）

協働によるまちづくりを進める上での市民の役割は、「市民同士の交流の場に積極的に参加する」の割合が40.6%と最も高く、次いで「市の政策決定や計画づくりに、意見やアイデアを提案する」の割合が38.5%、「市民同士が協力して、地域の課題解決にあたる」の割合が35.3%などとなっている。

性別でみると、女性に比べ、男性で「研修会等に参加し、地域活動で役立てる」の割合が高く、約2割となっている。

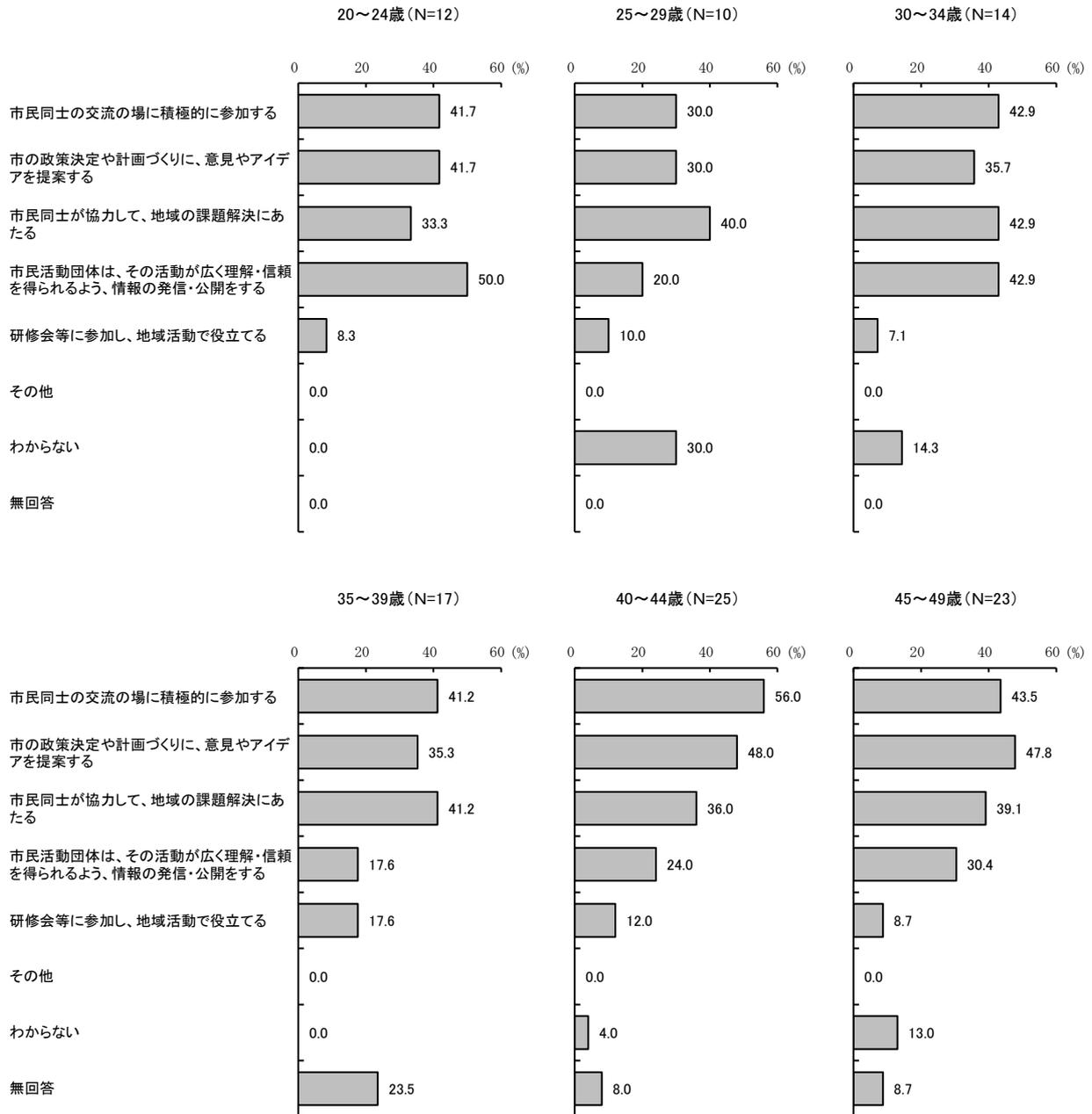


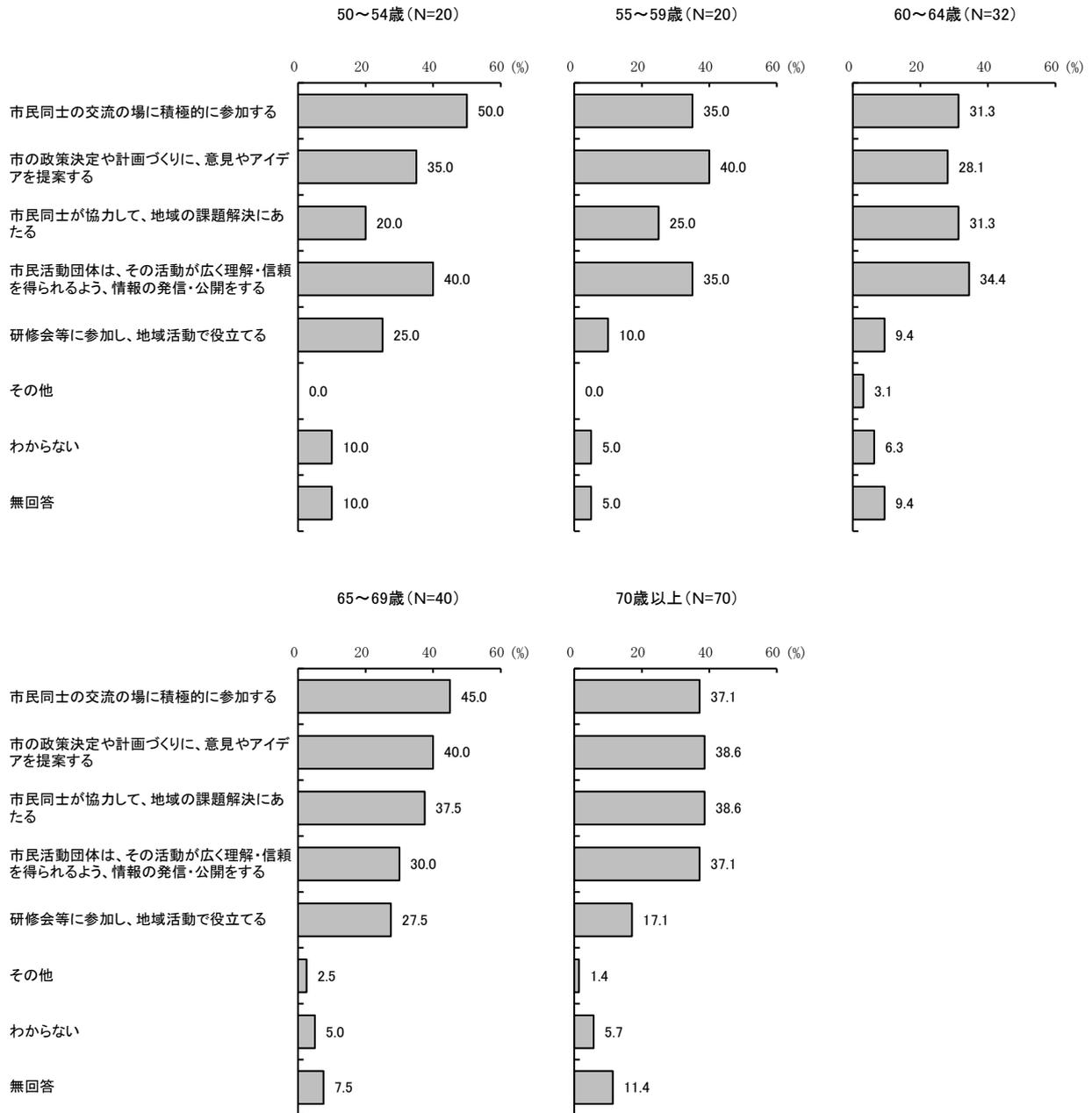
### 【性別】



年代別でみると、他の年代に比べ、40～44歳、45～49歳で「市の政策決定や計画づくりに、意見やアイデアを提案する」の割合が高く、約5割となっている。また、50～54歳、65～69歳で「研修会等に参加し、地域活動で役立つ」の割合が高く、約3割となっている。

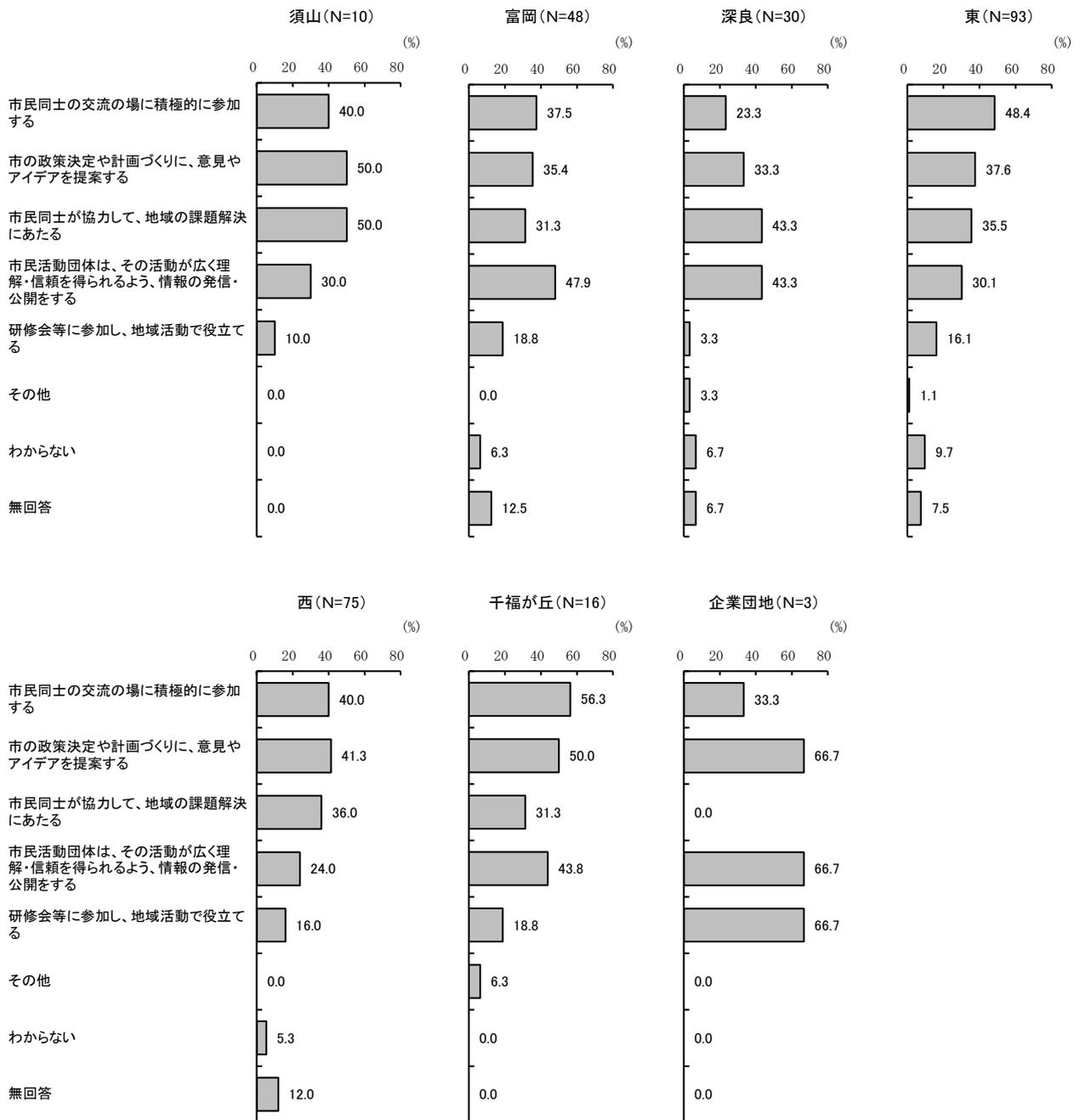
【年代別】





居住地区別でみると、他の地区に比べ、千福が丘で「市民同士の交流の場に積極的に参加する」の割合が高く、約6割となっている。

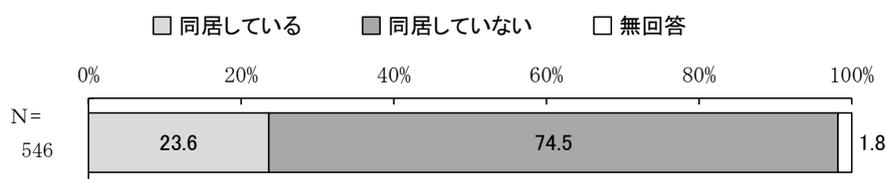
【居住地区別】



## 4 子育て環境について

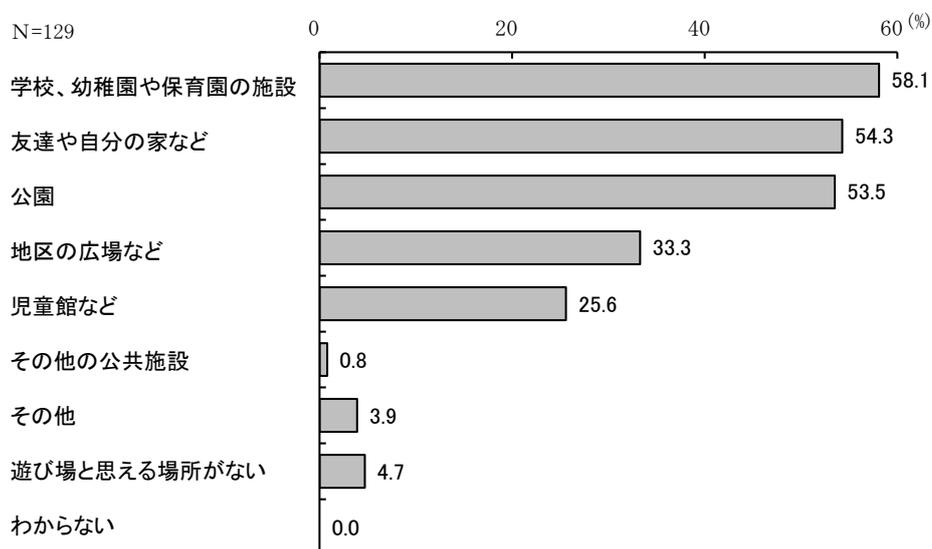
問5 あなたは小学生以下の子どもと同居していますか。(○は1つ)

小学生以下の子どもとの同居状況は、「同居している」の割合が 23.6%、「同居していない」の割合が 74.5%となり、「同居していない」の割合の方が高くなっている。



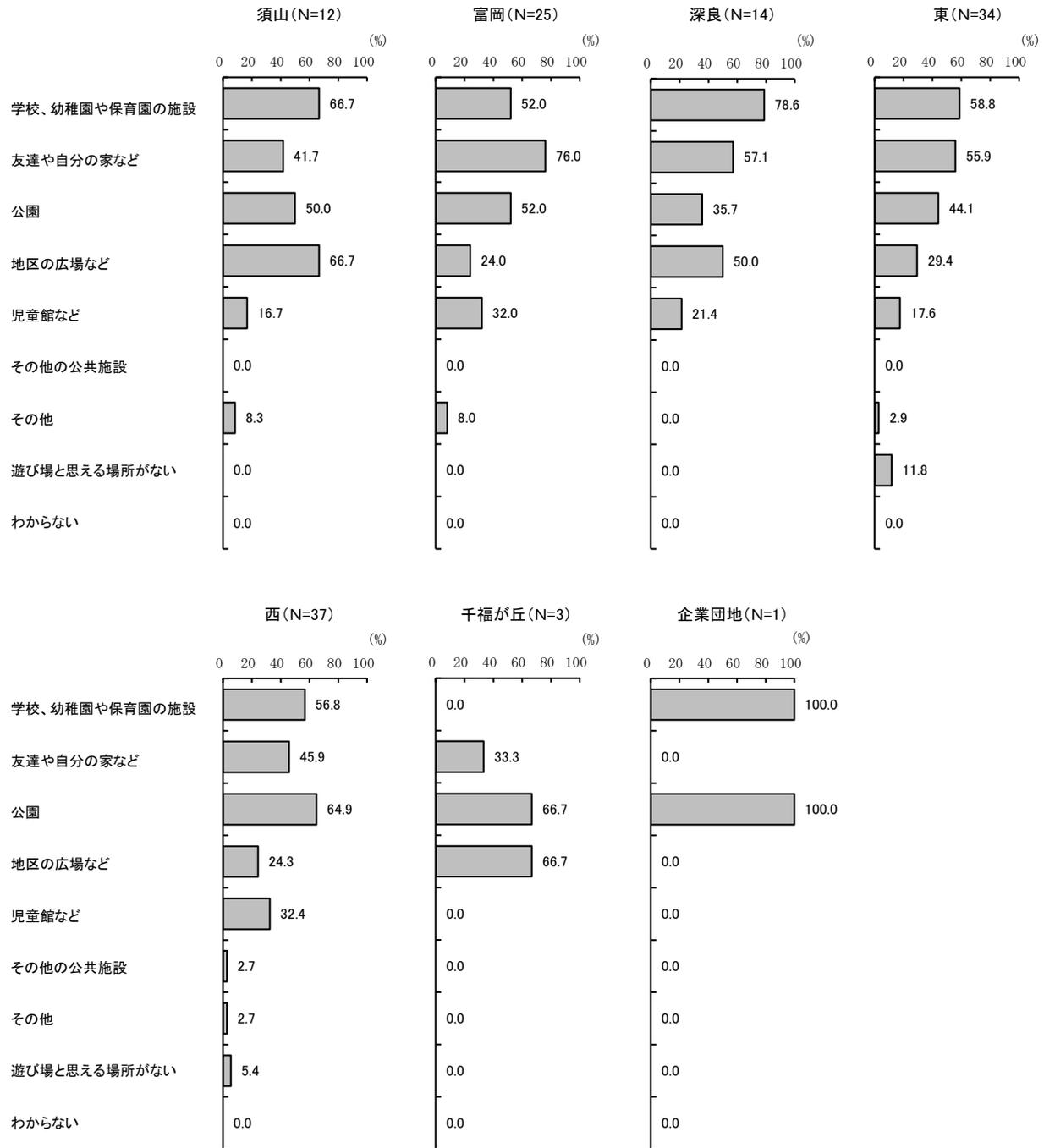
問5-1 問5で「1 同居している」を選んだ方にお聞きします。現在身の回りを見て、あなたの思い描く「子どもの遊び場」とはどんなものですか。(○は3つまで)

身の回りを見て思い描く「子どもの遊び場」は、「学校、幼稚園や保育園の施設」の割合が 58.1%と最も高く、次いで「友達や自分の家など」の割合が 54.3%、「公園」の割合が 53.5%などとなっている。



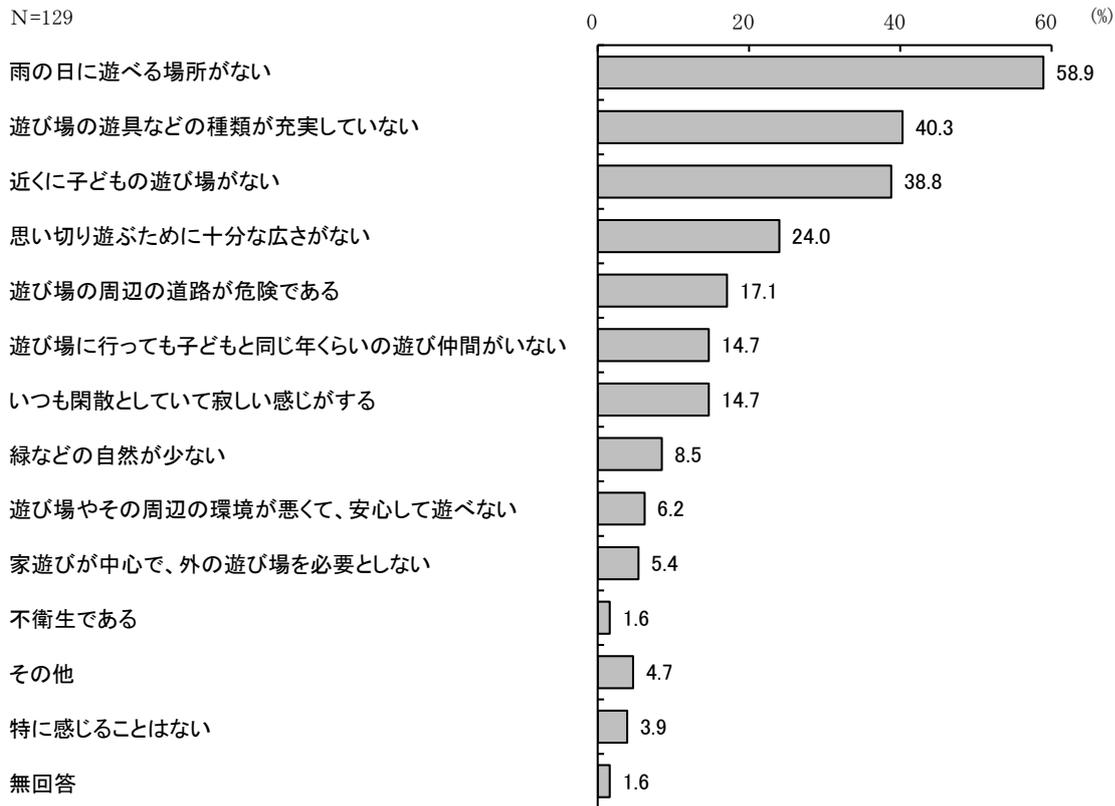
居住地区別でみると、他の地区に比べ、深良で「学校、幼稚園や保育園の施設」の割合が高く、「公園」の割合が低くなっている。また、富岡で「友達や自分の家など」の割合が高く、約8割となっている。

【居住地区別】



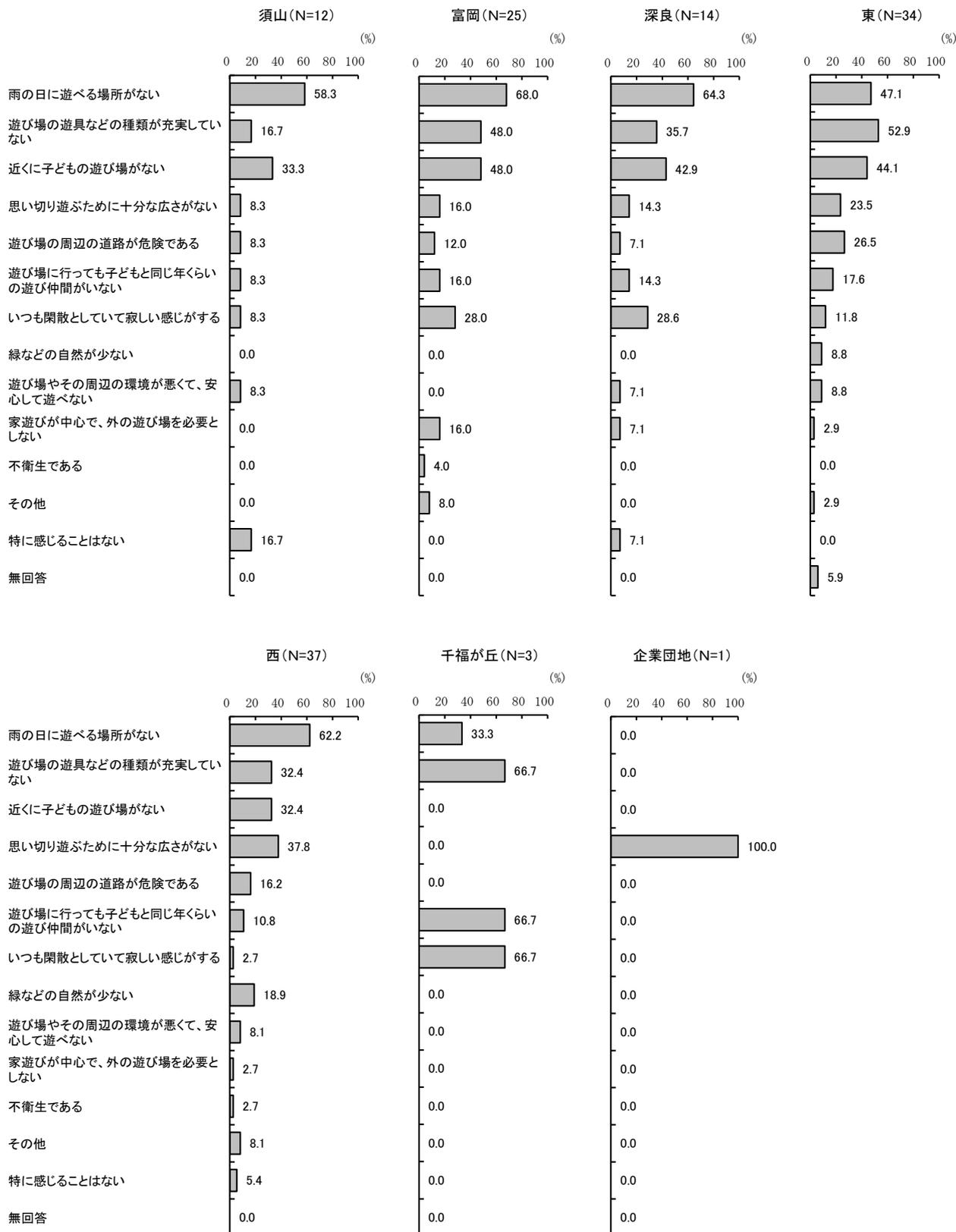
問5-2 問5で「1 同居している」を選んだ方にお聞きします。家の近くの子どもの遊び場について日ごろ感じていることがありますか。(〇は3つまで)

家の近くの子どもの遊び場について日ごろ感じていることは、「雨の日に遊べる場所がない」の割合が58.9%と最も高く、次いで「遊び場の遊具などの種類が充実していない」の割合が40.3%、「近くに子ども遊び場がない」の割合が38.8%などとなっている。



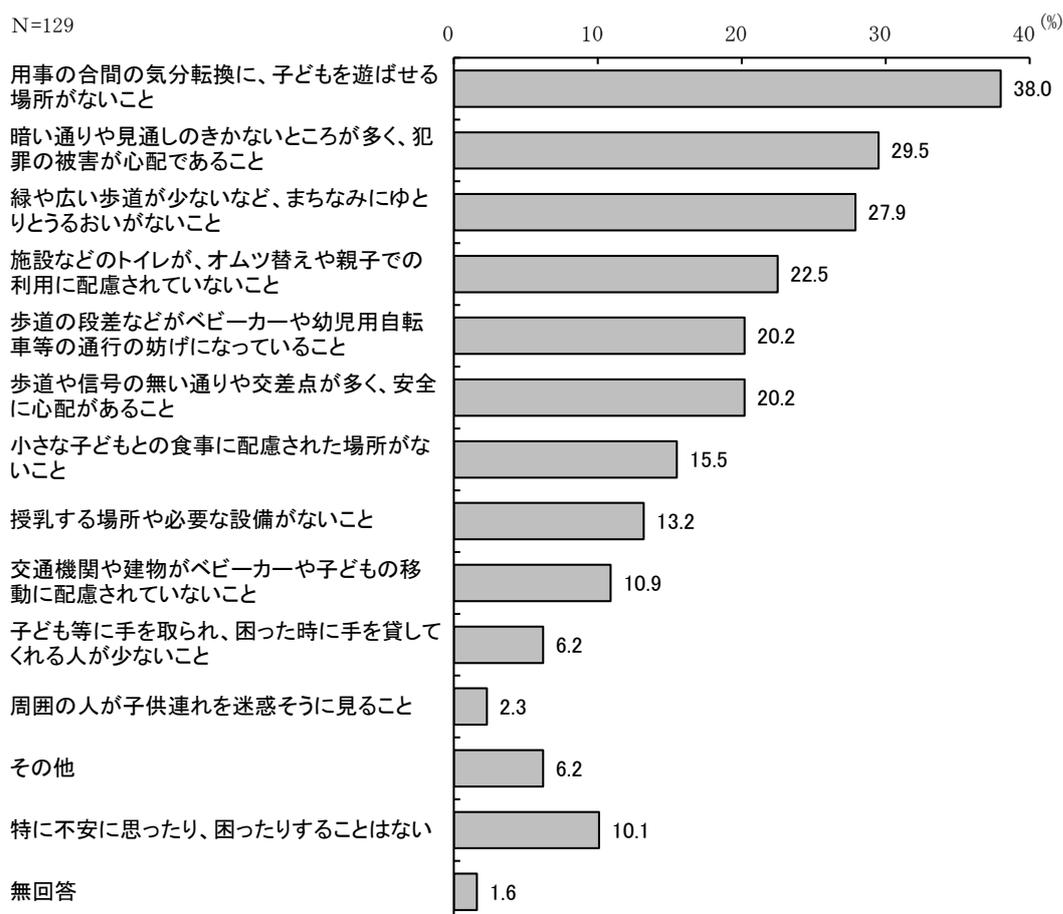
居住地区別で見ると、他の地区に比べ、西で「思い切り遊ぶために十分な広さが無い」の割合が高く、約4割となっている。また、富岡、深良で「いつも閑散としていて寂しい感じがする」の割合が高く、約3割となっている。

### 【居住地区別】



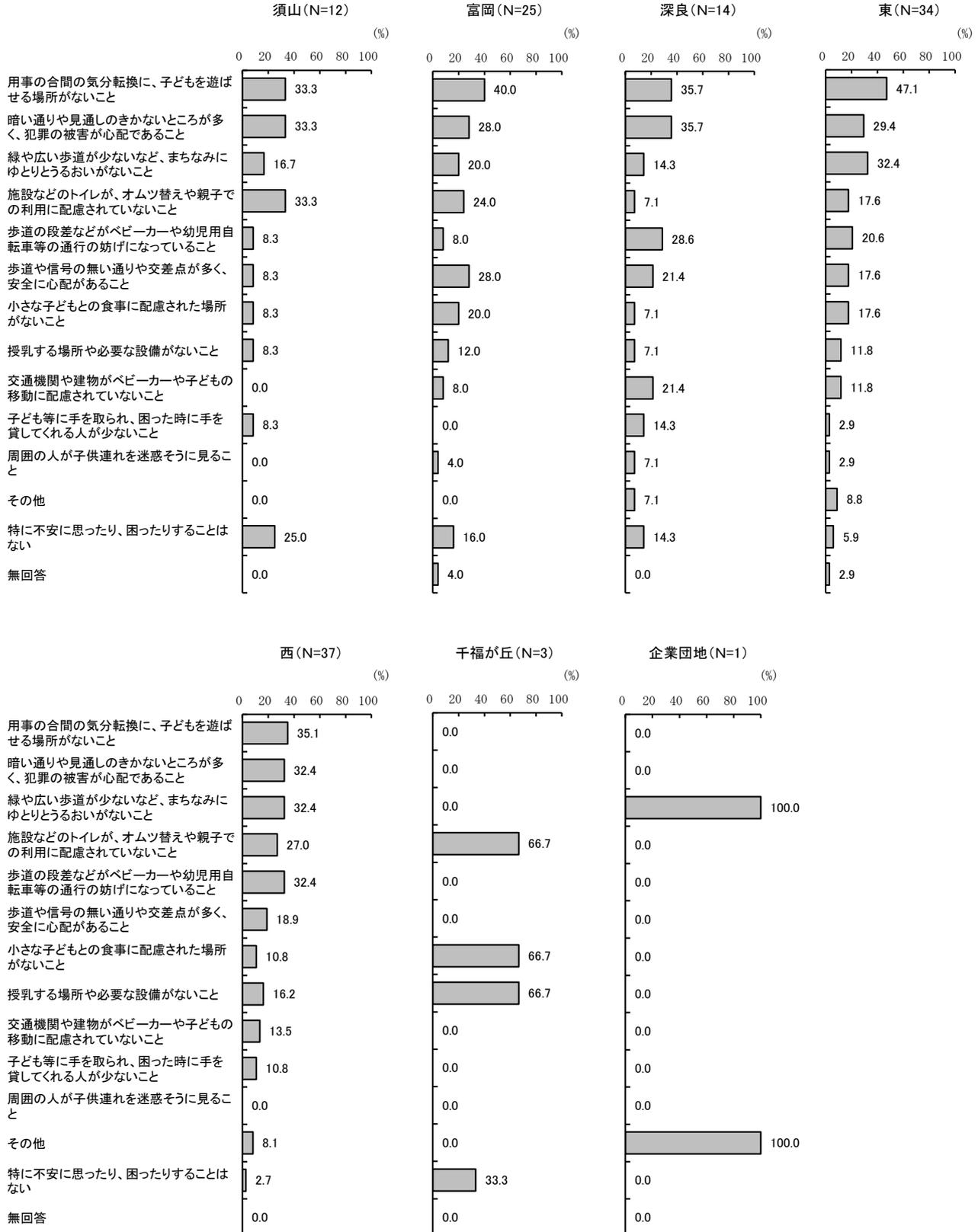
問5-3 問5で「1 同居している」を選んだ方にお聞きします。子どもとの外出の際に不安や困ることとは何ですか。(〇は3つまで)

子どもとの外出の際の不安や困りごとは、「用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がないこと」の割合が38.0%と最も高く、次いで「暗い通りや見通しのきかないところが多く、犯罪の被害が心配であること」の割合が29.5%、「緑や広い歩道が少ないなど、まちなみにゆとりとuringおいがないこと」の割合が27.9%などとなっている。



居住地区別でみると、他の地区に比べ、深良、西で「歩道の段差などがベビーカーや幼児用自転車等の通行の妨げになっていること」、富岡で「歩道や信号の無い通りや交差点が多く、安全に心配があること」の割合が高く、約3割となっている。

【居住地区別】



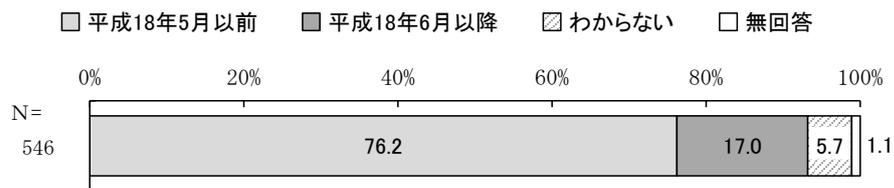
## 5 住宅用火災警報器の設置について

※消防法が改正され、平成21年6月1日からご家庭に住宅用火災警報器等の設置が義務付けられました。

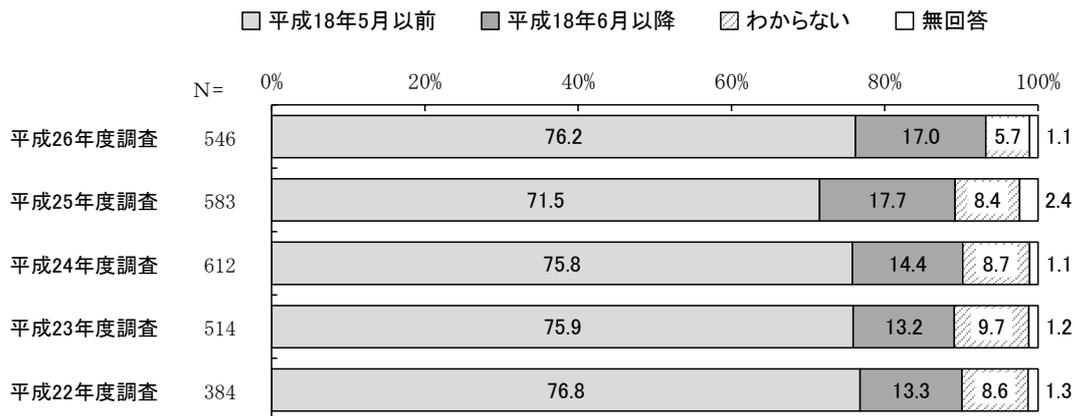
問6 お住まいの住宅（共同住宅等含む）が建てられた時期はいつですか。（○は1つ）

お住まいの住宅（共同住宅等含む）が建てられた時期は、「平成18年5月以前」の割合が76.2%と最も高く、次いで「平成18年6月以降」の割合が17.0%となっている。

経年比較をすると、「平成18年5月以前」の割合は平成25年度調査では71.5%であったが、それ以外では約8割で推移している。



### 【経年比較】



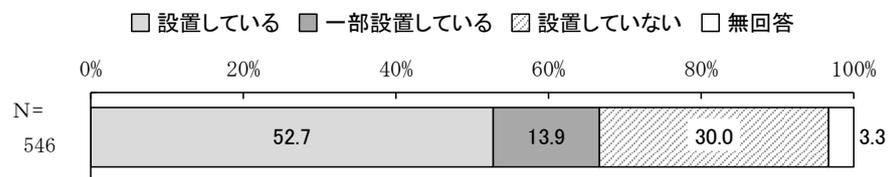
問7 平成21年6月1日より、お住まいの住宅（共同住宅等含む）では、次の場所に住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。

- ・ 寝室
- ・ 階段（寝室が2階以上の階にある場合）

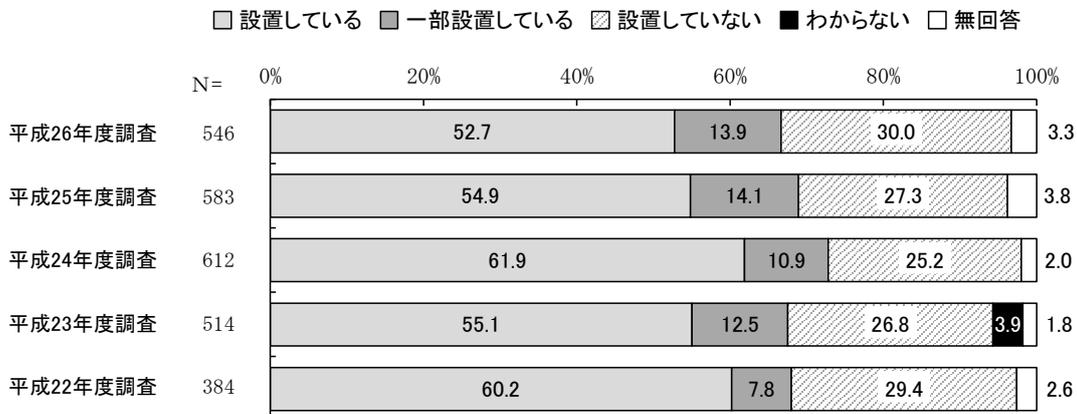
あなたがお住まいの住宅には、義務となる場所に住宅用火災警報器が設置されていますか。（○は1つ、自動火災報知設備が設置されている場合は「1 設置している」へ○）

お住まいの住宅の義務となる場所での住宅用火災警報器の設置状況は、「設置している」の割合が52.7%と最も高く、次いで「設置していない」の割合が30.0%、「一部設置している」の割合が13.9%となっている。

経年比較をすると、「設置している」の割合に大きな増減はないものの、最近5年間の調査で今回が最も低くなっている。



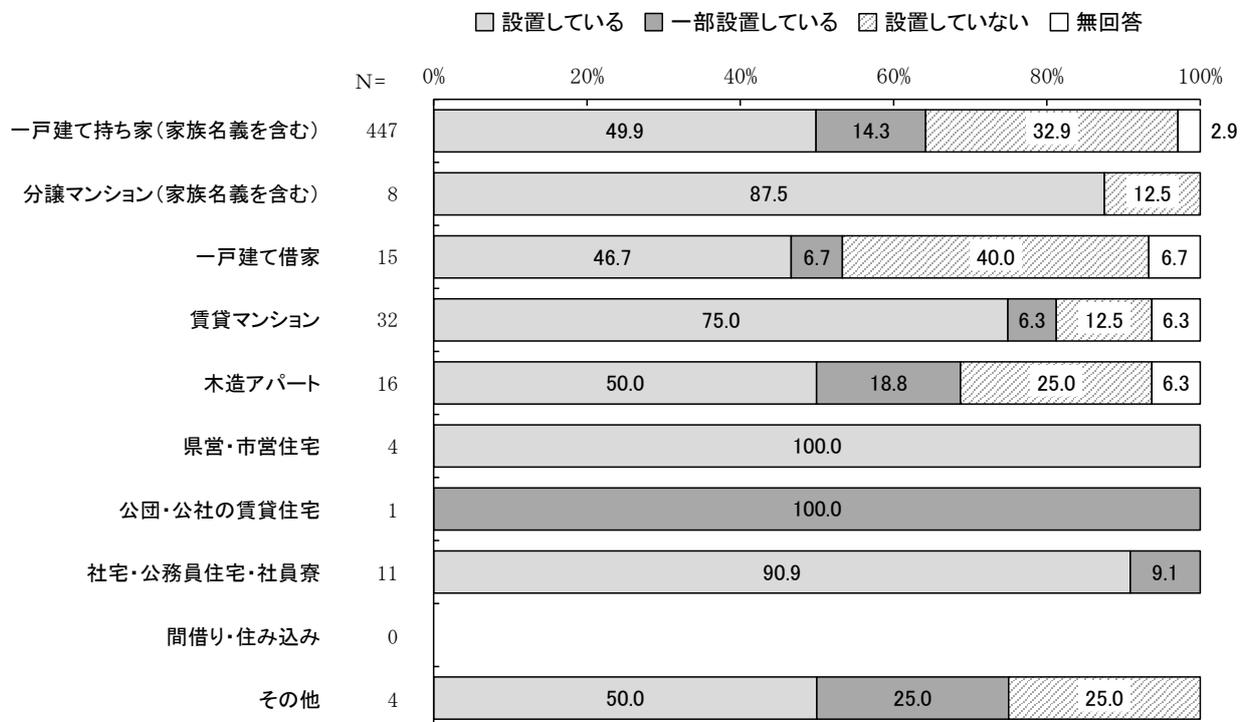
### 【経年比較】



※「わからない」は平成23年度調査のみの選択肢である。

住居形態別で見ると、他の住居形態に比べ、社宅・公務員住宅・社員寮で「設置している」の割合が高く、約9割となっている。一方、一戸建て持ち家（家族名義を含む）、一戸建て借家で「設置していない」の割合が高く、3割以上となっている。

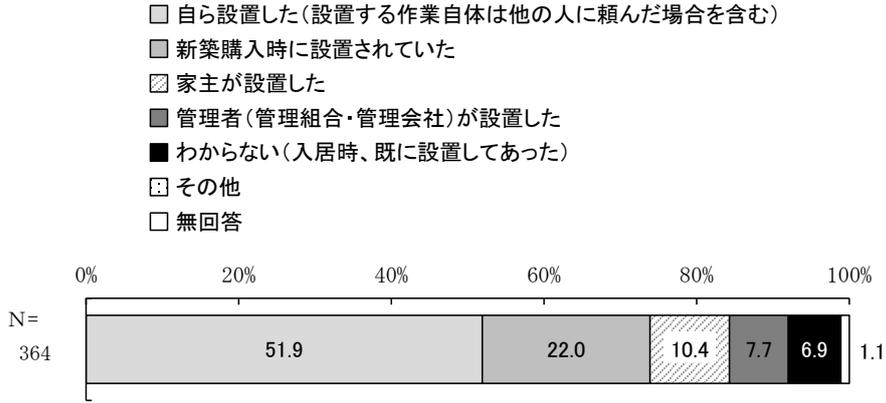
## 【住居形態別】



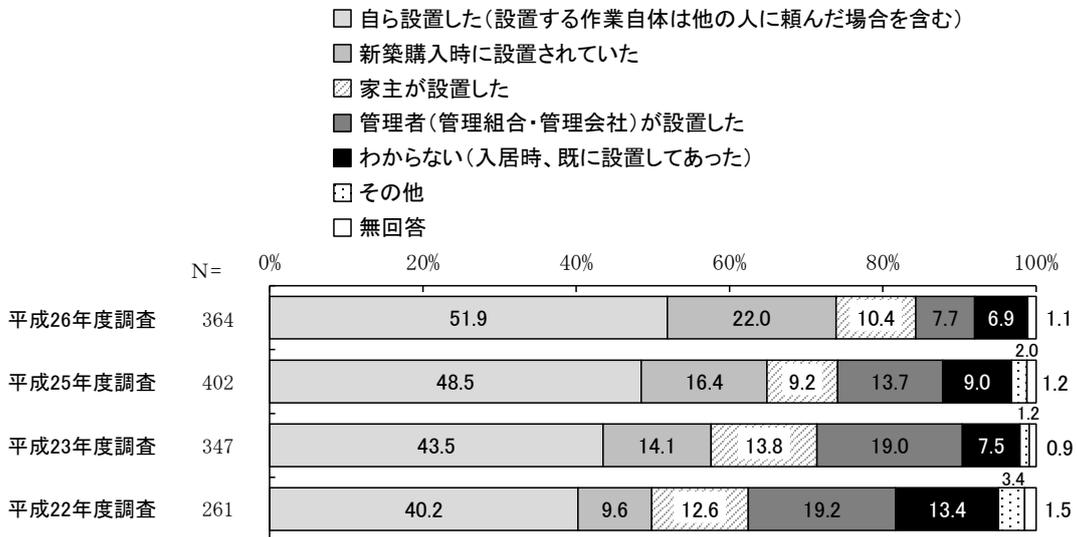
問7-1 お住まいの住宅（共同住宅等含む）に住宅用火災警報器を1つ以上設置している方にお聞きします。どのような経緯で設置にいたりましたか。（〇は1つ）

設置にいたった経緯は、「自ら設置した（設置する作業自体は他の人に頼んだ場合を含む）」の割合が51.9%と最も高く、次いで「新築購入時に設置されていた」の割合が22.0%、「家主が設置した」の割合が10.4%などとなっている。

経年比較をすると、「自ら設置した（設置する作業自体は他の人に頼んだ場合を含む）」と「新築購入時に設置されていた」の割合が徐々に増加している。

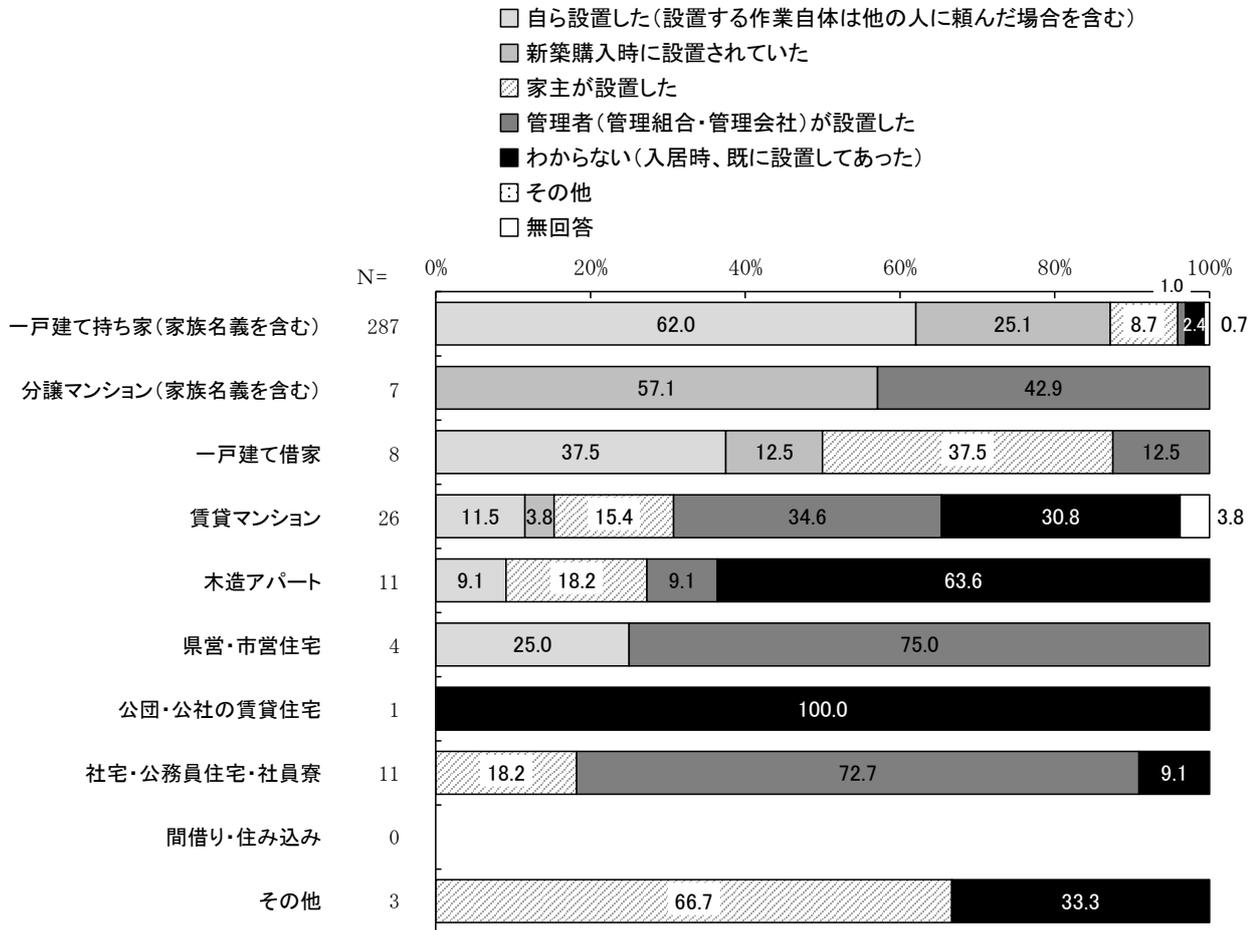


【経年比較】



住居形態別でみると、他の住居形態に比べ、一戸建て持ち家（家族名義を含む）で「自ら設置した（設置する作業自体は他の人に頼んだ場合を含む）」の割合が高く、約6割となっている。また、社宅・公務員住宅・社員寮で「管理者（管理組合・管理会社）が設置した」の割合が高く、約7割となっている。

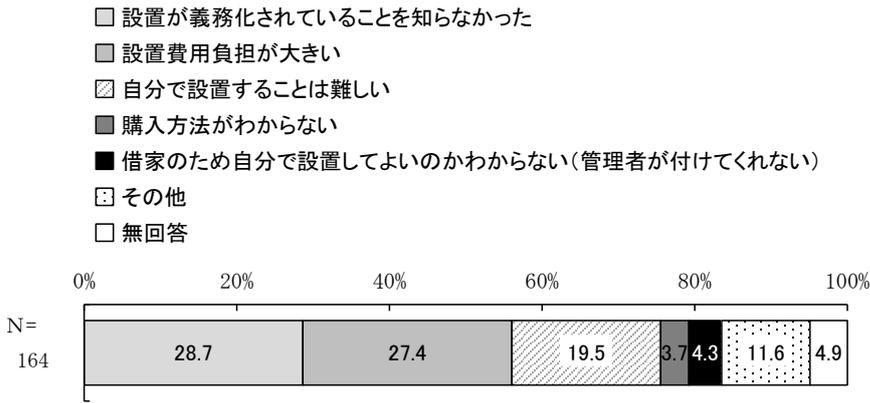
【住居形態別】



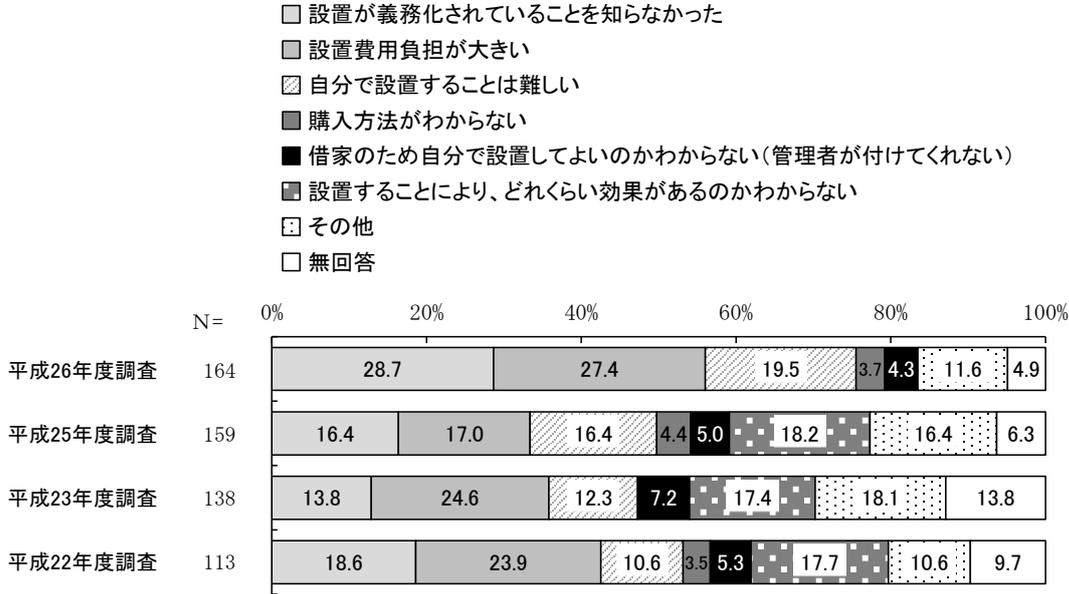
問7-2 お住まいの住宅（共同住宅等含む）に住宅用火災警報器を1つも設置していない方にお聞きします。今のところ設置していない理由は何ですか。（〇は1つ）

設置していない理由は、「設置が義務化されていることを知らなかった」の割合が28.7%と最も高く、次いで「設置費用負担が大きい」の割合が27.4%、「自分で設置することは難しい」の割合が19.5%などとなっている。

経年比較をすると、「設置が義務化されていることを知らなかった」の割合が今回は大幅に増加している。



【経年比較】



※平成26年度調査には「設置することにより、どれくらい効果があるのかわからない」の選択肢はないので、単純に比較はできず、参考程度とする。

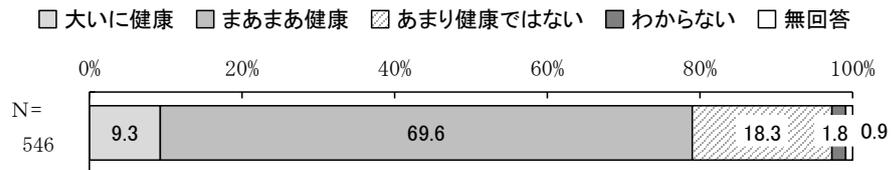
## 6 スポーツ活動について

問8 ご自分の健康についてどのように感じていますか。(○は1つ)

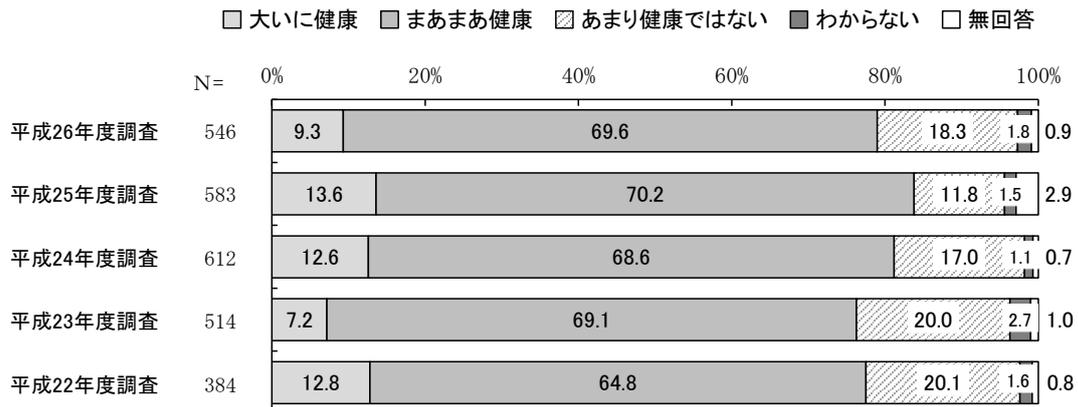
自分の健康については、「まあまあ健康」の割合が69.6%と最も高く、次いで「あまり健康ではない」の割合が18.3%、「大いに健康」の割合が9.3%などとなっている。

経年比較をすると、最近5年間で多少の増減はみられるが、ほぼ横ばいとなっている。

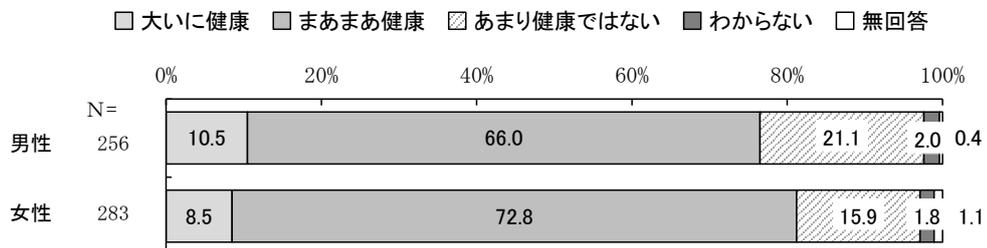
性別でみると、女性に比べ、男性で「あまり健康ではない」の割合が高くなっている。



## 【経年比較】



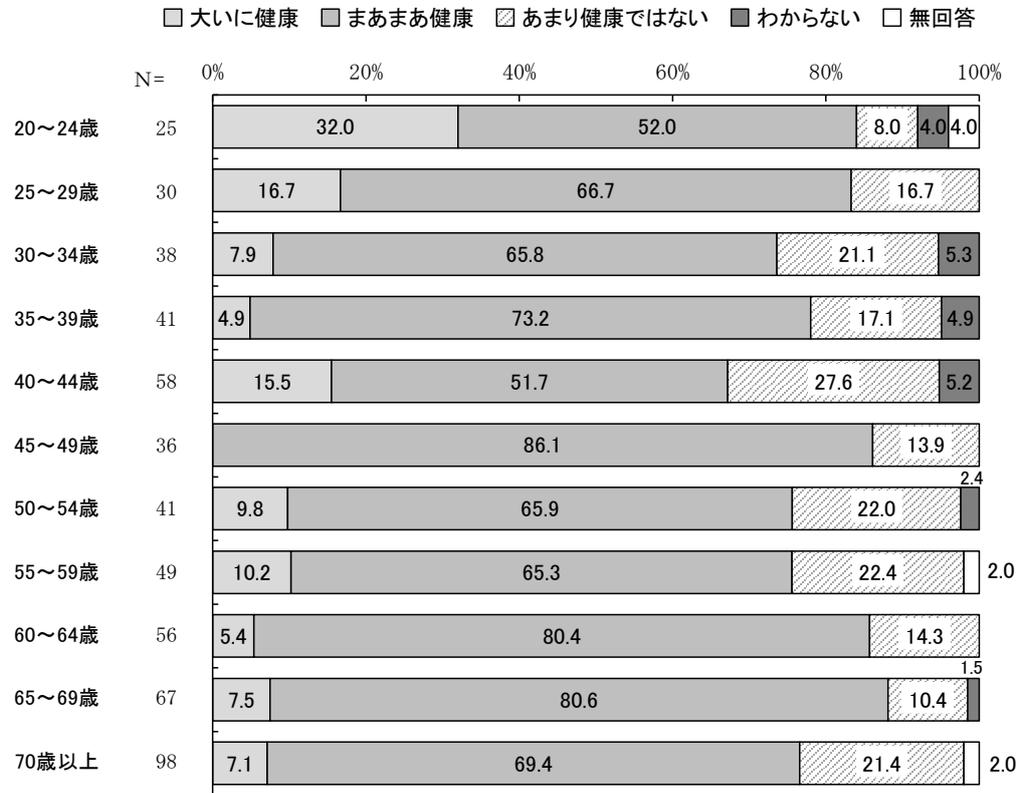
## 【性別】



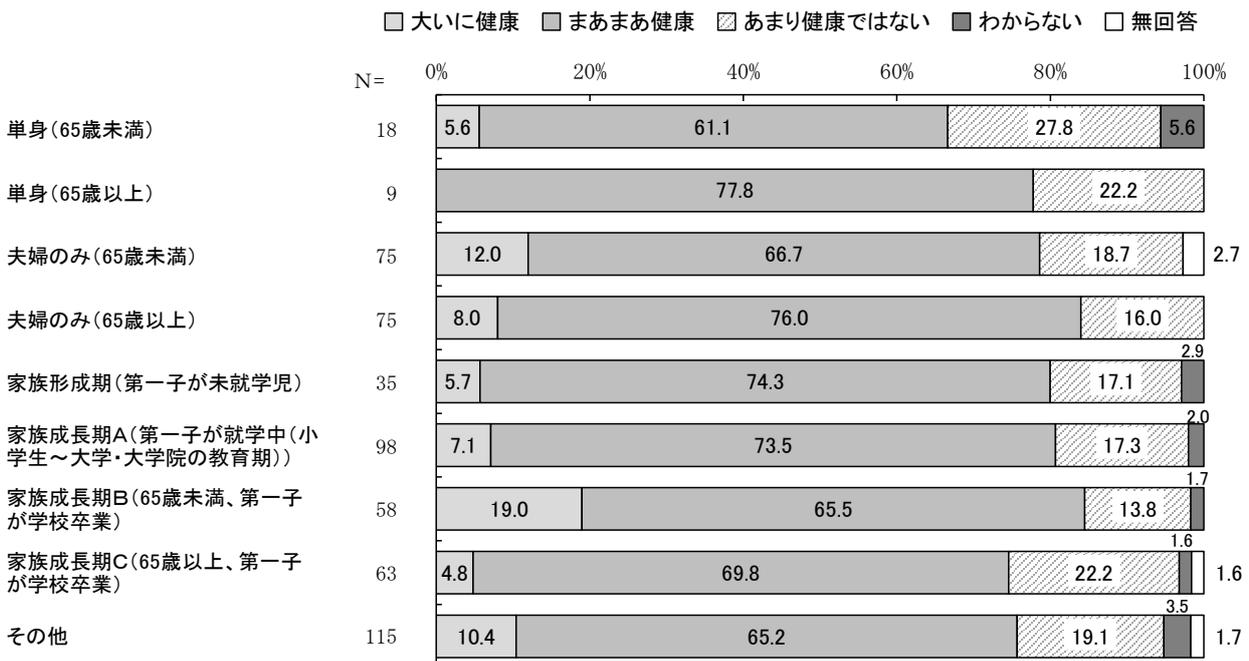
年代別でみると、他の年代に比べ、20～24歳で「大いに健康」の割合が高く、3割以上となっている。また、45～49歳で「大いに健康」と回答した方はいなかった。

ライフステージ別でみると、他に比べ、単身（65歳未満）で「あまり健康ではない」の割合が高く、約3割となっている。

### 【年代別】



### 【ライフステージ別】

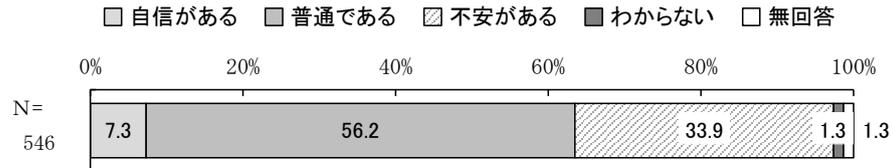


## 問9 ご自分の体力についてどのように感じていますか。(〇は1つ)

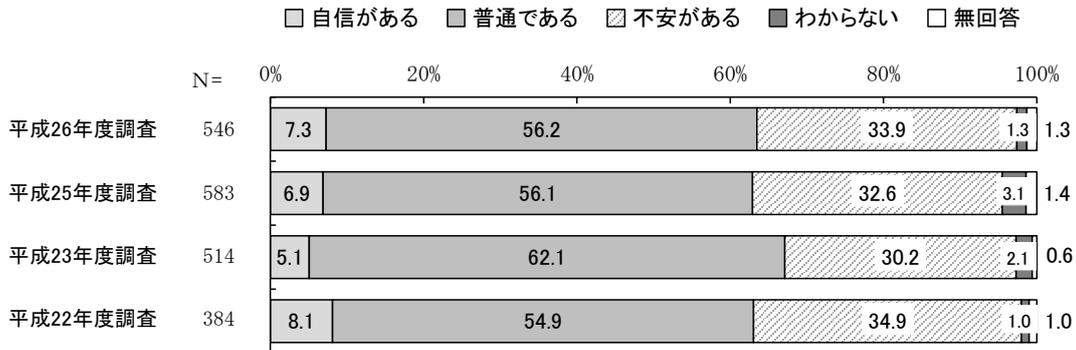
自分の体力については、「普通である」の割合が56.2%と最も高く、次いで「不安がある」の割合が33.9%、「自信がある」の割合が7.3%などとなっている。

経年比較をすると、多少の増減はみられるが、いずれの割合もほぼ横ばいとなっている。

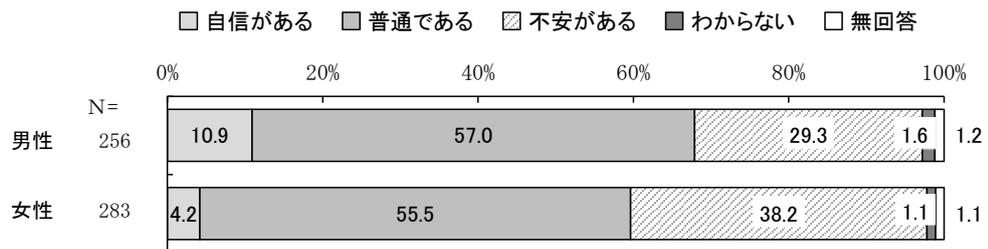
性別でみると、男性に比べ、女性で「不安がある」の割合が高くなっている。



## 【経年比較】



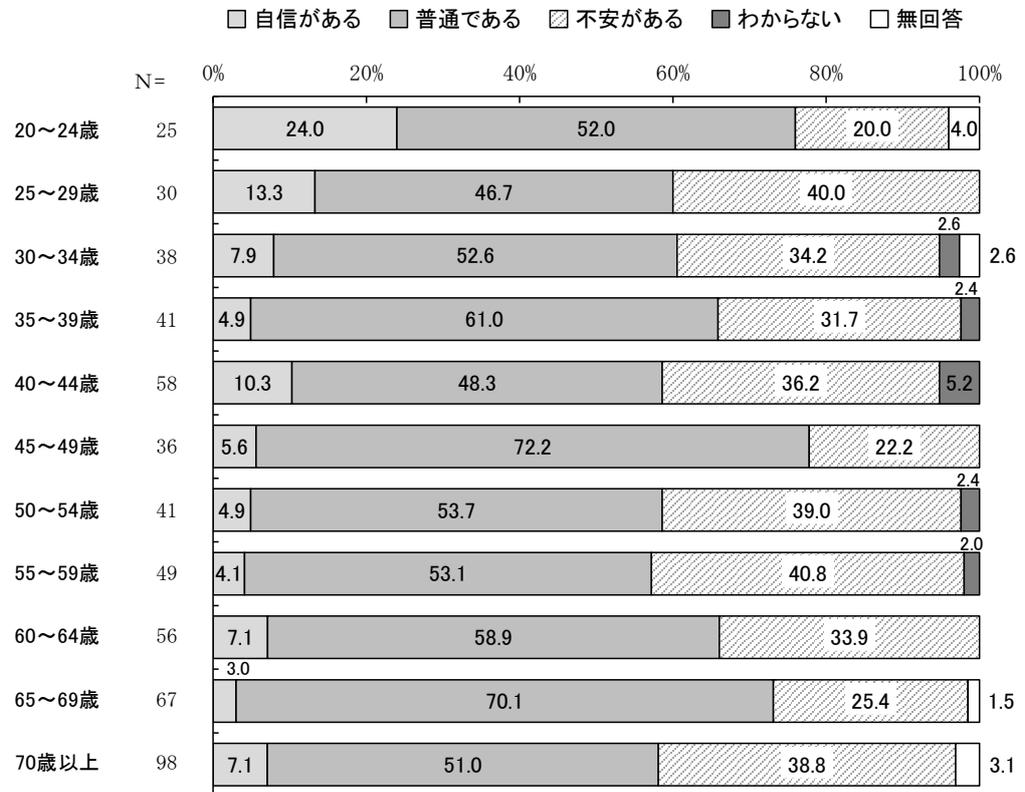
## 【性別】



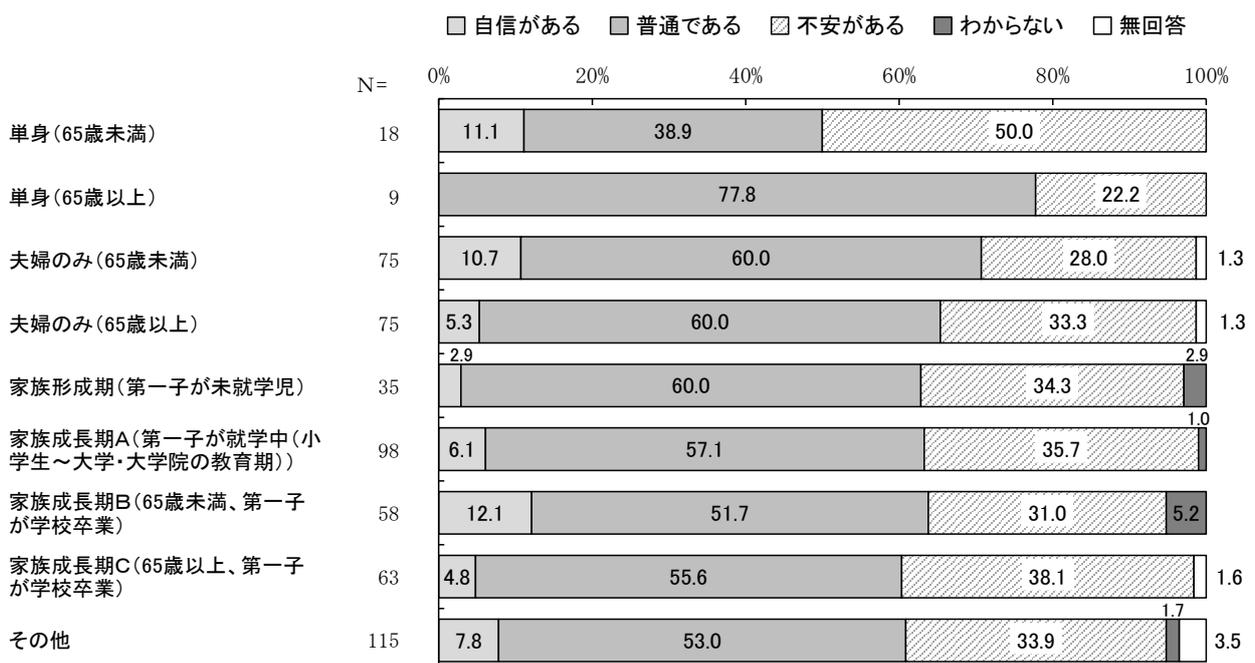
年代別でみると、他の年代に比べ、20～24歳、45～49歳で「不安がある」の割合が低く、約2割となっている。

ライフステージ別でみると、他に比べ、単身（65歳未満）で「不安がある」の割合が高く、5割となっている。

### 【年代別】



### 【ライフステージ別】

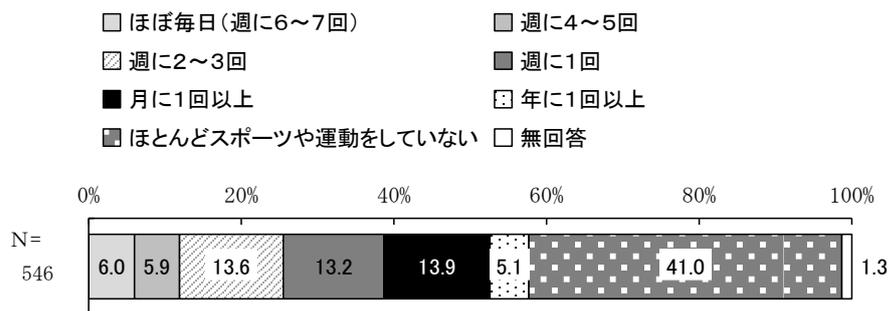


問 10 この1年間でスポーツや運動(1回あたり 30 分程度以上)をどれくらいの頻度で行いましたか。  
(○は1つ)

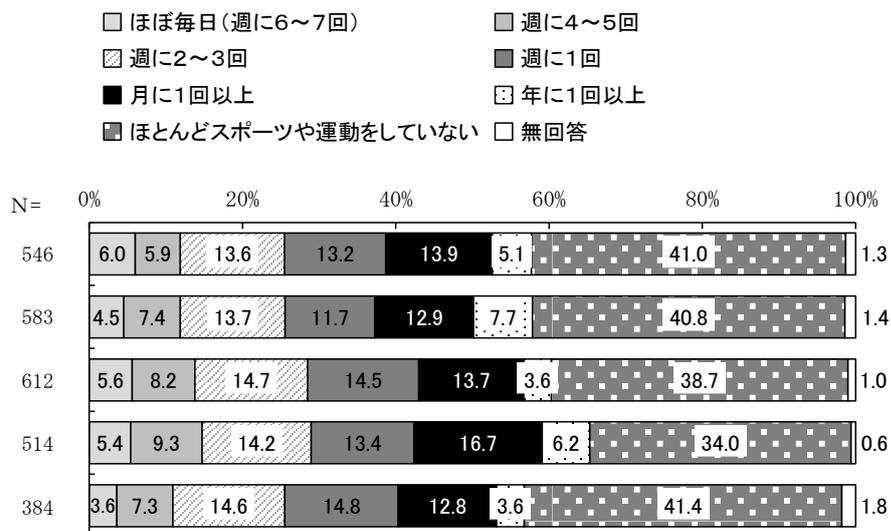
この1年間のスポーツや運動(1回あたり 30 分程度以上)の頻度は、「ほとんどスポーツや運動をしていない」の割合が41.0%と最も高く、次いで「月に1回以上」の割合が13.9%、「週に2～3回」の割合が13.6%などとなっている。

経年比較をすると、最近5年間で多少の増減はみられるが、ほぼ横ばいとなっている。

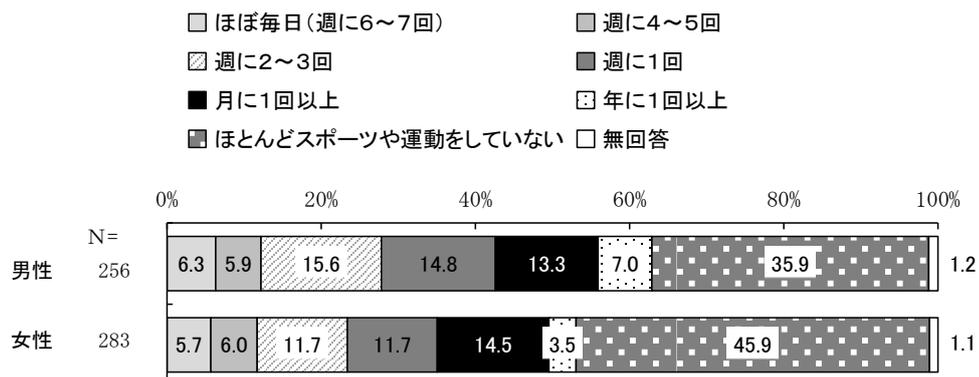
性別でみると、男性に比べ、女性で「ほとんどスポーツや運動をしていない」の割合が高くなっている。



【経年比較】



【性別】

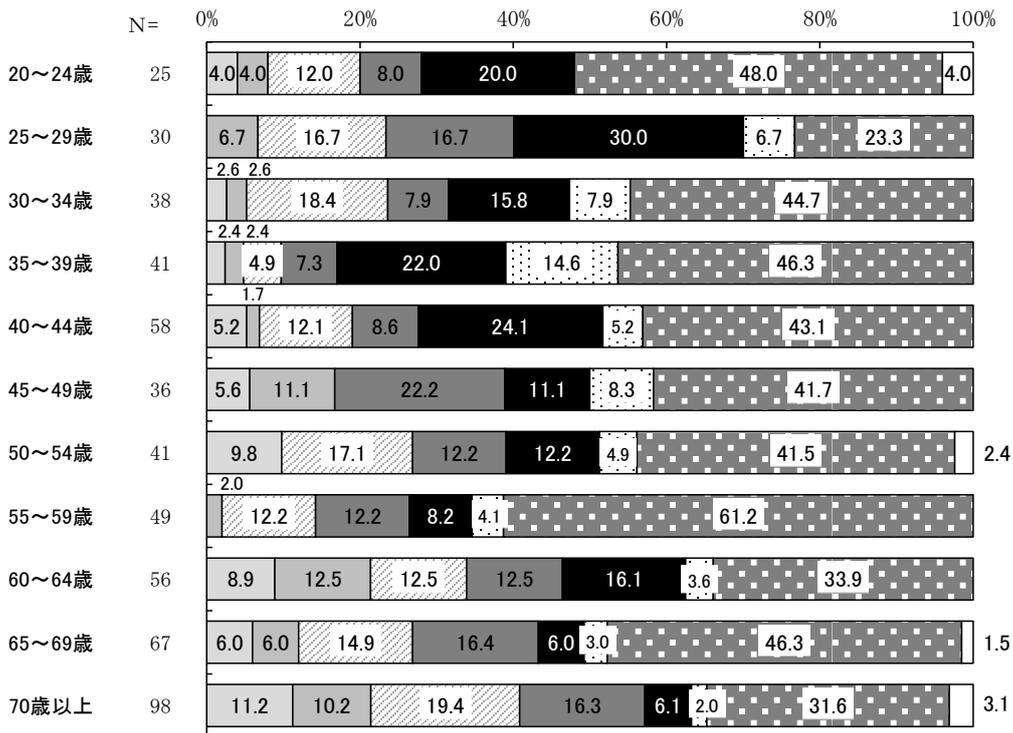


年代別でみると、他の年代に比べ、25～29歳で「月に1回以上」の割合が高く、3割となっている。また、55～59歳で「ほとんどスポーツや運動をしていない」の割合が高く、約6割となっている。

居住地区別でみると、他の地区に比べ、須山で「ほとんどスポーツや運動をしていない」の割合が高く、約6割となっている。

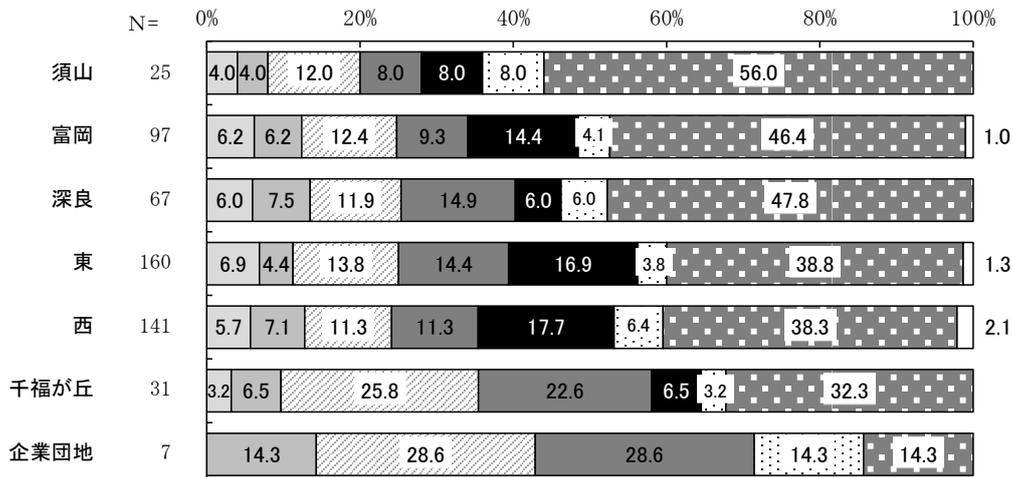
【年代別】

- ほぼ毎日(週に6～7回)
- ▨ 週に2～3回
- 月に1回以上
- ▩ ほとんどスポーツや運動をしていない
- 週に4～5回
- 週に1回
- ▨ 年に1回以上
- 無回答



【居住地区別】

- ほぼ毎日(週に6～7回)
- ▨ 週に2～3回
- 月に1回以上
- ▩ ほとんどスポーツや運動をしていない
- 週に4～5回
- 週に1回
- ▨ 年に1回以上
- 無回答

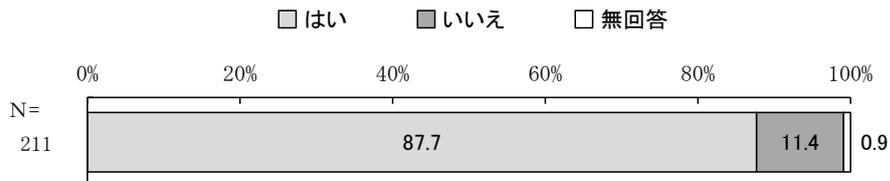


問 10-1 問 10 で「1～4」を選んだ方にお聞きします。習慣的な運動によって、自分が健康を保つことができていると感じますか。(〇は1つ)

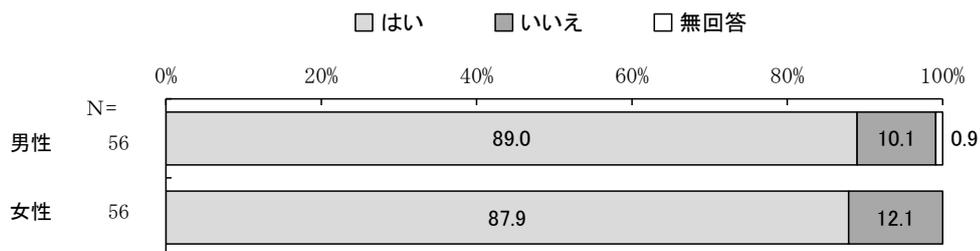
習慣的な運動で自分が健康を保つことができているかは、「はい」の割合が 87.7%、「いいえ」の割合が 11.4%となり、「はい」の割合の方が高くなっている。

性別でみると、大きな差異はみられない。

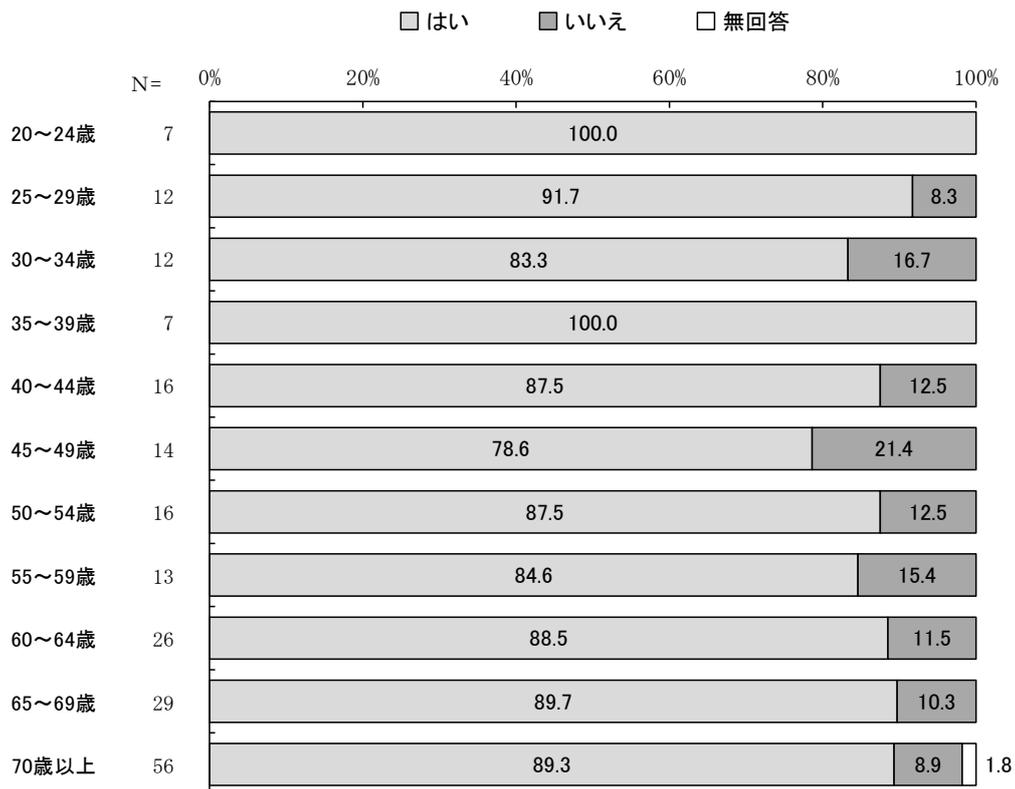
年代別でみると、他の年代に比べ、45～49 歳で「いいえ」の割合が高く、2 割以上となっている。



### 【性別】



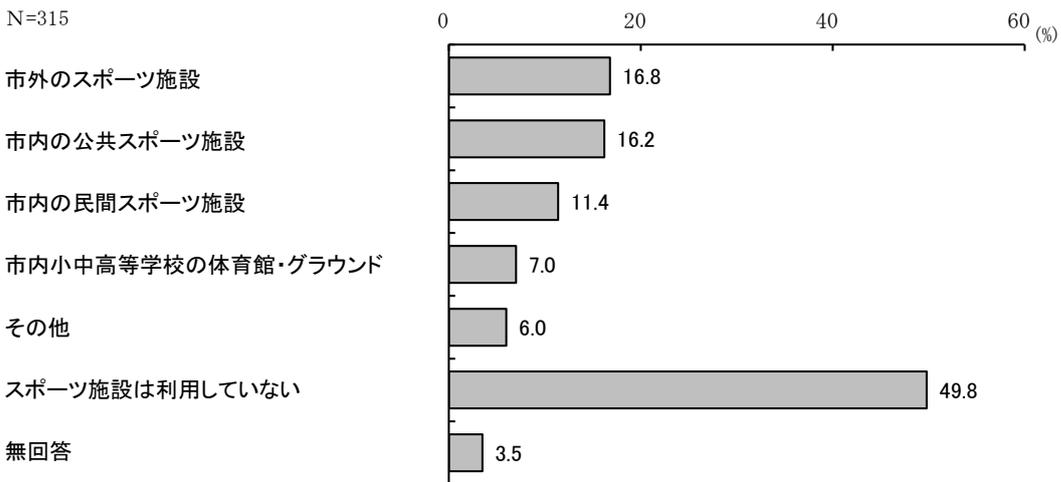
### 【年代別】



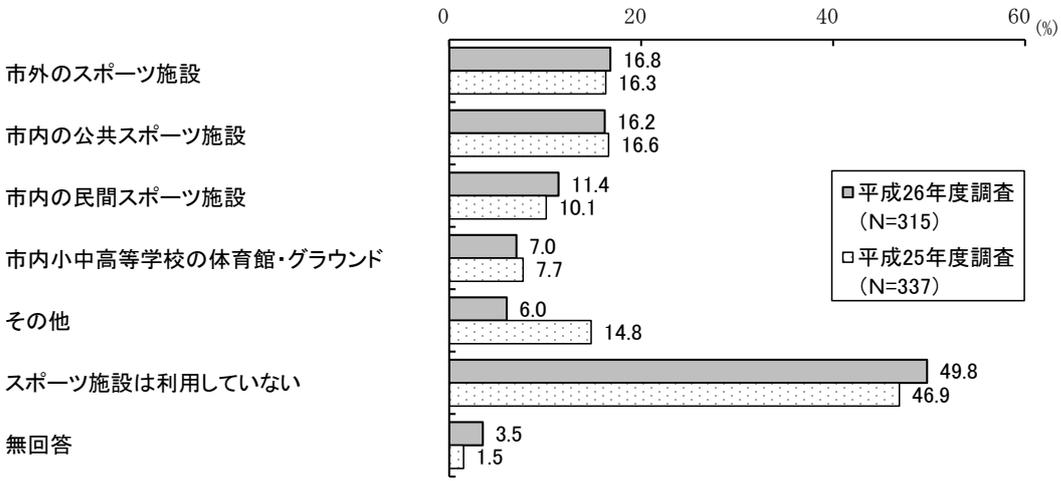
問 10-2 問 10 で「1～6」を選んだ方にお聞きします。ふだん利用するスポーツ施設は次のどれですか。(〇はいくつでも)

ふだん利用するスポーツ施設は、「スポーツ施設は利用していない」の割合が 49.8%と最も高く、次いで「市外のスポーツ施設」の割合が 16.8%、「市内の公共スポーツ施設」の割合が 16.2%などとなっている。

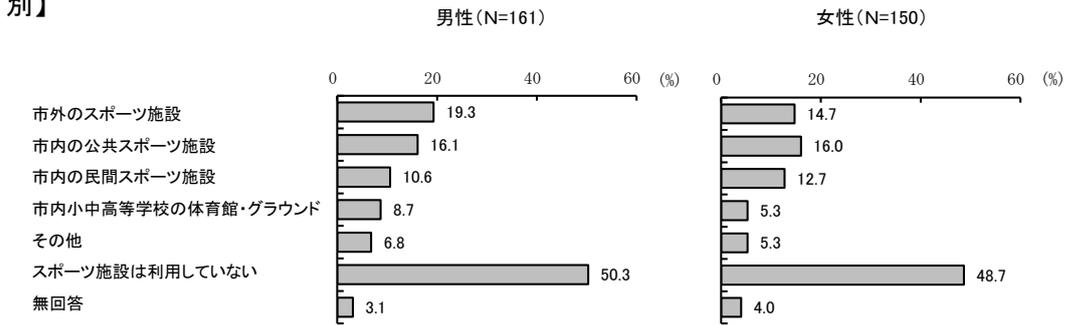
経年比較をすると、平成 25 年度調査から大きな増減はみられず、ほぼ横ばいとなっている。性別でみると、大きな差異はみられない。



【経年比較】

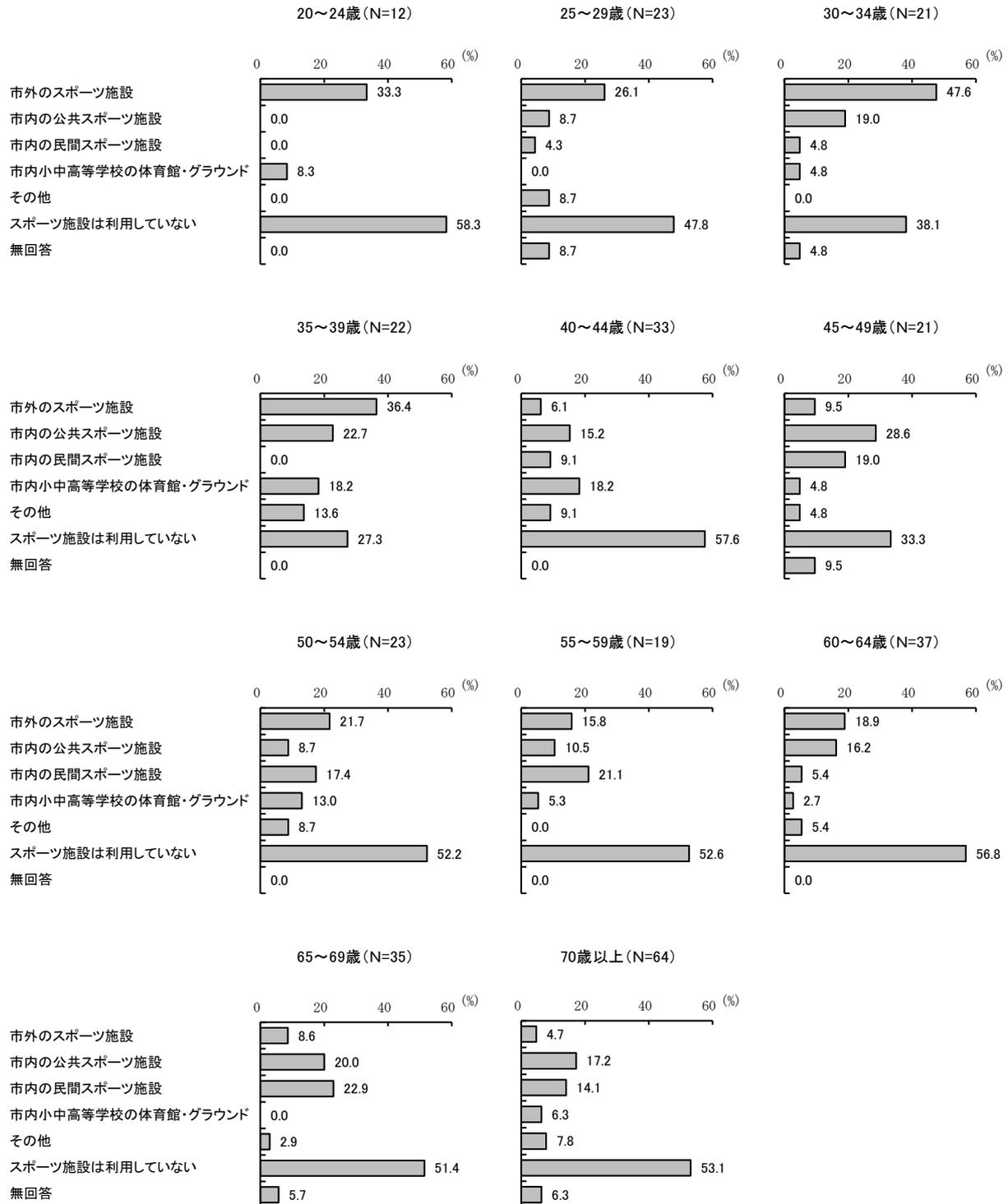


【性別】



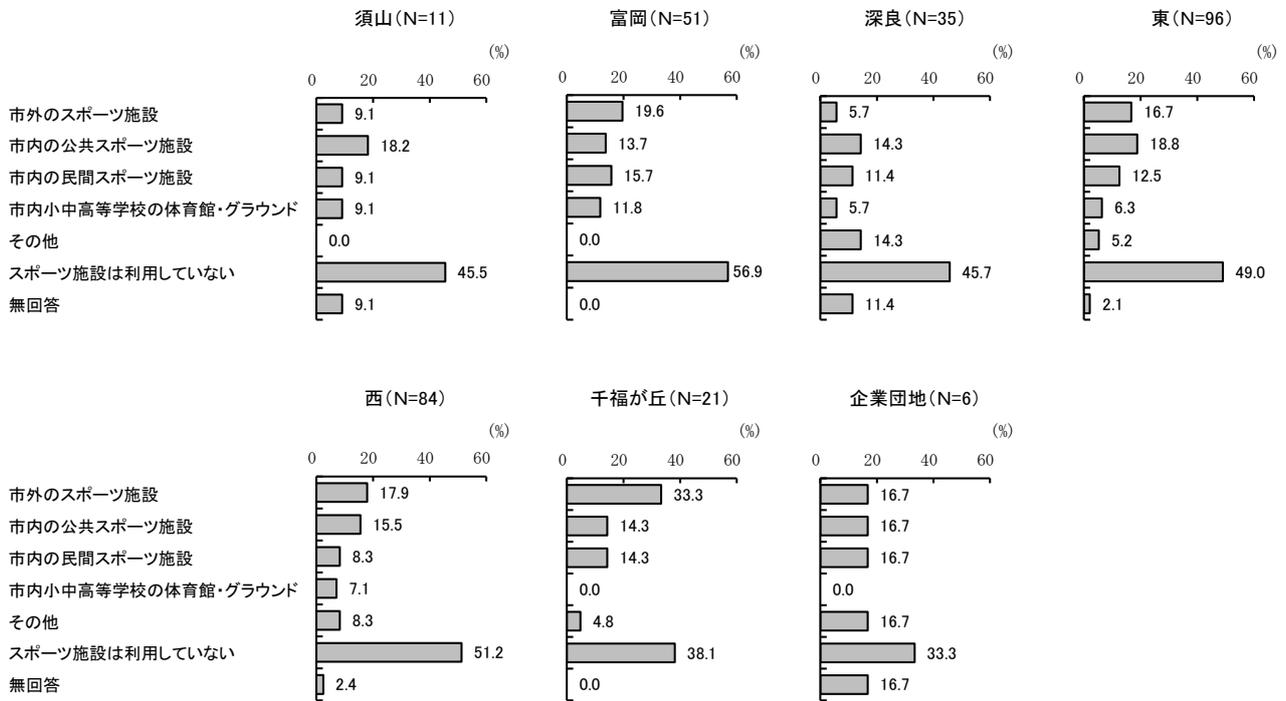
年代別でみると、他の年代に比べ、30～34歳、35～39歳で「市外のスポーツ施設」の割合が高くなっている。一方、35～39歳、45～49歳で「スポーツ施設は利用していない」の割合が低く、約3割となっている。

【年代別】



居住地区別でみると、他の地区に比べ、千福が丘で「市外のスポーツ施設」の割合が高く、約3割となっている。

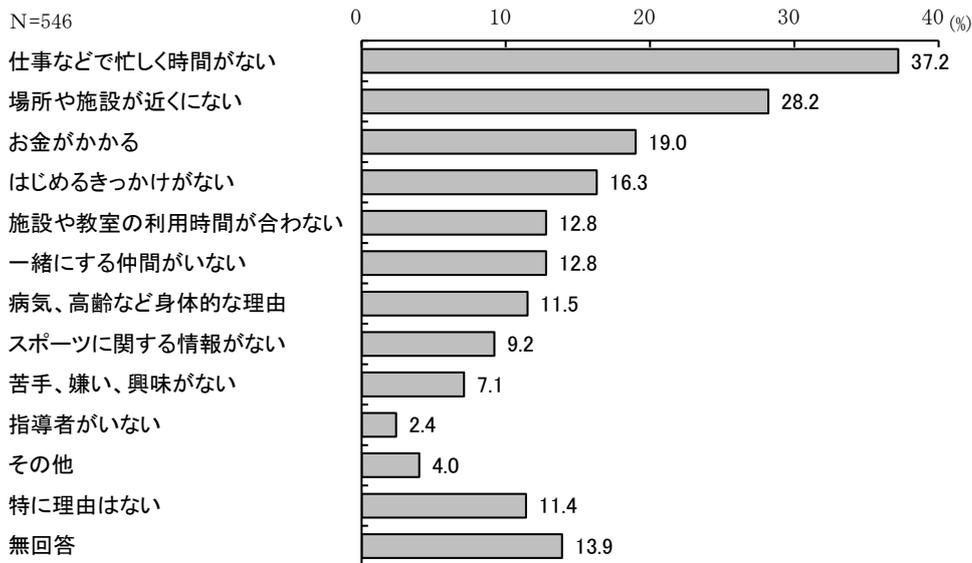
【居住地区別】



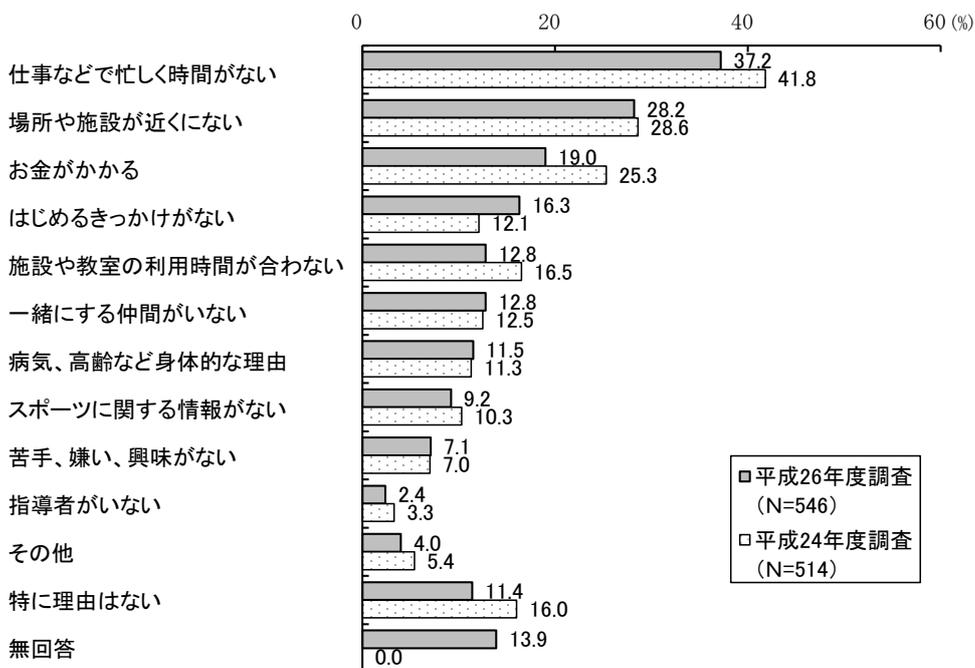
## 問 11 スポーツや運動を頻繁に行うために、障害となっている理由はありますか。(〇はいくつでも)

スポーツや運動を頻繁に行うために障害となっている理由は、「仕事などで忙しく時間がない」の割合が37.2%と最も高く、次いで「場所や施設が近くにない」の割合が28.2%、「お金がかかる」の割合が19.0%などとなっている。

経年比較をすると、「お金がかかる」の割合が平成24年度調査からやや減少している。

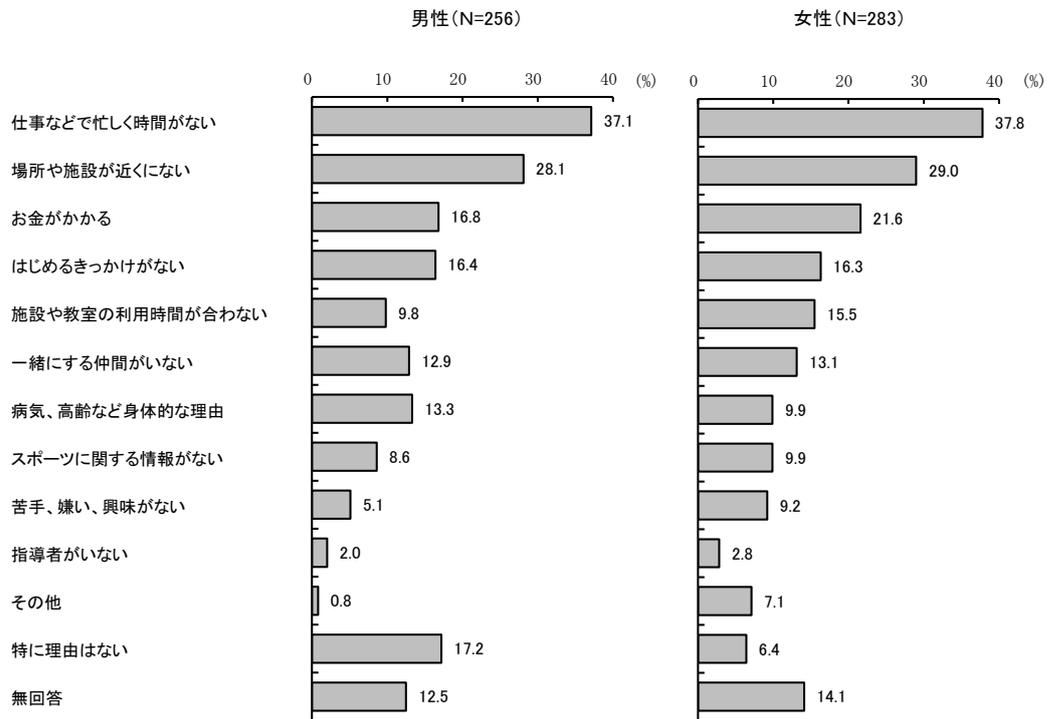


## 【経年比較】



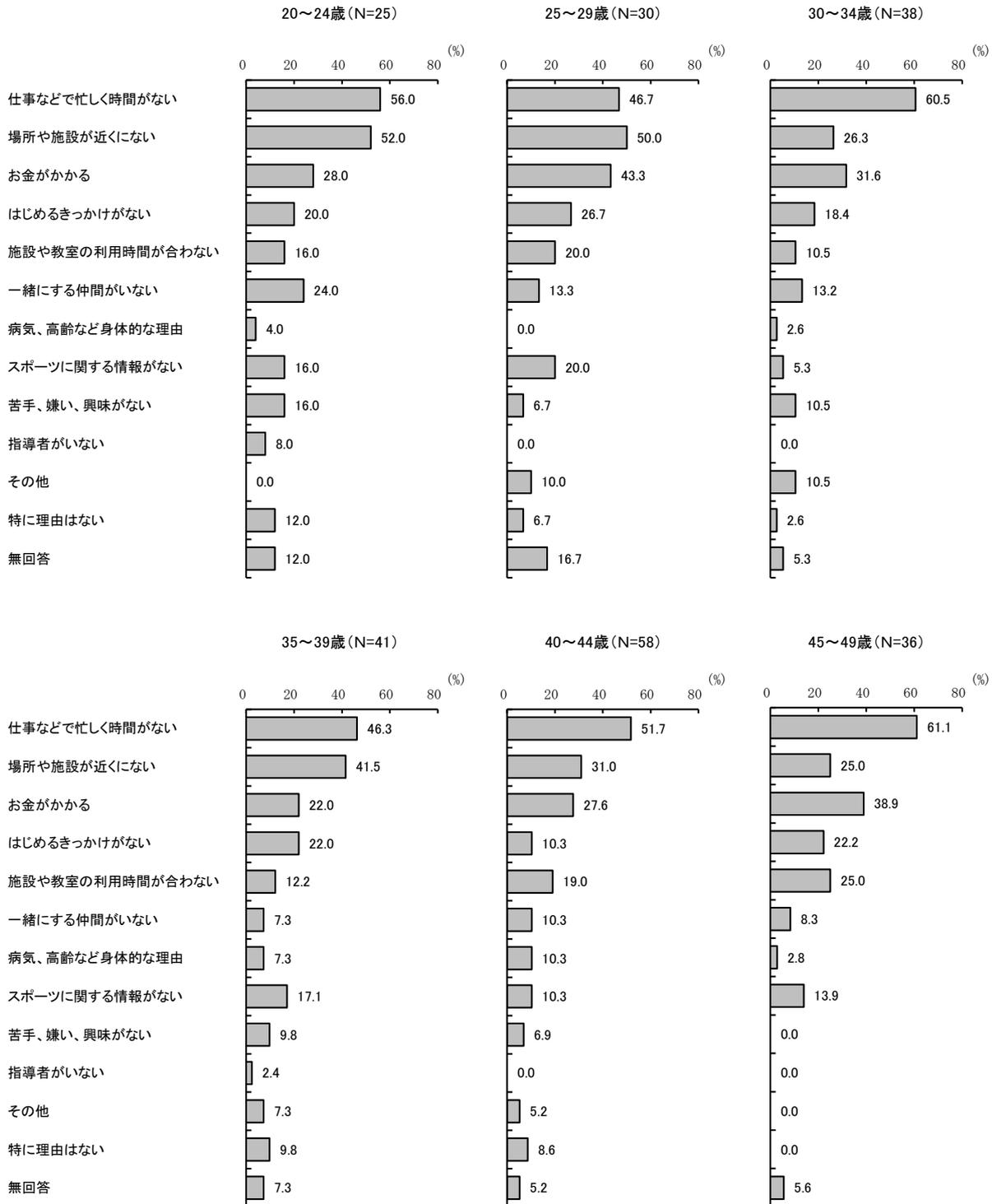
性別でみると、大きな差異はみられない。

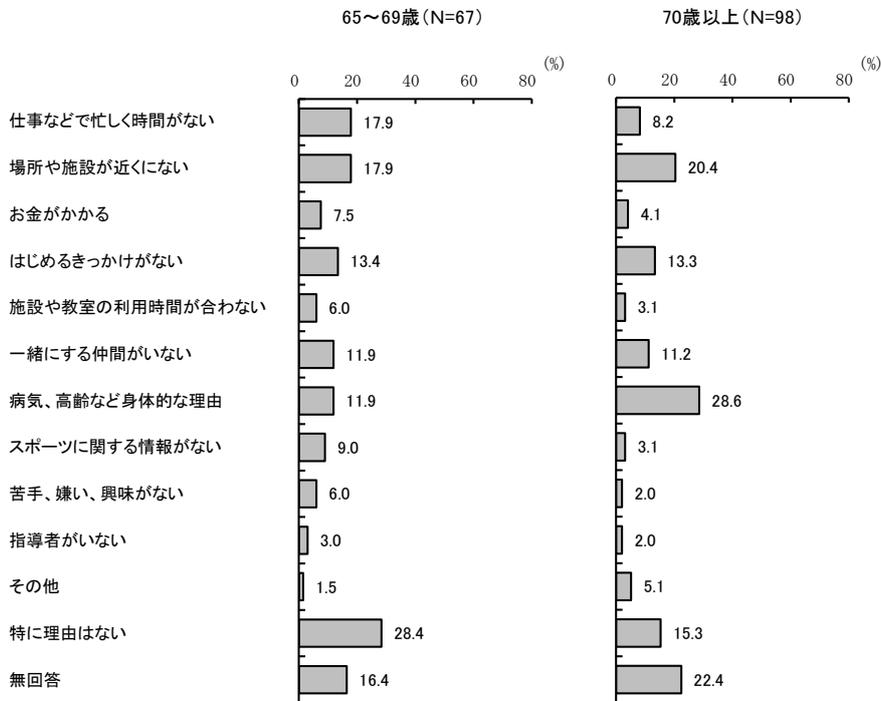
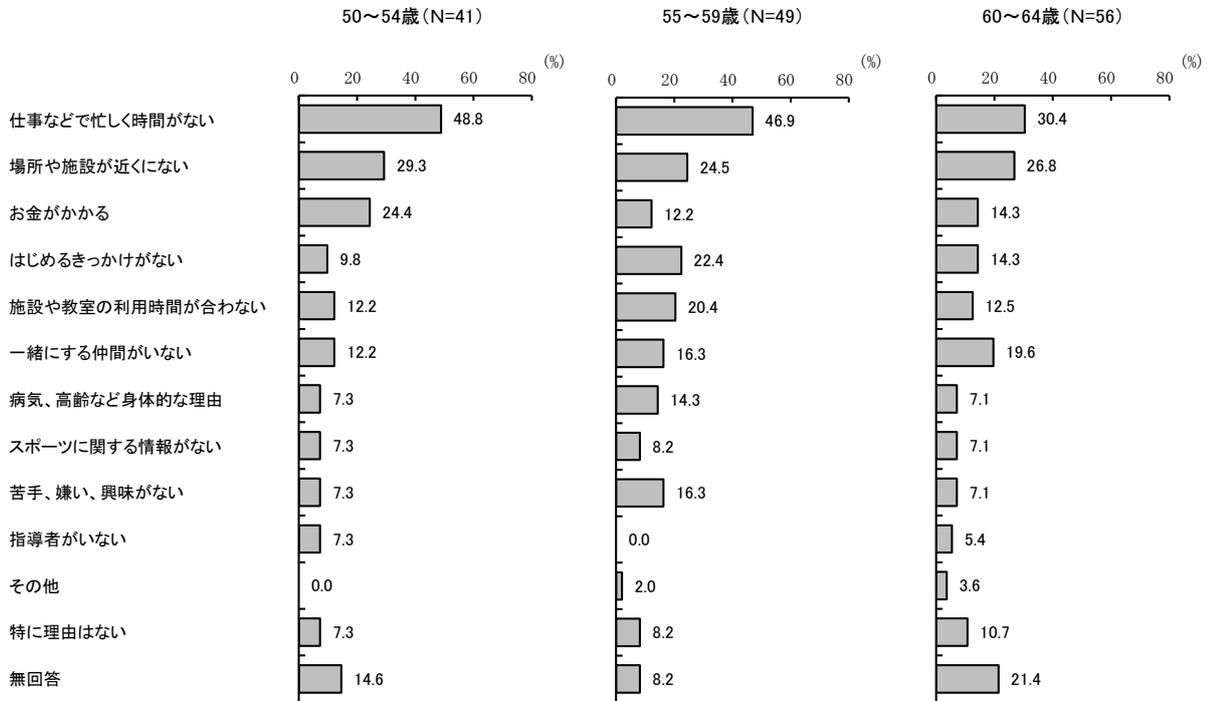
### 【性別】



年代別でみると、他の年代に比べ、30～34歳、45～49歳で「仕事などで忙しく時間がない」の割合が高く、6割を超えている。また、20～24歳、25～29歳で「場所や施設が近くにない」の割合が高く、約5割となっている。

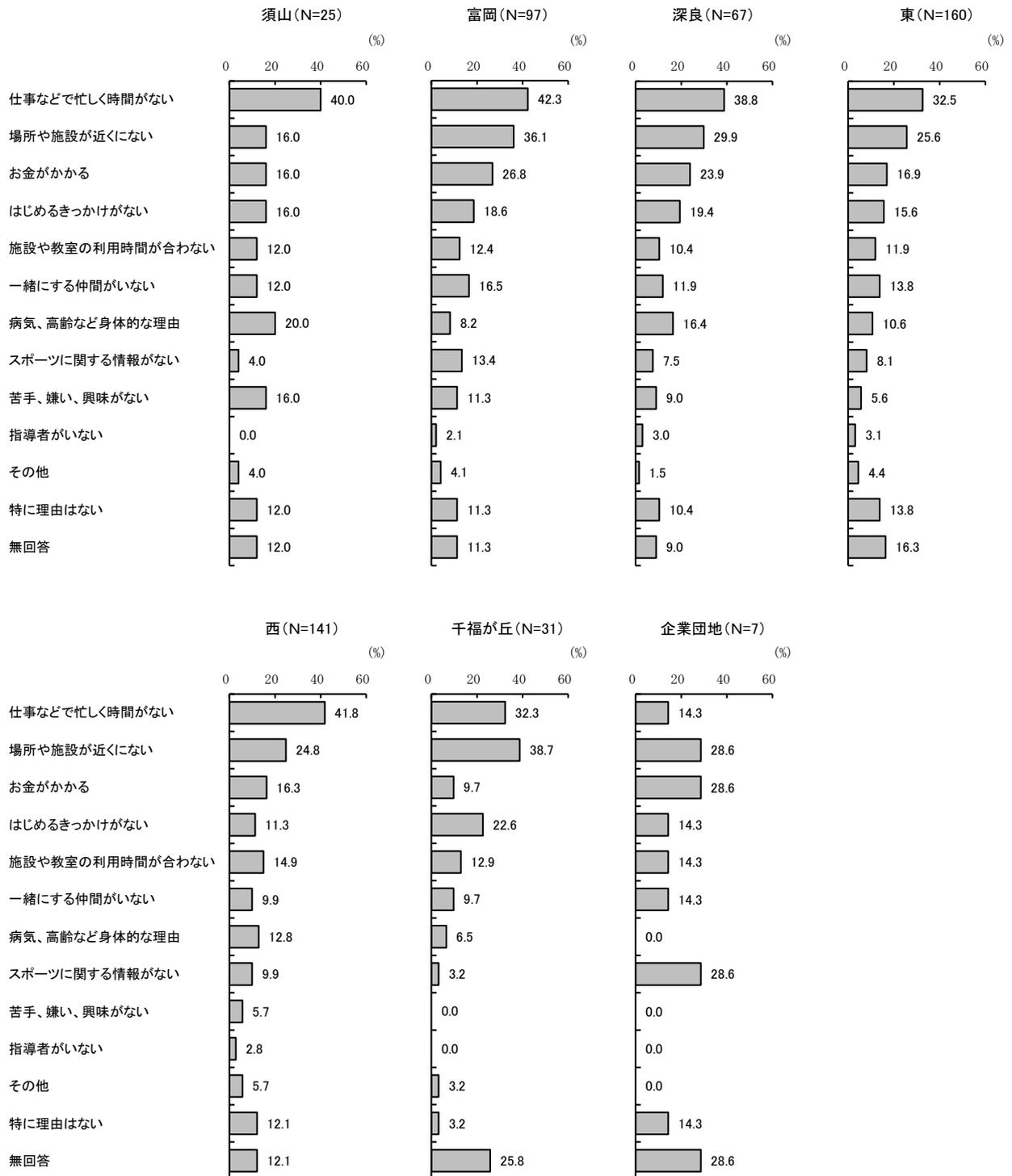
【年代別】





居住地区別で見ると、他の地区に比べ、富岡、千福が丘で「場所や施設が近くにない」の割合が高く、約4割となっている。

【居住地区別】





IV 調査票

まちづくりにあなたの声を！

裾野市市民意識調査ご協力をお願い

市民のみなさまには、日頃より裾野市政に格別のご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

裾野市では現在、将来の都市像「みんなの元気と調和でつくる暮らし満足都市」の実現に向けて各種の施策を進めております。

このたび、市民のみなさまの意見を広く取り入れ、市民と行政が一体となったまちづくりをめざして、「裾野市市民意識調査」を実施することといたしました。この調査は、市内にお住まいの20歳以上の方から無作為に抽出した1,000人の方に回答をお願いしています。

なお、この調査は無記名でご回答いただき、調査の結果はすべて統計的に処理し、他の目的には一切使用いたしませんので、みなさまにご迷惑をおかけすることは決してございません。

また、調査結果は広報紙、市のホームページに掲載し、諸施策推進のための基礎資料として活用させていただきます。

ご多忙中誠に恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、みなさまの率直なご意見をお聞かせくださいますようお願いいたします。

ご記入後は同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れて、**9月10日（水）**までにご投函くださいますようお願いいたします。

平成26年 8月

裾野市長 高村 謙二

調査票 記入上の注意

- 1 宛名ご本人がご回答ください。
- 2 ご記入は、鉛筆または黒のボールペンをお使いください。
- 3 ご回答は、指示の数だけ選んで、あてはまる番号に○をつけてください。
- 4 「その他（ ）」の場合には、番号に○をつけ、（ ）の中に具体的に  
にご記入ください。
- 5 調査票の最後にある記入式回答の  には、直接ご記入ください。
- 6 返信用封筒には、この調査票を三つ折にして封入し、ご投函ください。

※このアンケートについて、不明な点などがありましたら、下記までお問い合わせください。

裾野市企画部企画政策課 電話 995-1804

**最初に、お住まいの周辺環境についてお聞きします。**

問1 近隣市町にある公共施設や商業施設、医療機関などの利用しやすさなども含めた、周辺環境についてお答えください。  
(満足度については番号に、重要度についてはアルファベットに、それぞれ〇は1つずつ)

記入例	満足度				重要度	
	満足	まあ満足	普通	やや不満	不満	とても重要
	1	2	3	④	5	C
	1	②	3	4	5	① B C
1	1	2	3	4	5	A B C
2	1	2	3	4	5	A B C
3	1	2	3	4	5	A B C
4	1	2	3	4	5	A B C
5	1	2	3	4	5	A B C
6	1	2	3	4	5	A B C
7	1	2	3	4	5	A B C
8	1	2	3	4	5	A B C
9	1	2	3	4	5	A B C
10	1	2	3	4	5	A B C
11	1	2	3	4	5	A B C
12	1	2	3	4	5	A B C
13	1	2	3	4	5	A B C
14	1	2	3	4	5	A B C
15	1	2	3	4	5	A B C
16	1	2	3	4	5	A B C
17	1	2	3	4	5	A B C
18	1	2	3	4	5	A B C
19	1	2	3	4	5	A B C

**裾野市の取り組みについてお聞きします。**

問2 裾野市の行政としての取り組みについてお答えください。  
(満足度については番号に、重要度についてはアルファベットに、それぞれ〇は1つずつ)

記入例	満足度				重要度	
	満足	まあ満足	普通	やや不満	不満	とても重要
	1	2	3	④	5	C
	1	②	3	4	5	① B C
1	1	2	3	4	5	A B C
2	1	2	3	4	5	A B C
3	1	2	3	4	5	A B C
4	1	2	3	4	5	A B C
5	1	2	3	4	5	A B C
6	1	2	3	4	5	A B C
7	1	2	3	4	5	A B C
8	1	2	3	4	5	A B C
9	1	2	3	4	5	A B C
10	1	2	3	4	5	A B C
11	1	2	3	4	5	A B C
12	1	2	3	4	5	A B C
13	1	2	3	4	5	A B C
14	1	2	3	4	5	A B C
15	1	2	3	4	5	A B C
16	1	2	3	4	5	A B C
17	1	2	3	4	5	A B C
18	1	2	3	4	5	A B C
19	1	2	3	4	5	A B C
20	1	2	3	4	5	A B C
21	1	2	3	4	5	A B C

\* 1 「再生可能エネルギー」：太陽光・木質系、水力、風力、バイオマス、地熱などの、自然の力で繰り返し使うことができるエネルギー

	満足度				重要度	
	満足	まあ満足	普通	やや不満	重要	とても重要
22	1	2	3	4	5	C
23	1	2	3	4	5	C
24	1	2	3	4	5	C
25	1	2	3	4	5	C
26	1	2	3	4	5	C
27	1	2	3	4	5	C

**市の政策全体についてお聞きします。**

問3 裾野市の政策全体についてどの程度満足していますか。(○は1つ)

- 1 満足している
- 2 まあまあ満足している
- 3 普通
- 4 やや不満である
- 5 不満である

**市民協働についてお聞きします。**

問4 あなたは「協働」という言葉を知っていますか。(○は1つ)

- 1 よく知っている
- 2 だいたいのことは知っている
- 3 聞いたことはあるが、内容はよくわからない
- 4 まったく知らない

※協働とは、市民や区、事業者、行政等が対等な立場で協力し、地域づくりや公共的な課題の解決に取り組むことをいいます。

問4-1 問4で「1～3」を選んだ方にお聞きします。

協働とは何かについて学習したことがありますか。または今後学習してみたいと思いますか。(○は1つ)

- 1 学習したことがある
- 2 今後学習してみたい
- 3 今後も学習したいと思わない

問4-2 問4で「1～3」を選んだ方にお聞きします。

あなたは、協働への関わりについてどのように思っていますか。(○は1つ)

- 1 既に協働による活動を行っている
- 2 積極的に協働事業に参加したい
- 3 機会があれば協働事業に参加したい
- 4 特に考えていない
- 5 できれば関わりたくない
- 6 その他( )

問4-3 問4で「1～3」を選んだ方にお聞きします。

協働して取り組む必要性が高い分野はどれだと思いますか。(○はいくつでも)

- 1 高齢者福祉
- 2 子育ての支援や児童福祉
- 3 青少年育成
- 4 学校教育の支援など教育分野
- 5 地域の衛生保持や保健分野
- 6 リサイクルやごみ問題
- 7 自然保護や環境保全分野
- 8 消費生活に関する分野
- 9 まちづくりや地域活性化
- 10 文化や芸術に関する分野
- 11 スポーツや健康づくり
- 12 防災対策や災害救援の分野
- 13 防犯や地域の安全対策の分野
- 14 男女共同参画に関する分野
- 15 人権や平和に関する分野
- 16 国際協力
- 17 その他( )

問4-4 問4で「1～3」を選んだ方にお聞きします。

協働によるまちづくりを進めていく上で、行政はどのようなことをすればよいと思いますか。(○はいくつでも)

- 1 協働のルールや方針を作成する
- 2 市民活動に対する活動補助などの支援策を講ずる
- 3 市民・団体間の交流や情報交換の機会を増やす
- 4 行政は市民活動にもっと柔軟に対応する
- 5 市民活動に役立つ、研修やノウハウの指導等を行う
- 6 市の計画や事業について、市民が意見表明できる場を設ける
- 7 市民活動センター等の拠点施設を充実する
- 8 その他( )
- 9 わからない

問4-5 問4で「1～3」を選んだ方にお聞きします。

協働によるまちづくりを進めていく上で、区（自治会）はどのようなことをすればよいと思いますか。（〇はいくつでも）

- 1 区民同士が交流できる機会を設ける
- 2 区への加入を積極的に推進する
- 3 地域の課題を地域で解決する
- 4 区の運営や事業に関する情報を発信する
- 5 区の計画づくりや事業実施にあたり、区民が意見表明できる機会を設ける
- 6 その他（ ）
- 7 わからない

問4-6 問4で「1～3」を選んだ方にお聞きします。

協働によるまちづくりを進めていく上で、市民（あなた）はどのようなことをすればよいと思いますか。（〇はいくつでも）

- 1 市民同士の交流の場に積極的に参加する
- 2 研修会等に参加し、地域活動で役立てる
- 3 市民同士が協力して、地域の課題解決にあたる
- 4 市の政策決定や計画づくりに、意見やアイデアを提案する
- 5 市民活動団体は、その活動が広く理解・信頼を得られるよう、情報の発信・公開をする
- 6 その他（ ）
- 7 わからない

子育て環境についてお聞きします。

問5 あなたは小学生以下の子どもと同居していますか。（〇は1つ）

- 1 同居している → 問5-1～問5-3へ
- 2 同居していない → 問6へ

問5-1 問5で「1 同居している」を選んだ方にお聞きします。

現在身の回りを見て、あなたの思い描く「子どもの遊び場」とはどんなものですか。（〇は3つまで）

- 1 公園
- 2 児童館など
- 3 学校、幼稚園や保育園の施設
- 4 地区の広場など
- 5 「1」～「4」以外の公共施設
- 6 友達や自分の家など
- 7 その他（ ）
- 8 遊び場と思える場所がない
- 9 わからない

問5-2 問5で「1 同居している」を選んだ方にお聞きします。

家の近くの子どもの遊び場について日ごろ感じていることがありますか。（〇は3つまで）

- 1 雨の日に遊べる場所がない
- 2 近くに子どもの遊び場がない
- 3 遊び場の遊具などの種類が充実していない
- 4 遊び場に行っても子どもと同じ年くらいの子がいない
- 5 いつも閑散としていて寂しい感じがする
- 6 思い切り遊ぶために十分な広さがない
- 7 遊び場の周辺の道路が危険である
- 8 不衛生である
- 9 遊び場やその周辺の環境が悪くて、安心して遊べない
- 10 緑などの自然が少ない
- 11 家遊びが中心で、外の遊び場を必要としない
- 12 その他（ ）
- 13 特に感じることはない

問5-3 問5で「1 同居している」を選んだ方にお聞きします。

子どもとの外出の際に不安や困ることは何ですか。（〇は3つまで）

- 1 施設などのトイレが、オムツ替えや親子での利用に配慮されていないこと
- 2 小さな子どもとの食事に配慮された場所がないこと
- 3 歩道の段差などがベビーカーや幼児用自転車等の通行の妨げになっていること
- 4 用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がないこと
- 5 歩道や信号の無い通りや交差点が多く、安全に心配があること
- 6 交通機関や建物がベビーカーや子ども用の移動に配慮されていないこと
- 7 暗い通りや見通しのきかないところが多く、犯罪の被害が心配であること
- 8 授乳する場所や必要な設備がないこと
- 9 緑や広い歩道が少ないなど、まちなみにゆとりといるおいがいないこと
- 10 子ども等に手を取られ、困った時に手を貸してくれる人が少ないこと
- 11 周囲の人が子供連れを迷惑そうに見ること
- 12 その他（ ）
- 13 特に不安に思ったり、困ったりすることは少ない

**住宅用火災警報器の設置についてお聞きします。**

※消防法が改正され、平成 21 年 6 月 1 日からご家庭に住宅用火災警報器等の設置が義務付けられました。

問 6 お住まいの住宅（共同住宅等含む）が建てられた時期はいつですか。（○は 1 つ）

- 1 平成 18 年 5 月以前
- 2 平成 18 年 6 月以降
- 3 わからない

問 7 平成 21 年 6 月 1 日より、お住まいの住宅（共同住宅等含む）では、次の場所に住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。

- ・ 寝室
  - ・ 階段（寝室が 2 階以上の階にある場合）
- あなたが住まいの住宅には、義務となる場所に住宅用火災警報器が設置されていますか。（○は 1 つ、自動火災報知設備が設置されている場合は 1 ～ ○）

- 1 設置している
- 2 一部設置している
- 3 設置していない

問 7-1 お住まいの住宅（共同住宅等含む）に住宅用火災警報器を 1 つ以上設置している方にお聞きします。

どのような経緯で設置にいたしましたか。（○は 1 つ）

- 1 自ら設置した（設置する作業自体は他の人に頼んだ場合を含む）
- 2 新築購入時に設置されていた
- 3 家主が設置した
- 4 管理者（管理組合・管理会社）が設置した
- 5 わからない（入居時、既に設置してあった）
- 6 その他（ ）

問 7-2 お住まいの住宅（共同住宅等含む）に住宅用火災警報器を 1 つも設置していない方にお聞きします。

今のところ設置していない理由は何か。（○は 1 つ）

- 1 設置が義務化されていることを知らなかった
- 2 設置費用負担が大きい
- 3 自分で設置することは難しい
- 4 購入方法がわからない
- 5 借家のため自分で設置してよいかかわからない（管理者が付けてくれない）
- 6 その他（ ）

**スポーツ活動についてお聞きします。**

問 8 ご自分の健康についてどのように感じていますか。（○は 1 つ）

- 1 大いに健康
- 2 まあまあ健康
- 3 あまり健康ではない
- 4 わからない

問 9 ご自分の体力についてどのように感じていますか。（○は 1 つ）

- 1 自信がある
- 2 普通である
- 3 不安がある
- 4 わからない

問 10 この 1 年間でスポーツや運動（1 回あたり 30 分程度以上）をどれくらいの頻度で行いましたか。（○は 1 つ）

- 1 ほぼ毎日（週に 6 ～ 7 回）
- 2 週に 4 ～ 5 回
- 3 週に 2 ～ 3 回
- 4 週に 1 回
- 5 月に 1 回以上
- 6 年に 1 回以上
- 7 ほとんどスポーツや運動をしていない

問 10-1 問 10 で「1 ～ 4」を選んだ方にお聞きします。

習慣的な運動によって、自分が健康を保つことができていると感じますか。

（○は 1 つ）

- 1 はい
- 2 いいえ

問 10-2 問 10 で「1 ～ 6」を選んだ方にお聞きします。

ふだん利用するスポーツ施設は次のどれですか。（○はいくつでも）

- 1 市内の公共スポーツ施設
- 2 市内小・中・高等学校の体育館・グラウンド
- 3 市内の民間スポーツ施設
- 4 市外のスポーツ施設
- 5 その他（ ）
- 6 スポーツ施設は利用していない

問 11 スポーツや運動を頻繁に行うために、障害となっている理由はありませんか。

（○はいくつでも）

- 1 仕事などで忙しく時間が無い
- 2 病気、高齢など身体的な理由
- 3 場所や施設が近くにない
- 4 施設や教室の利用時間が合わない
- 5 一緒にする仲間がいない
- 6 指導者がいない
- 7 お金がかかる
- 8 ぼしめるきっかけがない
- 9 スポーツに関する情報が無い
- 10 苦手、嫌い、興味が無い
- 11 その他（ ）
- 12 特に理由はない

**最後に、あなた自身やご家族のことについてお聞きします。**

F 1 あなたの性別は。(Oは1つ)

- 1 男性
- 2 女性

F 2 あなたの年齢は。(Oは1つ)

- 1 20~24歳
- 2 25~29歳
- 3 30~34歳
- 4 35~39歳
- 5 40~44歳
- 6 45~49歳
- 7 50~54歳
- 8 55~59歳
- 9 60~64歳
- 10 65~69歳
- 11 70歳以上

F 3 現在、あなたは誰かと同居していますか。同居している場合は、あなたからみた続  
き柄で、同居している方をすべてお答えください。(Oはいくつでも)

- 1 ひとり暮らし
- 2 妻または夫 → F 4へ
- 3 子 → F 5へ
- 4 親
- 5 その他 ( )

F 4 妻または夫と同居されている方にお聞きします。

あなたは共働きをしていますか。(Oは1つ)

- 1 している
- 2 していない

F 5 子と同居されている方にお聞きします。

お子さんは、次のどれに当てはまりますか。(Oは1つ)

- 1 一番上の子が小学校入学前
- 2 一番上の子が小学校在学中
- 3 一番上の子が中学校・高校在学中
- 4 一番上の子が大学・大学院・各種学校在学中
- 5 一番上の子が学校を卒業

F 6 あなたの職業は次のどれですか。(Oは1つ)

- 1 会社員(民間)
- 2 公務員・団体職員
- 3 農林業等の自営業
- 4 商工・サービス業等の自営業
- 5 自由業(開業医、弁護士、芸術家等)
- 6 パート・アルバイト
- 7 専業主婦(主夫)
- 8 学生
- 9 無職
- 10 その他 ( )

F 7 あなたの居住地区は次のどれですか。(Oは1つ)

- 1 須山
- 2 雷岡
- 3 深良
- 4 東
- 5 西
- 6 千福が丘
- 7 企業団地

F 8 あなたのお住まいの住宅は次のどれですか。(Oは1つ)

- 1 一戸建て持ち家(家族名義を含む)
- 2 分譲マンション(家族名義を含む)
- 3 一戸建て借家
- 4 賃貸マンション
- 5 木造アパート
- 6 県営・市営住宅
- 7 公団・公社の賃貸住宅
- 8 社宅・公務員住宅・社員寮
- 9 間借り・住み込み
- 10 その他 ( )

F 9 あなたは今のお住まいにいつごろから住んでいますか。(Oは1つ)

- 1 昭和19年(1944年)以前
- 2 昭和20~29年(1945~1954年)
- 3 昭和30~39年(1955~1964年)
- 4 昭和40~49年(1965~1974年)
- 5 昭和50~59年(1975~1984年)
- 6 昭和60~平成6年(1985~1994年)
- 7 平成7~11年(1995~1999年)
- 8 平成12~16年(2000~2004年)
- 9 平成17年(2005年)以降

F 10 これからも、現在の場所に住み続けたいと思えますか。(Oは1つ)

- 1 現在の場所に住み続けたい
- 2 市内の他の場所に移りたい
- 3 市外に移りたい
- 4 わからない





平成 26 年度 裾野市市民意識調査  
報 告 書

平成 26 年 11 月発行

裾野市 企画部 企画政策課  
〒410-1192  
静岡県裾野市佐野 1059 番地  
T E L 055-995-1804  
F A X 055-995-1861